

岡崎市立地適正化計画

【資料編】

目 次

1 関連計画の概要	資－ 1
（１）地域公共交通との連携	資－ 1
（２）公共施設再編との連携	資－ 4
（３）福祉・医療との連携	資－ 5
（４）中山間地域の振興との連携	資－ 11
（５）防災施策との連携	資－ 13
（６）その他関連施策との連携	資－ 16
2 都市形成過程の整理 ～時間軸からみた都市構造分析～	資－ 23
（１）市町村合併の経緯	資－ 23
（２）市街地の形成過程・生い立ち	資－ 24
（３）人口・世帯の動向と都市構造	資－ 33
3 現状の都市構造の分析・評価 ～空間軸からみた都市構造分析～	資－ 40
（１）人口	資－ 40
（２）土地利用	資－ 43
（３）都市交通	資－ 49
（４）都市機能	資－ 54
（５）経済活動	資－ 60
（６）地価	資－ 62
（７）災害	資－ 63
（８）財政	資－ 67
（９）現状の都市構造の評価	資－ 71
4 将来都市構造の見通し	資－ 75
（１）人口の将来見通し	資－ 75
（２）人口の分布動向	資－ 78
（３）高齢者数の分布動向	資－ 82
5 市民意向調査結果	資－ 85
（１）アンケートの実施概要	資－ 85
（２）集計結果	資－ 86
（３）調査票	資－ 110

6	居住誘導区域の設定の検討	資－118
(1)	誘導区域の基本的考え方	資－118
(2)	居住誘導区域に含めない地域	資－119
(3)	誘導区域の定量的検討	資－122
(4)	居住誘導区域の具体的設定	資－157
(5)	居住誘導区域における将来人口	資－162
7	居住誘導区域図	資－163
8	岡崎市における都市機能増進施設の定義	資－180
9	施設リスト	資－183
10	都市機能の徒歩利用圏	資－204
11	都市機能誘導区域図	資－208
12	各指標の現状値把握の方法	資－219
(1)	評価指標	資－219
(2)	効果指標	資－220

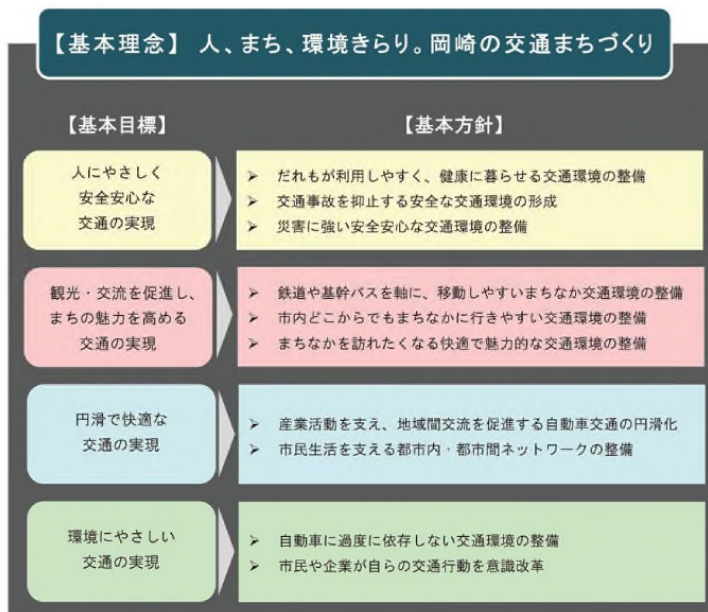
1 関連計画の概要

（１）地域公共交通との連携

■ 総合交通政策

岡崎市総合交通政策では、基本理念を「人、まち、環境きらり。岡崎の交通まちづくり」とし、基本目標、基本方針及び基本目標の実現を目指した主要施策を定めています。

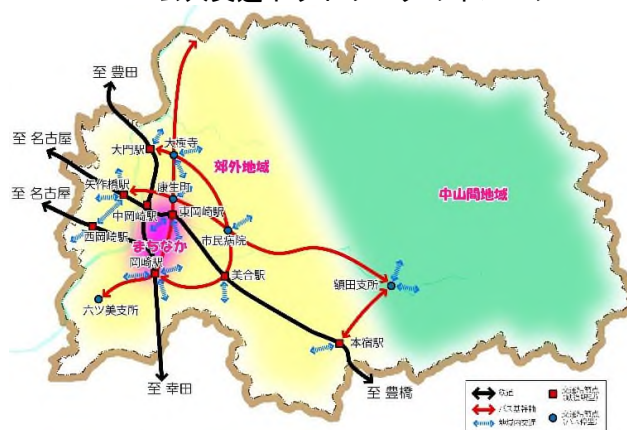
1) 基本目標と基本方針



2) 公共交通に関する主要施策の概要

- 公共交通ネットワークとバスネットワークの確保・維持
- 地域内交通の整備
- 交通結節点、乗換拠点の整備
- 魅力的な歩行者・自転車環境の創出

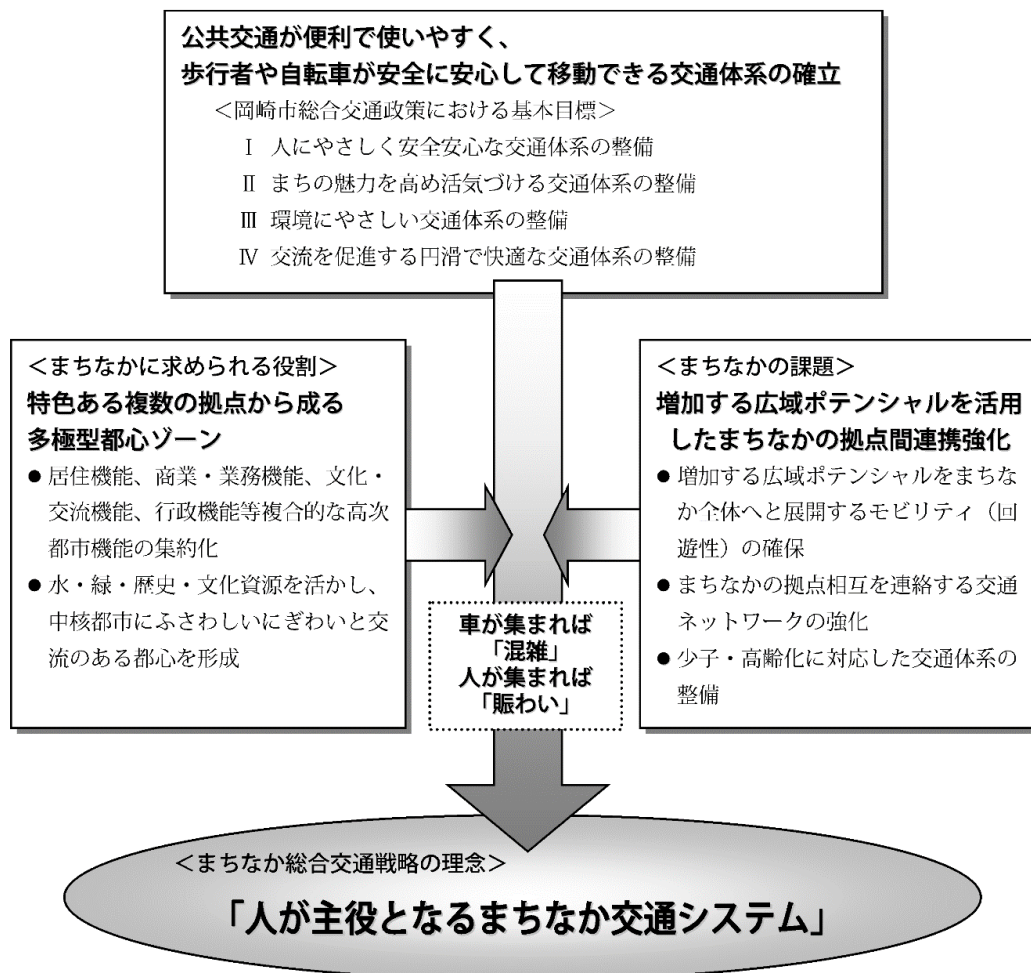
公共交通ネットワークのイメージ



■ まちなか総合交通戦略

まちなか総合交通戦略では、岡崎市総合交通政策における4つの基本目標を基に、「人が主役となるまちなか交通システム」を構築することを理念とし、戦略的な施策展開や重点プロジェクト等を定めています。

1) 理念



2) 戦略的な施策展開

視点1	公共交通の充実	: 拠点相互の連携強化を図る公共交通を中心とした交通体系づくり
視点2	交通結節点の強化	: 多様なモードがネットワークしたモビリティの高い交通体系づくり
視点3	自転車・歩行者交通の充実	: 歩いて楽しく自転車により快適な移動ができる自転車・歩行者体系づくり
視点4	骨太の道路網形成	: まちなか交通システムを支える骨格的道路づくり
視点5	ソフト施策の実施	: まちなか交通システムを機能させる市民意識の改革

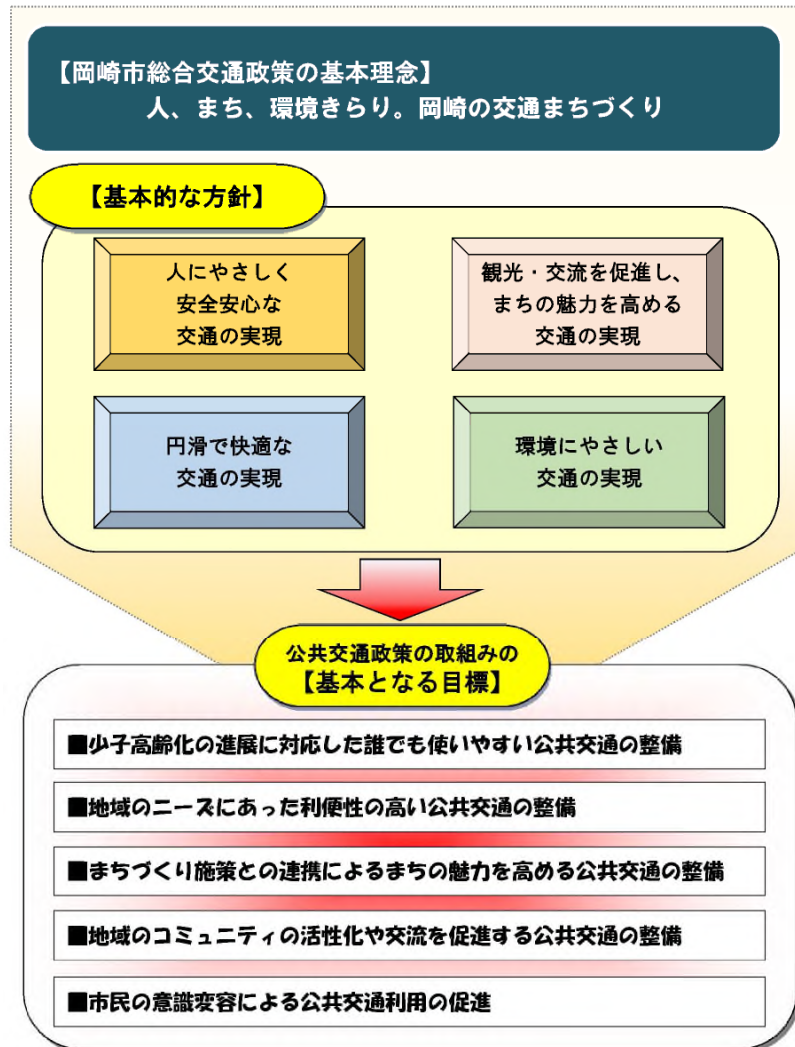
3) 重点プロジェクト

重点プロジェクト	まちなかの拠点を結ぶハス基幹軸の形成
重点プロジェクト	東岡崎駅における交通結節機能の強化
重点プロジェクト	自転車・歩行者通行環境の確保

■ 地域公共交通網形成計画

地域公共交通網形成計画では、総合交通戦略との整合を図りながら、公共交通政策の基本目標、実現に向けた考え方、主要施策を定めています。

1) 公共交通政策の取り組みの基本となる目標



2) 基本的な方針及び基本目標の実現に向けた考え方

- 市民、事業者、行政等の連携協力
- 社会、経済、環境面で持続可能な地域公共交通
- 地域特性を踏まえた公共交通
- 地域公共交通と各種交通手段の連携

3) 基本目標を達成するための主要施策

- 少子高齢化の進展に対応した誰でも使いやすい公共交通の整備
- 地域のニーズにあった利便性の高い公共交通の整備
- まちづくり施策との連携によるまちの魅力を高める公共交通の整備
- 地域のコミュニティの活性化や交流を促進する公共交通の整備
- 市民の意識変容による公共交通利用の促進

(2) 公共施設再編との連携

■ 公共施設等総合管理計画

公共施設等総合管理計画では、ハコモノやインフラの老朽化対策を推進し、安全で持続可能な管理を行っていくための計画を定めています。

1) 目指す姿

- 現世代への安全な公共施設サービスの確保
- 将来世代への過大な負担を解消
- 公共施設サービス水準の低下を回避

2) 行動原則

ハコモノ原則

- 新規整備は、原則として行わない
- 長寿命化のための大規模改修が必要な築 40 年前後を見直しの契機とする
- 施設総量（総延床面積）を縮減する
- 基金の活用

インフラ原則

- 長寿命化の推進
- 現状投資規模（一般財源）を維持
- アセットマネジメント体制の強化

3) 計画の概要

1 全体方針編

市が保有する全施設について現状や将来の見通しにかかる分析を行い、「目指す姿」や「行動原則」を定めました。

2 類型別方針編

利用者や施設目的ごとに公共施設等を分類し、それぞれの現状を踏まえた取組方針を定めました。

3 エリアマネジメントモデル

類型別方針（縦割り）では不足するエリアマネジメント（横串）について、一部地域をモデルとしてとりあげ、検討イメージを記載しました。エリアマネジメントでは、サービス水準維持や合理性を高めるため、一定エリア内における様々な公共施設について、その成り立ちや取り巻く状況を総合的に勘案する必要があります。その検討に際しては、立地適正化計画を含む上位・関連計画との整合に努めます。

(3) 福祉・医療との連携

■ 地域福祉計画

地域福祉計画では、基本理念を「みんなで築く ホットなまち 生き生きと暮らせる 支えあいのまち」とし、地域力を育むプラン及び安全な生活を提供するプランなどを定めています。

1) 基本理念

基本理念

みんなで築く ホットなまち

生き生きと暮らせる 支えあいのまち

2) 基本目標

基本目標 1：思いやりや支えあいの心を育て、地域の交流を進めましょう

基本目標 2：安全で安心して暮らせる地域をつくりましょう

基本目標 3：こころ豊かに暮らす地域社会をめざしましょう

3) 重点プラン

ア 地域力を育むプラン

○ 地域ネットワークの構築

- ・ 市民活動団体等との連携強化
- ・ コミュニティソーシャルワーカーの配置検討
- ・ 岡崎版地域包括ケアの実現
- ・ 地域ネットワークづくり

○ 交流拠点の整備

- ・ 居場所づくり
- ・ 活動拠点の開拓

イ 安全な生活を提供するプラン

○ 災害時避難行動要支援者(旧：災害時要援護者)支援制度の充実と活用

- ・ あんしん見守りキーホルダーシステムの推進
- ・ 個別支援計画の策定
- ・ 災害時避難行動要支援者（旧：災害時要援護者）避難訓練の実施
- ・ 福祉避難場所の充実

○ 地域における見守り活動

- ・ 平常時に行う見守り活動の充実
- ・ 福祉サービス利用者の権利擁護

■地域包括ケア計画

地域包括ケア計画では、基本理念を「健やかに安心して暮らせるまちづくり」とし、地域包括ケアシステムの実現を目指すための計画を定めています。

1) 基本理念

基本理念

健やかに安心して暮らせるまちづくり

2) 基本目標・施策の方向

基本理念の実現を目指すための「地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針」として、次の5つの基本目標を掲げ、計画の推進を図ります。

施策目標 1 在宅生活を支える地域づくり

- 【施策の方向】
- (1) 地域包括支援センターの機能強化
 - (2) 生活支援サービスの充実
 - (3) 在宅医療・介護の連携の推進
 - (4) 家族介護支援の推進
 - (5) 居住面における安全・安心確保の推進
 - (6) 権利擁護と虐待防止の推進
 - (7) 地域共生社会の実現に向けた取組

施策目標 2 健康寿命の延伸に向けた介護予防の推進

- 【施策の方向】
- (1) 介護予防・生活支援サービス事業の充実
 - (2) 一般介護予防事業の充実
 - (3) 自立支援・重度化防止に向けた取組

施策目標 3 生きがいづくりと社会参加の推進

- 【施策の方向】
- (1) 生きがい活動の推進
 - (2) 社会参加の促進

施策目標 4 認知症施策の推進

- 【施策の方向】
- (1) 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
 - (2) 認知症に対する支援体制の充実
 - (3) 認知症の人の介護者への支援
 - (4) 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

施策目標 5 介護保険サービスの充実

- 【施策の方向】
- (1) 居宅サービス
 - (2) 地域密着型サービス
 - (3) 住宅改修
 - (4) 居宅介護支援等
 - (5) 介護保険施設サービス
 - (6) 医療計画との整合性確保について
 - (7) 施設等整備計画
 - (8) 介護人材の確保
 - (9) 指導・監督等によるサービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営

■子ども・子育て支援事業計画（おかざきっ子 育ちプラン）

子ども・子育て支援事業計画では、基本理念を「はばたく夢 子どもとともに育つ都市 大好き おかざき」とし、子ども・子育て支援施策を定めています。

1) 基本理念

基本理念 はばたく夢 子どもとともに育つ都市 大好き おかざき

2) 基本目標

基本目標 1 「子どもが いきいきと 育つまち」～子どもがたくましく生きていく力を養う～

基本目標 2 「家族が とともに 育つまち」～家族が支えあい、子育てに喜びを感じる～

基本目標 3 「地域が すすんで 支えあうまち」～地域が子どもや家庭をあたたく応援する～

3) 子ども・子育て支援施策の展開

- 1 地域における子育て支援
- 2 母性及び乳幼児などの健康の確保及び増進
- 3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- 4 子育てを支援する生活環境の整備
- 5 職業生活と家庭生活との両立の推進
- 6 子どもの安全の確保
- 7 困難を抱える子どもや保護者へのきめ細かな取り組みの推進

4) 子ども・子育ての環境整備

■教育・保育提供区域の設定

子ども・子育て支援法では、本計画において、「教育・保育」、「地域子ども・子育て支援事業」を提供する区域（以下「教育・保育提供区域」という。）を定め、当該区域ごとに「量の見込み」、「確保の内容」、「実施時期」を定めることとされています。

区域の設定にあたっては、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案するとともに、保護者や子どもが居宅から容易に移動することが可能な区域を定めることとなっています。

本市が設定する教育・保育提供区域については、以下の「教育・保育提供区域の設定の考え方」を加味し、本庁・支所区域の8区域（以下「行政区域」とする。）を基本とします。

■教育・保育提供区域の設定の考え方

- ・教育・保育施設と児童の分布状況を見ると、行政区域である本庁・支所区域において、概ね供給と利用範囲のバランスが整っていること。
- ・本市の総合計画では、歴史的な結びつきを持ち、コミュニティとしての一体感を醸成できる区域として、8つの本庁・支所区域に市域を区分していること。
- ・老人福祉計画（介護保険事業計画）においても、介護保険法において日常生活圏域を定めることとされており、本庁・支所区域に市域を区分していること。

■健康おかざき 21 計画

健康おかざき 21 計画では、めざすべき姿を「健やかで心豊かなまち おかざき」とし、健康寿命の延伸と健康格差の縮小のために必要な取組みを定めています。

1) 計画のめざすべき姿

健やかで心豊かなまち おかざき

2) 基本目標

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

計画のめざすべき姿「健やかで心豊かなまち おかざき」の実現に向けて、生涯を通じて健康に過ごせるよう、平均寿命⁵⁵⁾の伸びを上回る健康寿命の延伸を目指していきます。健康寿命の延伸には、地域や生活環境などから生まれる集団間の健康状態の差（健康格差）をなくし、誰もが健康を手に入れられるようにする必要があります。

第2次計画では、健康格差の把握に努め、生活習慣の改善など健康づくりに取り組むことで解決できる健康格差の縮小を図っていきます。

3) 分野別取組み

【分野3】 身体活動・運動

<めざす健康市民の姿>

- 日頃からこまめに動く
- 楽しく、気軽にできる運動をみつけて継続する
- 趣味の活動や地域の活動に積極的に参加する

日常生活の中で歩数を増やしましょう

仲間と楽しくウォーキング♪



こまめに動くコツ

〔毎日の通勤・買い物で〕

- ・エレベーターより階段を使う
- ・一駅分前に降りて歩く
- ・少し遠くの駐車場に停めて歩く



ロコモって何？

ロコモティブシンドロームの略。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは、骨、関節、筋肉等身体運動を可能にする運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性が高い状態のことです。



■ 愛知県地域保健医療計画

愛知県地域保健医療計画では、愛知県の保健医療対策の今後の基本方針を示すとともに、2次医療圏での保健医療対策の推進方向を定めています。

1) 計画の目的

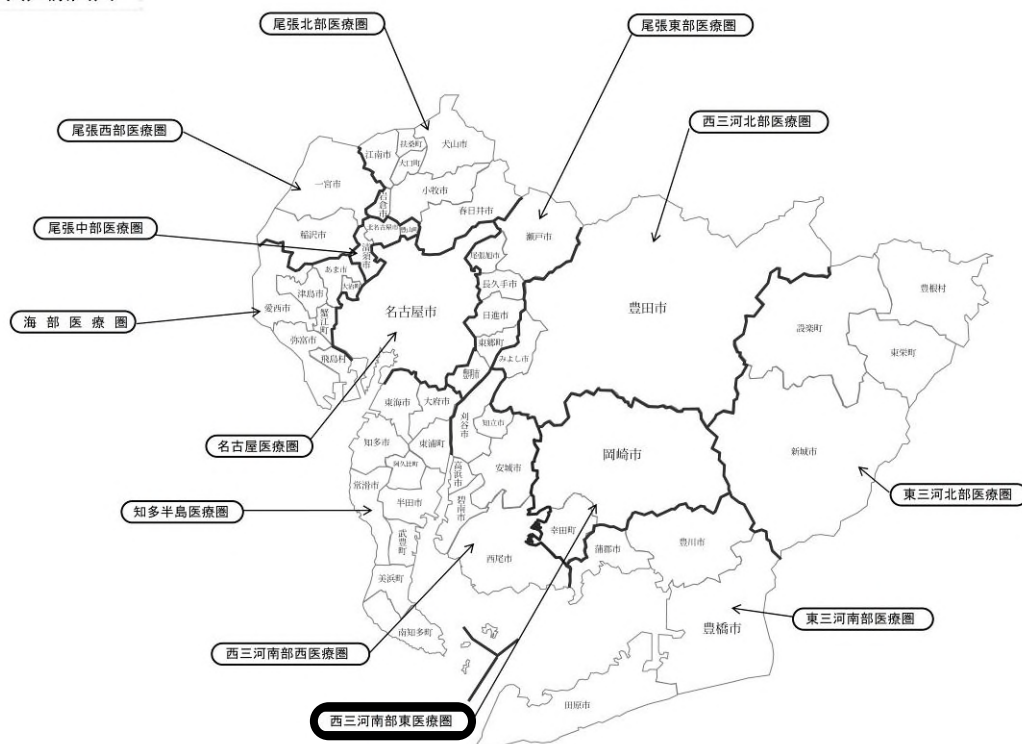
- 1 地域医療の体系化及び地域の特性に配慮した医療機関の機能分担、業務連携を推進し、効率的な医療提供体制の確立を図る
- 2 疾病予防等の保健対策を推進し、生涯を通じた健康づくりを支援する
- 3 保健医療従事者の確保、資質の向上及び人材の有効活用を図る

2) 計画の性格

- 1 愛知県の保健医療対策の今後の基本方針を示すものである
- 2 2次医療圏での保健医療対策の推進方向を示すものである
- 3 医療機関及びその他関係機関などが整備を進めるに当たっての指針となるものである

3) 医療圏及び基準病床数

2次医療圏図



西三河南部東医療圏(岡崎市、幸田町)

療養病床及び一般病床	
基準病床数(平成 30～35 年度)	既存病床数(29.9.31 現在)
2,083 床	2,663 床

■ 障がい者基本計画

障がい者基本計画では、基本理念を「思いやり つながりあって 自分らしく生きる都市（まち） 岡崎」とし、基本目標及び8つ分野の基本施策を定めています。

1) 基本的理念

思いやり つながりあって 自分らしく生きる都市（まち） 岡崎

2) 基本目標

障がい児・者が安心して暮らせるまちづくり

3) 基本施策

- 1 生活の質を維持・増強する《生活支援》
- 2 健康を維持・増進・回復する《保健・医療》
- 3 子どもの力を伸ばす《教育・保育》
- 4 社会参加を促進する《文化・スポーツ》
- 5 いきいきと働けるしくみをつくる《雇用・就労》
- 6 快適な生活空間を確保する《生活環境》
- 7 安全・安心な地域生活を送る《防犯・防災》
- 8 市民の福祉意識を高める《参画・協働》

（４）中山間地域の振興との連携

■農業振興地域整備計画

農業振興地域整備計画は、農業の健全な発展を目指し農地の効率的な利用を図り、農業振興のための各種施策を計画的に実施するための計画であり、計画の中で今後 10 年間を見通し、農用地として確保・利用する土地を農用地区域として設定しています。

■山村振興計画

山村振興計画では、振興山村地域における農林水産業を始めとした産業振興や本地域における生活環境整備などの方針とその振興施策を定めています。

1) 地域の特性を活かした地域活性化の方針及び森林、農用地等の保全の方針

- ・本地域の持つ自然環境を、都市と山村が一体となって保全・育成し、将来に渡って継承する。
- ・地域資源を活用した産業振興、自然環境や景観を活かした交流施策の促進、適正な国土の保全、及び、水源のかん養、自然環境・生物多様性の保全を推進する。
- ・地域が自立していきいきと暮らすことのできる生活環境づくり、山村における定住促進、健全な農林水産業の維持・発展を通じた農林地及び内水漁場環境の保全を図る。

2) 振興施策の概要

■交通施策

- ・コミュニティバスや公共交通機関の維持に努め、日常生活交通の確保を図る。

■産業基盤施策

- ・林業施策の効率化を図るため、基幹的な林道の整備（山村代行制度）を含む路網整備を行う。
- ・農道を整備して、移動の円滑化及び農業生産活動の向上を図る。

■地域資源の活用に係る施策

- ・地域資源を活用した新たな商品開発や魅力づくりを支援し、地域内経済の活性化と雇用の増大を図る。

■社会、生活環境施策

- ・各種災害による被害を最小限に防ぐため消防力の強化を図る。
- ・合併処理槽の設置及び下水道の整備を行い生活環境の改善を図る。
- ・老朽化した公共施設の利活用策の検討及び機能集約・統廃合など、計画的な社会資本の維持・更新に努める。

■集落整備施策

- ・本地域の都市計画区域外を対象に空き家改修費補助制度を実施する。

■国土保全施策

- ・農林水産業の振興を図るとともに農地や森林を整備し、自然環境の保全や、洪水防止などの機能を確保する。

■交流施策

- ・豊かな自然環境を活かし岡崎東 I C を拠点とした観光地化を進めるとともに、観光関連団体と連携し、観光スポットの整備及び利活用を図る。

- ・森林保全推進のため、下流域住民を含めた里山づくりを行う。
- ・愛知県交流居住センターと連携し、広域的な交流施策を進めるほか、U I J ターンの促進を図る。

■鳥獣害防止策

- ・農用地への電気柵設置に係る費用について補助を行う。

■森林整備計画

森林整備計画では、地域の森林の特徴を踏まえた地域の目指すべき森林資源の姿や施策の推進等について定めています。

1) 地域の目指すべき森林資源の姿

■水源涵養機能

- ・下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林

■山地災害防止機能／土壌保全機能

- ・下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林

■快適環境形成機能

- ・樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林

■保健・レクリエーション機能

- ・身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林

■文化機能

- ・史跡・名勝等と一体となって潤いある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林

■生物多様性保全機能

- ・原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林

■木材等生産機能

- ・林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林

(5) 防災施策との連携

■ 防災基本条例

防災基本条例では、基本理念として、災害からの安全・安心を得るためには、公助、自助、共助の考え方が大切であり、この考え方に沿って被害の軽減に向けた災害対策の仕組みを構築することを示すとともに、市の責務として行う取り組みを定めています。

1) 基本理念

- ・災害からの安全・安心を得るためには、行政による公助はもとより、市民一人一人の自覚に根ざした自助、身近な地域コミュニティ等による共助が大切であり、社会の多様な主体が協働して被害の軽減に向けた災害対策の仕組みを構築していかなければならない。



2) 市の責務

- (1) 災害時における初期消火、救難・救助、応急手当その他の初期活動を積極的に行うための準備
- (2) 災害時における危険地域並びに避難の経路、方法及び場所並びに外出先からの帰宅方法並びに家族間の連絡方法の確認
- (3) 市又は地域コミュニティによる災害対策活動への参加及び協力
- (4) 防災情報の入手方法の確保及び防災訓練、講習会等への積極的かつ継続的な参加
- (5) 災害に関する教訓及び先人からの災害に関する伝承の後世への継承
- (6) 所有する建築物の耐震性の確認及びその結果に基づく耐震補強
- (7) 地震による家具等の転倒及びガラス等の飛散を防止するための措置
- (8) 災害時に必要な飲料水及び食料の備蓄
- (9) 日用品、医薬品その他避難生活において必要となる物品等の確保

■ 地域防災計画

地震災害対策計画

地域防災計画における地震災害対策計画では、防災まちづくりの推進について定めています。

1) 防災空間の確保

○道路の整備 ○オープンスペースの確保

2) 防災拠点の整備

○自主防災活動拠点の整備 ○コミュニティ防災拠点の整備 ○地域防災拠点の整備
○道の駅防災拠点の整備 ○中央防災拠点の整備 ○岡崎中央総合公園の整備

3) 市街地の整備

○防災都市づくり計画の策定 ○土地区画整理事業及び住宅市街地総合整備事業等の推進
○防火地域、準防火地域の指定 ○宅地造成等の規制 ○ブロック塀対策
○市民の自助・共助による市街地安全性向上

4) 避難場所、避難路の指定

○整備計画の策定 ○避難場所の指定等 ○避難路の確保 ○避難場所、避難路の周知
○第4次地震防災緊急事業5箇年計画

風水害対策計画

地域防災計画における地震災害対策計画では、都市計画は都市防災をも十分加味した秩序ある整備を図るものとし、土地利用計画に即して土地区画整理事業等による面的整備を行うとともに、公園、緑地等の公共空地、道路等の交通施設及び上下水道等の都市施設は、風水害等の防災面にも重点を置いて整備することとしています。

1) 都市の防災構造化事業

1 都市計画

○市街化区域内の未整備地域における土地区画整理事業の実施により公共施設を整備改善
○都市公園の整備を計画的、効率的に実施
○災害時における交通の確保と安全を図るため、交通施設の防災構造化に努めるとともに、各種施設の整備を推進し、被害を最小限にとどめるよう予防措置

■総合雨水対策計画

総合雨水対策計画では、基本理念を「大雨から“いのち”と“くらし”を守る」と定めるとともに、計画目標及び基本施策を定めています。

1) 基本理念

『大雨から“いのち”と“くらし”を守る』

～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

※岡崎市全域における中小河川の越水・溢水及び内水氾濫による水害を対象とします。(国が管理している矢作川の外水氾濫や、県が管理している中小河川における堤防決壊については本市の管理下にならないため、本計画の対象外とします。)

2) 計画目標



3) 基本施策

施策1 河川・下水道の整備

河川と下水道が連携し、整備効果の高い事業の優先的な実施や既存の河川管理施設、下水道施設の有効活用など効率的かつ効果的な整備に取り組みます。

施策2 雨水流出の抑制

市内全域で、雨水の浸透、貯留などを可能な限り推進させ、河川や下水道などへの雨水流出の抑制に市民・事業者と市が力を合せて取り組みます。

施策3 水害リスクの回避

住宅・事業所への止水板の設置や建物床面の高さ制限および住宅嵩上げなどによる水害に対する安全性の向上や、浸水のリスクの低い土地への住宅・都市機能の誘導など、水害リスクの回避に取り組みます。

施策4 避難体制の強化

防災の基本となる「自助」、「共助」の考え方にに基づき情報提供の強化や積極的な情報収集などを図り、水害のリスクに対する意識を高めることで主体的な避難体制の強化に取り組みます。

■防災都市づくり計画

地震災害に強い都市づくりの推進のため、延焼危険度、避難危険度、建物倒壊危険度などから危険度を評価し、自助、共助、公助による対策を検討した上で、都市レベルと地区レベルの双方の視点で防災都市づくり計画を策定しています。

（6）その他関連施策との連携

■景観計画

景観計画では、景観まちづくりの理念を「美しく風格のある岡崎の創生」とし、景観まちづくりの基本方針等を定めています。

1) 景観まちづくりの理念

「美しく風格ある岡崎の創生」

～自然・歴史・くらしをつなぎ、誇りと愛着を育む景観まちづくり～

2) 将来の景観像

【景観像（自然・地形）】

「自然があふれ、地形が活きる景観」

・まちのどこにいても、身近な水と緑が美しく心にしみわたり、四季折々の豊かな表情、地形の変化による多様な景観や伸びやかな眺望を楽しめるような景観を形成します。

【景観像（歴史・伝統）】

「歴史が輝き、伝統が息づく景観」

・歴史的な建造物やまちなみ、文化財等を保全・活用しながら、くらしの中に歴史と文化の薫る景観を形成します。

【景観像（くらし・まち）】

「くらしが潤い、まちが華やぐ景観」

・落ち着いた住環境や、いきいきとしたまちの活力、賑わいが感じられ、誰もが住み続けたくなる、訪れたくなるような魅力ある景観を形成します。

3) 景観まちづくりの基本方針

- 1 豊かな自然環境と調和し、潤い、安らぐ景観形成 「自然とくらしをつなぐ」
- 2 固有の歴史・伝統を守り、継承する景観形成 「歴史と未来をつなぐ」
- 3 場の特性を読み解き、魅力を高める景観形成 「くらしと空間をつなぐ」
- 4 周辺環境との関係性に配慮し、調和する景観形成 「個と全体をつなぐ」
- 5 身近な活動を通じ、コミュニティを育む景観形成 「人と地域をつなぐ」

4) 景観計画区域

- ・全市域を「景観計画区域」に定め、大規模行為などにおける共通的な景観まちづくりの方針や景観形成基準を定めます。
- ・優れた眺望、景観の保全を重点的に推進する必要がある地区（大樹寺から岡崎城への眺望[ビスタライン]、八帖地区、藤川地区）を「景観形成重点地区」とし、地区独自のきめ細やかな景観まちづくりの方針や景観形成基準を定め、重点的に景観まちづくりを推進します。

■ 歴史的風致維持向上計画

歴史的風致維持向上計画では、基本理念を「未来へつむぐ 歴史まちづくり」とし、行動目標及び重点区域の位置及び区域を定めています。

1) 基本理念

本市の歴史まちづくりは、市民それぞれが自らまちに関わり、誇りと愛着を持って岡崎の歴史を語り合い、皆で糸を撚るかのように過去から未来に歴史をつむいでいくものとし、以下の基本理念を設定します。

未来へつむぐ 歴史まちづくり

2) 歴史的風致の維持向上に関する方針

- ①歴史文化資産の調査研究と普及啓発の推進
- ②歴史や伝統を反映した活動の継承への支援
- ③歴史的建造物の保存・活用の推進
- ④歴史的建造物の周辺等における良好な市街地景観の形成
- ⑤歴史文化資産を活かした地域活性化や観光振興の展開

3) 重点区域の位置及び区域

歴史的風致が存在する地域のうち、重点区域は、その区域内に国指定文化財を始めとする歴史上価値の高い建造物が数多く集積し、そこで行われる歴史や伝統を反映した人々の活動が現在も継続的に行われている良好な市街地の中でも、市として特段の施策を講じることにより、歴史的風致を構成する文化財や人々の活動の維持、発展に寄与する施策を一体的かつ重点的に推進することによって施策の効果が市域全体にも波及することなども考慮しながら、歴史的風致の範囲が重なり合う区域を中心にその維持向上が最大限に図られる区域を設定するものとします。

<岡崎市の維持向上すべき歴史的風致>

- 1 家康公生誕の地にみる歴史的風致
- 2 東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
- 3 滝山寺鬼祭りにみる歴史的風致
- 4 岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致
- 5 郷土食の八丁味噌造りにみる歴史的風致
- 6 六ツ美地区の稲作儀礼にみる歴史的風致
- 7 額田地区の山里の暮らしにみる歴史的風致

■ 商工振興計画

商工振興計画では、基本理念を「時代を切り開く岡崎ものづくりときらり輝く店、にぎわいのあるまちづくり」とし、基本目標及び基本戦略とその施策を定めています。

1) 基本理念

時代を切り開く岡崎ものづくりときらり輝く店、にぎわいのあるまちづくり

～雇用と暮らしを支える産業の展開～

2) 基本目標

○工業の基本目標

「伝統を活かし時代に挑戦する 「岡崎ものづくり産業」の実現」

○商業の基本目標

「豊かな暮らしを支える にぎわいのある「商・店・街」の実現」

○雇用の基本目標

「安心して働き暮らせる 「ワーク・ライフ・タウン」の実現」

3) 基本戦略と施策

○工業

- 戦略1 ものづくり産業の集積を活かした次世代産業の展開
- 戦略2 多様な交流・連携による新技術・新製品の開発
- 戦略3 競争力・付加価値の高い製品やブランド力の強化
- 戦略4 企業用地の確保と有効活用

○商業

- 戦略1 商店街のコミュニティ機能の強化と担い手づくり
- 戦略2 魅力あるオンリーワンの個店づくり
- 戦略3 中心市街地の商業活性化とにぎわいある地域の拠点づくり

■住宅マスタープラン

住宅マスタープランでは、基本理念を「誇り・愛着を持って、住み続けられるまち～家族・地域が支えあう、豊かな住まいづくり～」とし、4つの基本目標及び住まい向上プロジェクトを定めています。

1) 基本理念



2) 基本目標

基本目標1：長く住み継がれる住まい

- ・地震などの災害や犯罪に強い住まい・まちづくり
- ・地球環境に負荷をかけないやさしい住まいづくり
- ・誰もが使いやすいユニバーサルデザインの住まいづくり

基本目標2：誰もが安心して暮らせる住まい

- ・高齢者、障がい者や外国人が安心して暮らせる住まいづくり
- ・子育てしやすいゆとりのある住まいづくり
- ・ライフステージに対応した、ゆとりのある住まいづくり
- ・多様な世代が支え合いながら暮らせる住まいづくり

基本目標3：多様なライフスタイルが実現できる住まい

- ・利便性の高い地域における歩いて暮らせる住まいづくり
- ・豊かな自然環境のもとで住み続けられる住まいづくり

基本目標4：地域の特性と調和した美しいまち

- ・水と緑の豊かなうるおいのある住まい・まちづくり
- ・歴史文化と調和した風格のある住まい・まちづくり

3) 住まい向上プロジェクト

- 1 まちなか居住の推進
- 2 額田地域の居住促進
- 3 子育て世帯支援

■ 空家等対策計画

空家等対策計画は、「市」、「空き家の所有者等」及び「市民」が協働し、「管理不全の空き家」の「発生の抑制」、「適切な管理」、「有効な利活用」を図ることにより、市民が安全で安心し、快適に暮らせるまちづくり」を目標とし、5つの基本方針を定めています。

1) 目標

「市」、「空き家の所有者等」及び「市民」が協働し、「管理不全の空き家」の「発生の抑制」、「適切な管理」、「有効な利活用」を図ることにより、市民が安全で安心し、快適に暮らせるまちづくり

2) 基本方針

方針 1 快適な生活環境の保全

方針 2 災害に強いまちづくり

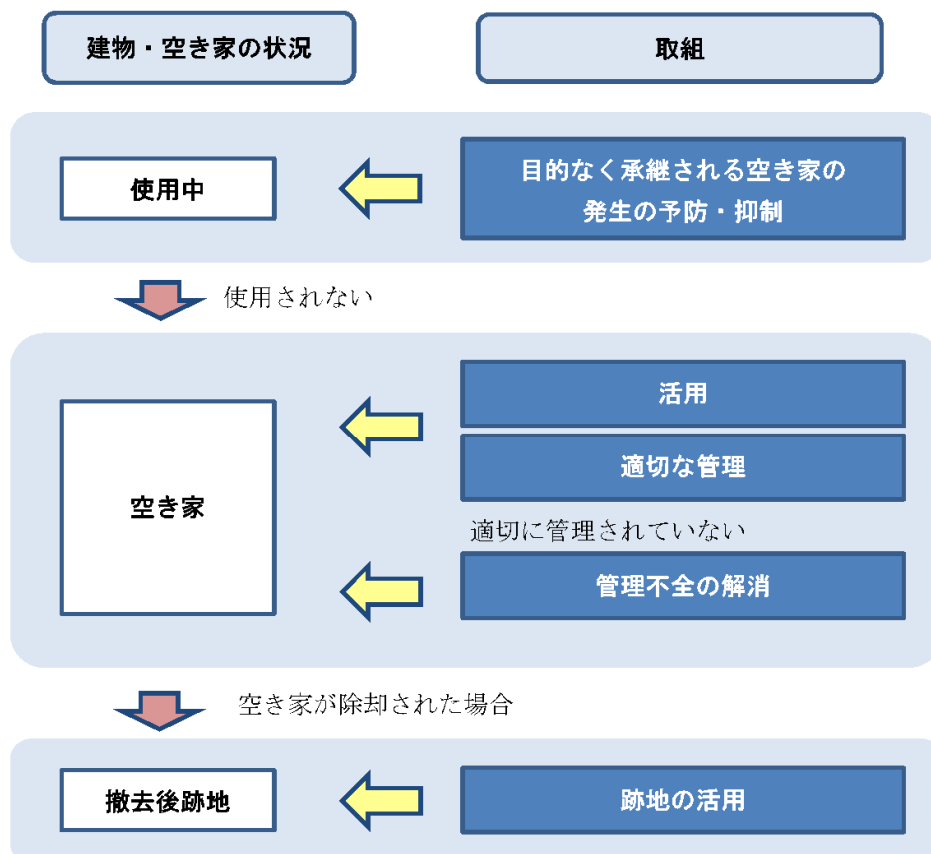
方針 3 まちづくりと調和した空き家の利活用

方針 4 関連計画、関係部署との連携

方針 5 市民や地域、関係団体や関係企業との協働

3) 取組の基本方針

- ・ 目的なく承継され、「使用されない空き家」とならないための予防・抑制策をはじめとして、空き家の活用・適切な管理を実現するための対策
- ・ 適切に管理されていない空き家になった場合は、管理不全の解消に向けた取組
- ・ 解消されない場合は、管理に関する相談の受付や状況によっては指導等の適正な措置
- ・ 空き家が除却された場合に、跡地の活用



■観光基本計画

観光基本計画では、基本理念を「まちを誇り 人が楽しむ 新・おかざき再発見」とし、目標及び重点プロジェクトを定めています。

1) 基本理念

まちを誇り 人が楽しむ 新・おかざき再発見

2) 目標

- 観光入込客数の増加・安定
- 観光資源の増加（資源の顕在化）
- 市民の観光意識の醸成

3) 重点プロジェクト

1. オール市民参加型観光プロジェクト
2. 岡崎観光・各拠点『家康公のまち』（仮称）魅力創造プロジェクト
3. 新市民による都市農村交流プロジェクト
4. マーケットに即した情報発信プロジェクト
5. 観光推進実施体制の確立

■環境基本計画

環境基本計画では、望ましい環境像（ビジョン）を「自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる「環境共生都市」～エコライフ、エコシティ 岡崎～」とし、環境目標を定めています。

1) 望ましい環境像（ビジョン）

自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる「環境共生都市」

～エコライフ、エコシティ 岡崎～

2) 環境目標

- | | |
|--------|-------------------------|
| 環境目標 1 | 水と緑豊かな自然とふれあえるまちに |
| 環境目標 2 | <u>良好な生活環境が確保されるまちに</u> |
| 環境目標 3 | <u>歴史と文化を育む風格あるまちに</u> |
| 環境目標 4 | 地球環境に配慮するまちに |
| 環境目標 5 | 環境を考え実践するまちに |

■ 緑の基本計画

緑の基本計画では、計画の理念を「市民と自然と歴史が育む 緑の文化都市」とし、基本目標及び基本方針を定めています。

1) 計画の理念

「市民と自然と歴史が育む 緑の文化都市」

2) 基本目標及び基本方針

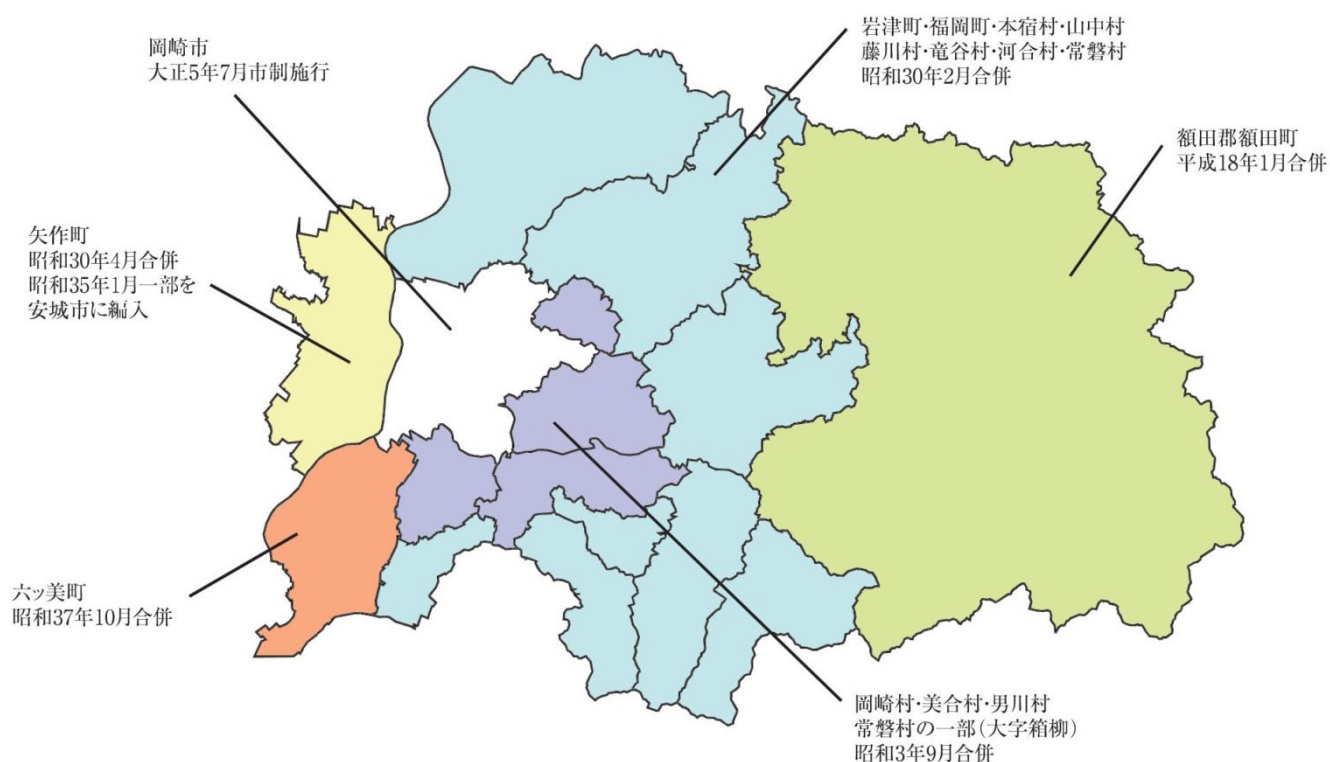


2 都市形成過程の整理 ～時間軸からみた都市構造分析～

(1) 市町村合併の経緯

本市は明治 22 年に町制を施行、大正 5 年 7 月には名古屋、豊橋について県下 3 番目の市制を施行しました。その後、昭和 3 年の町村合併により、岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部を合併、昭和 30 年の町村合併では、岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村、矢作町の 3 町 6 村を合併、同 37 年 10 月には六ッ美町を合併、そして平成 18 年 1 月には額田町と合併し、現在の市域面積 387.20k ㎡となっています。

図 市町村合併の経緯



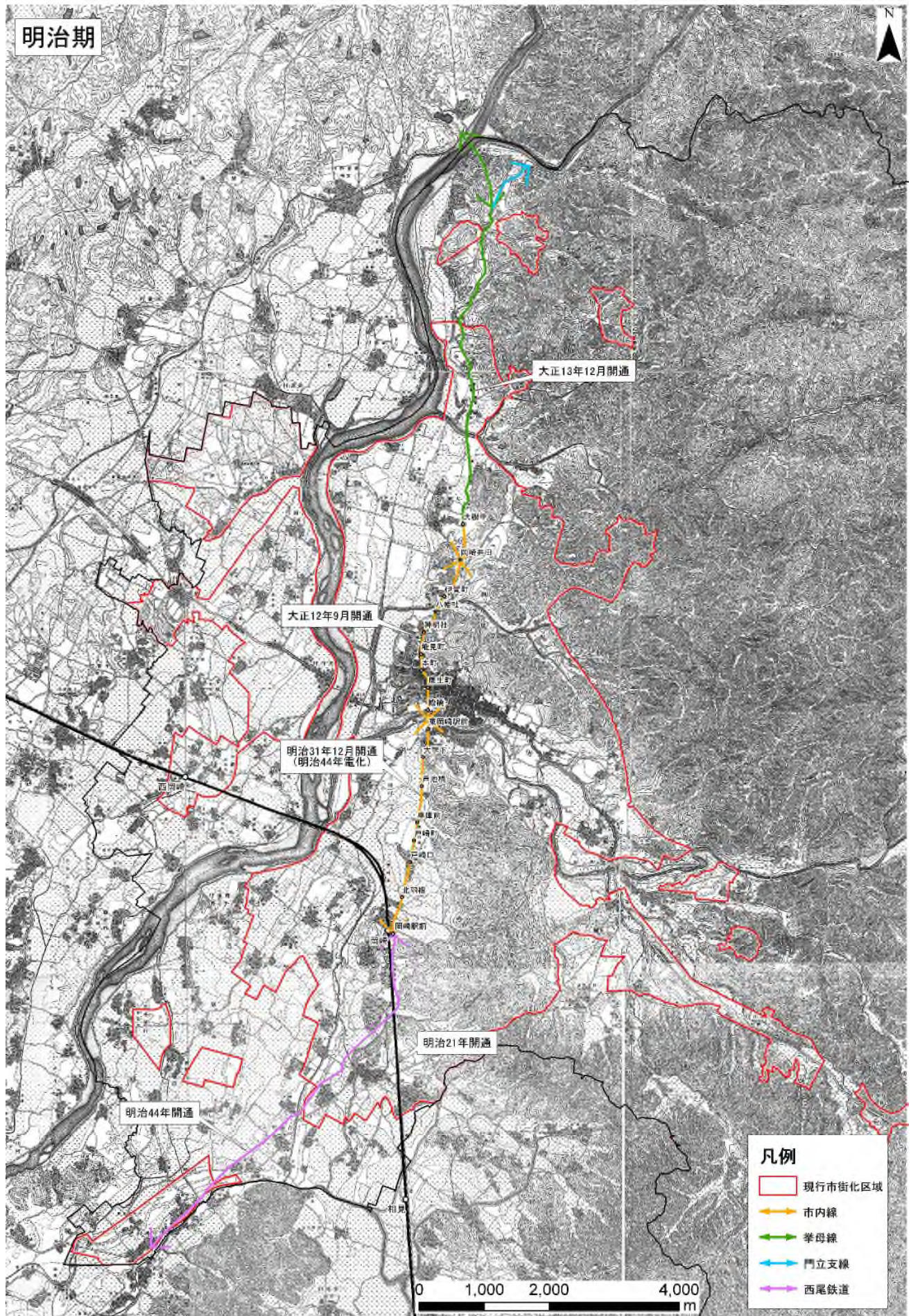
（２）市街地の形成過程・生い立ち

① 明治期

現在入手可能な最も古い測量図である明治 23 年（1890 年）の地形図（参謀本部陸地測量部）をみると、岡崎城の城下町と東海道岡崎宿が一体となった特色ある町割が残っており、これが本市の市街地の初期の姿であることがわかります。その周辺には、東海道に沿って集落が連担するほか、矢作川沿いの水田地帯のなかに集落が分散しています。

明治期から大正期にかけては、東海道本線が明治 21 年（1888 年）に開業し、岡崎駅は城下町・宿場町から南に離れた羽根村（のち岡崎村）に建設され、愛知電機鉄道（後の名古屋鉄道）も、概ね旧東海道に沿ったルートで大正 6 年～昭和 2 年（1917 年～27 年）の間に順次整備が進み、東岡崎駅は大正 12 年（1923 年）に開業しています。また、市域を南北に貫くように岡崎電気鉄道岡崎市内線（路面電車）・挙母線及び西尾鉄道が明治 44 年（1911 年）～大正 13 年（1924 年）にかけて順次開業しています。

図 市街地の形成過程・生い立ち(明治期)



(資料：東海都市地図)

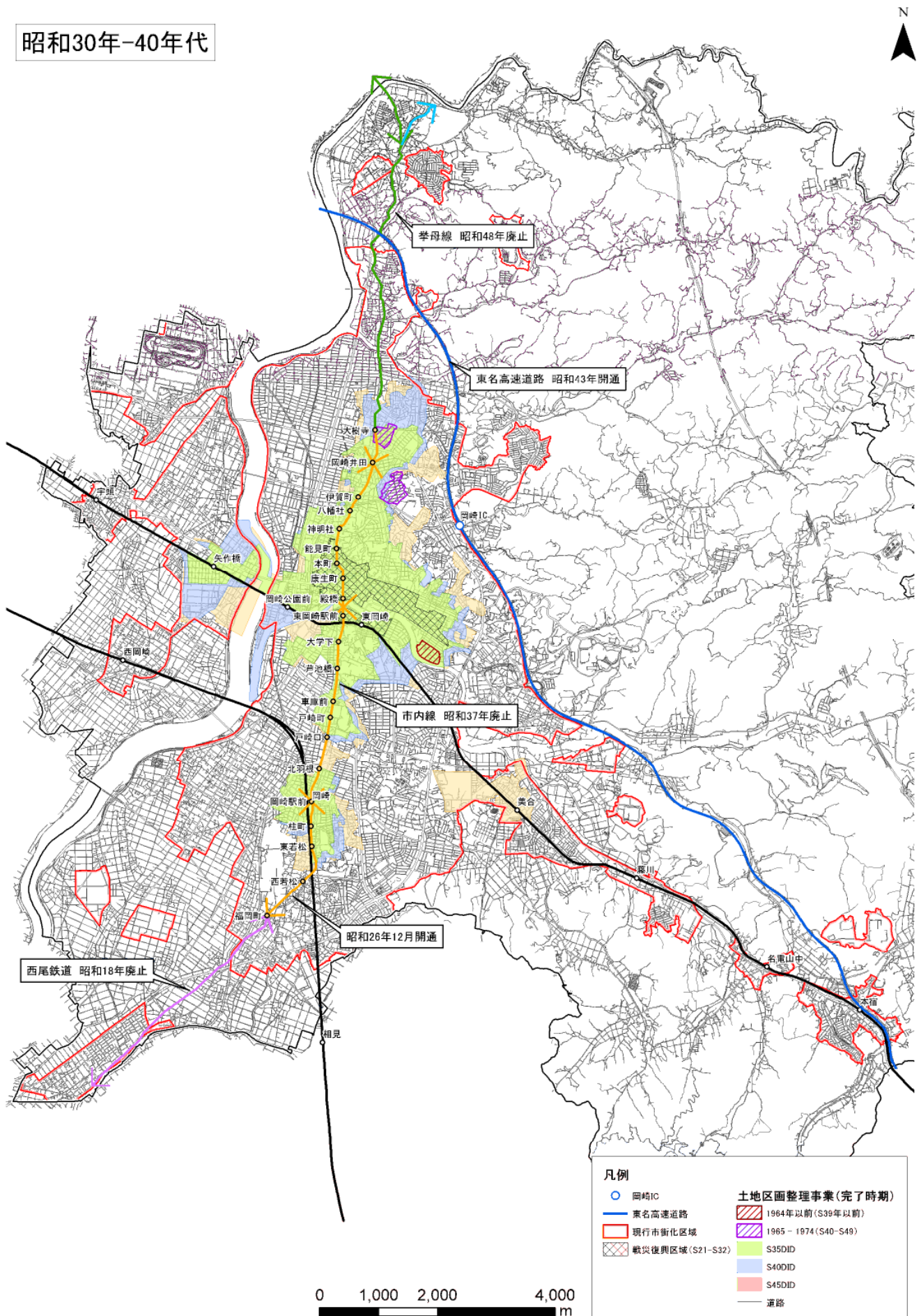
② 昭和 30～40 年代

明治～大正～昭和初期にかけ開業した名鉄岡崎市内線・挙母線沿いに人口定着が進み、かつての城下町・宿場町を中心にしながら、北側にかけての鉄道沿線に市街地が形成されています。また、1888 年（明治 21 年）の東海道本線の開通と岡崎駅の設置により、旧羽根村中心部では市街化が徐々に進みはじめ、昭和 45 年には城下町・宿場町を中心に形成された市街地と岡崎駅周辺の市街地が一体化しています。

一方、市街地内における路面電車と自動車交通の共存が困難となり、名鉄岡崎市内線が 1962 年（昭和 37 年）に廃止されました。

図 市街地の形成過程・生い立ち(昭和30年-40年代)

昭和30年-40年代



(資料：国勢調査、都市計画基礎調査)

③ 昭和 50 年代

昭和 45 年（1970 年）に自動車輸送を目的に貨物線として整備された国鉄岡多線の旅客輸送が昭和 51 年（1976 年）に開始され、市内で中岡崎、北岡崎、北野榊塚の 3 駅の供用が開始しました。

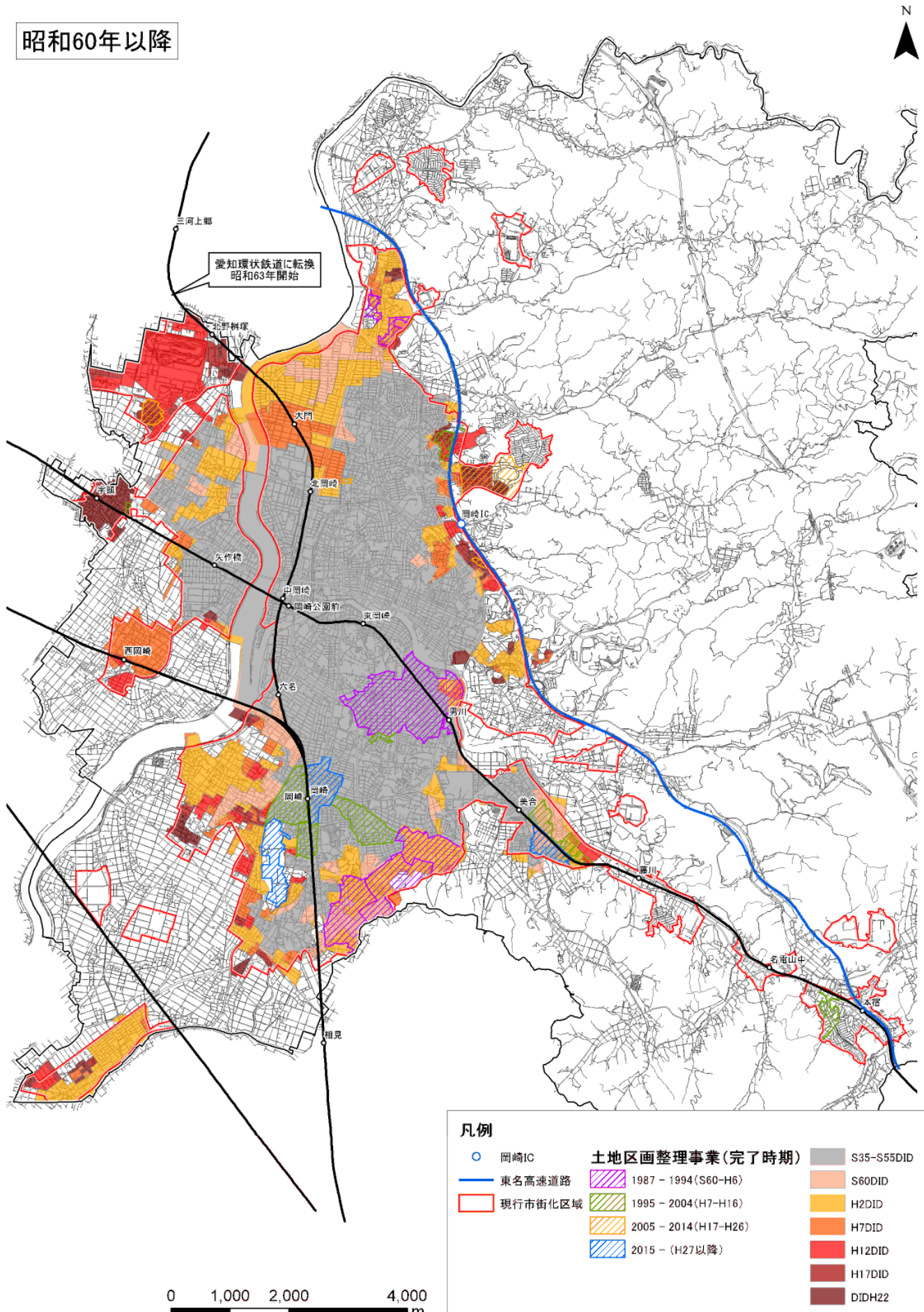
この時代の市街地の整備履歴をみると、昭和 30 年代に完了した中心市街地における戦災復興土地区画整理事業を除けば、本市における大規模な土地区画整理事業は、まず矢作川東岸の低地に沿って行われました。これらは昭和 40 年代に着手、昭和 50 年代に入って事業を完了しており、その面積は中部土地区画整理事業（第 1、第 2 工区）、南部土地区画整理事業の 3 地区で約 700ha にのびります。

④ 昭和 60 年以降

昭和 60 年代になると、丘陵部における住宅開発が進み、これに伴い、昭和 50 年代と同様、DID が一気に郊外部へ拡大しました。

一方、南北方向の公共交通軸については、かつての市内線・挙母線のルートでは運行頻度の高いバス網が形成され、また、昭和 63 年（1988 年）には国鉄岡多線が民営化して愛知環状鉄道となり六名、大門駅が新設されました。それとともにダイヤの改善も進むなど、サービス水準が向上し、南北方向の公共交通軸が強化されるに至っています。

図 市街地の形成過程・生い立ち(昭和 60 年以降)

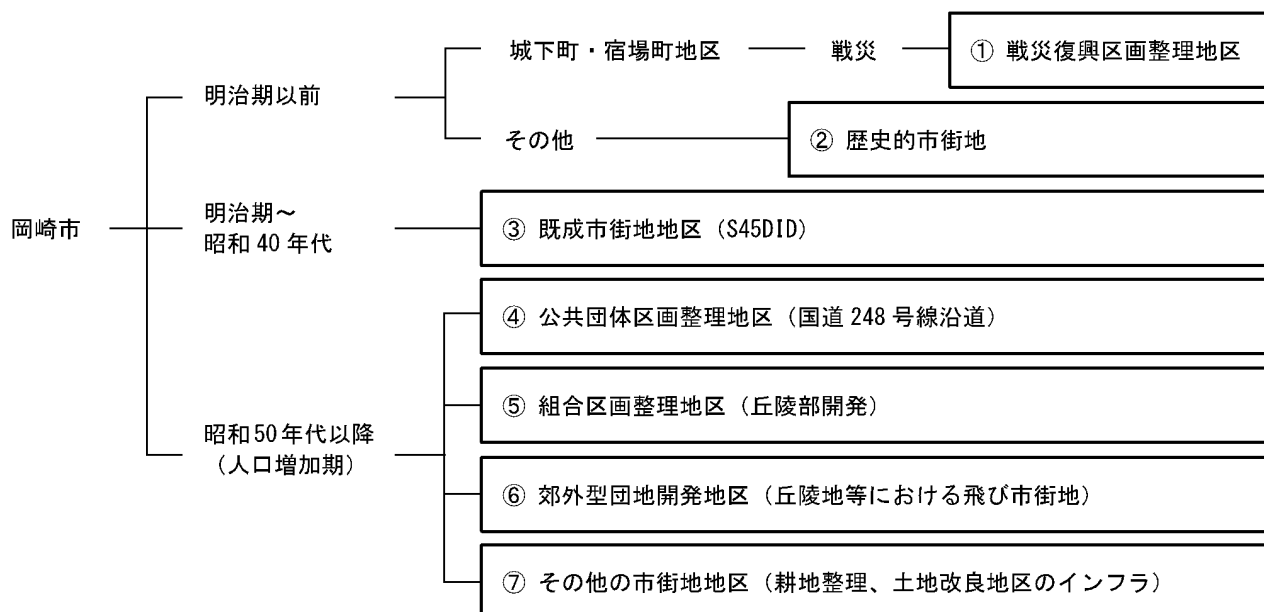


(資料：国勢調査、都市計画基礎調査)

⑤ 歴史的な生い立ちからみた市街地特性

歴史的な生い立ち、都市形成過程からみた都市特性は、以下のように区分されます。

図 岡崎市の都市形成過程からみた地区区分



■近代以前の城下町・宿場町エリア(①の区域)

明治以前に形成された岡崎城の城下町と東海道岡崎宿が一体となった市街地

■城下町・宿場町エリアが拡大する形で近代以降に形成された歴史的市街地(②の区域)を含む昭和45年DID(③の区域)

昭和45年当時の人口密度が約75人/haと高密度であり、また本市の都心ゾーンの原型を形づくる区域であって、鉄道駅や基幹バスその他、既存ストックに優れる市街地

■上記市街地を取り巻く周辺市街地(④、⑤の区域)

昭和50年代以降に土地区画整理事業により形成された市街地であり、基盤施設が整い、主要な交通結節点が含まれた市街地

■上記以外の市街地(主として⑥、⑦の区域及び昭和45年DIDに含まれない歴史的市街地)

古くに形成された農業集落地を基本に現在まで一定の人口集積が維持されてきた市街地、または丘陵地等における一団地開発や農業基盤をベースにスプロール的に形成された市街地であり、基盤施設が比較的脆弱な市街地

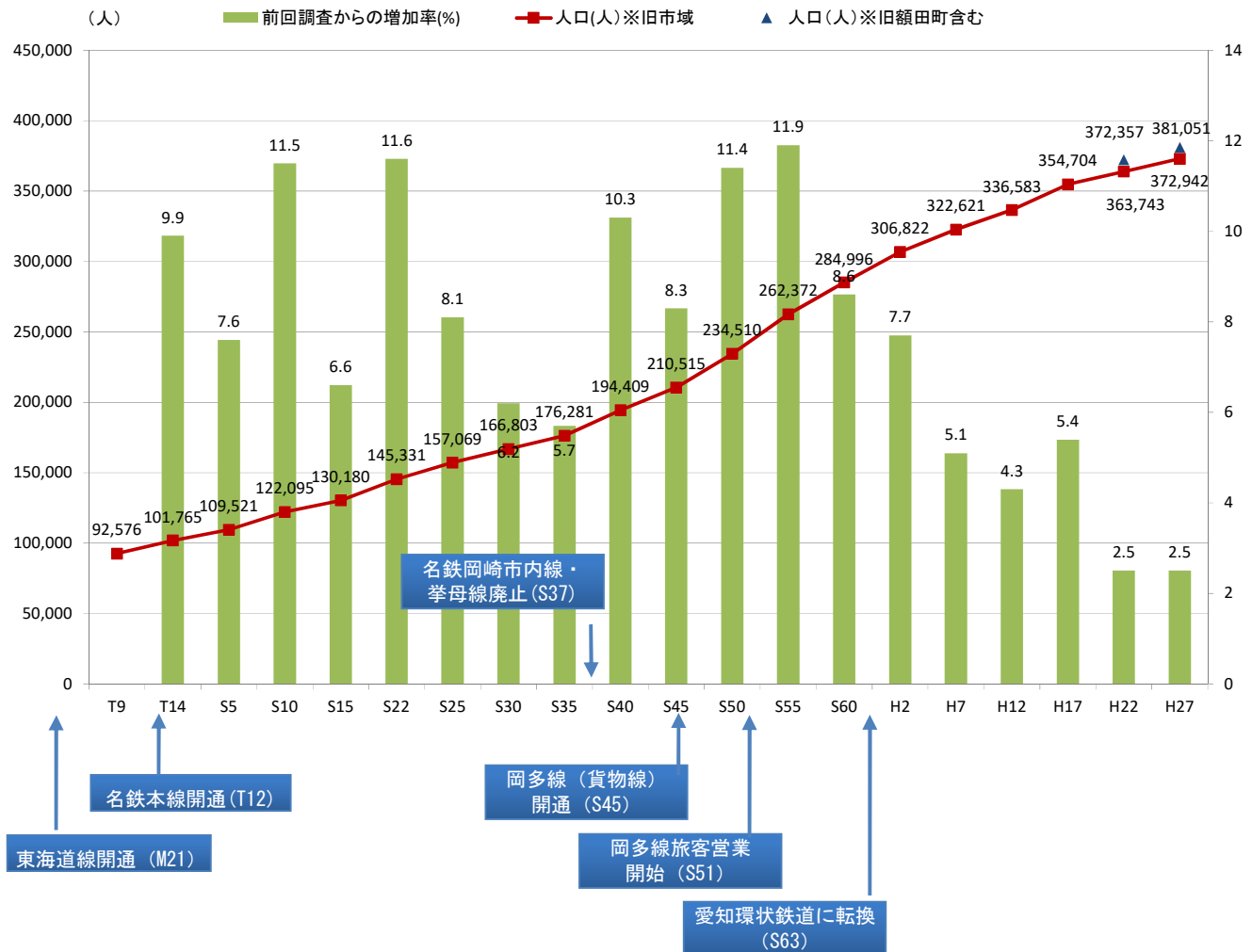
(3) 人口・世帯の動向と都市構造

① 人口の動向

国勢調査による本市（旧岡崎市域）の人口は、第1回の大正9年時点での92,576人（昭和37年までの合併区域人口を含む）から一貫して増加を続け、平成27年人口は372,942人（平成18年合併の旧額田町を含む人口は381,051人）と、約4倍に増加しています。

第2次世界大戦後の人口増加率（旧額田町分の人口を除く）をみると、昭和40年から昭和55年にかけて増加率が高まっており、8.3%（昭和40-45年）から11.9%（昭和50-55年）と、概ね5年間に10%前後の率で増加しています。その後の増加率は縮小傾向にあり、直近（平成22-27年）では2.5%となっています。

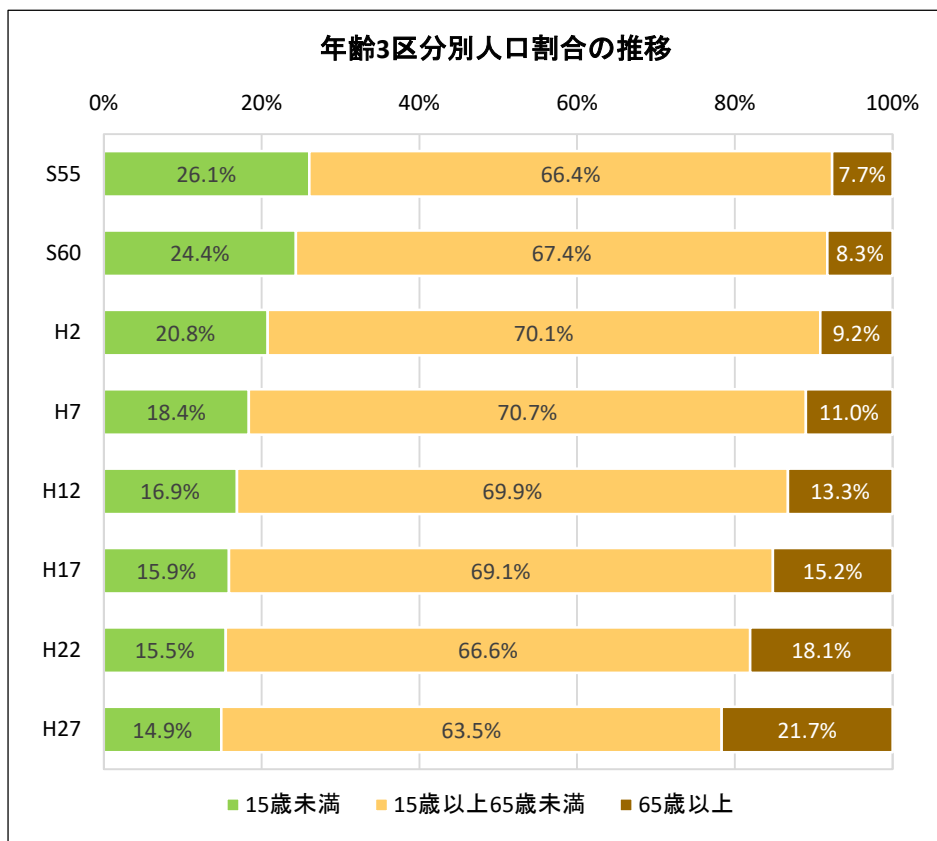
図 人口推移と増加率



(資料：国勢調査)

昭和 55 年から平成 27 年の国勢調査による人口割合の推移をみると、15 歳未満の年少人口及び 15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口の割合が減少する一方、65 歳以上の高齢者人口が増加しています。

図 年齢 3 区分別人口割合の推移(昭和 55 年～平成 27 年)



(資料：国勢調査)

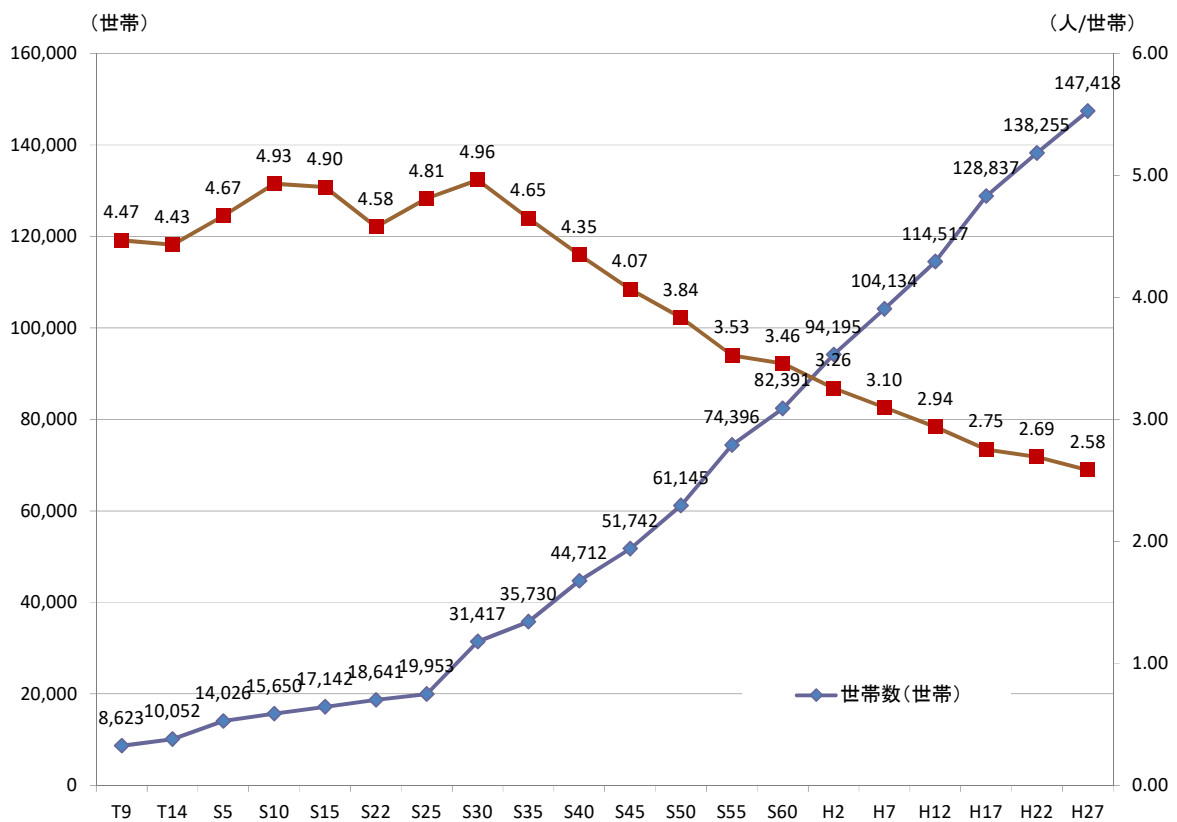
② 世帯の動向

【世帯数及び世帯規模】

国勢調査により世帯数の推移をみると、大正 9 年の 8,623 世帯から平成 27 年には 147,418 世帯と、17 倍の増加となっています。旧六ッ美町と合併した昭和 37 年以降の旧岡崎市域の世帯数の推移では、昭和 50-55 年では 21.7%と大きな伸びを示した後は、概ね 5 年間で 10%前後の伸びに収まっているものの、世帯数は増加を続けています。

それに伴い、世帯当り人員は、昭和 30 年の 4.96 人をピークに一貫して減少傾向にあり、平成 27 年には 2.58 人となっています。

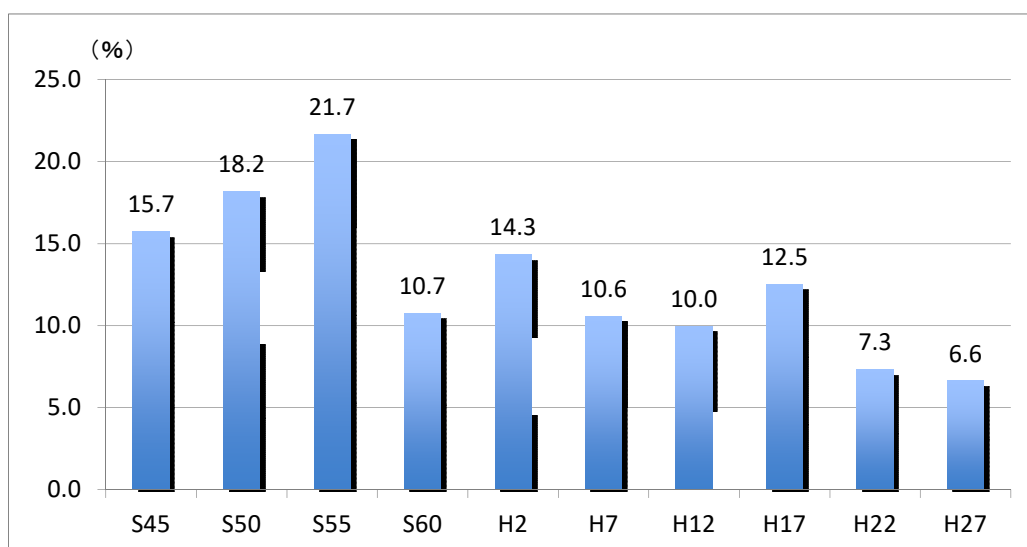
図 世帯数及び世帯当たり人員の推移



※各年次当時の市域の値

(資料：国勢調査)

図 世帯数の増加率(前回調査からの増加率)



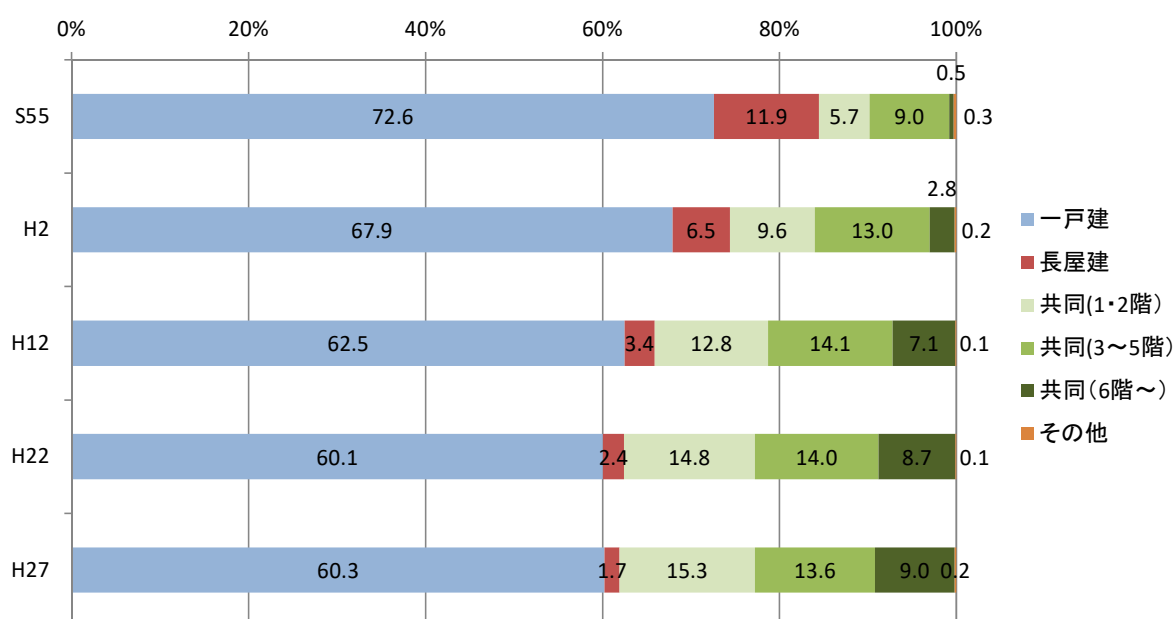
※旧岡崎市域の増加率、ただし H22 以降は旧額田町の区域を含む

(資料：国勢調査)

【住宅の建て方】

国勢調査により住宅の建て方別の世帯構成比の推移をみると、共同住宅の居住世帯が昭和 55 年の 15.2%から平成 27 年には 37.9%と約 2.5 倍に増加しています。特に 6 階建て以上の共同住宅世帯は、昭和 55 年の 0.5%から平成 27 年には 9.0%と約 18 倍増加しており、中高層の共同住宅の増加が進んでいることがわかります。

図 住宅の建て方別世帯構成比の推移



※各年次当時の市域の値

(資料：国勢調査)

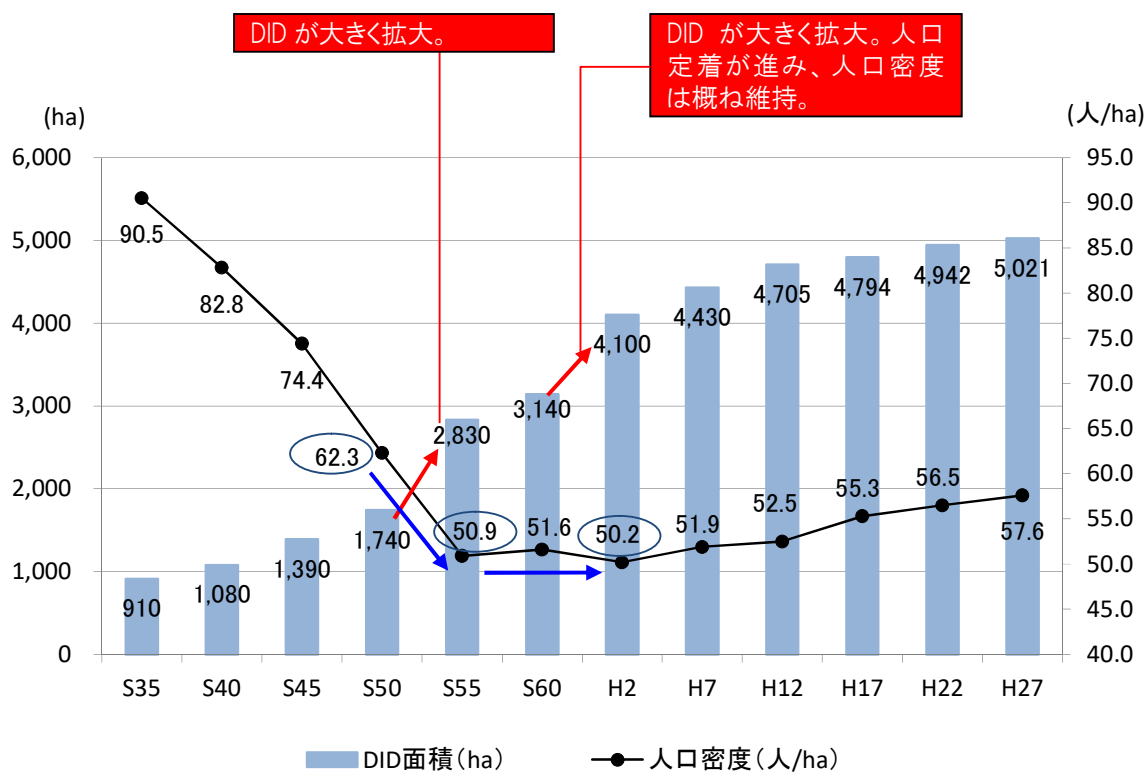
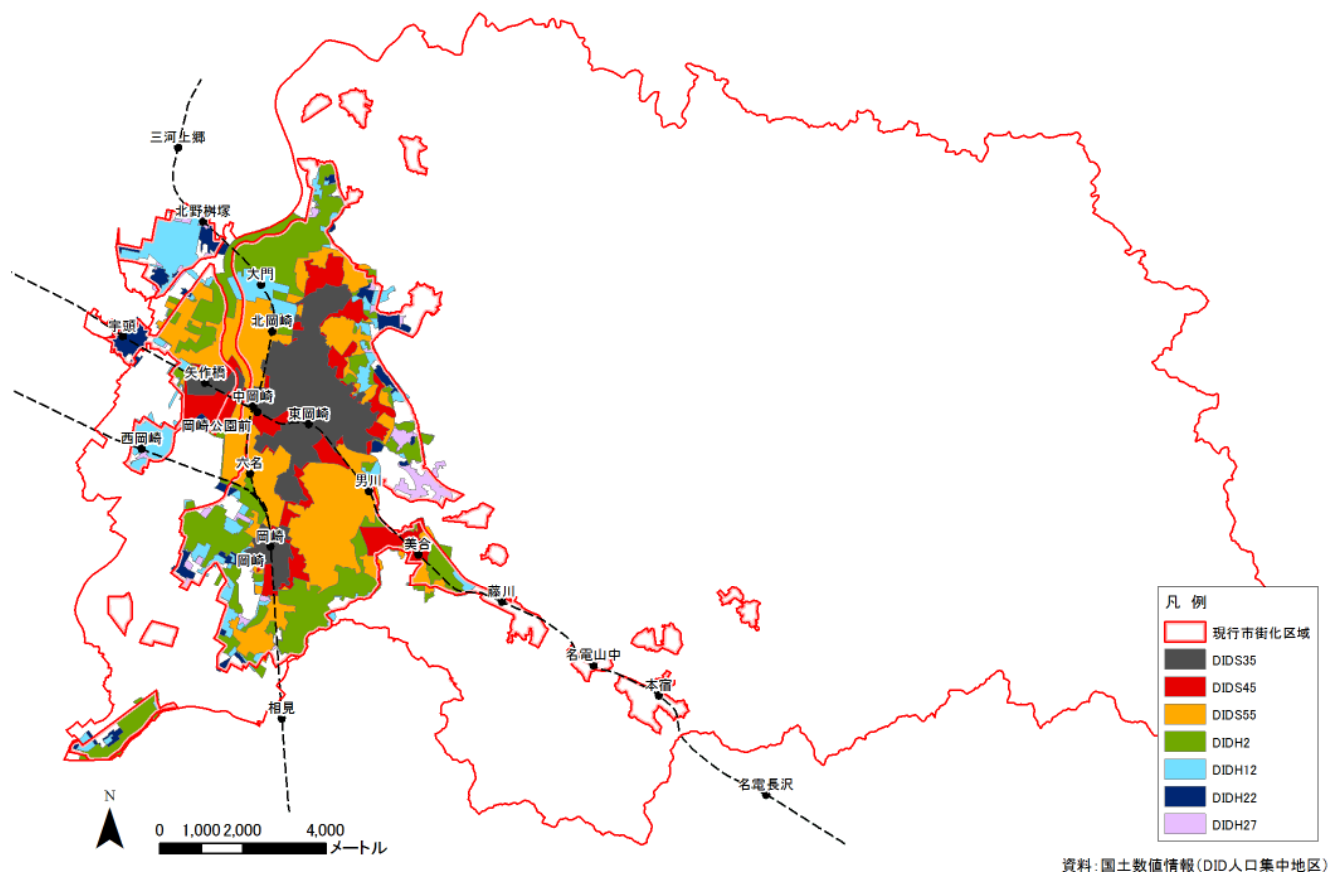
③ DID 人口・区域の動向

昭和 35 年の人口集中地区（DID）は、城下町・岡崎宿の区域を中心とした 1,080ha であり、その後当該区域を中心に徐々に DID が拡大し、昭和 50 年に 1,740ha まで拡大しています。

昭和 50 年-55 年にかけては、中部、南部土地区画整理事業をはじめとする大規模な公共団体施行土地区画整理事業が行われ、これに伴い DID も急激に拡大していますが、DID 人口密度は大きく低下しています。

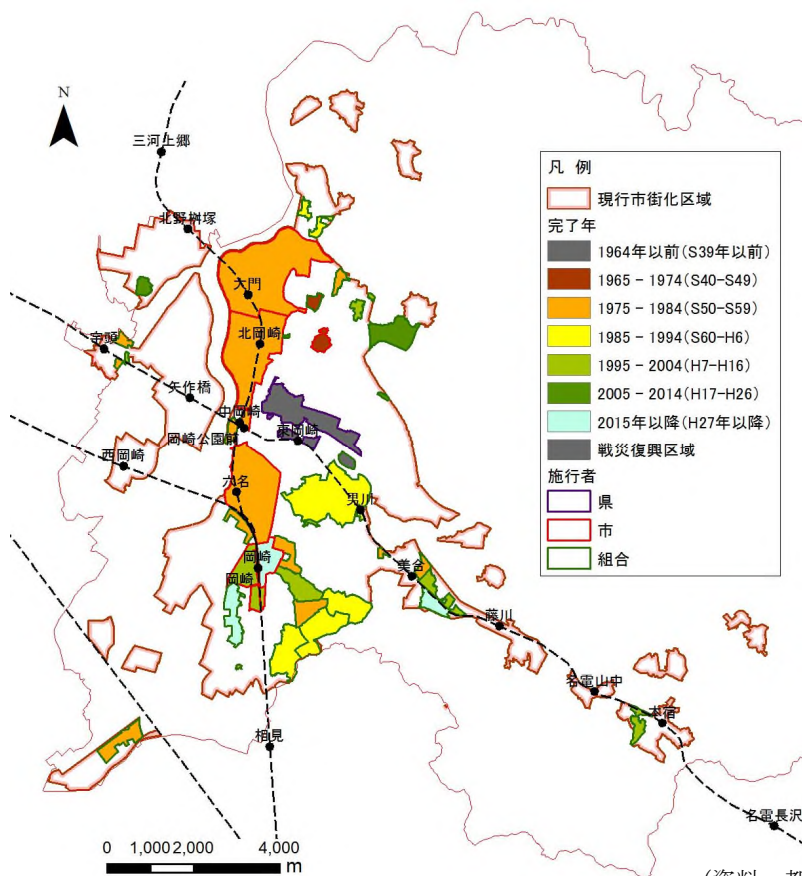
その後、昭和 60 年から平成 2 年にかけては、市街化区域東部の丘陵地における組合施行土地区画整理事業が相次いで施行され、再び DID が大きく拡大するとともに、当該事業による宅地供給に伴い一定の人口定着が進んだことにより、人口密度の低下傾向が収まり、緩やかな上昇に転じています。

図 DID(人口集中地区)の変遷



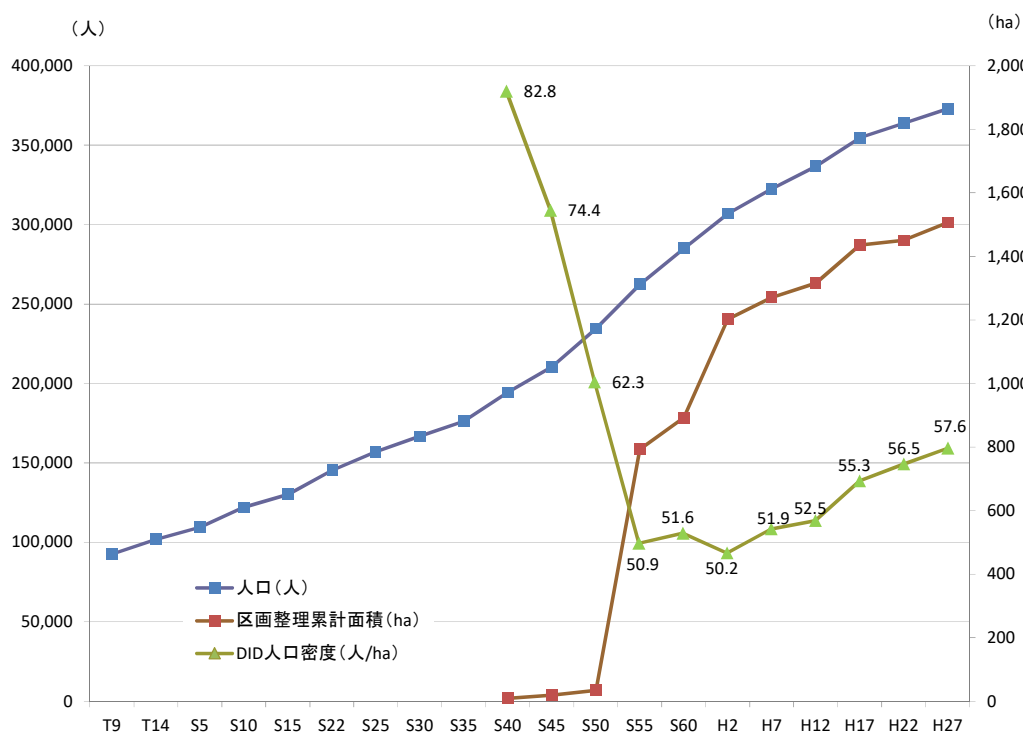
(資料：国勢調査)

図 市街地整備事業(土地区画整理事業)の変遷



(資料：都市計画基礎調査)

図 人口及び DID 人口密度と市街地整備事業の関係



(資料：国勢調査、市統計)

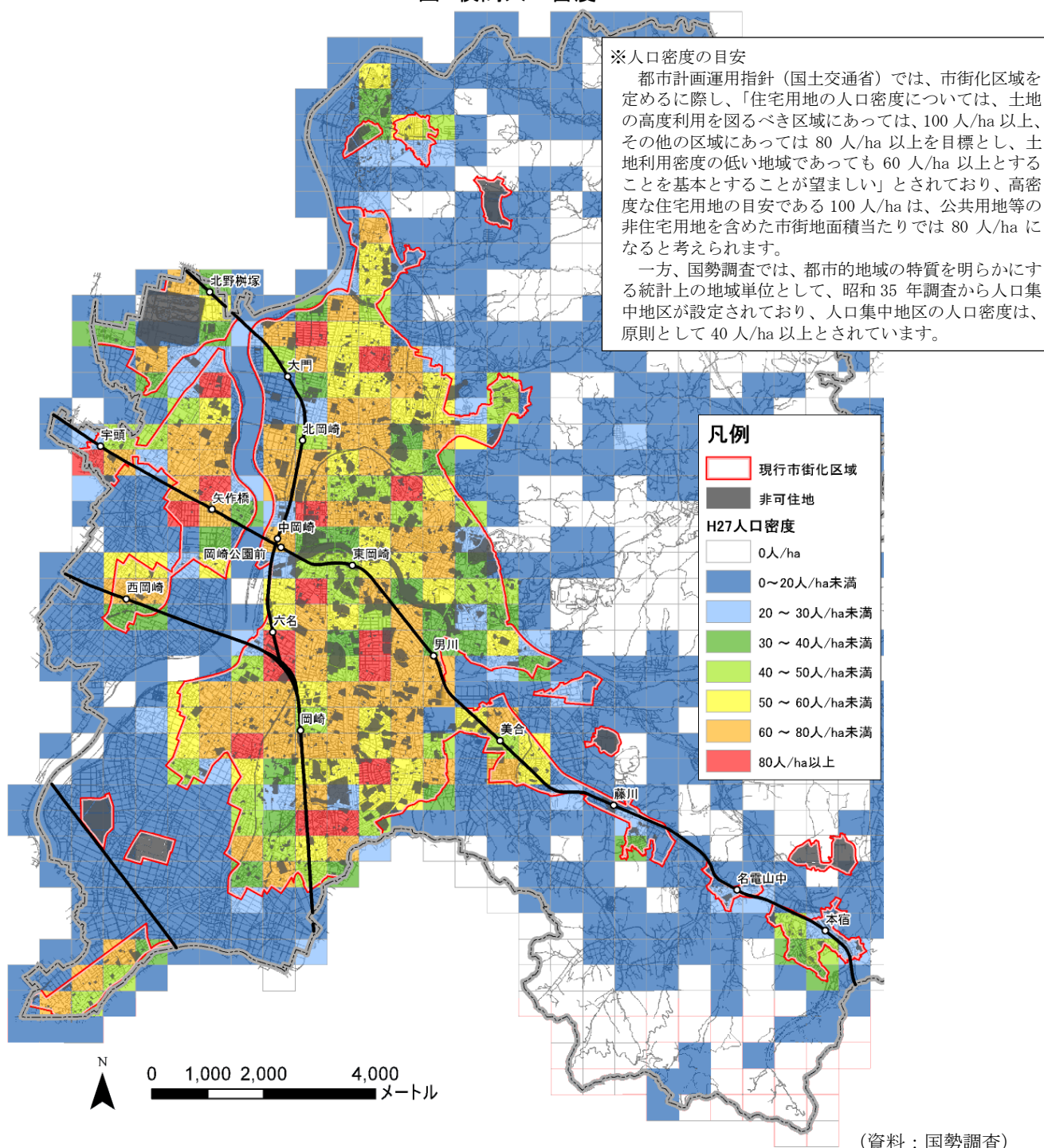
3 現状の都市構造の分析・評価 ～空間軸からみた都市構造分析～

(1) 人口

① 人口密度

平成 27 年の国勢調査による人口密度※をみると、80 人/ha 以上と人口集積の高い地区が概ね市街化区域内に広く分布しているものの、一定の都市機能を有する市街地（DID）の基準である 40 人/ha 未満の地区も散見されます。また、市街化区域の縁辺部では、40 人/ha 前後の比較的低密度な地区がみられます。

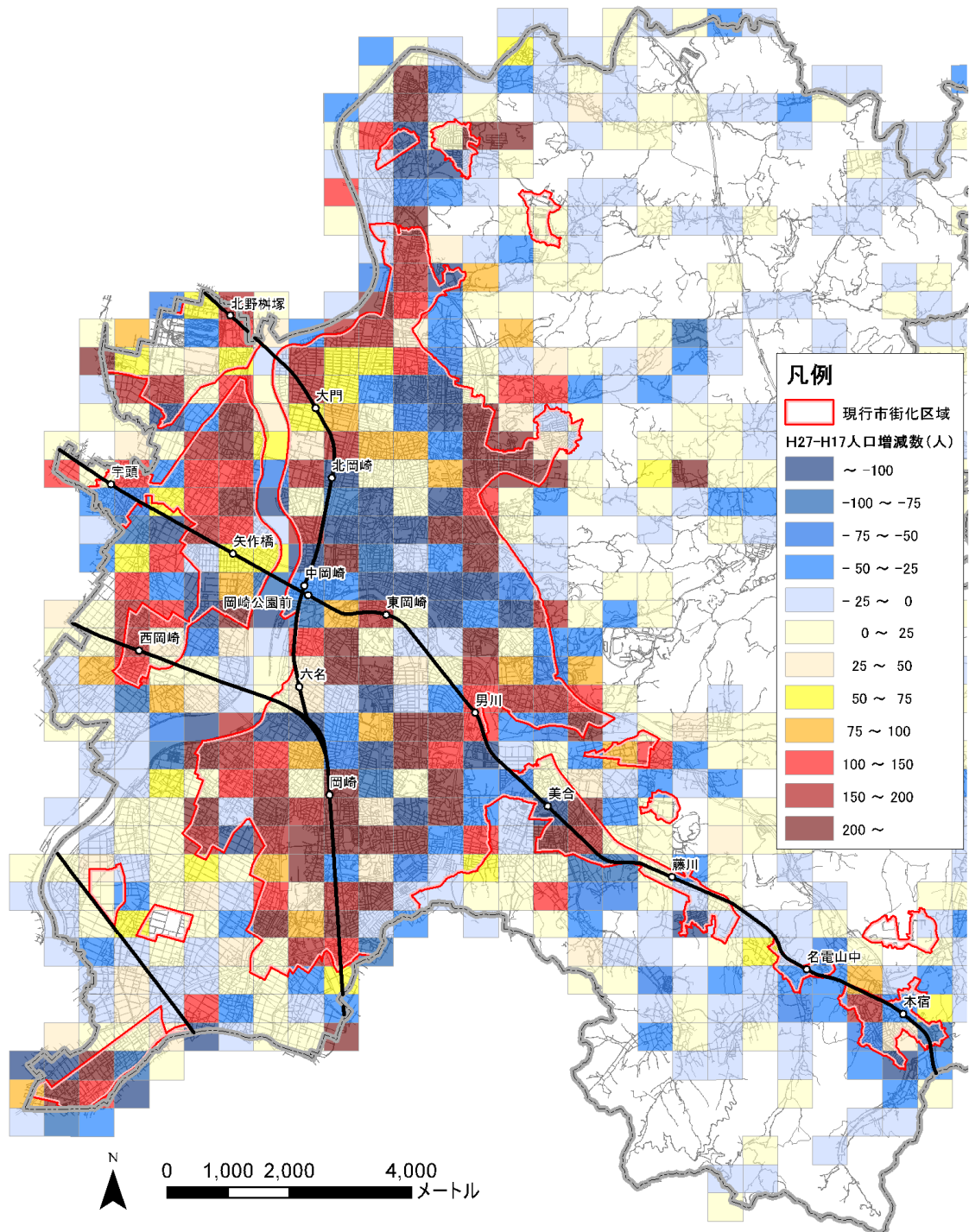
図 夜間人口密度



② 人口増減

平成 17 年から 27 年の国勢調査による人口増減をみると、市街地縁辺部において人口増加がみられる一方、特に東岡崎駅周辺等の中心市街地において人口減少が著しい状況となっています。

図 人口増減数(平成 17 年～27 年)

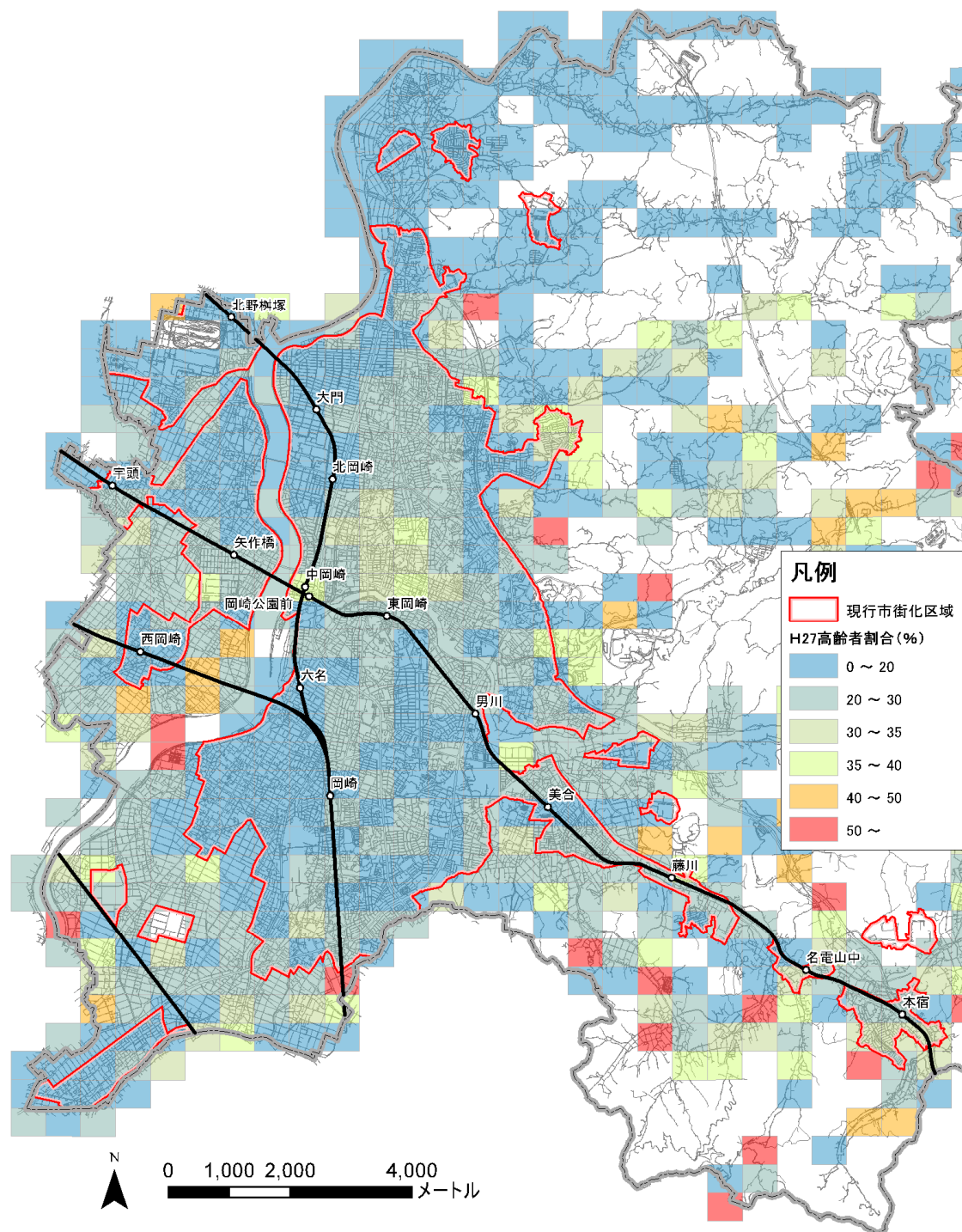


(資料：国勢調査)

③ 高齢者割合

平成 27 年の国勢調査による高齢者（65 歳以上）割合をみると、郊外部において高齢者割合が高くなっているほか、市街化区域内では中心市街地において高齢者割合が高くなっています。

図 高齢者割合



(資料：国勢調査)

(2) 土地利用

① 土地利用状況の動向

昭和 51 年と平成 21 年の土地利用を比較すると、過去 30 年で建物用地が広く分布するようになり、その多くは市街化区域内に収まっています。一方、市街化調整区域においても建物用地が増加しており、特に平地部において多くみられます。

図 土地利用現況メッシュ(S51)

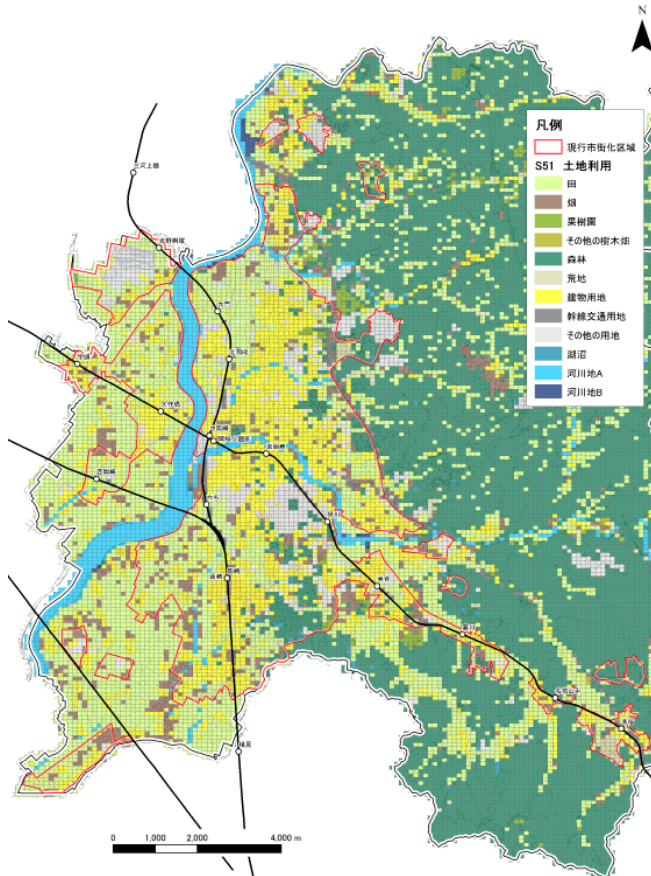
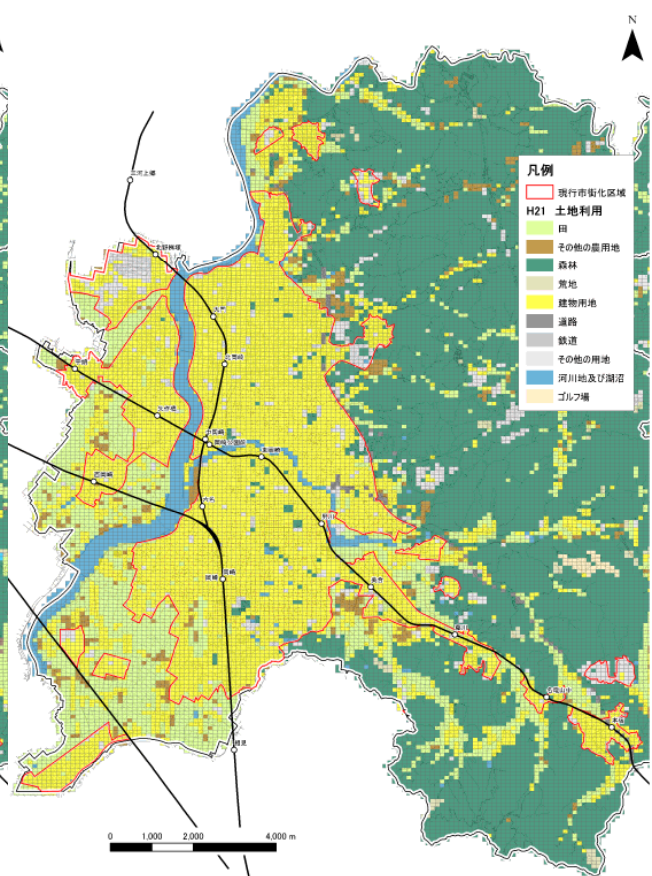
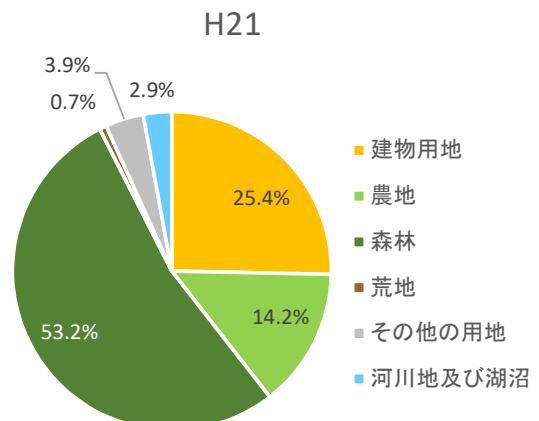
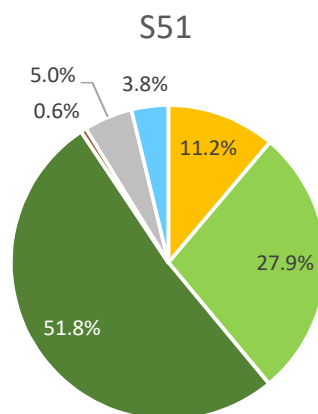


図 土地利用現況メッシュ(H21)



(資料：国土数値情報)

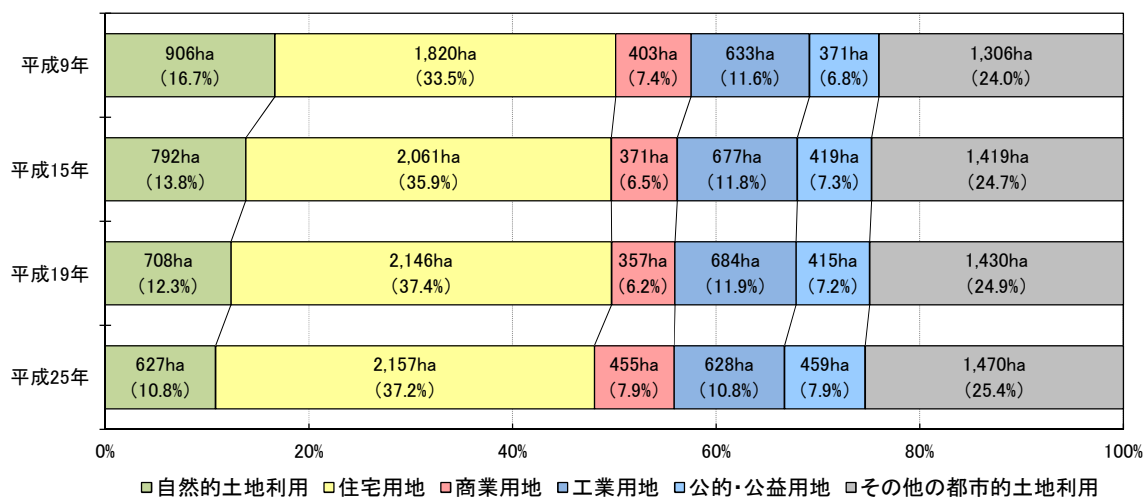


(資料：国土数値情報)

都市計画基礎調査による市街化区域内の土地利用現況の推移をみると、自然的土地利用は減少が続いています。

住宅用地は平成9年から平成15年にかけて大きく増加しており、商業用地は平成19年から平成25年にかけて大きく増加しています。

図 市街化区域内土地利用現況の推移

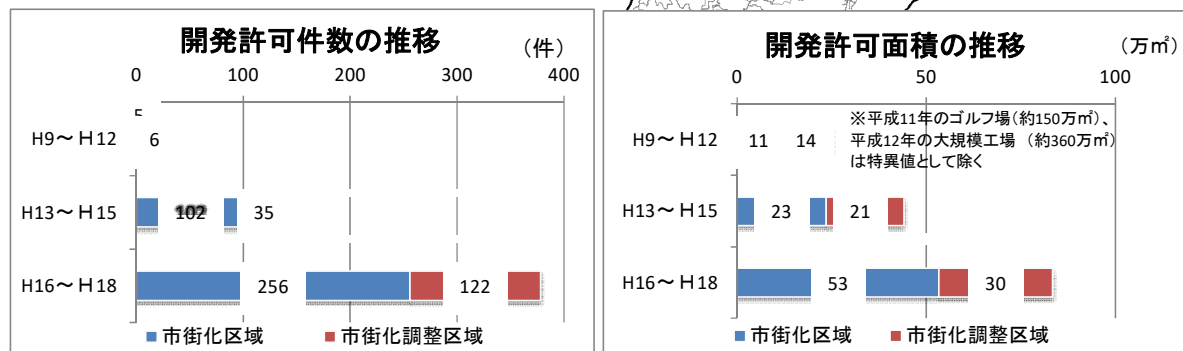
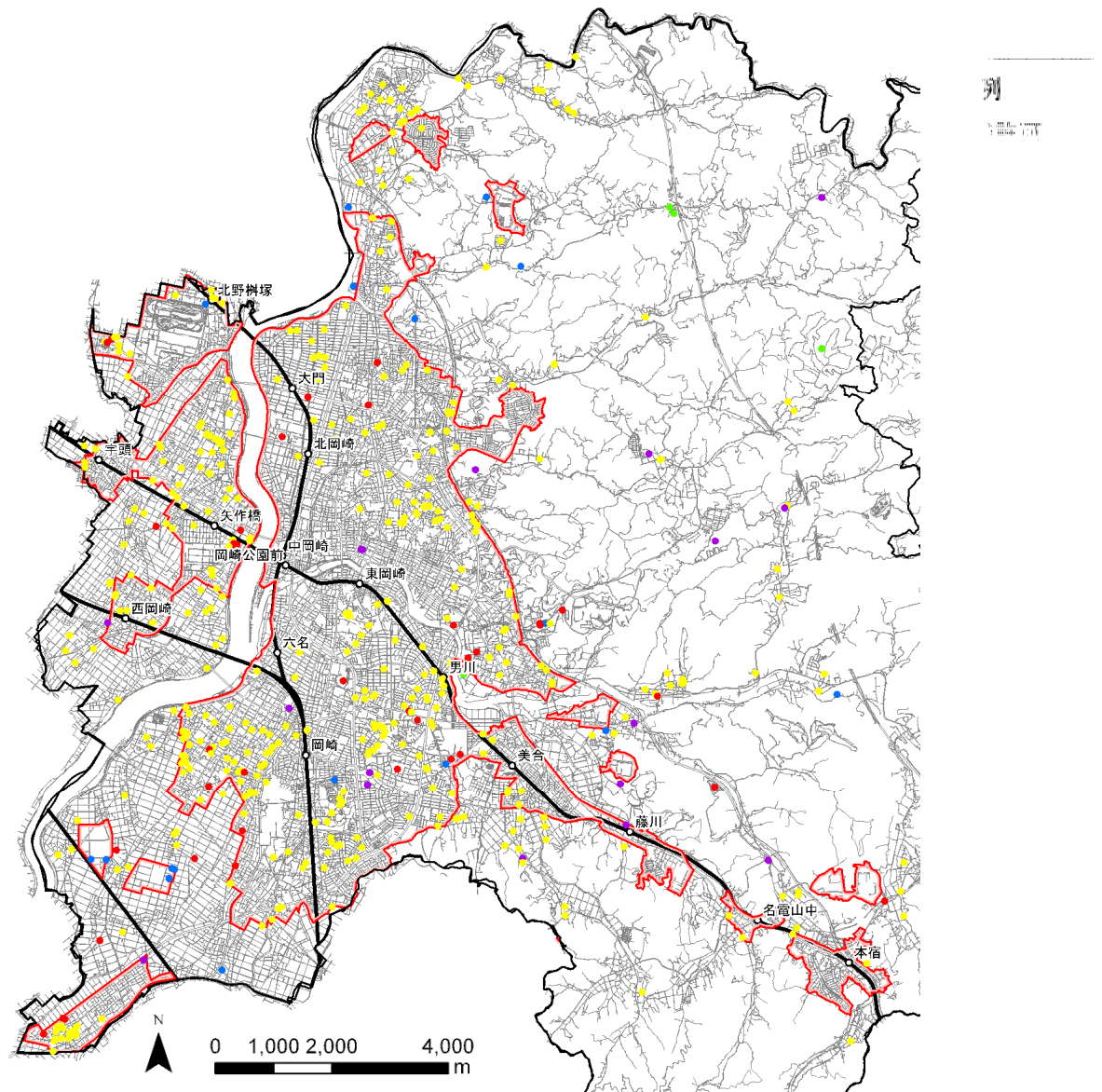


(資料：都市計画基礎調査)

② 開発許可の状況

平成9年～18年の開発許可の状況をみると、その多くは市街化区域内ですが、市街化調整区域においても散在している状況にあります。開発許可件数、面積の推移をみると、市街化区域、市街化調整区域ともに増加しています。

図 開発許可位置図(平成9年～18年)



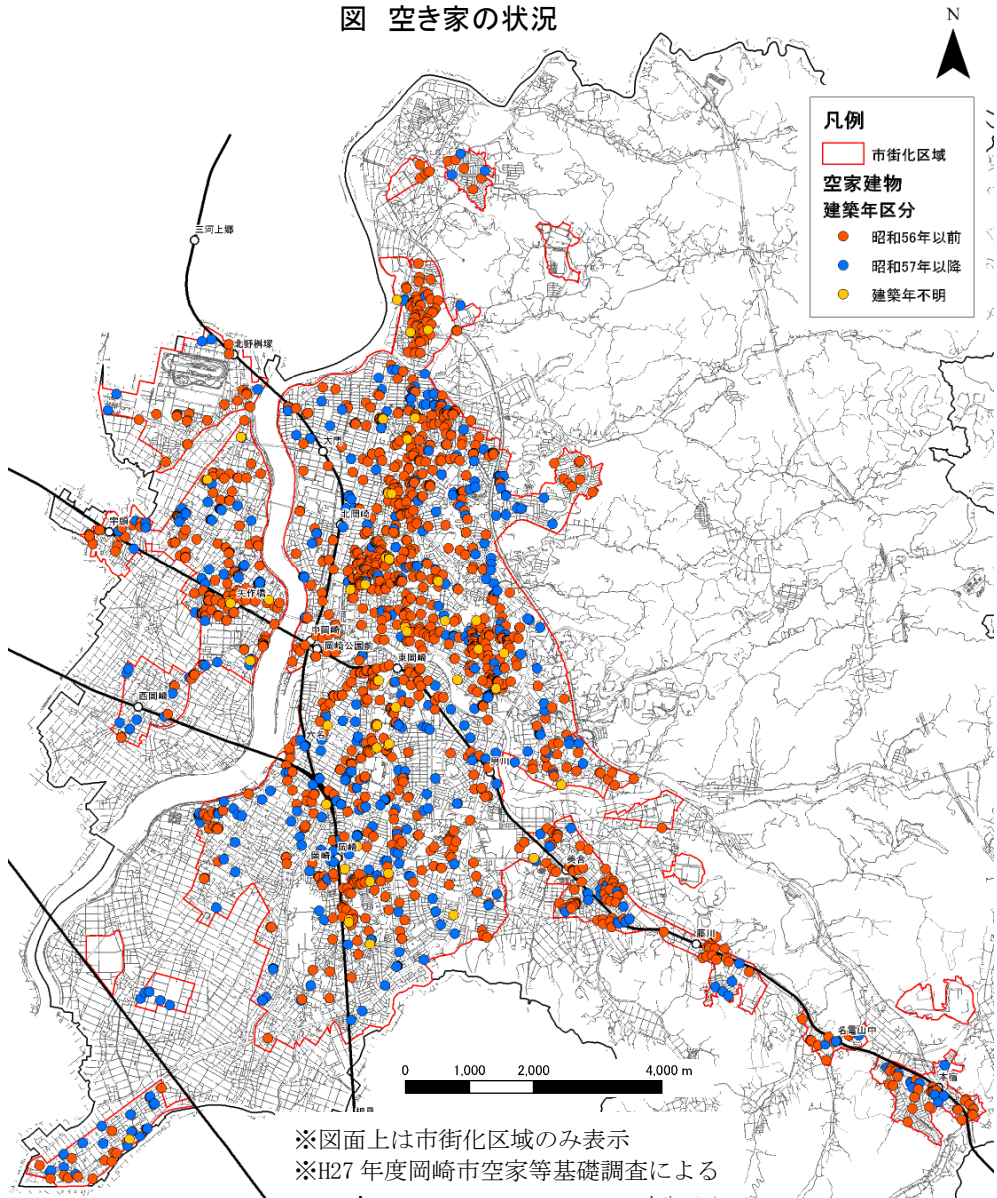
(資料：都市計画基礎調査)

③ 空き家の状況と一戸建住宅の新規着工

空き家の分布状況をみると、特に中心市街地や主要な駅周辺で多くみられ、旧耐震基準で建築された昭和 56 年以前の建物が特に多くみられます。

新耐震基準で建築された昭和 57 年以降の建物は市街化区域内に散在しており、これらは住宅の既存ストックとしてもとらえることができます。

図 空き家の状況

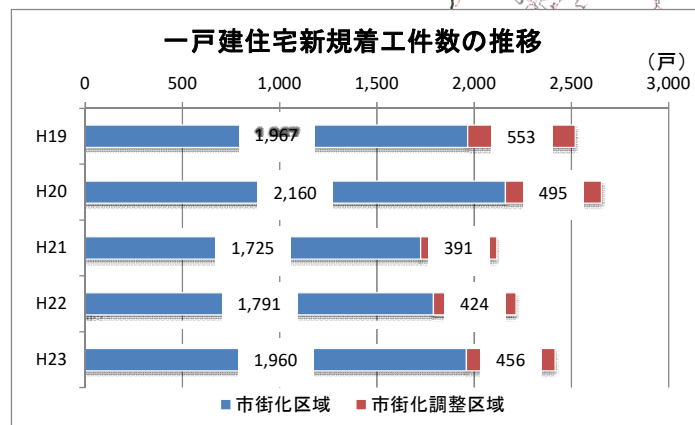
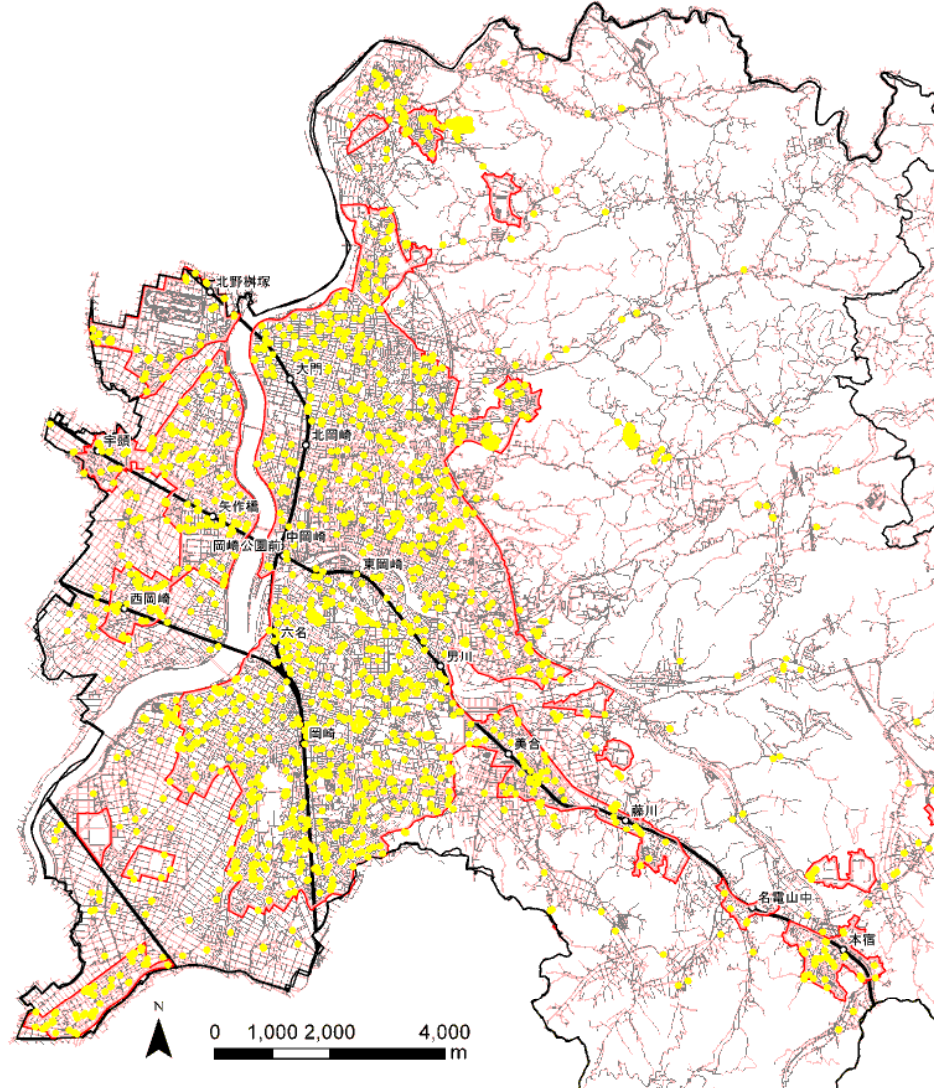


建物用途区分	建物構造区分	計	昭和56年以前	昭和57年以降	建築年不明
住宅用途	木造	1,658	1,349	309	0
	非木造	180	107	73	0
商業用途	木造	18	5	13	0
	非木造	105	31	74	0
工業用途	木造	9	8	1	0
	非木造	40	23	17	0
農業用途	木造	1	1	0	0
公共公益用途	非木造	2	1	1	0
倉庫等	木造	89	66	23	0
	非木造	69	33	36	0
用途不明	構造不明	103	0	1	102
計		2,274	1,624	548	102

(資料：市資料)

一戸建住宅の新規着工分布状況（平成 23 年）をみると、市内に広く分布しています。新規着工件数の推移をみると、平成 21 年に一時減少したものの近年は年々増加しており、市街化調整区域においても毎年一定数の着工がみられます。

図 一戸建住宅新規着工箇所(平成 19 年～23 年)



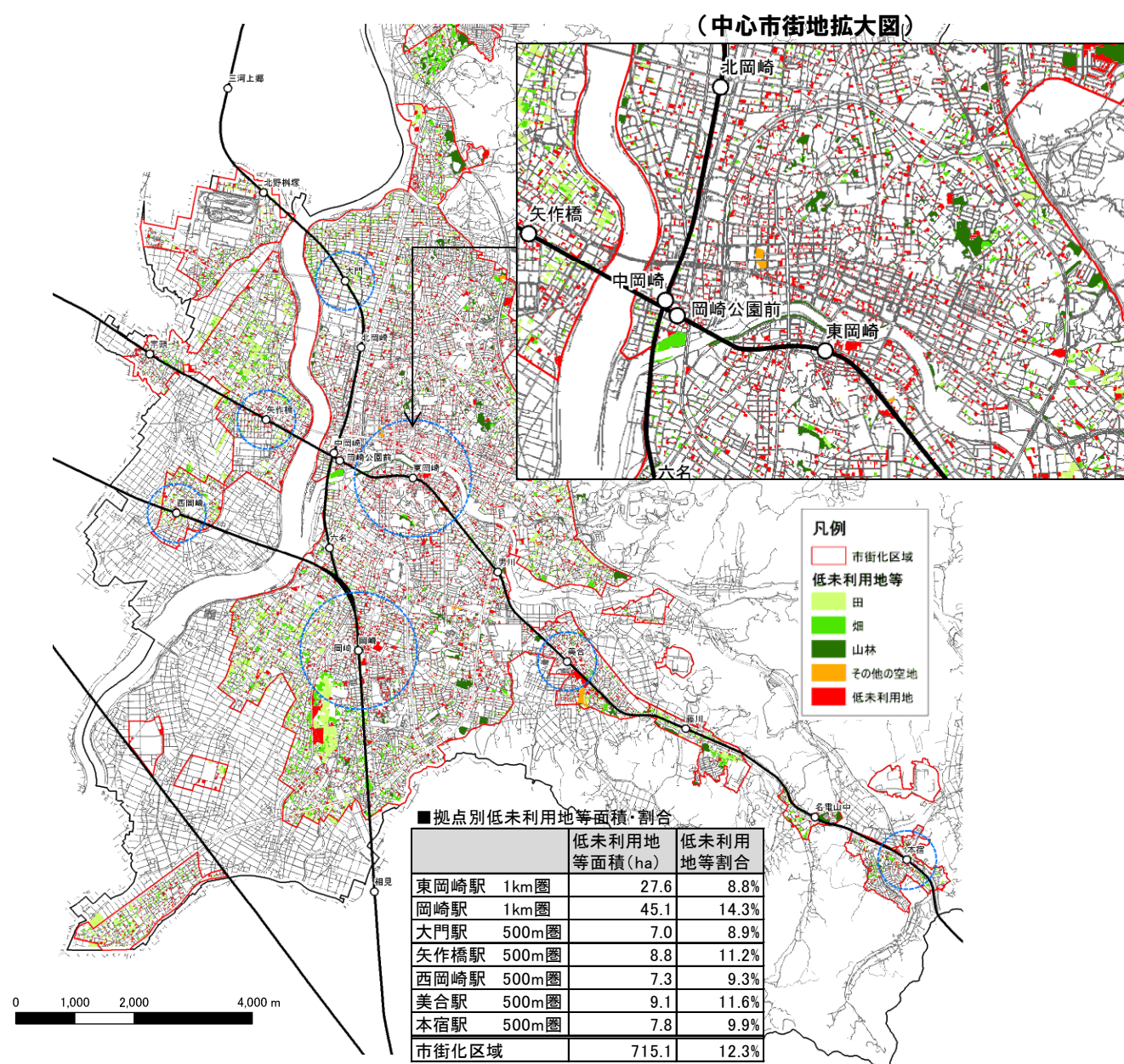
(資料：都市計画基礎調査)

④ 空き地(低未利用地)の状況

空き地（その他の空地、低未利用地）の分布状況をみると、市街化区域内に散在している状況にあり、中心市街地にもみられます。

空き地の割合を拠点別にみると、岡崎駅周辺が 14.3%と最も高くなっていますが、これは土地区画整理事業が施行中であることに起因していると考えられ、その他では、美合駅周辺や矢作橋駅周辺が高い値を示しています。

図 土地利用現況(低未利用地等分布)(平成 25 年)



※その他の空地：改築工事中の土地、ゴルフ場、民地の広場 等

低未利用地：平面駐車場、建物跡地等、都市的状況の未利用地、ガラクタ置場 等

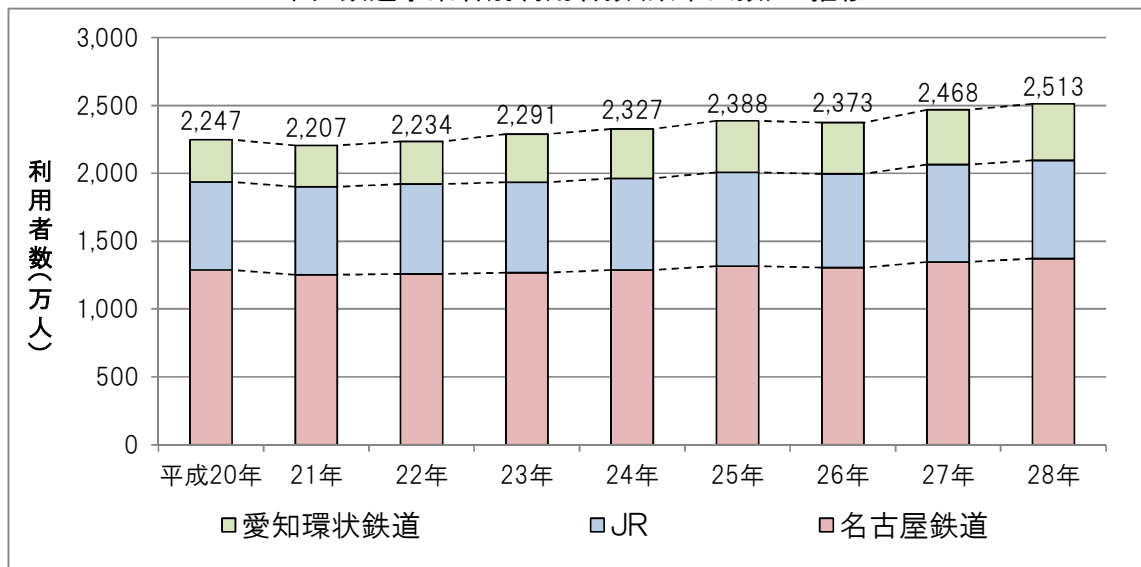
(資料：都市計画基礎調査)

(3) 都市交通

① 公共交通の動向

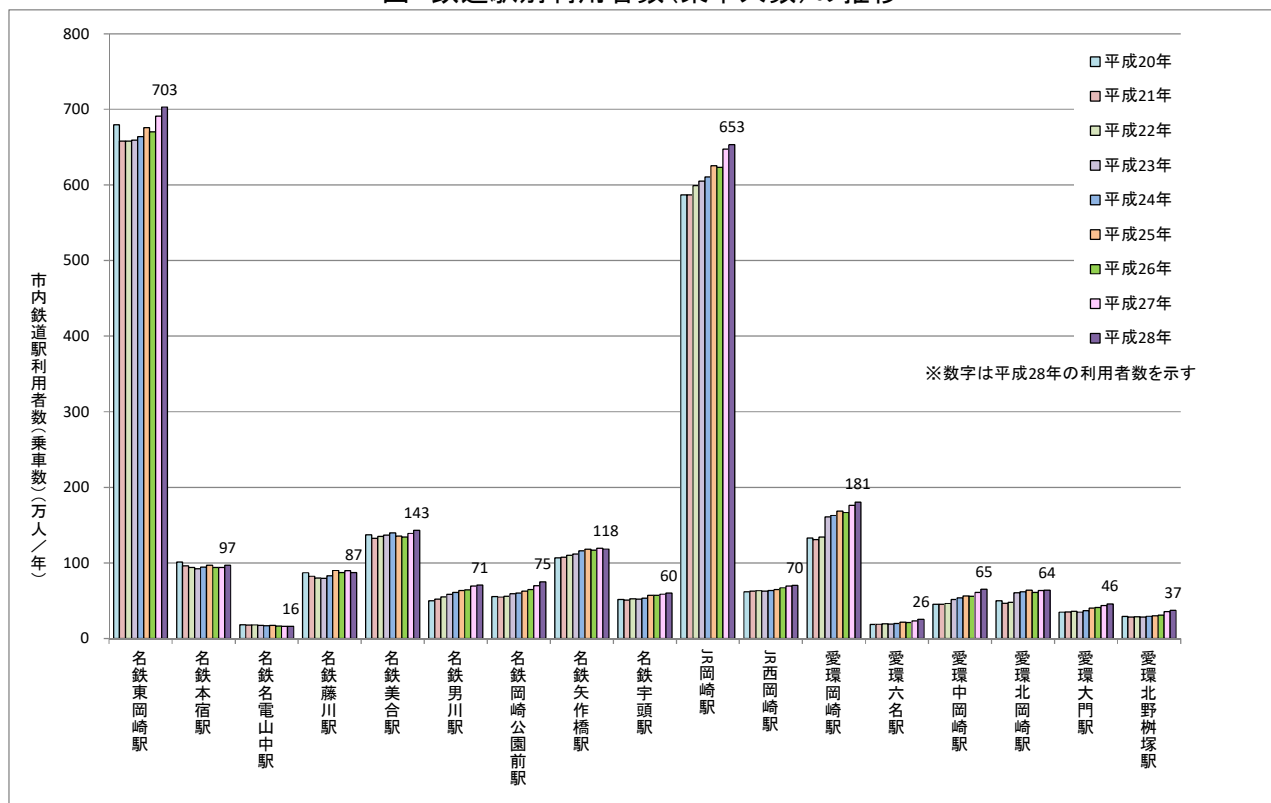
本市内を運行する鉄道の利用者数はやや増加傾向にあります。鉄道駅別にみると、名鉄東岡崎駅、J R岡崎駅、愛環岡崎駅の利用者数が大きく増加しており、名鉄男川駅・岡崎公園前駅・矢作橋駅、愛環中岡崎駅・北岡崎駅の利用者数も増加傾向にあります。

図 鉄道事業者別利用者数(乗車人数)の推移



(資料：市統計)

図 鉄道駅別利用者数(乗車人数)の推移



(資料：市統計)

路線バス利用者数はほぼ横ばいの傾向にあります。そのうち、基幹バス路線（バス基幹軸に位置づけられた路線のうち、都心ゾーンの一体性を高める大樹寺～東岡崎駅～岡崎駅をつなぐ路線）の利用者数の推移をみると、全体利用者の約半数を占める割合で推移しています。利用者は横ばいであり、依然としてバス利用の需要は高い状況にあります。

基幹バス利用者数を路線別にみると、福岡町～イオンモール～東岡崎を結ぶ路線の利用者数が増加傾向にあります。

図 バス路線利用者数の推移（基幹バス路線内訳）

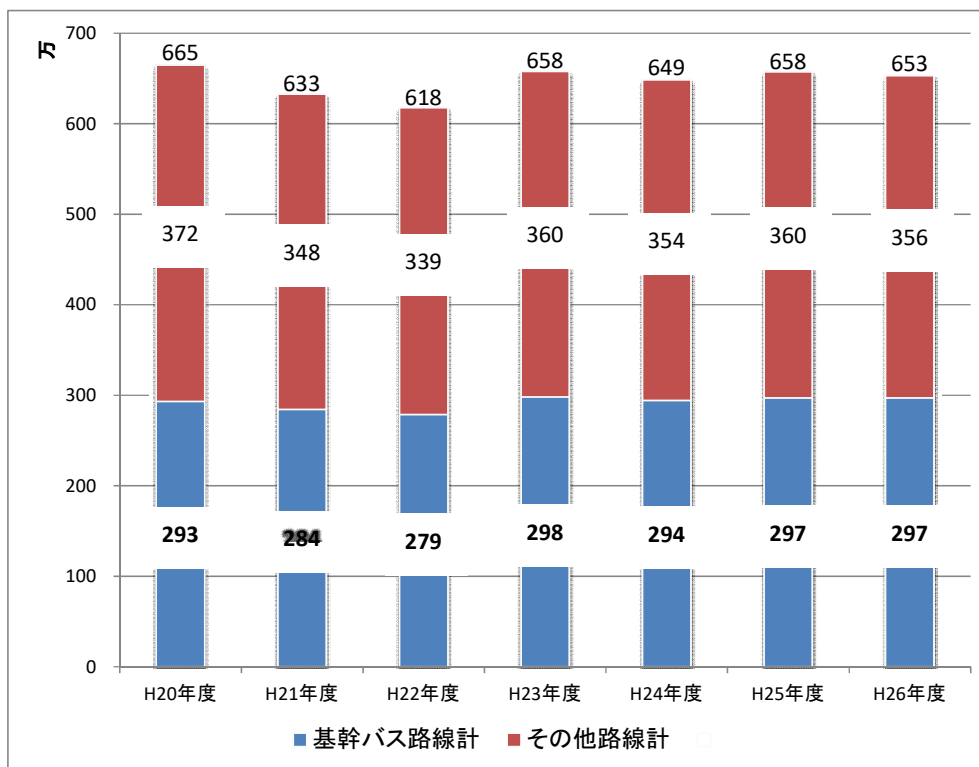
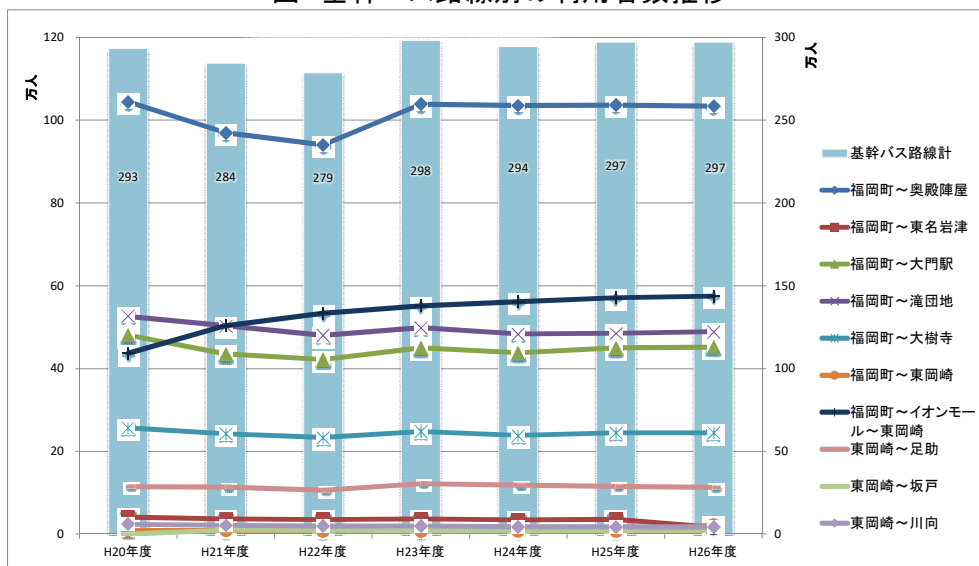


図 基幹バス路線別の利用者数推移



(資料：市統計)

② 市民の交通行動の動向

交通手段別トリップ数の推移をみると、自動車利用の割合が昭和46年では約34%でしたが、平成23年では68%と増加傾向にある一方、公共交通は鉄道9.5%、バス0.9%に留まっています。

徒歩の割合は昭和46年では約38%でしたが、平成23年では約12%と大きく減少しており、自動車に依存した都市構造への変化が伺えます。

表 岡崎市全目的代表交通手段別トリップ数の推移

単位:トリップ

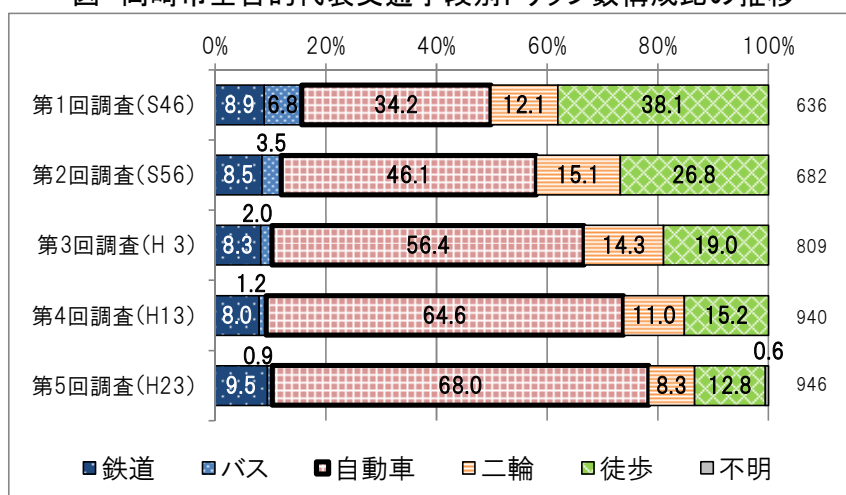
	第1回調査(S46)	第2回調査(S56)	第3回調査(H3)	第4回調査(H13)	第5回調査(H23)
鉄道	56,661	57,810	66,920	74,997	89,508
バス	42,970	23,924	16,395	11,634	8,513
自動車	217,415	314,431	456,264	607,211	643,287
原付・バイク	—	20,359	18,581	18,165	8,197
自転車	76,971	82,855	97,485	84,901	70,366
徒歩	242,170	183,054	153,437	142,947	120,864
不明	—	—	—	—	5,330
合計	636,187	682,433	809,082	939,855	946,065

表 岡崎市全目的代表交通手段別トリップ数構成比の推移

単位: %

	第1回調査(S46)	第2回調査(S56)	第3回調査(H3)	第4回調査(H13)	第5回調査(H23)
鉄道	8.9	8.5	8.3	8.0	9.5
バス	6.8	3.5	2.0	1.2	0.9
自動車	34.2	46.1	56.4	64.6	68.0
二輪	12.1	15.1	14.3	11.0	8.3
徒歩	38.1	26.8	19.0	15.2	12.8
不明	—	—	—	—	0.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図 岡崎市全目的代表交通手段別トリップ数構成比の推移



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

③ 市民の交通流動状況

鉄道による出勤目的の交通流動状況をみると、名鉄により名古屋方面へ向かう動きや、J Rにより刈谷市へ向かう動きが多くなっています。また、愛知環状鉄道により豊田市方面へ向かう動きもみられます。

自由目的では、名鉄により市中心部へ向かう動きや、名鉄やJ Rにより名古屋方面へ向かう動きが多くなっています。

図 岡崎市内ゾーンからの代表交通手段別・目的別交通流動状況(鉄道・出勤)

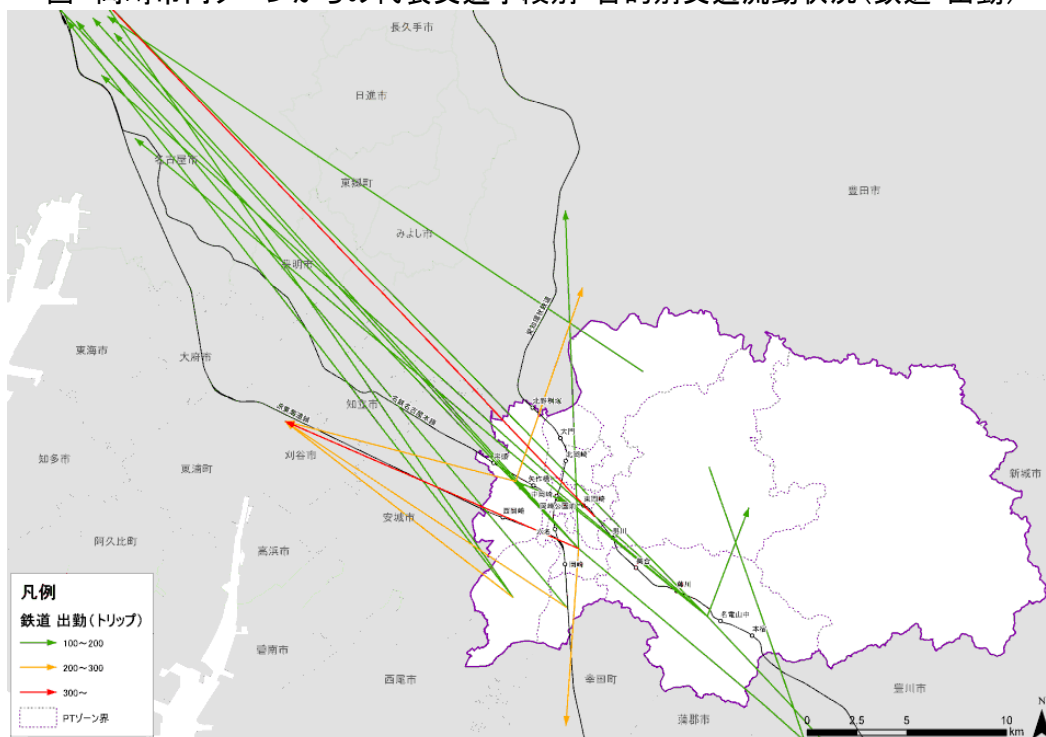
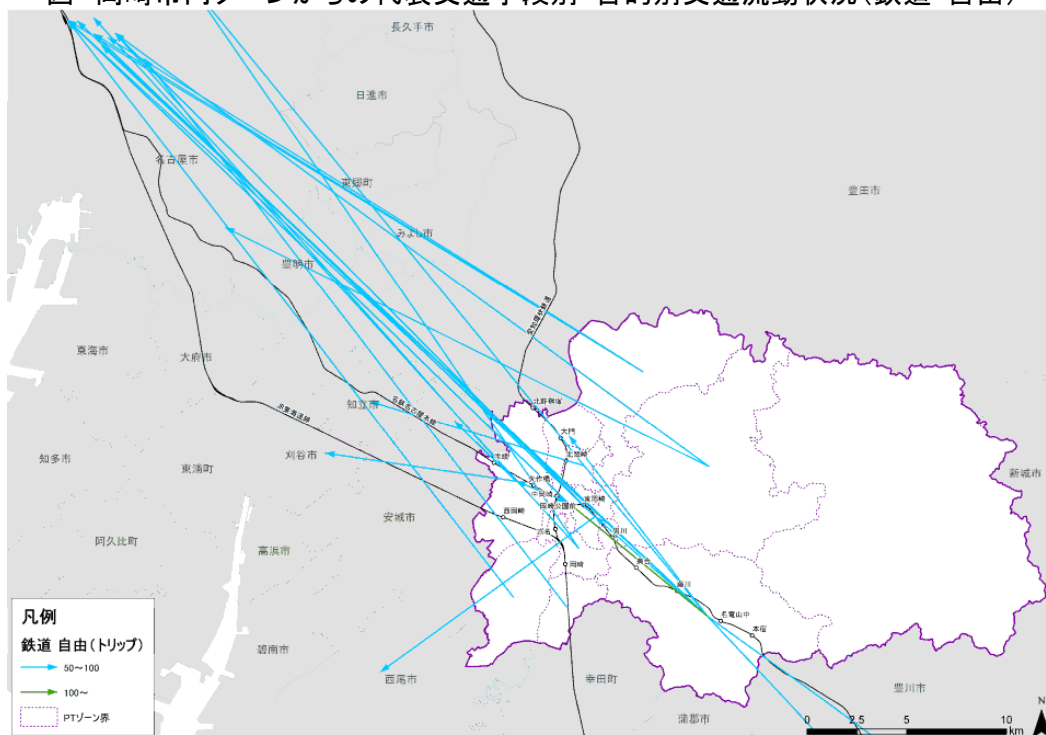


図 岡崎市内ゾーンからの代表交通手段別・目的別交通流動状況(鉄道・自由)



(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

自動車による出勤目的の交通流動状況をみると、トヨタ自動車本社や西尾市のデンソーといった隣接市の大規模事業所へ向かう動きや、市南部のアイシンをはじめとした大規模事業所へ向かう動きが多くなっています。

自由目的では、イオンやアピタをはじめとした市内の大規模商業施設へ向かう動きが多くなっています。

図 岡崎市内ゾーンからの代表交通手段別・目的別交通流動状況(自動車・出勤)

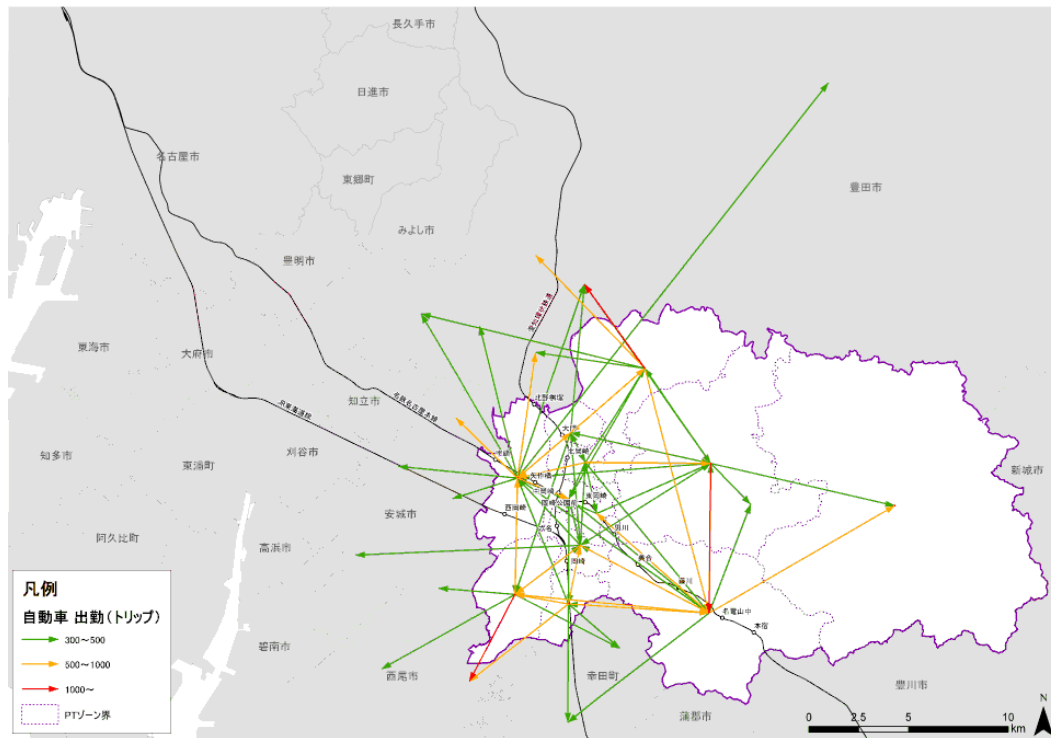
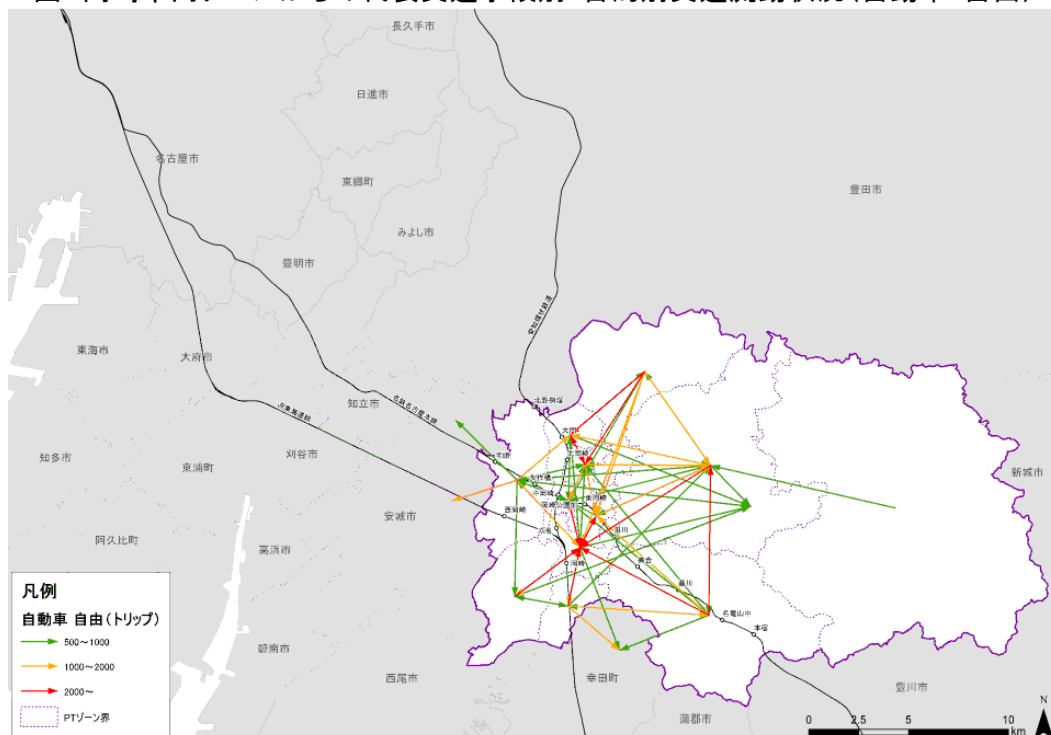


図 岡崎市内ゾーンからの代表交通手段別・目的別交通流動状況(自動車・自由)



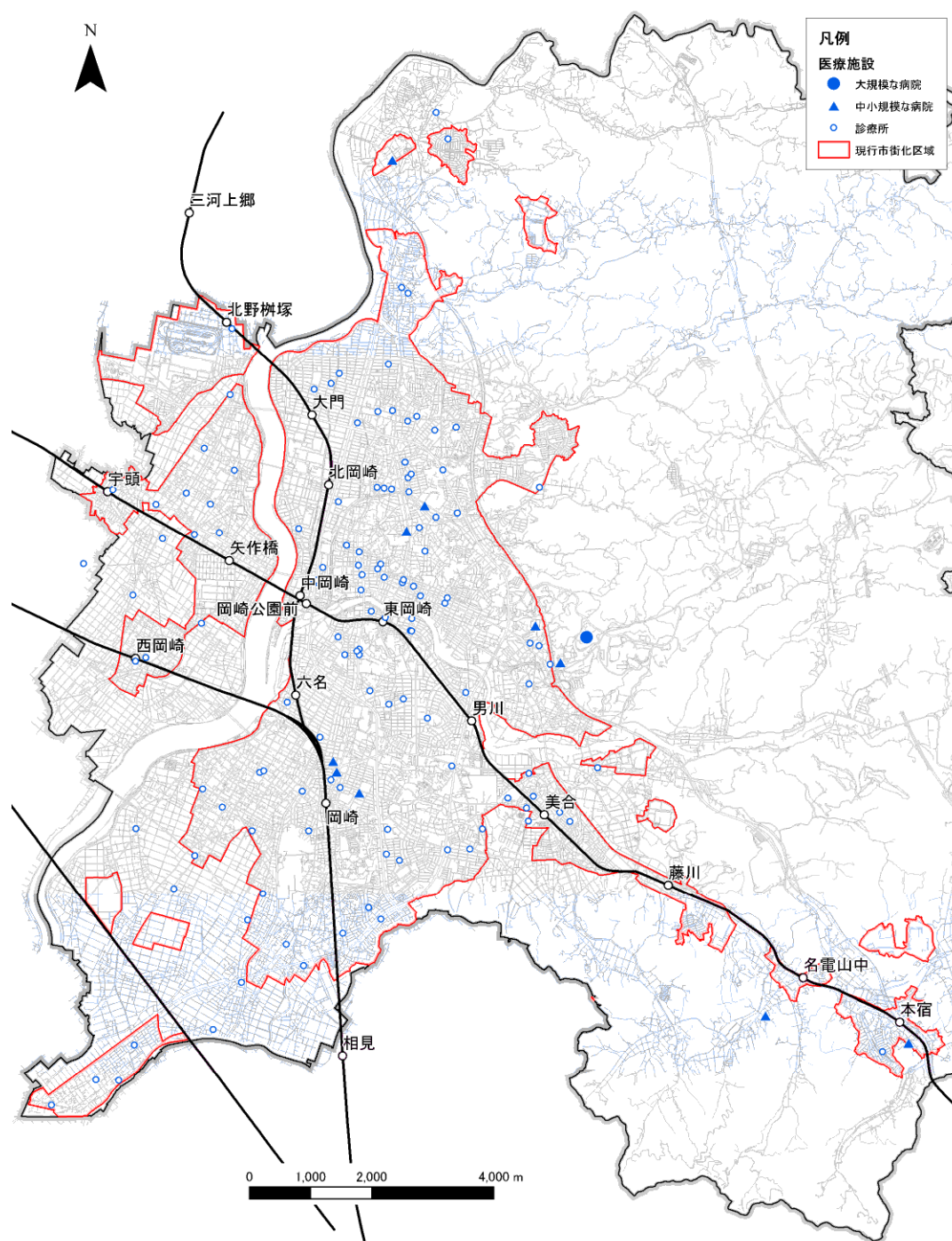
(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

(4) 都市機能

① 医療施設

医療施設は、大規模な病院として岡崎市民病院が1施設分布しています。日常生活に必要で利用される頻度が高い診療所については市街化区域全域に立地しています。

図 医療施設立地状況

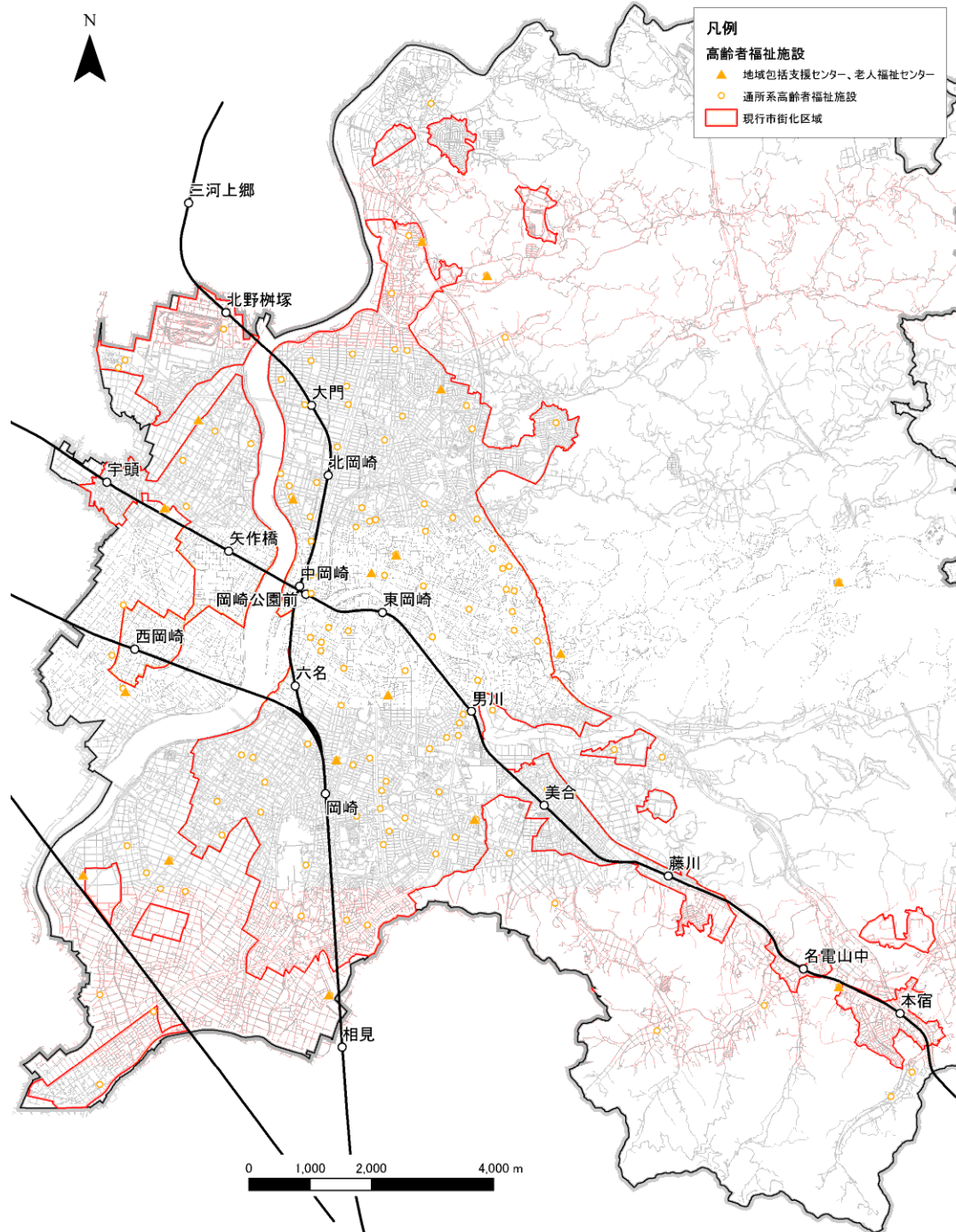


(資料：国土数値情報 (H26))

② 高齢者福祉施設

高齢者福祉施設は、地域包括支援センターや地域福祉センターが市内の各地域に立地しています。また、日常生活に必要で利用される頻度が高い通所系高齢者福祉施設については市街化区域全域に立地しています。

図 高齢者福祉施設立地状況

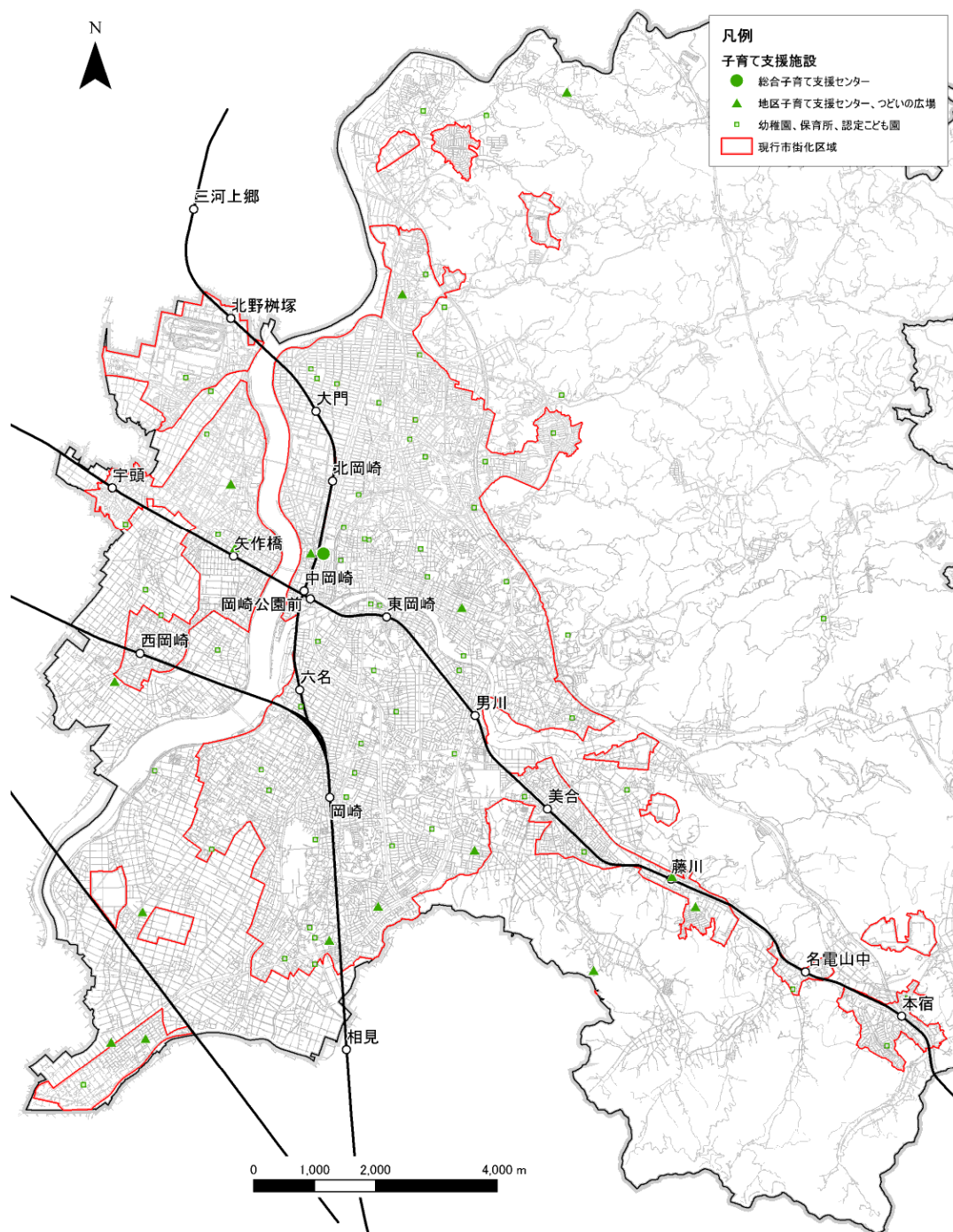


(資料：国土数値情報（H27）、市資料）

③ 子育て支援施設

子育て支援施設は、総合子育て支援センターが市内に1施設立地しています。また、地区子育て支援センター、つどいの広場が市内の各地区に立地しています。日常生活に必要な幼稚園、保育所、こども園は市街化区域全域に分布しています。

図 子育て支援施設立地状況

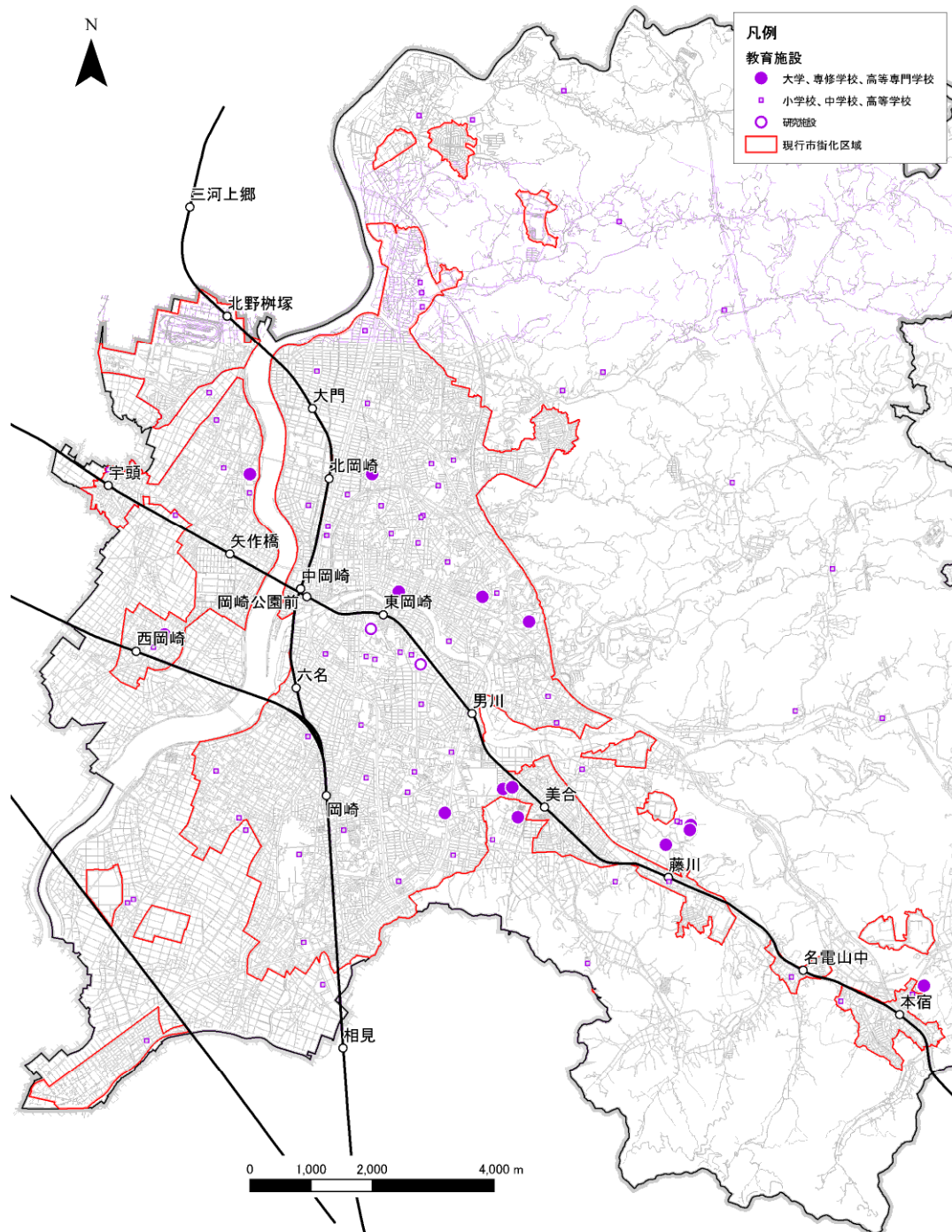


(資料：国土数値情報（H27）、市資料)

④ 教育施設

教育施設は、大学、専修学校、高等専門学校及び研究施設が鉄道駅周辺に近接して立地する傾向がみられます。日常生活に必要な小学校、中学校、高等学校は市全域に分布しています。

図 教育施設立地状況

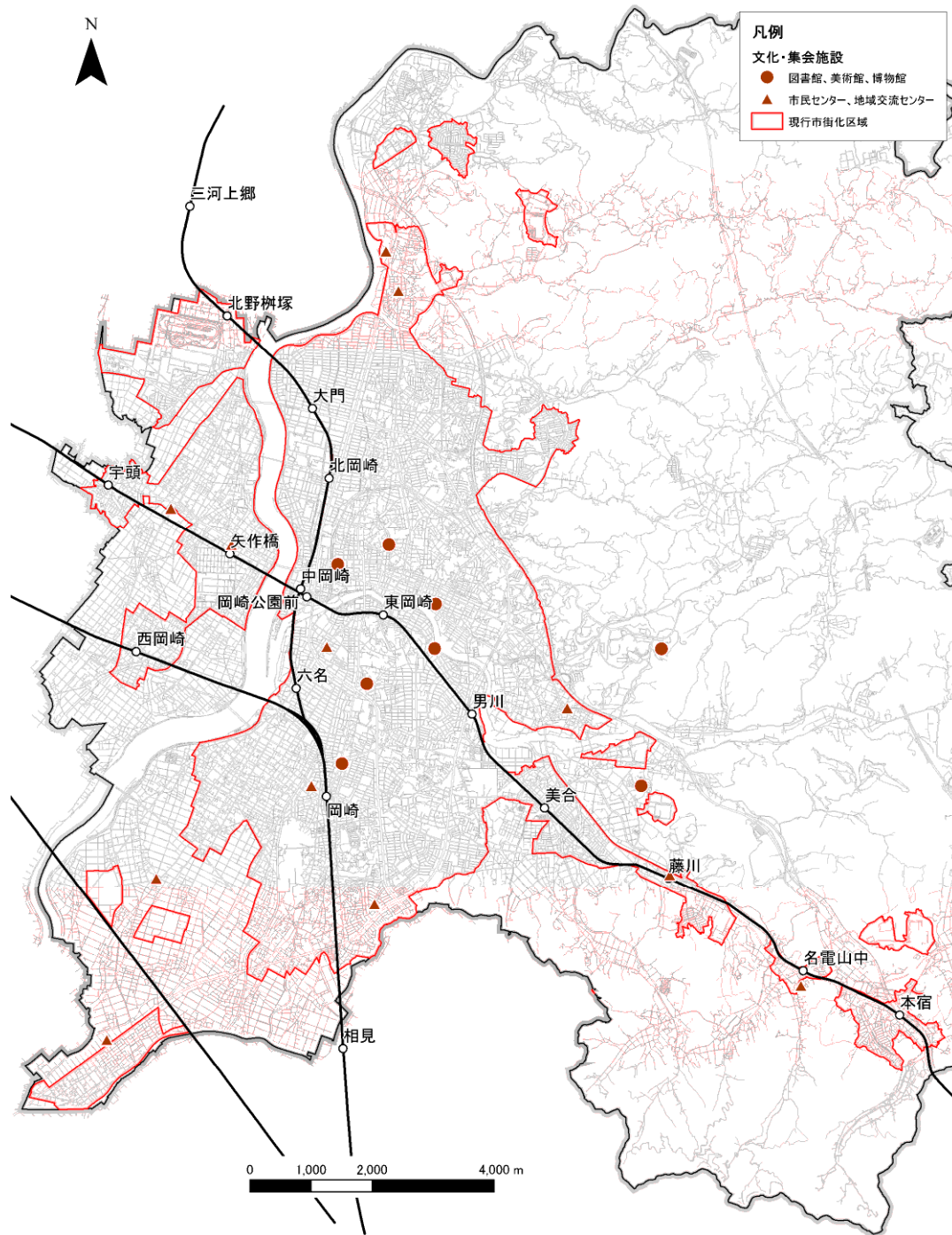


(資料：国土数値情報（H25）、市資料)

⑤ 文化施設

文化施設は、図書館、美術館が東岡崎駅周辺から岡崎駅周辺にかけて立地している傾向にあります。また、市民センター、地域交流センターは市街化区域全域に立地している傾向にあります。

図 文化施設立地状況

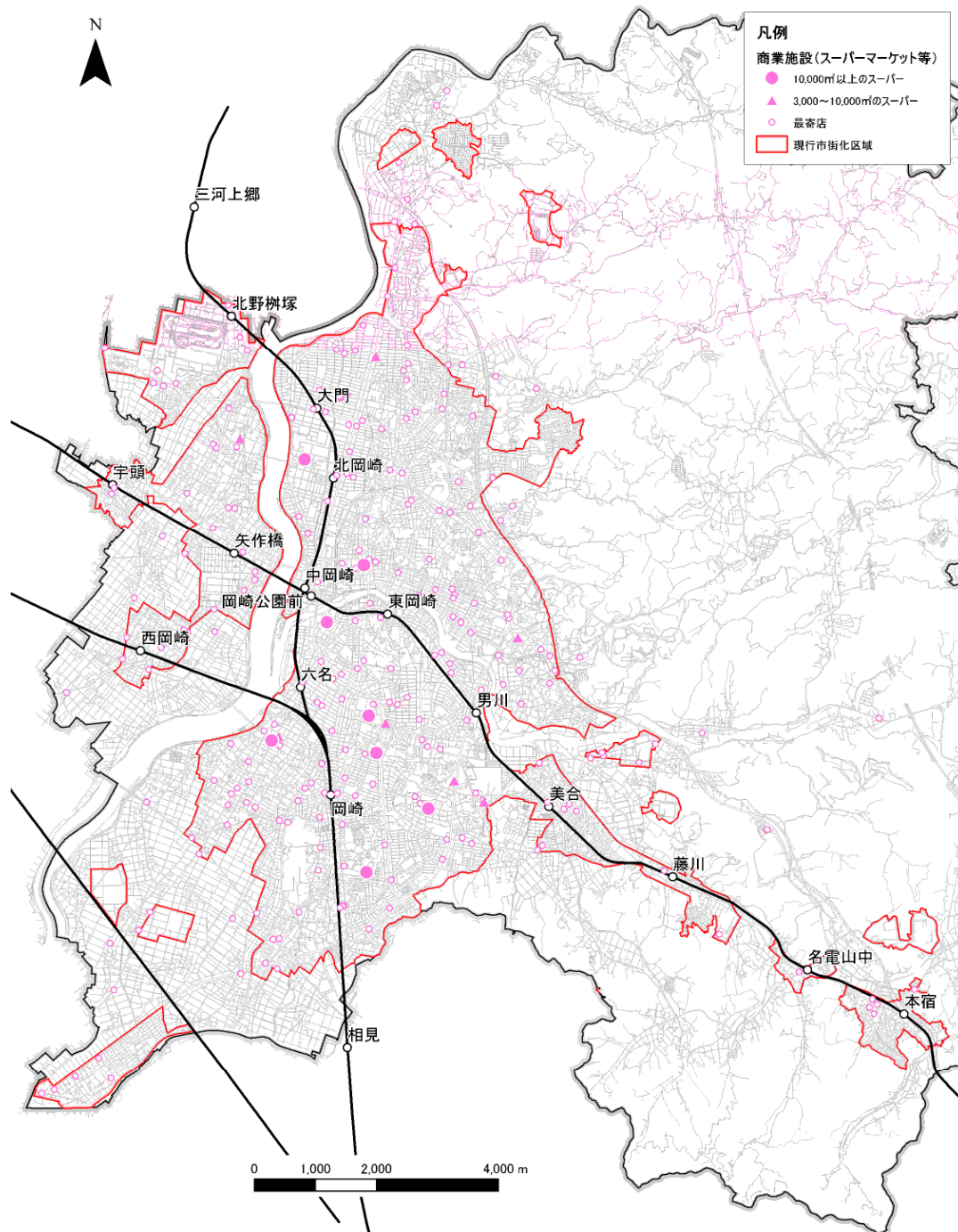


(資料：国土数値情報（H25）、市資料)

⑥ 商業施設

商業施設のうち、床面積が 10,000 m²以上の大規模な商業施設は、東岡崎駅周辺や岡崎駅周辺等の市街化区域内に立地しています。また、日常生活に必要で利用される頻度が高い最寄店は市街化区域全域に立地しています。

図 商業施設立地状況



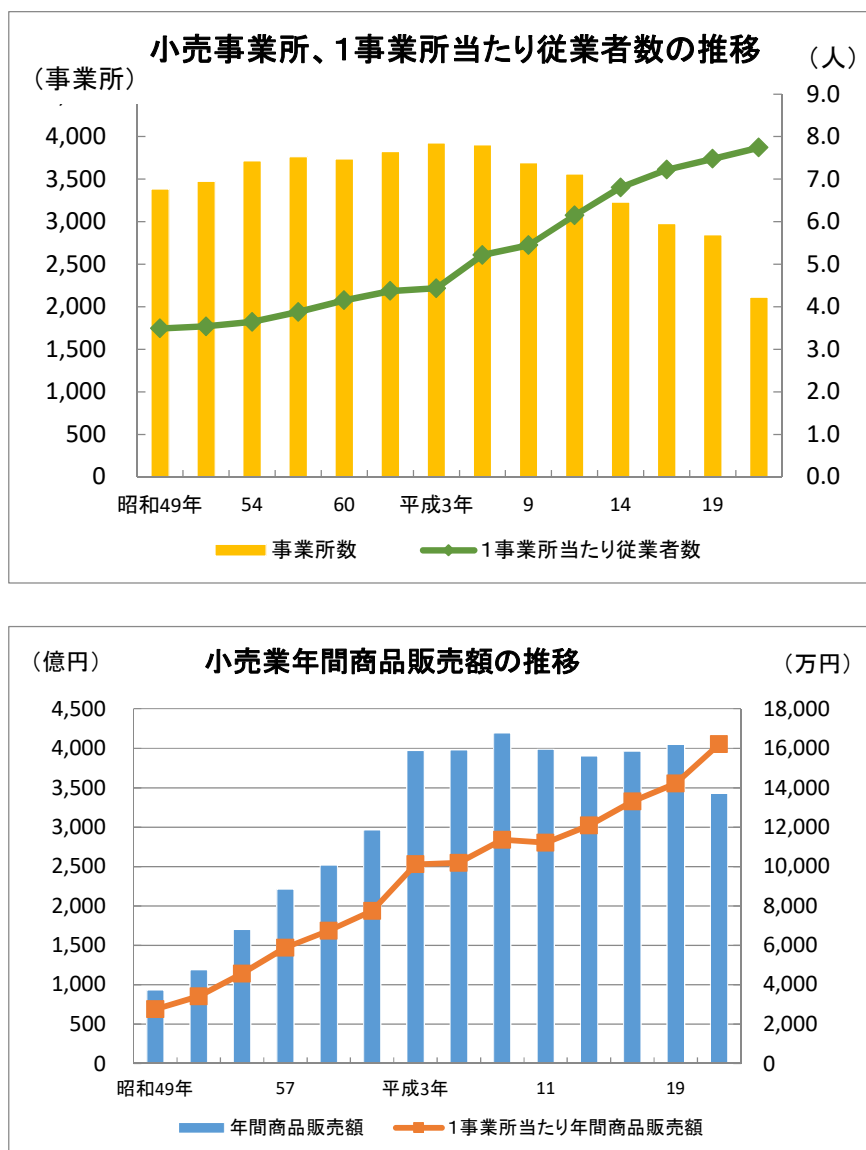
(資料：2015 大型小売店総覧、i タウンページ)

（５）経済活動

① 床面積・床効率の動向

小売業の事業所数は減少する一方、1事業所当たりの従業者数は増加しています。また、全体の年間商品販売額は横ばいからやや減少傾向にある一方、1事業所当たり年間商品販売額は増加しています。

図 小売業の動向

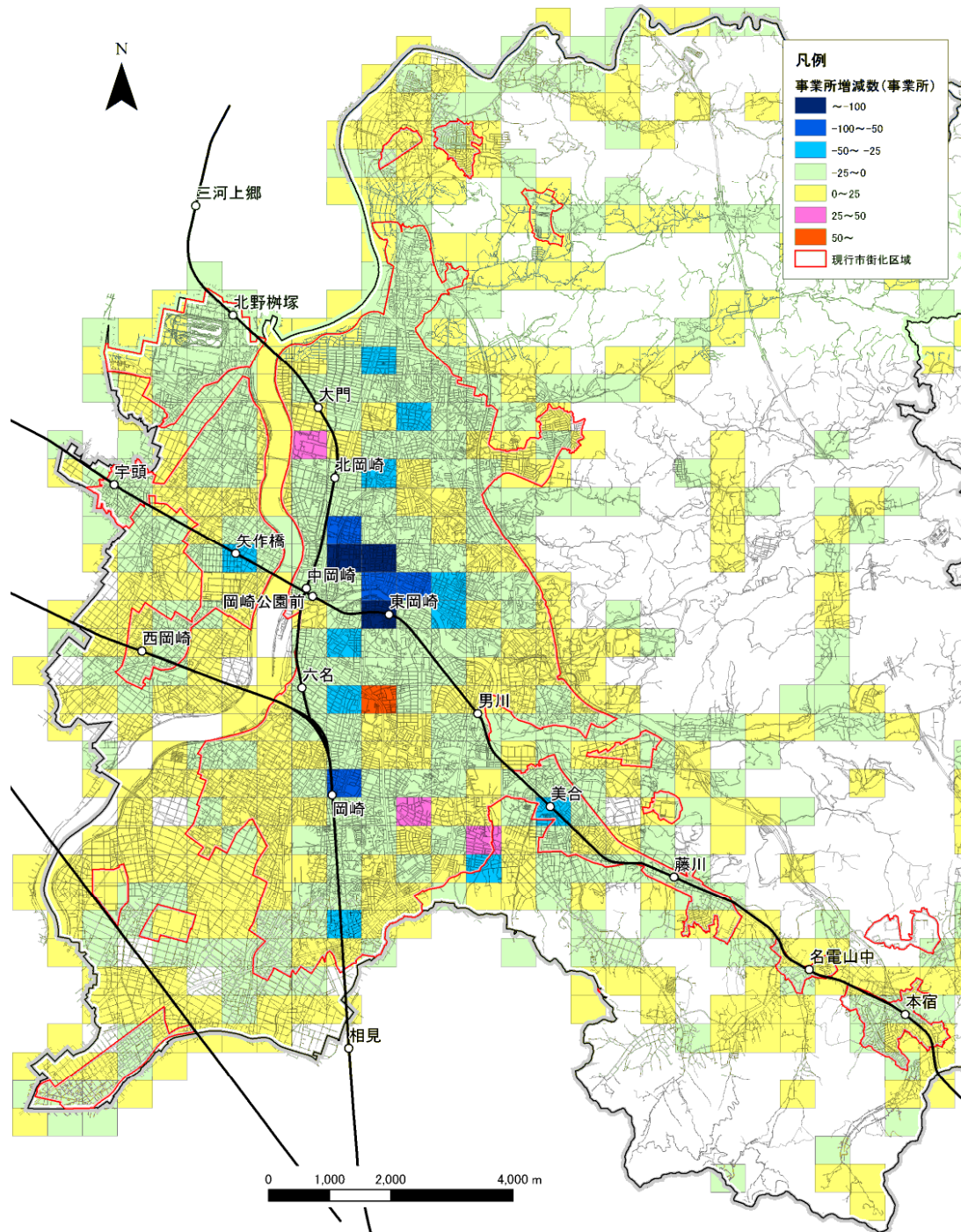


(資料：商業統計)

② 事業所の動向

事業所増減数の分布をみると、東岡崎駅周辺やその北側で事業所数が顕著に減少しています。また、東岡崎駅周辺以外にも岡崎駅や美合駅などの鉄道駅周辺で事業所数が減少している箇所がみられます。

図 全事業所数の動向(平成 13 年～平成 24 年)



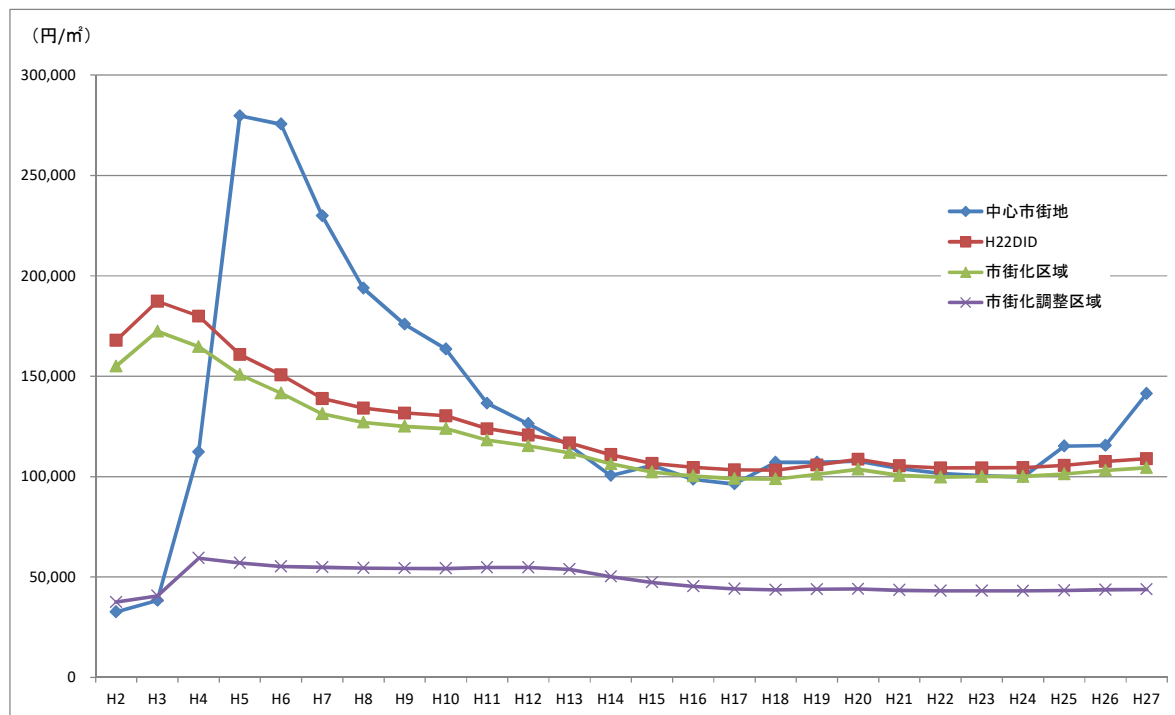
(資料：事業所統計調査、経済センサス)

(6) 地価

地価の動向

D I D、市街化区域、中心市街地の地価は、ほぼ横ばいでしたが、近年やや上昇傾向にあります。

図 岡崎市区域別平均地価公示



※DID、市街化区域の地価は、中心市街地の地価を除く

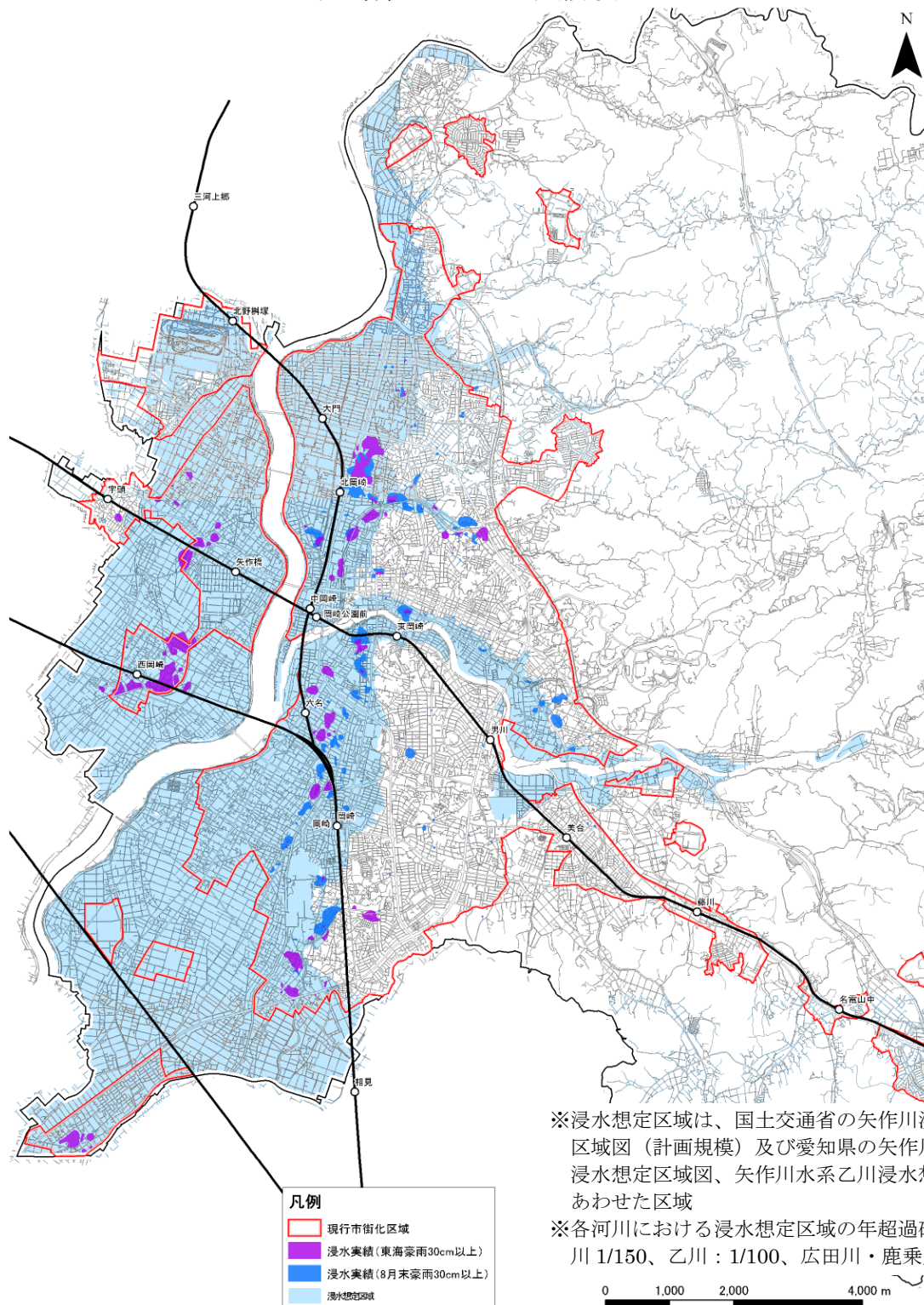
(資料：地価公示)

(7) 災害

災害履歴、各種ハザード区域の状況

東海豪雨、平成 20 年 8 月末豪雨時における浸水実績箇所は、市街化区域内においても分布しています。浸水想定区域は市西部の矢作川周辺や乙川沿いの市街地まで達しています。

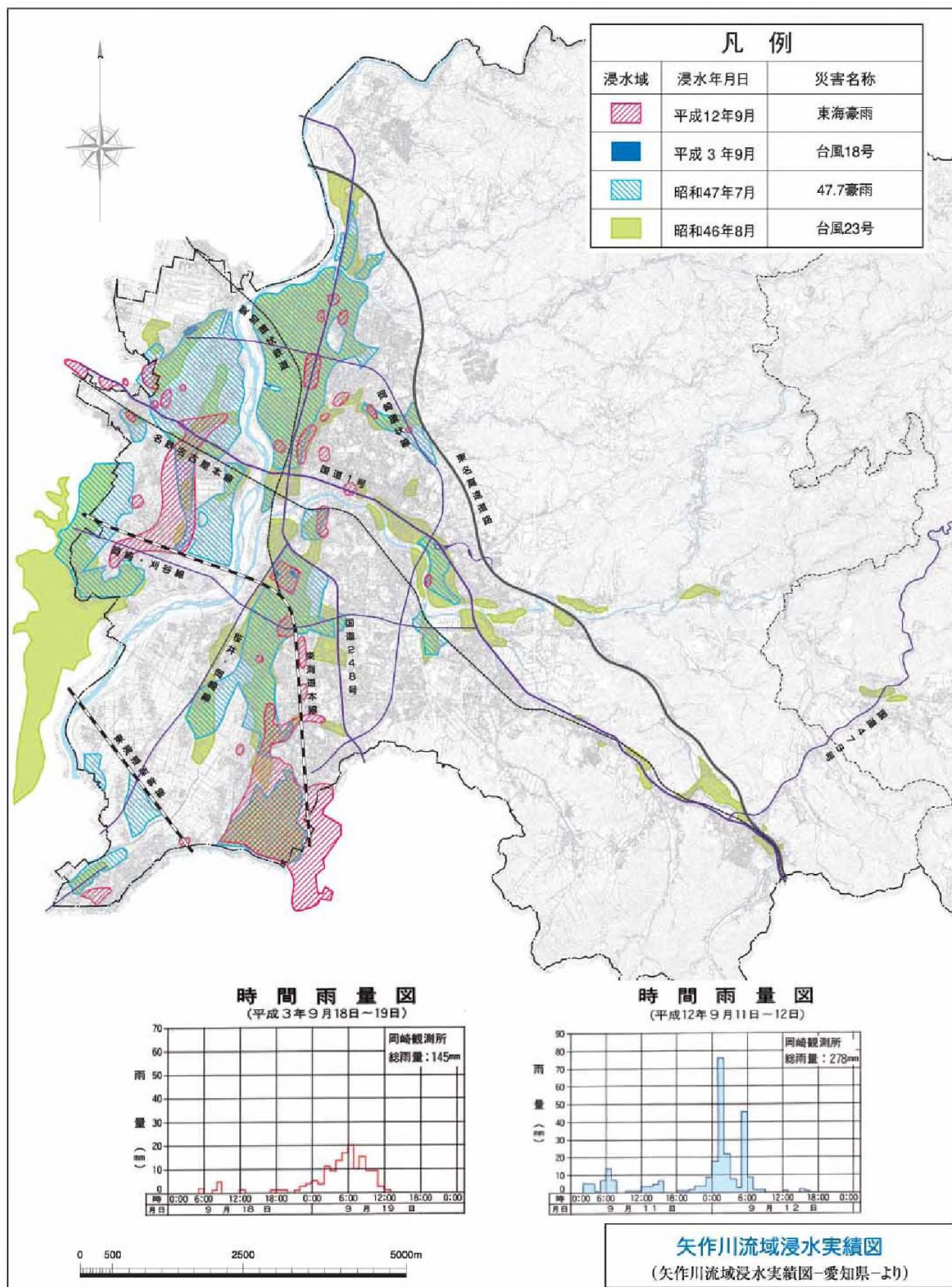
図 各種ハザード区域(浸水)



(資料：国土数値情報、岡崎市浸水深マップ)

東海豪雨以前は、昭和 46 年 8 月の台風 23 号や 47.7 豪雨による浸水実績箇所が市西部を中心に分布しています。

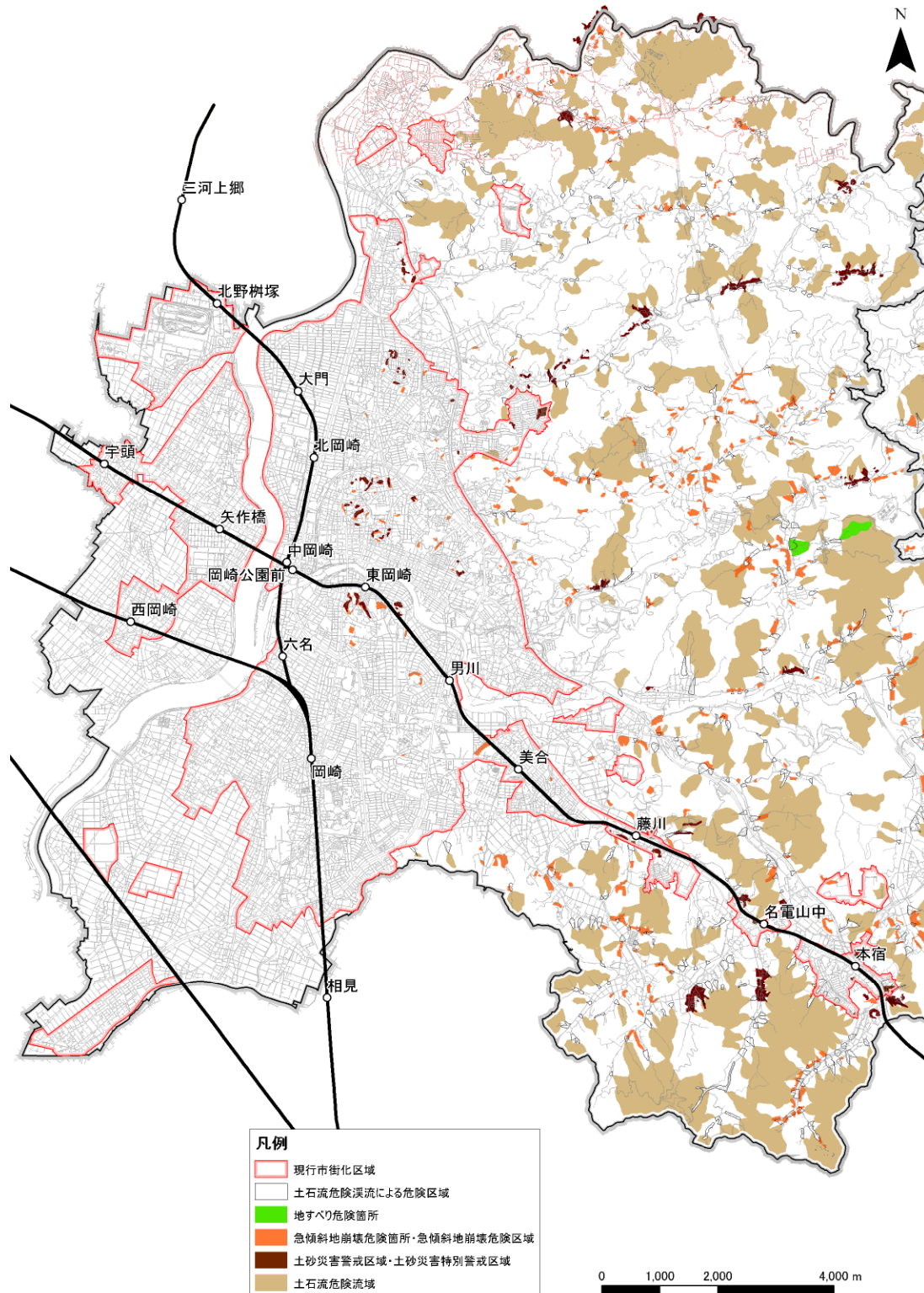
図 矢作川流域の浸水実績図



(資料：市資料)

土砂災害危険箇所等は主に市街化調整区域に指定されていますが、急傾斜地崩壊危険箇所は市街化区域内においても指定されています。

図 各種ハザード区域(土砂災害)

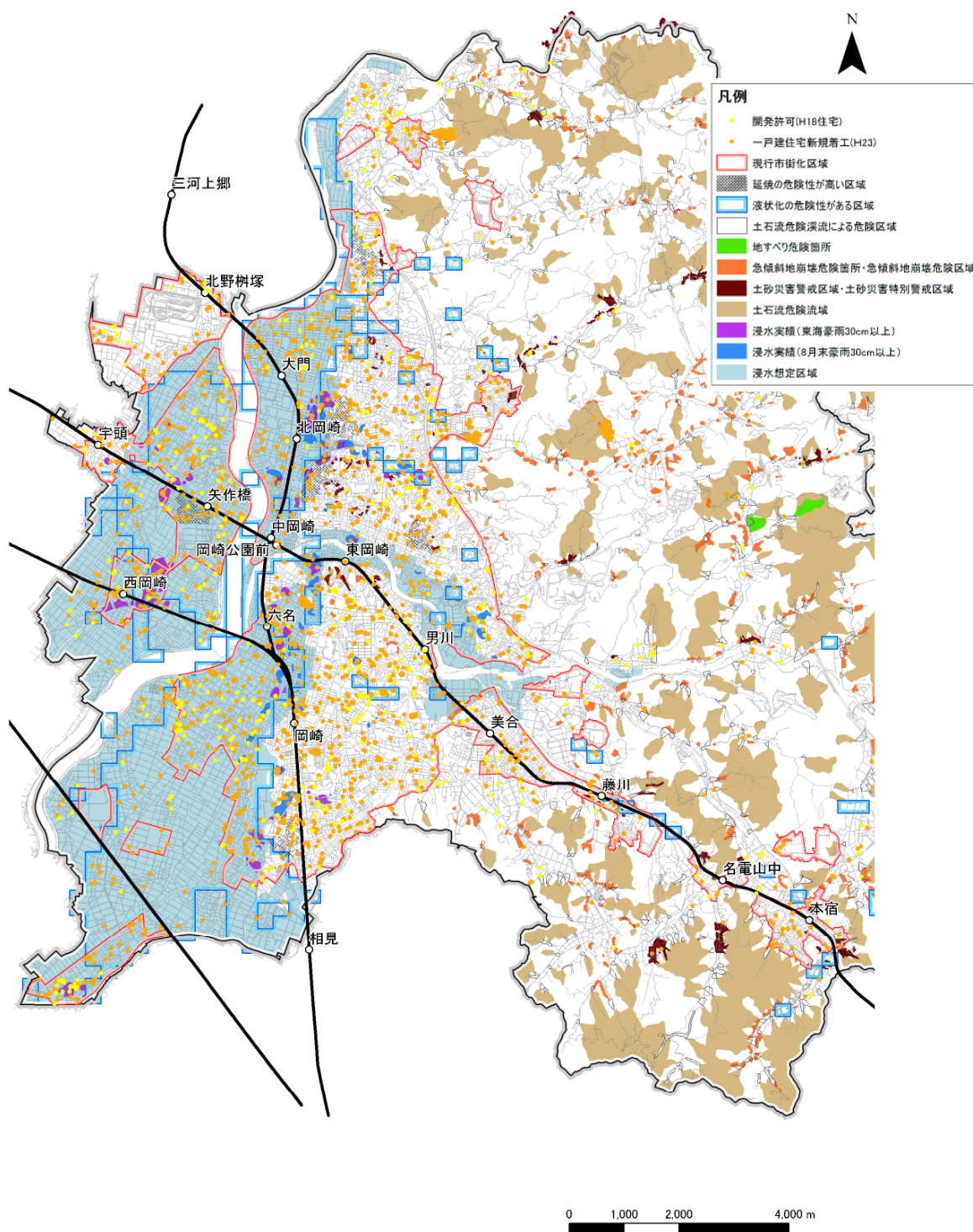


(資料：マップあいち H27 年 4 月時点)

開発許可及び一戸建住宅の新規着工の分布と災害危険箇所を重ね合わせると、浸水実績がある場所や浸水想定区域内においても開発や一戸建住宅の新規着工が行われています。

また、土砂災害の危険箇所では開発や一戸建住宅の新規着工が行われる傾向はないものの、近接している場所では開発や新規着工が行われています。

図 災害危険箇所と開発許可、一戸建住宅の新規着工



(資料：マップあいち H27 年 4 月時点 等)

(8) 財政

歳入・歳出構造

財源別の歳入状況をみると、本市においては市税の割合は高く、平成 29 年度の自主財源の割合は約 6 割となっています。実数ベースでみると、歳入総額が 30 年前の 603 億円から 1,272 億円と増加しているため、自主財源は 402 億円から 742 億円と増加しています。

目的別歳出状況をみると、歳出総額は 30 年前の 584 億円から 1,213 億円と増加するとともに、限られた財源の中で民生費の割合が増加を続けており、土木費の総額は平成 16 年とほぼ同額になっています。

図 財源別歳入状況

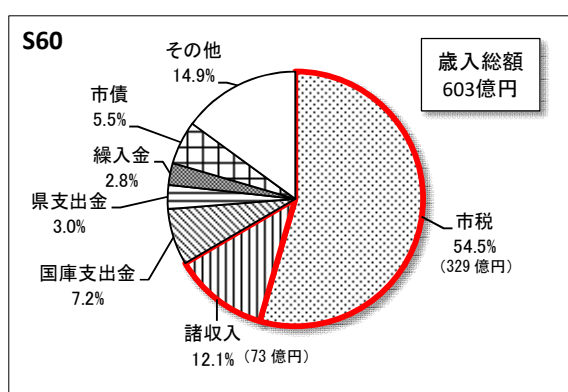
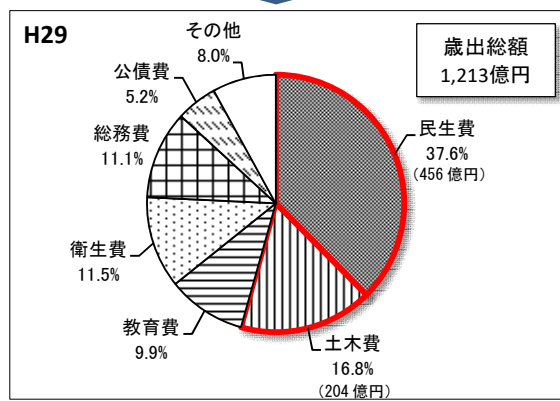
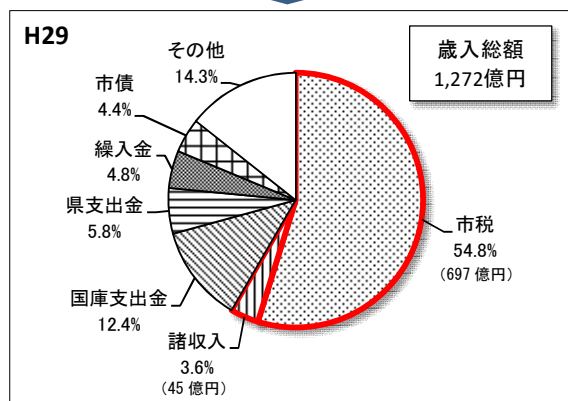
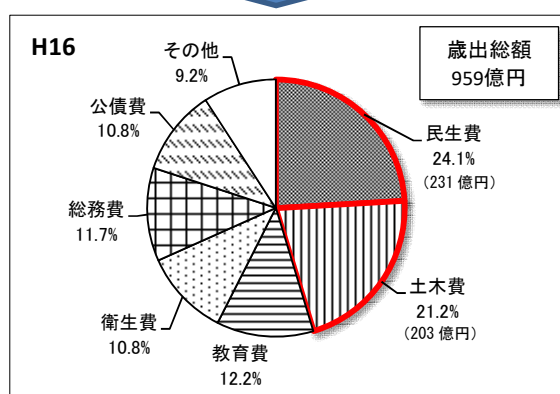
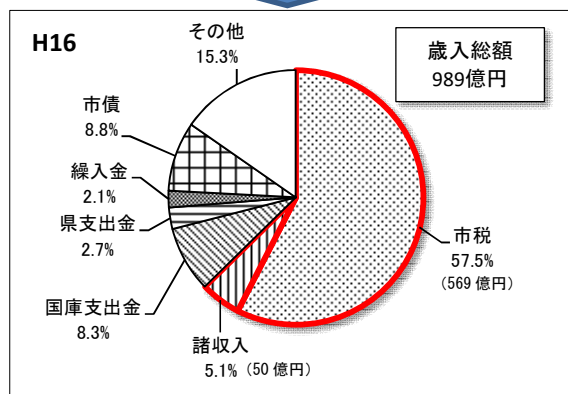
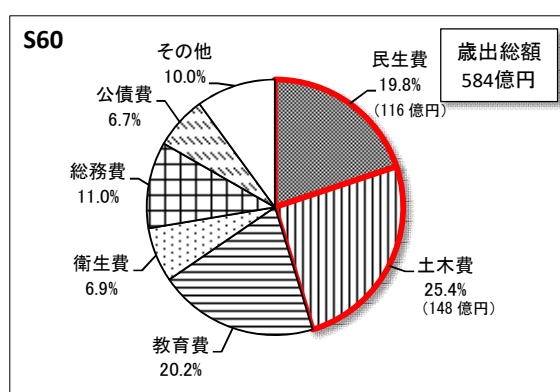


図 目的別歳出状況

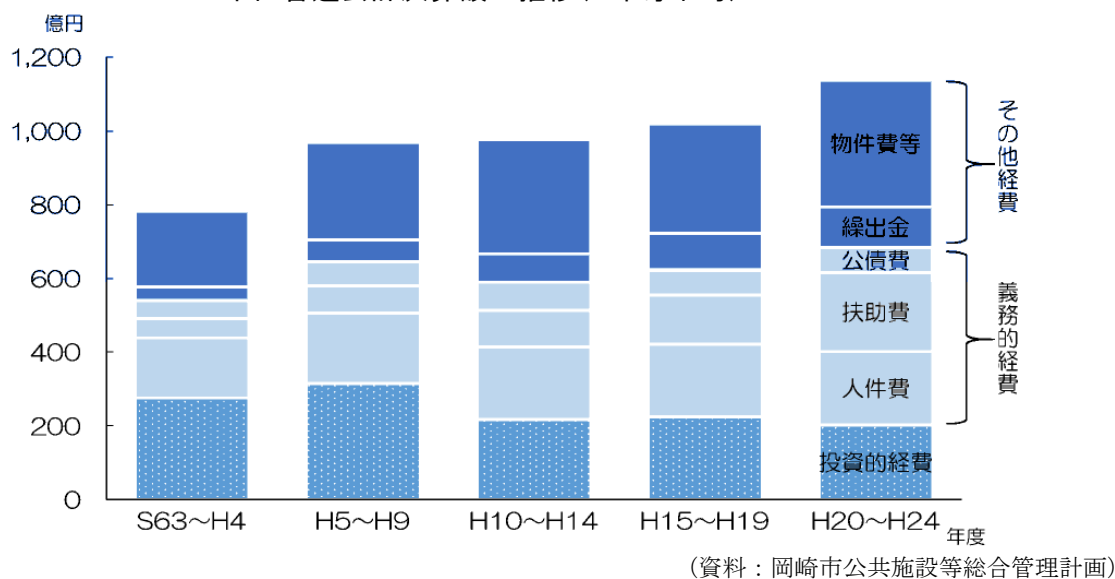


(資料：市統計)

また、普通会計決算額の推移をみると、義務的経費はこの30年で1.8倍になっています。とりわけ扶助費は4.1倍に伸びており、今後も少子高齢化の進行により扶助費が増加すると考えられ、その動向を注視する必要があります。

これに対して、投資的経費は義務的経費及びその他の経費の伸び率に押されるように0.7倍となっており、今後もインフラを含めた公共施設等の整備のための財源は縮小傾向にあると見込まれます。

図 普通会計決算額の推移(5年毎平均)



<注記>

物件費：下記以外のもので、消費的性質の経費の総称。旅費、備品購入費、委託料等

繰出金：普通会計と企業会計との間又は特別会計相互間において支出される経費

公債費：市が発行した地方債の元利償還等に要する経費

扶助費：社会保障制度の一環として法令に基づいて実施する給付等に係る経費

人件費：職員給与や議員報酬等に係る経費

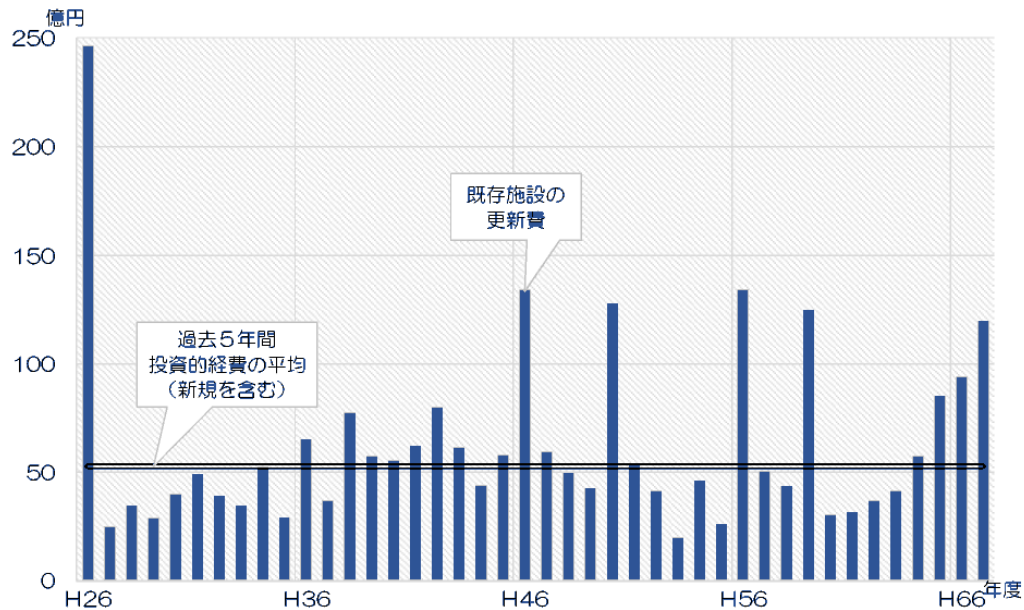
投資的経費：道路、橋りょう、公園、学校の建設等の社会資本の整備等に要する経費

公共施設等の更新費

公共施設等の今後の更新費の試算結果をみると、ハコモノ（建築物）、インフラ共に、今後40年間程度、新規事業を行わずに既存施設の更新のみを行った場合であっても過去5年間の投資的経費の平均累計を上回っています。

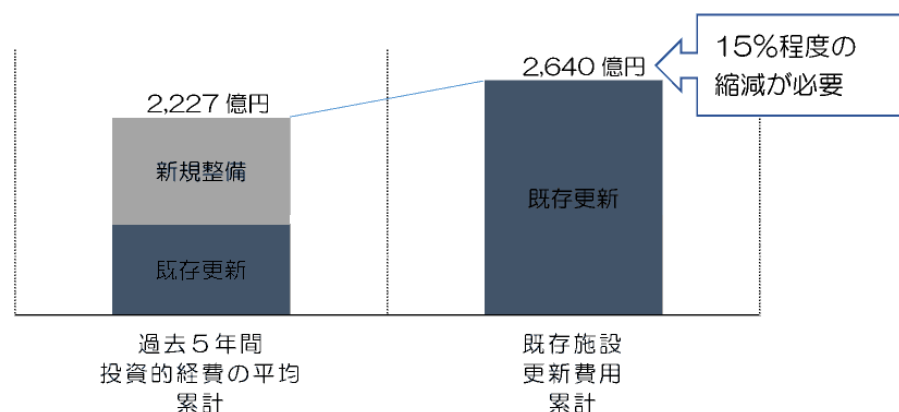
新規整備はもとより、既存の更新を行うためにも、既存更新費用を相当程度縮減する必要があります。

図 ハコモノにかかる更新費試算



(資料：岡崎市公共施設等総合管理計画)

図 計画期間累計額での不足額(ハコモノ)



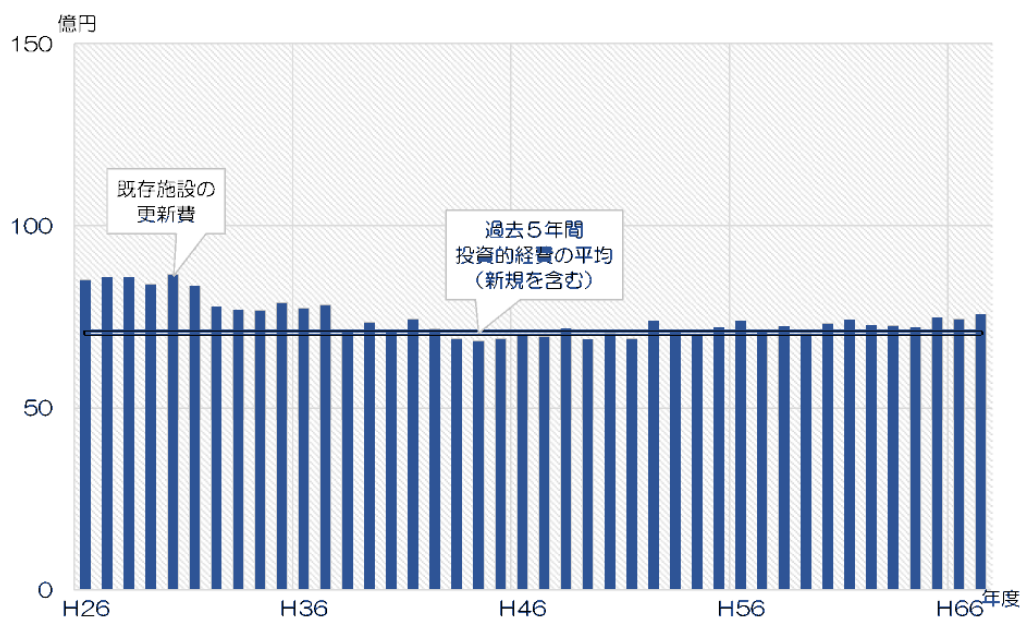
(資料：岡崎市公共施設等総合管理計画)

<注記>

※過去5年間の投資的経費の平均累計:平成21年度から平成25年度の投資的経費の平均値を42年間分(平成26年度から平成67年度まで)累計したもの

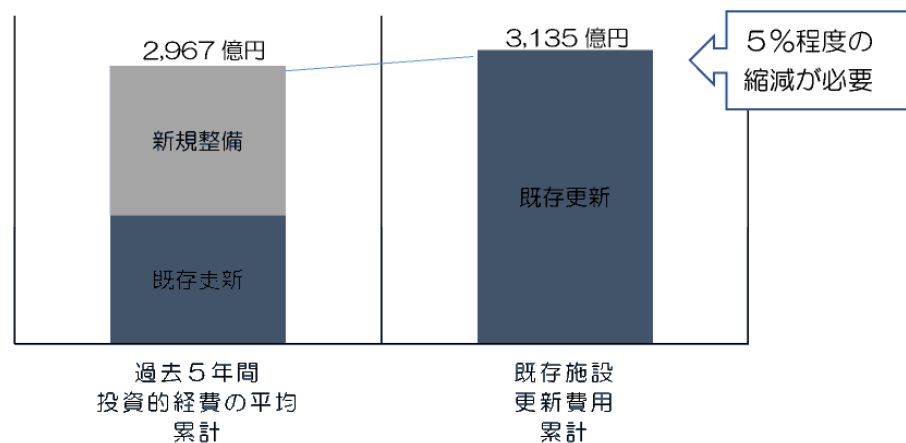
※既存施設更新費用累計:平成26年度から平成67年度までの更新費用の見込みを累計したもの

図 インフラにかかる更新費試算



(資料：岡崎市公共施設等総合管理計画)

図 計画期間累計額での不足額(インフラ)



(資料：岡崎市公共施設等総合管理計画)

<注記>

※過去5年間の投資的経費の平均累計:平成21年度から平成25年度の投資的経費の平均値を42年間分(平成26年度から平成67年度まで)累計したもの

※既存施設更新費用累計:平成26年度から平成67年度までの更新費用の見込みを累計したもの

(9) 現状の都市構造の評価

「都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省）」を用いて、本市の都市構造を市民生活への影響（生活利便性、健康・福祉、安全・安心）、経済活動・財政への影響（地域経済、行政運営）及び環境への影響（エネルギー/低炭素）といった観点から評価したところ、人口が同規模の県内都市（豊橋市、一宮市、春日井市、豊田市）の比較では各評価指標とも、偏差値 50（図の赤ライン）とほぼ同程度、あるいはそれを上回る結果となりました。県内都市の中では、本市は人口や都市機能等が比較的集約された都市構造が形成された都市と評価できます。

一方、全国の類似人口規模の都市（人口規模 30～50 万人の 34 都市）と比較すると、「行政経営」に関する指標は偏差値を上回るものの、他の項目では平均値をやや下回っている指標もあります。

以上より、本市の都市構造の集約度は、おおむね平均程度であると推察できます。

図 ハンドブックに基づく都市構造評価結果（県内類似都市比較）

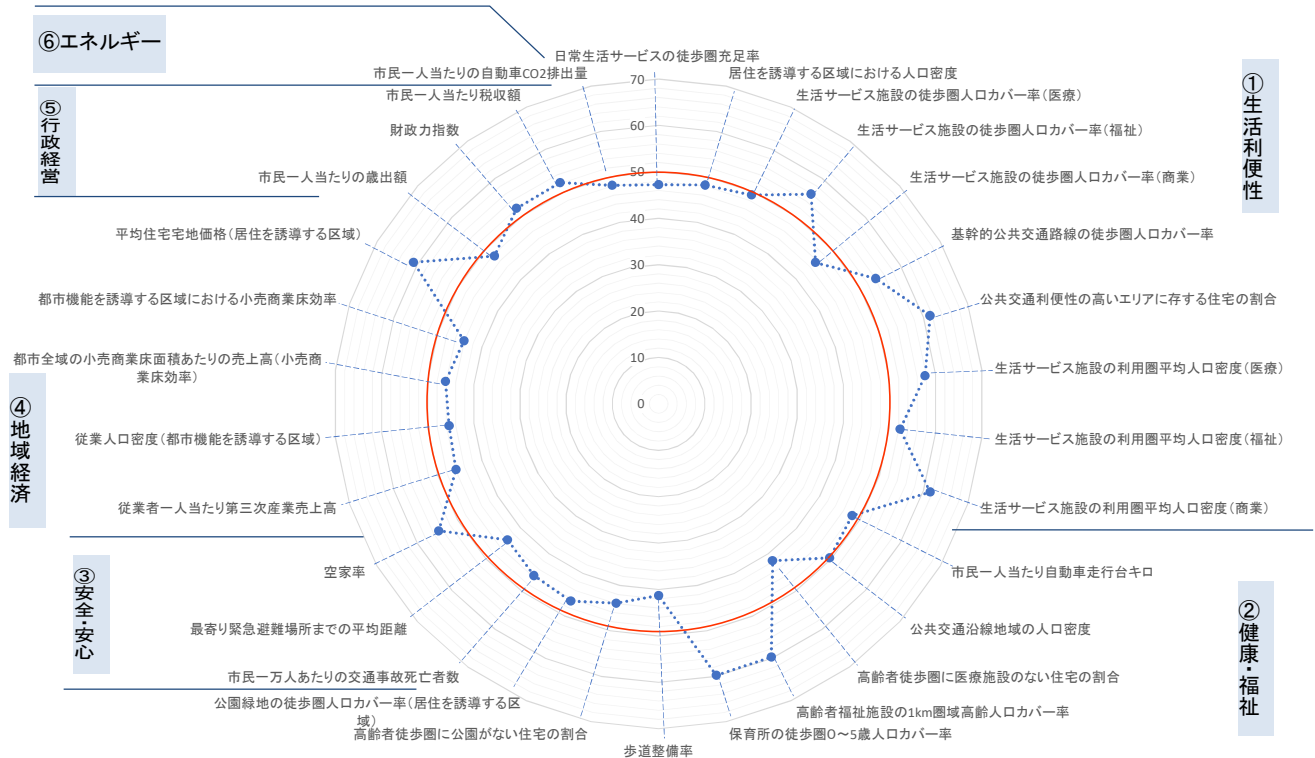
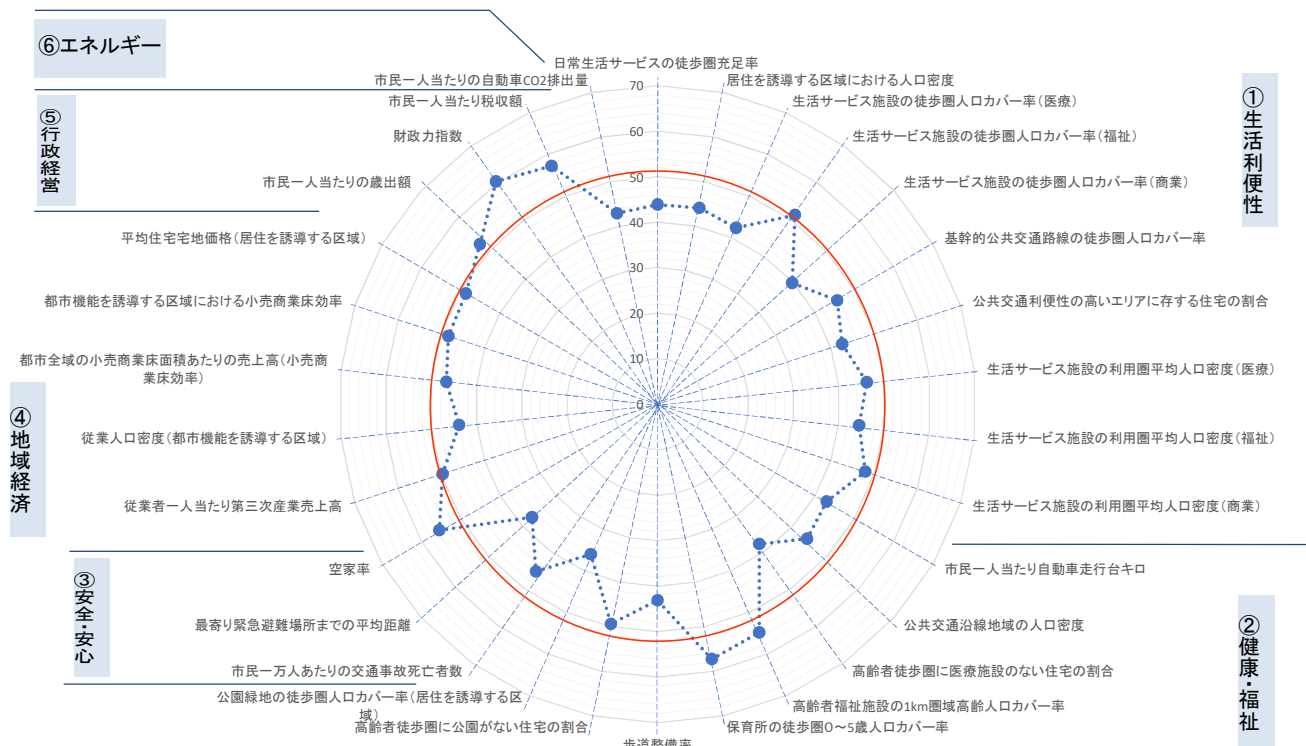


図 ハンドブックに基づく都市構造評価結果(全国類似人口規模の都市比較)



なお、参考までに地区別（支所別）に居住機能や都市機能（生活サービス及び医療福祉）の集約度を徒歩圏人口カバー率及び徒歩圏人口密度でみると、市街化調整区域が多くを占める大平、東部、矢作、六ツ美のほか、大半が都市計画区域外の額田において生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率が低くなっており、人口が拡散している状況が伺えます。

また、大平や東部では、各生活サービスの徒歩圏人口密度が他の地区に比べて低く、人口の拡散とともに各生活サービス施設も広く分散立地する傾向にあることが伺えます。

図 地区別(支所別)の日常生活サービスの徒歩圏カバー率及び人口密度

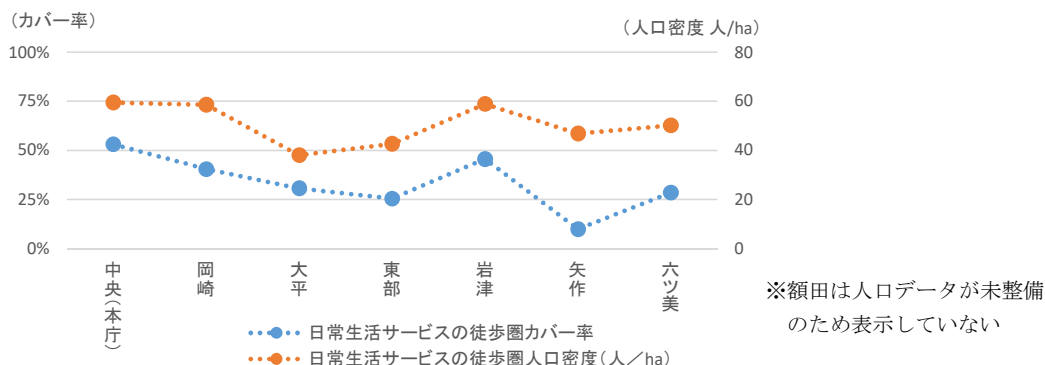


表 都市構造評価ハンドブックにおける現況値算出方法(国土交通省)

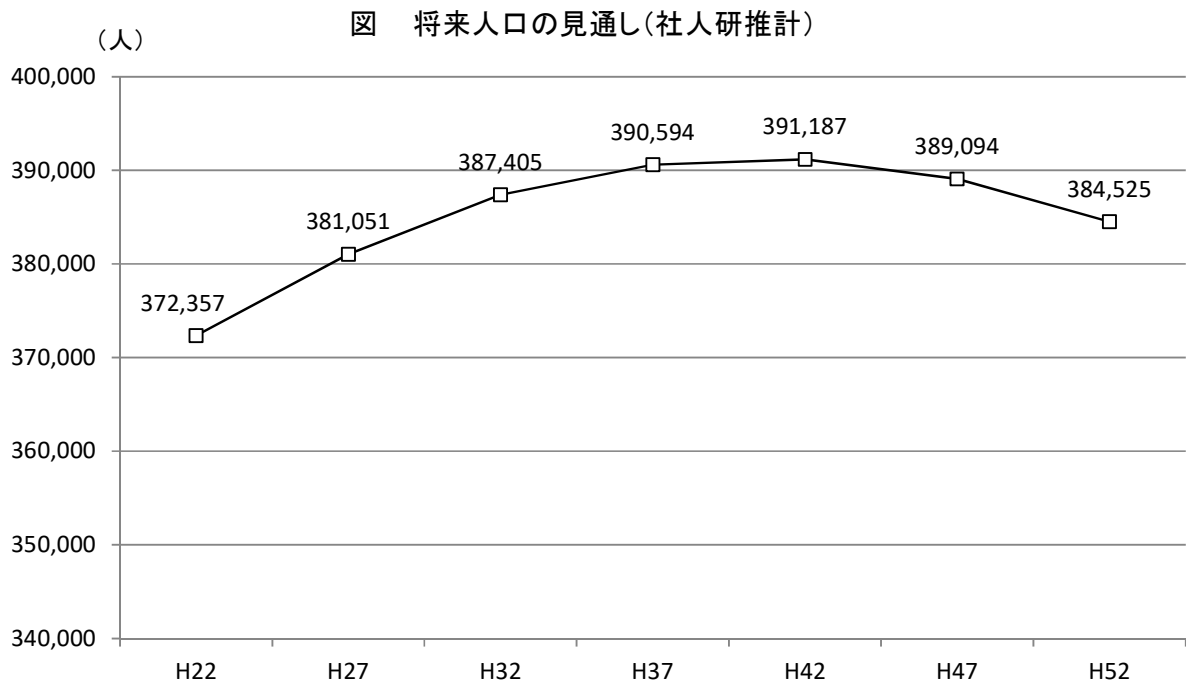
評価分野	評価指標	(概 要)	単位	利用データ	データ整備年次	算出方法
① 生活利便性	■日常生活サービスの徒歩圏充足率	以下の「医療施設」、「福祉施設」、「商業施設」及び「基幹的公共交通路線」を徒歩圏で享受できる市民の割合	%	以下に示す医療、福祉、商業、公共交通のデータ		各施設の徒歩圏の全てが重複するエリアに居住する人口を都市の総人口で除して算出（徒歩圏：バス停は300m、その他は800m）
	■居住を誘導する区域における人口密度	各都市が設定、想定する居住を誘導する区域における人口密度	人/ha	H22国勢調査	H22	居住を誘導する区域を設定し、当該区域における人口密度を算出
	■生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	生活サービス施設の徒歩圏に居住する人口の総人口に占める比率 医療施設：内科又は外科を有する病院・診療所 福祉施設：通所系、訪問系施設及び小規模多機能施設 商業施設：延床面積1,500㎡以上のスーパー、百貨店	医療	国土数値情報 医療施設（病院・診療所で内科または外科を有する施設）	H22	医療施設から半径800mの圏域内人口を都市の総人口で除して算出
			福祉	（公共介護施設） 国土数値情報の施設分類の通所系施設（細区分101、112、113） （民間介護施設） 厚生労働省 介護サービス情報公開システム	H23	福祉施設から半径800mの圏域内人口を都市の総人口で除して算出
					H25	
			商業	商業統計メッシュ（専門スーパー、総合スーパー、百貨店のあるメッシュ）	H19	商業施設を有するメッシュの中心から半径800mの圏域内人口を都市の総人口で除して算出
	■基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	基幹的公共交通路線の鉄道駅、バス停の徒歩圏に居住する人口の総人口に占める比率 基幹的公共交通路線：日30本以上のサービス水準を有する鉄道路線、バス路線	%	「鉄道軌道駅別運行本数データ」 国土数値情報 「鉄道データ」 国土数値情報 「バス停留所データ」	H25.3 H22	運行頻度が片道30本/日以上サービスの水準を有する鉄道駅又はバス停の徒歩圏（鉄道については半径800m、バス停については半径300m）に居住する人口を都市の総人口で除して算出
	□公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合		%	住宅・土地統計調査 都道府県編「最寄交通機関までの距離別住宅数」	H20	市町村別の最寄交通機関までの距離別住宅数の総数に占める、駅まで1km圏内、もしくはバス停まで200m圏内の住宅数の割合
	■生活サービス施設の利用圏平均人口密度	生活サービス施設の徒歩圏の区域における平均人口密度 ※生活サービス施設の対象範囲は上述の通り	人/ha	医療 上記に示すデータ 福祉 上記に示すデータ 商業 上記に示すデータ		医療施設から半径800mの圏域に該当する各メッシュの人口密度を算出し、その平均値を算出 福祉施設から半径800mの圏域に該当するメッシュについて、それぞれの人口密度を算出してその平均値を算出 商業施設を有する各メッシュの人口密度を算出し、その平均値を算出
	■公共交通の機関分担率		%	全国都市交通特性調査 各都市圏のパーソントリップ調査	H22	「鉄道分担率」と「バス分担率」を集計して算出
□市民一人当たりの自動車総走行台キロ		台キロ/人	道路交通センサス	H22	乗用車の市区町村別自動車走行台キロ（台キロ/日）を都市の総人口で除して算出	
■公共交通沿線地域の人口密度		人/ha	国土数値情報 「鉄道データ」 国土数値情報 「バス停留所データ」	H22	鉄道駅から半径800m、及びバス停から半径300mの圏域に該当するメッシュについてそれぞれの人口密度を算出してその平均値を算出	
② 健康・福祉	■メタボリックシンドロームとその予備軍の割合		%	国民健康保険特定健康診断データ	H23	メタボリックシンドロームとその予備軍の該当者数を受診者数で除して算出
	□人口10万人あたり糖尿病入院患者数	人		厚生労働省 患者調査	H23	糖尿病入院患者数を都市人口で除して算出 ※データは三次医療圏単位で整備
	■徒歩・自転車の機関分担率		%	全国都市交通特性調査 各都市圏のパーソントリップ調査	H22	「徒歩分担率」と「自転車分担率」を集計して算出
	□高齢者の外出率		%	全国都市交通特性調査 各都市圏のパーソントリップ調査	H22	高齢者の外出者数を高齢者調査対象者数で除して算出
	■高齢者徒歩圏に医療機関がない住宅の割合		%	住宅・土地統計調査 都道府県編「最寄医療機関までの距離別住宅数」	H20	市町村別の最寄医療機関までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
	■高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率 ※高齢者福祉施設の対象範囲は、上述の福祉施設に同じ。		%	上記「福祉施設」のデータ		高齢者福祉施設の半径1km（※）圏域の65歳以上人口を、都市の65歳以上総人口で除して算出 ※市街化区域等の面積を区域内公立中学校数で除した平均中学校区面積を円で表した場合の半径
	■保育所の徒歩圏0～5歳人口カバー率		%	国土数値情報 「保育所」	H22	保育所の半径800m圏域の0～5歳人口を、都市の0～5歳総人口で除して算出
	■買い物物の移動手段における徒歩の割合		%	全国都市交通特性調査 各都市圏のパーソントリップ調査	H22	「私事目的」の代表交通手段分担率の「徒歩・その他」を集計
	■歩行者に配慮した道路の延長比率（都市機能を誘導する区域）		%	各都市が保有する道路台帳等のデータ		都市機能を誘導する区域内の道路総延長に占める、歩行者専用道路、コミュニティ道路、歩道が設置された道路など歩行者交通に配慮した道路延長の比率を算出
	□歩道整備率		%	道路交通センサス	H22	歩道が設置された道路延長を一般道路実延長で除して算出
③ 安全・安心	■高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合		%	住宅・土地統計調査 都道府県編「最寄公園までの距離別住宅数」	H20	市町村別の最寄公園までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
	□公園緑地の徒歩圏人口カバー率（居住を誘導する区域）		%	国土数値情報 「都市公園データ」	H23	都市公園の位置（代表点）から半径500mの圏域内人口を都市の総人口で除して算出
	□居住を誘導する区域における緑被率		%	各都市が保有する緑被率データ		居住を誘導する区域内の緑被地面積を区域面積で除して算出
	■防災上危険性が懸念される地域に居住する人口の割合		%	各都市が保有するデータ		各都市が防災計画や地域の状況等を踏まえて設定した区域に居住する人口を都市の総人口で除して算出
	■市民一人あたりの交通事故死亡者数	人		（財）交通事故総合分析センター 全国市区町村別交通事故死者数	H22	1万人あたり死者数
	■公共空間率（居住を誘導する区域）		%	国土数値情報 「都市公園データ」 各都市が保有する道路台帳等のデータ	H23	居住を誘導する区域内に存する公園・緑地の面積と道路面積の合計面積を区域面積で除して算出
	■最寄り緊急避難場所までの平均距離	m		住宅・土地統計調査 都道府県編「最寄の緊急避難場所までの距離別住宅数」	H20	最寄の緊急避難場所までの距離別住宅数に、距離帯の中間値を乗じた値を合計し、住宅総数で除して算出
■空き家率		%	住宅・土地統計調査	H20	空き家数（その他住宅）を住宅総数で除して算出	

評価分野	評価指標	単位	利用データ	データ整備年次	算出方法
④ 地域経済	■従業者一人当たり第三次産業売上高	百万円	経済センサス 第3次産業（電気・ガス、情報通信業、運輸業、金融業等の業務分類（F～R））の売上金額合計	H24	第三次産業売上高を第三次産業従業者人口で除して算出
	■従業人口密度（都市機能を誘導する区域）	人/ha	H22国勢調査	H22	都市機能を誘導する区域に該当するメッシュにおける従業者人口密度の平均値を算出
	■都市全域の小売商業床面積あたりの売上高(小売商業床効率)	万円/㎡	経済センサスー活動調査 卸売業・小売業に関する集計 産業編(市区町村表)	H24	都市全域における小売業の年間商品販売額を小売業の売場面積で除して算出
	■都市機能を誘導する区域における小売商業床効率	万円/㎡	H19商業統計メッシュ（500m）	H19	都市機能を誘導する区域に該当するメッシュにおける小売業の年間商品販売額を小売業の売場面積で除して算出
	■平均住宅地価（居住を誘導する区域）	千円/㎡	地価公示 公示価格	H25	居住を誘導する区域内の用途区分が住宅地に該当する公示地価の平均値を算出
⑤ 行政運営	■市民一人当たりの都市構造に関連する行政経費	千円	下記関連行政コストの算出の考え方を参照		
	□市民一人当たりの歳出額	千円	統計で見る市区町村のすがた 「歳出決算総額」	H24	歳出決算総額を都市の総人口で除して算出
	□財政力指数	—	統計で見る市区町村のすがた、または、総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧「財政力指数」	H24	財政力指数
	■市街化調整区域等における開発許可面積の市街化区域等における開発許可面積に対する割合（過去3年間の平均値）	%	各都市が保有する開発許可等のデータ	H22～H24	過去3年間の市街化調整区域等における開発許可面積の年平均値を、過去3年間の市街化区域等における開発許可面積の年平均値で除して算出
	■市民一人当たり税収額（個人市民税・固定資産税）	千円	統計で見る市区町村のすがた 「市町村民税」、「固定資産税」	H22	市町村民税及び固定資産税の総額を都市の総人口で除して算出
⑥ エネルギー／低炭素	■市民一人当たりの自動車CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	（自動車走行台キロ） H22道路交通センサス （台キロあたりガソリン消費量） 国土交通白書	H22	小型車の自動車交通量（走行台キロ/日）に、実走行燃費を除いて燃料消費量を求め、燃料別CO ₂ 排出係数（ガソリン）を乗じて、年換算してCO ₂ 排出量を算出
	■家庭部門における一人当たりのCO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	都道府県別エネルギー消費統計 「家庭部門CO ₂ 排出量」	H22	県単位の家庭部門CO ₂ 排出量／県人口 ※「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」に掲載された換算法により、市町村単位でCO ₂ 排出量を算出することも可能。
	■業務部門における従業者一人当たりのCO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	都道府県別エネルギー消費統計 「業務部門CO ₂ 排出量」	H22	県単位の業務部門CO ₂ 排出量／県従業者人口 ※「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」に掲載された換算法により、市町村単位でCO ₂ 排出量を算出することも可能。
	□新築建築物の省エネ基準達成率	%	各都市が保有するデータ		

4 将来都市構造の見通し

(1) 人口の将来見通し

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とする。）の実施した「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）」によると、本市の人口は平成 42 年頃をピークに減少に転じますが、平成 27 年と 25 年後の平成 52 年の人口を比較すると、人口は平成 52 年までに約 3,500 人程度増加していることが見込まれています。



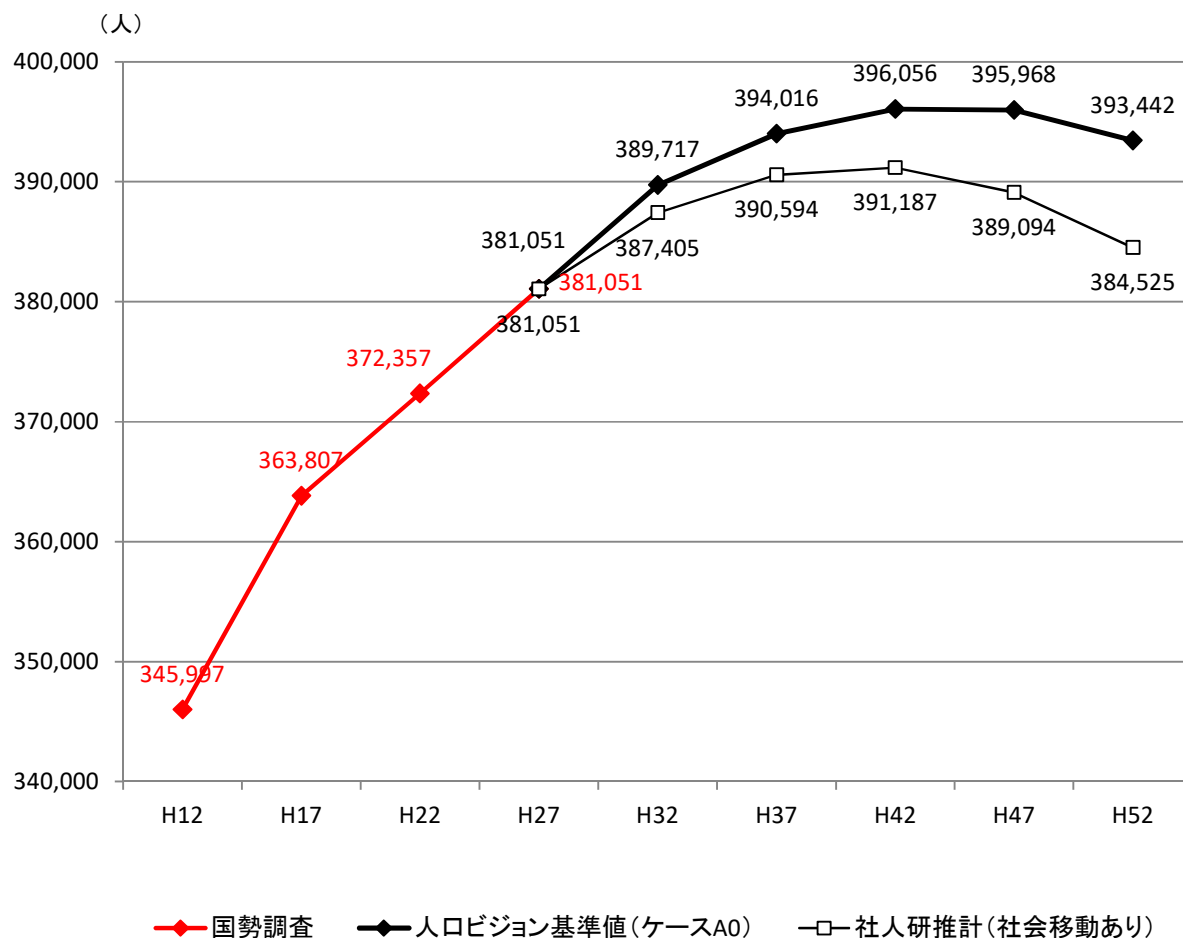
（資料：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年）推計）

立地適正化計画の必要性や基本的な方針を定める上で前提となる将来の人口等の見通しについては、都市計画運用指針に則り、この社人研推計を採用します。

一方、現在本市では、岡崎市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」とする。）を策定しており、そこでは次ページに示す将来人口推計値（人口ビジョン基準値ケース A0）を採用しています。この推計からは、本市の人口は平成 42 年頃まで増加が続くことが見込まれています。

このように人口増加が続くのは、本市が愛知県の産業の中でも、最も重要な位置づけにある製造業を支える西三河地域の中心地であり、また、自動車産業等の第二次産業をはじめとした安定した雇用の場が市内及び周辺地域に存在し、全国から若年層を中心とした人口を引き寄せるといった「産業と良好な居住環境を背景とした社会増（転入超過）」が大きな要因であると言えます。

図 将来人口の見通し(社人研推計)と人口ビジョンの比較

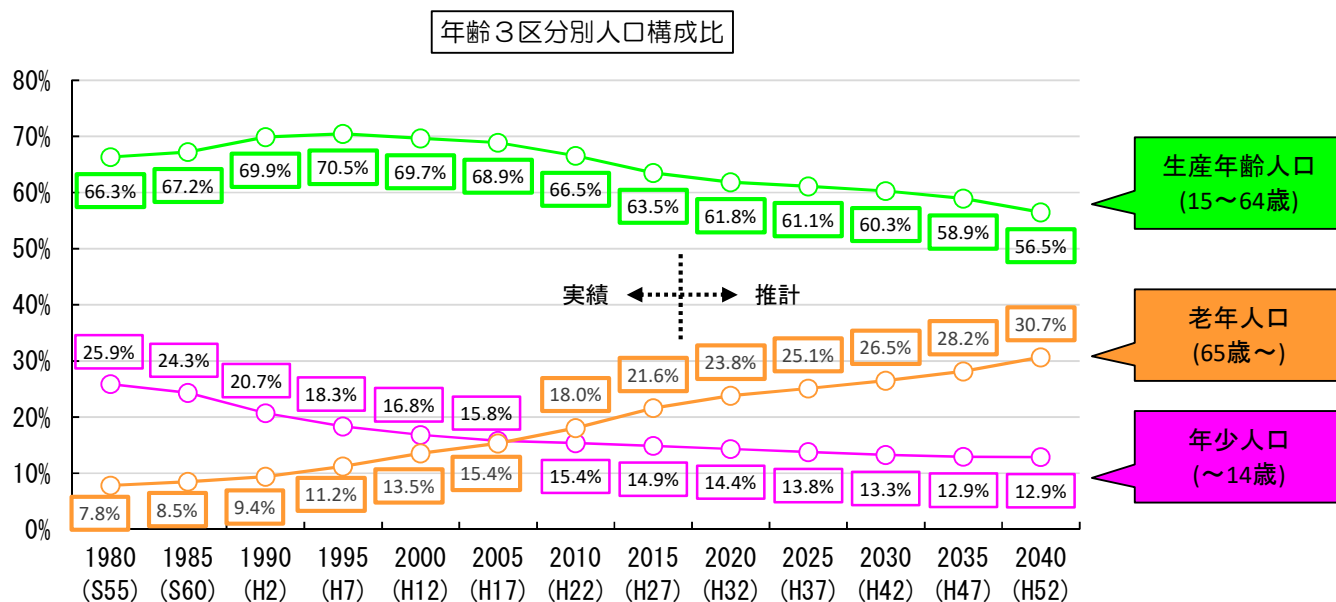
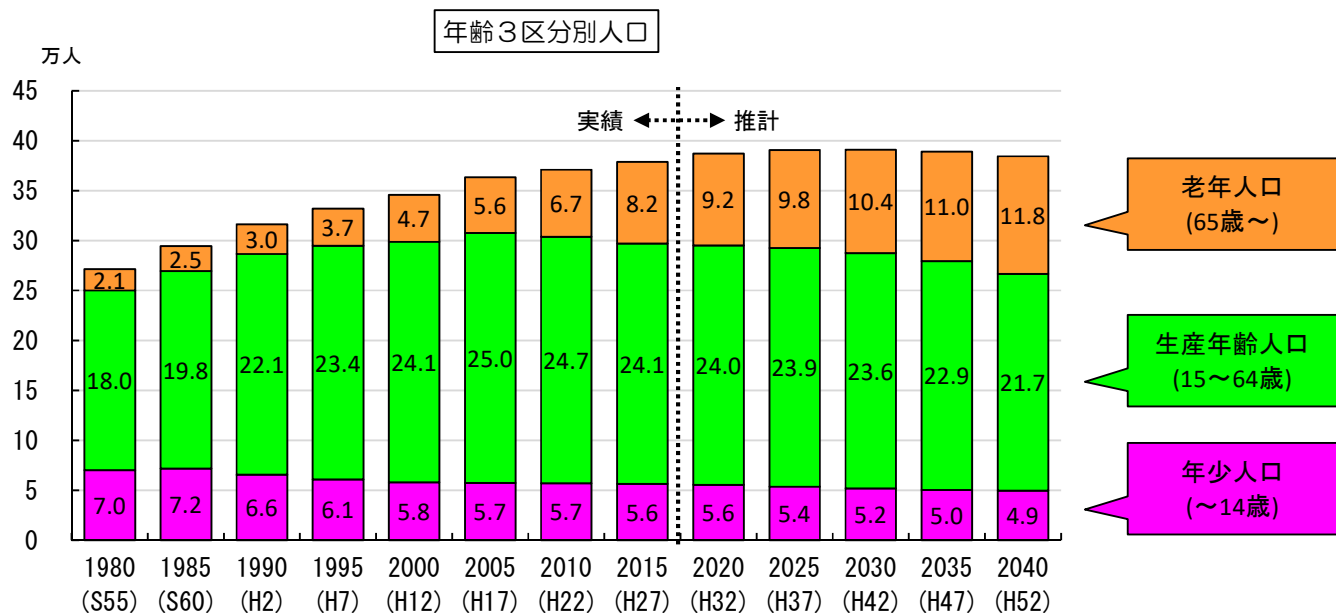


(資料：国勢調査、岡崎市人口ビジョン、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年）

そこで、今後人口ビジョンで示されている将来人口を目指す場合には、社会増をもたらす流入人口を本計画において定める居住誘導区域へ積極的に誘導するとともに、今後の人口動向によっては（さらなる社会増が見込まれるような場合には）、不断の見直しの中で、拡大を含めた居住誘導区域の見直し等を検討していくこととします。

また、本市が実施した年齢3区分別の将来人口によると、今後、老年人口（65歳以上）が実数、構成比ともに増加していく見込みとなっています。一方、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少していくことになります。このように本市においても少子高齢化が進行していく見込みとなっています。

図 年齢3区分別人口の将来見通し(社人研推計)



※昭和55年～平成27年は「国勢調査」（総務省）

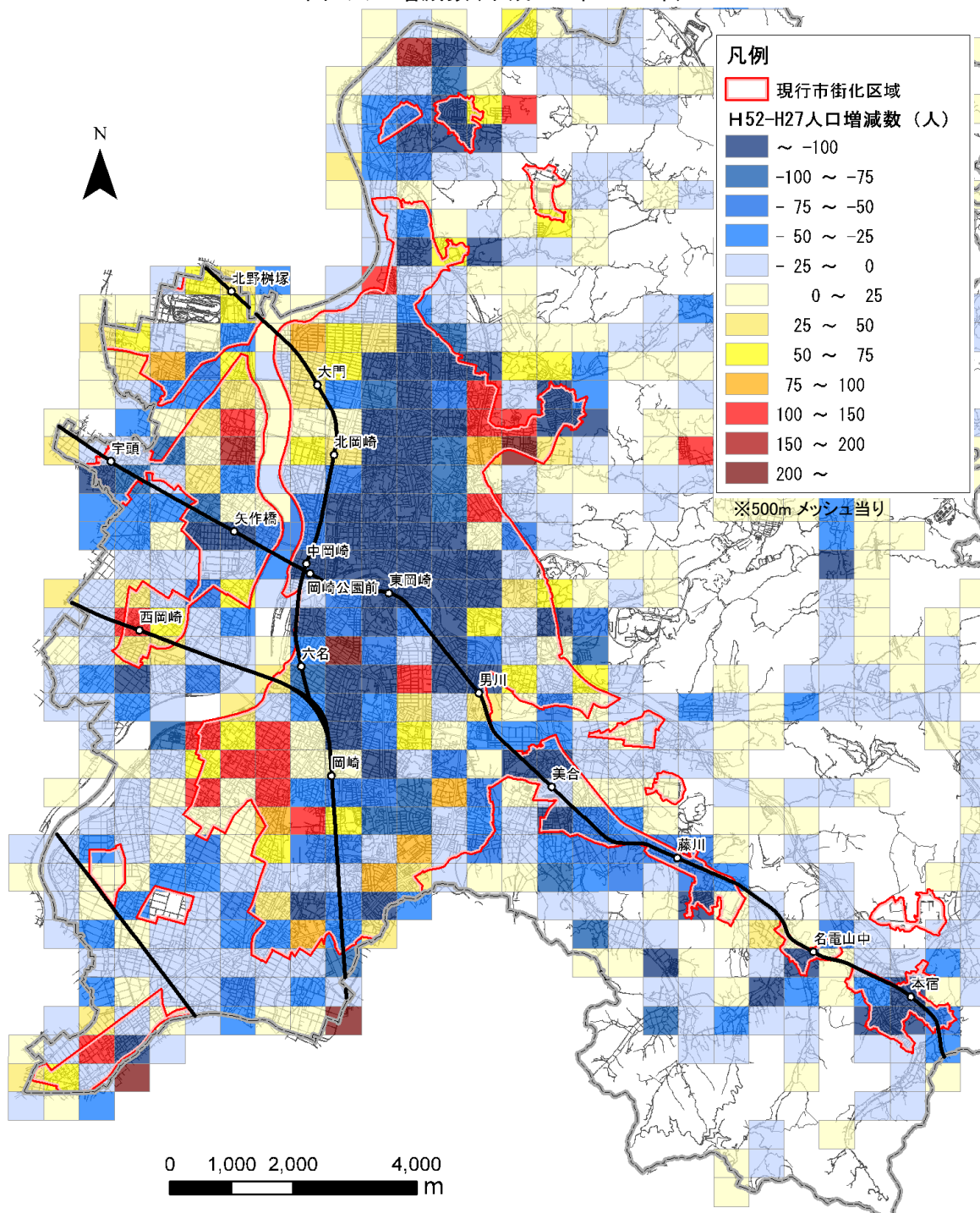
※旧額田町を含む（S55年～H17年）

(2) 人口の分布動向

平成 27 年の国勢調査人口（500mメッシュ人口）を基にした推計（コーホート要因法による推計、封鎖人口を仮定）では、市街地の中心部で人口減少が見込まれ、特に、東岡崎駅から大樹寺にかけての（都）岡崎駅平戸橋線沿道で、古くからの既成市街地（昭和 35 年 DID）でもある地区を中心に大きく人口が減少することが見込まれます。

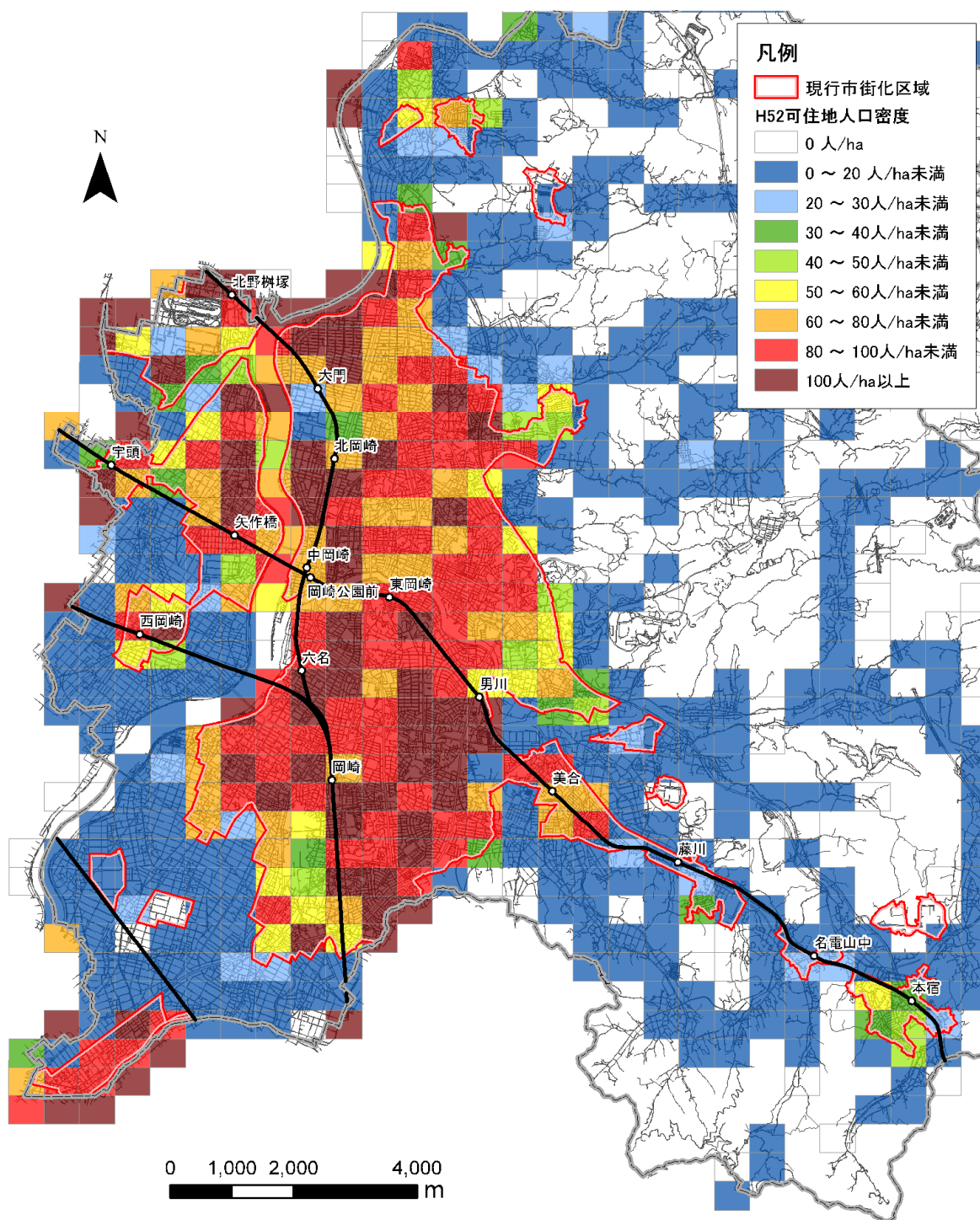
したがって、政策的な社会移動を加味せず、現在の人口が趨勢的に推移した場合、都心ゾーンや基幹的な公共交通軸の沿線では人口減少に伴い、商業、医療、福祉といった都市機能や一定のサービス水準を備えた公共交通を維持していくための人口集積（密度）が低下することが見込まれます。

図 人口増減数(平成 27 年～52 年)



平成 52 年の可住地人口密度をみると、土地区画整理事業等による比較的新しい住宅地においては当面大きな人口減少は見込まれず、一定の都市機能維持に必要な人口密度（おおむね 60 人/ha）が保たれる見込みです。

図 可住地人口密度(平成 52 年)



本市内の主要鉄道駅及び基幹バス路線の利用圏域人口を推計すると、下表のような結果となります。これをみると、市街地縁辺部の公共交通利用圏域人口密度は大きな変化がない一方、中心市街地の東岡崎駅や、基幹バス路線のうち都心ゾーンの一体性を高める大樹寺～東岡崎駅～岡崎駅をつなぐ路線の利用圏域人口密度は大きく低下することが見込まれます。

図 主要駅勢圏・バス基幹軸人口増減(平成 27 年～平成 52 年)

		可住地面積 (ha)	H27人口 (人)	H27可住地 人口密度 (人/ha)	H52人口 (人)	H52可住地 人口密度 (人/ha)	H52-H27人口 増減率 (%)	H52-H27人口 密度増減 (人/ha)
市街化区域		5,796.00ha(うち工業専用地域:266ha)						
東岡崎駅	1km圏域	157.62	16,055	101.9	14,311	90.8	-10.9%	-11.1
岡崎駅	1km圏域	200.63	19,022	94.9	18,885	94.2	-0.7%	-0.7
大門駅	500m圏域	54.19	2,705	50.0	2,780	51.4	2.8%	1.4
矢作橋駅	500m圏域	58.60	5,445	93.0	5,126	87.5	-5.9%	-5.5
西岡崎駅	500m圏域	45.38	4,917	108.4	5,146	113.4	4.6%	5.0
美合駅	500m圏域	42.06	4,293	102.1	4,111	97.8	-4.2%	-4.3
本宿駅	500m圏域	29.04	2,269	78.2	1,991	68.6	-12.3%	-9.6
バス基幹軸 (岡崎駅～東岡崎駅～大樹寺区間)	300m圏域	179.30	18,523	103.4	16,349	91.2	-11.8%	-12.2
バス基幹軸 (その他区間)	300m圏域	747.52	69,556	93.1	66,253	88.7	-4.7%	-4.4
その他		2,102.64	202,078	96.2	180,860	86.1	-10.5%	-10.1
		3,616.98	326,341	90.3	315,811	87.4	-3.2%	-2.9

※可住地面積は、H25 年度都市計画基礎調査による

※H27 人口は、国勢調査 500mメッシュ人口

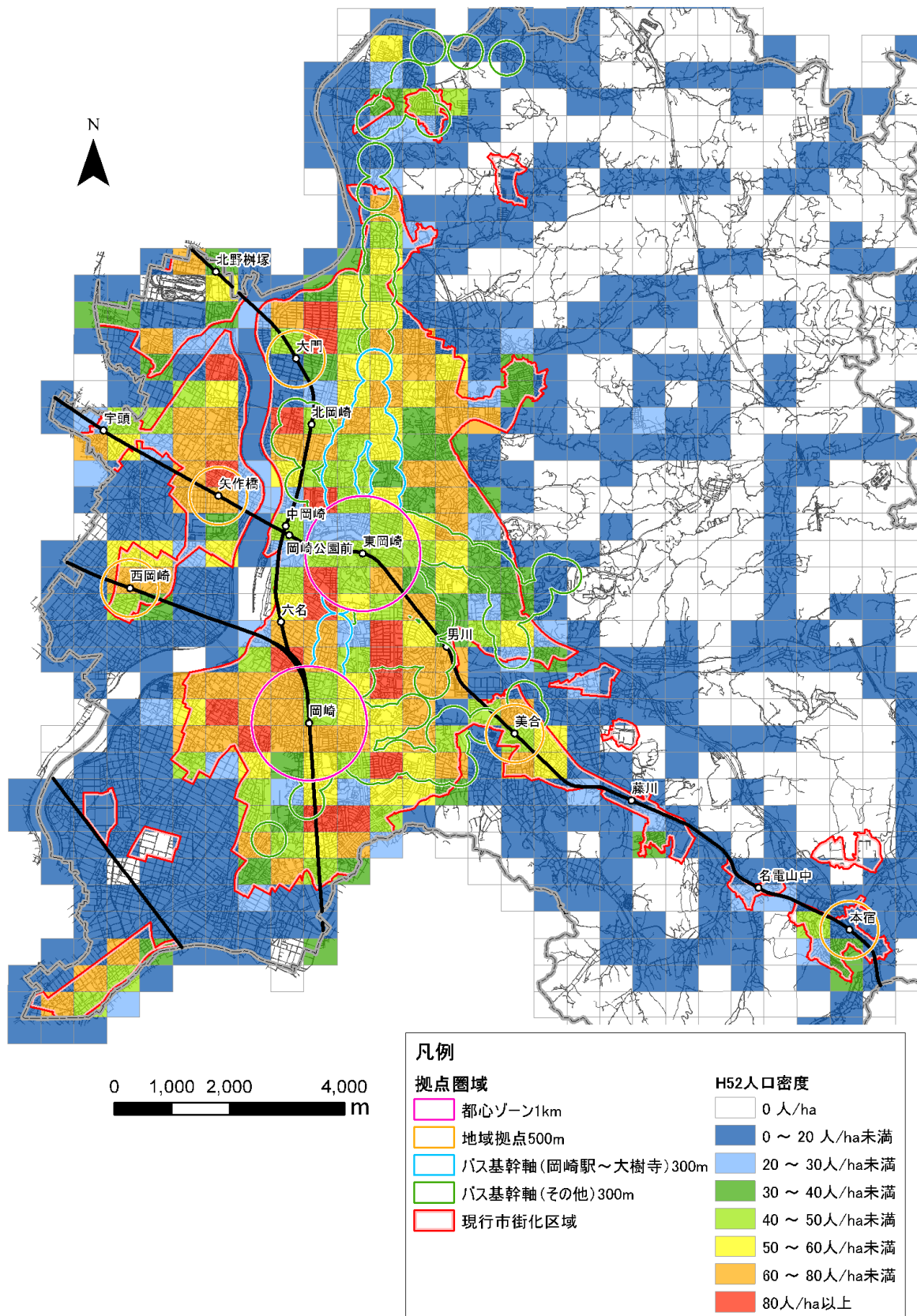
※H52 人口は、国勢調査 500mメッシュ人口を基準にコーホート要因法(封鎖)による推計値(仮定値は国立社会保障・人口問題研究所平成 30 年 3 月推計における仮定値を採用)

※各年圏域人口は、500mメッシュ人口に基づく推計値(住宅地面積比率による按分)

(参考)国立社会保障・人口問題研究所による H52 年推計人口(封鎖人口)は、366,508 人

※基幹バス路線は、バス基幹軸に位置づけられた路線のうち、都心ゾーンの一体性を高める大樹寺～東岡崎駅～岡崎駅をつなぐ路線を抽出

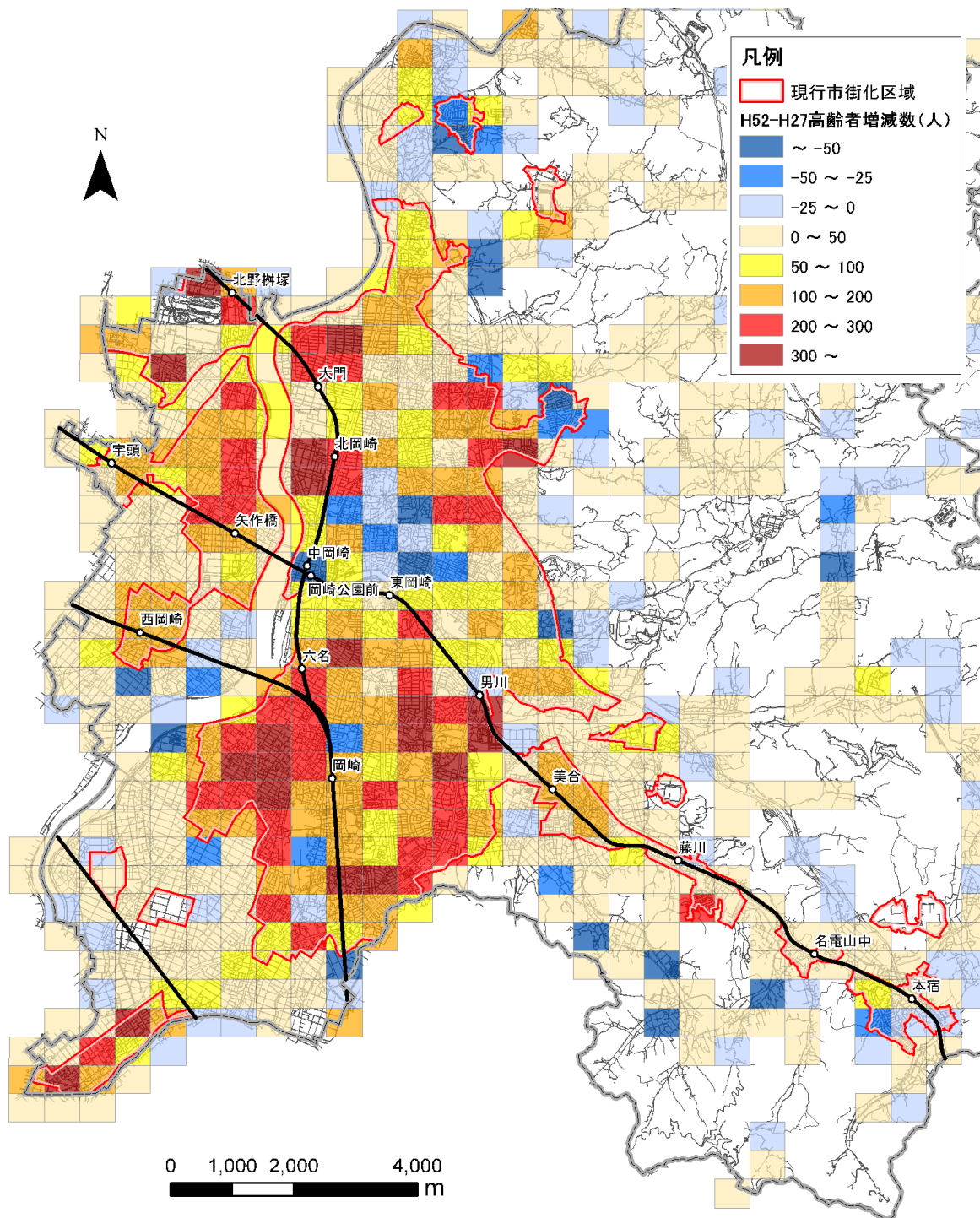
図 主要公共交通利用圏域と将来人口密度分布図(平成 52 年)



(3) 高齢者数の分布動向

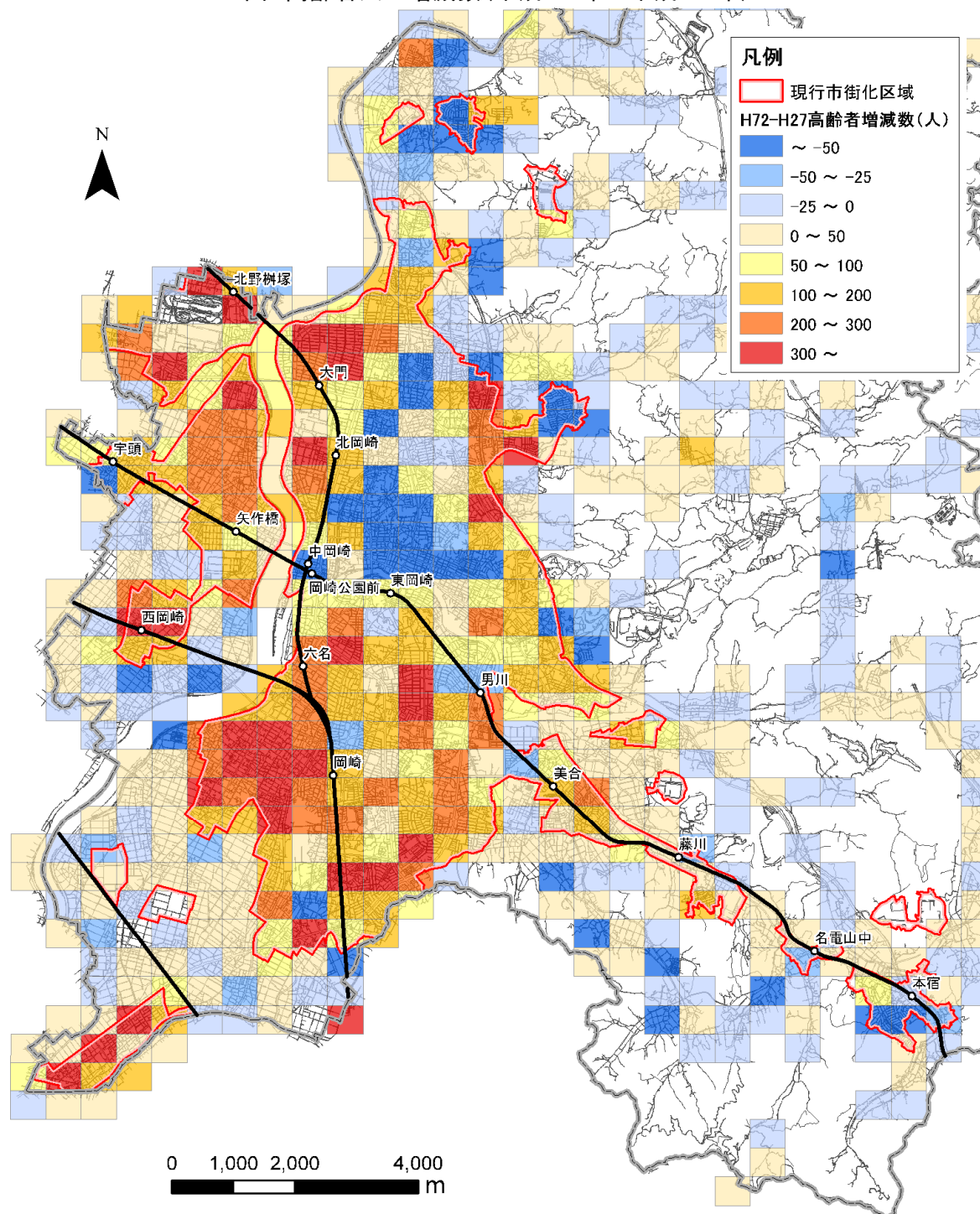
平成 27 年の国勢調査人口を基にした平成 52 年における高齢者人口の推計（コーホート要因法による推計、封鎖人口を仮定）では、既に高齢者数の多い中心市街地においては減少が見込まれる一方、市街地縁辺部、郊外部においては増加が見込まれます。

図 高齢者人口増減数(平成 27 年～52 年)



平成 72 年における高齢者人口の推計では、中心市街地部における高齢者の減少がさらに顕著となり、空き家をはじめとした不動産の余剰ストックが増加するものと思われます。

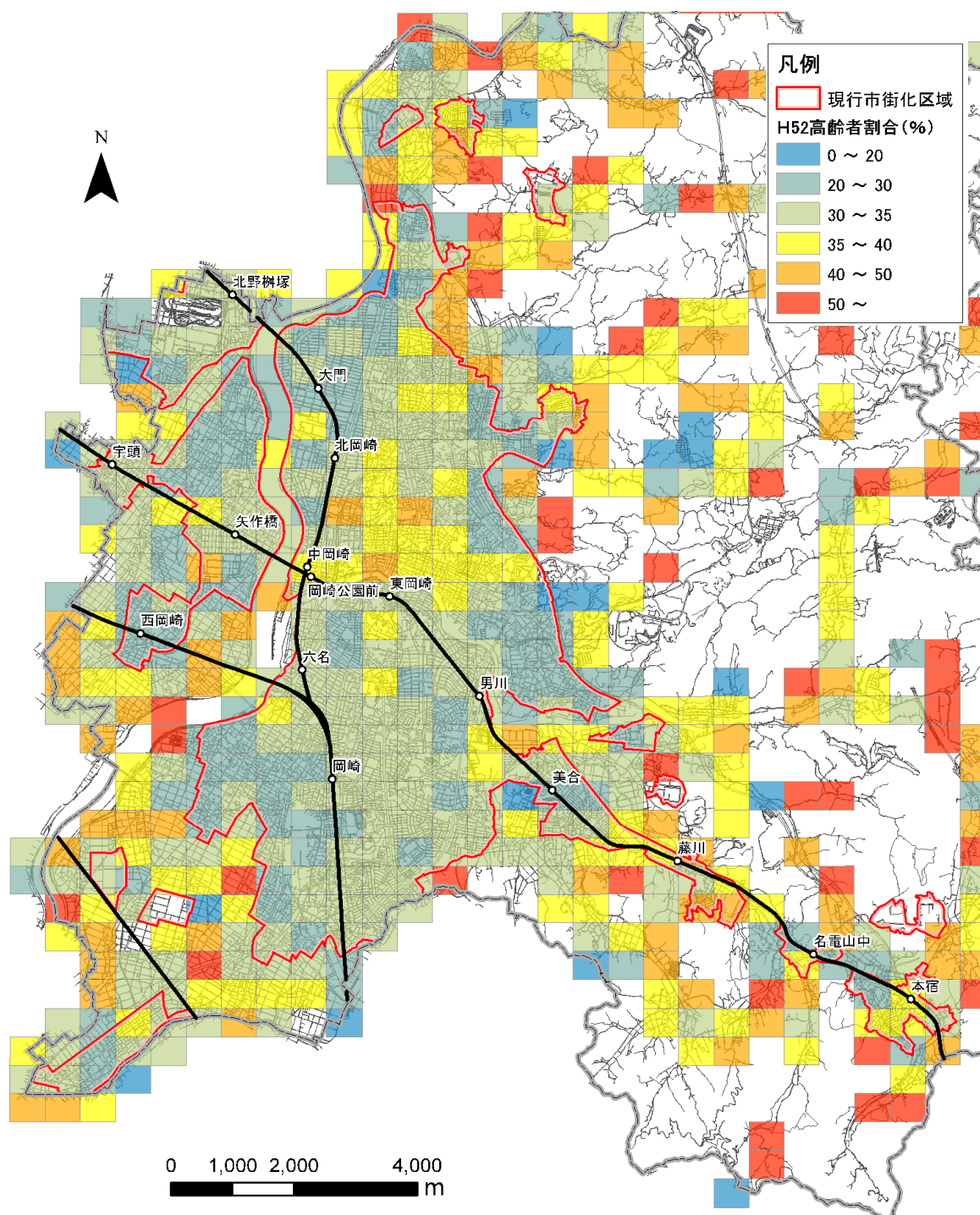
図 高齢者人口増減数(平成 27 年～平成 72 年)



平成 52 年における高齢者割合をみると、高齢者人口の増加が見込まれる郊外部市街地においても高齢者割合がさほど高くない地区が多くみられます。

これは、高齢者数が増加する地区においても、その高齢者を支える若い世代が存在することを示しており、将来的にもコミュニティの維持が可能であると考えられます。

図 高齢者割合(平成 52 年)



5 市民意向調査結果

(1) アンケートの実施概要

① 調査目的

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定へ向けた検討を行うにあたり、住民の意見を反映させるためアンケート調査を実施しました。

② 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調査対象	岡崎市在住の 18 歳以上の方
配布数	3,000 通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	平成 29 年 9 月 28 日～10 月 6 日

③ 配布数及び回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000	1,105	36.8%

④ 数値の統計的な取り扱いについて

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が100%を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下1位を四捨五入した整数値で表記しています。

設問に対する回答者の母数は“n=〇”として表記しました。

(2) 集計結果

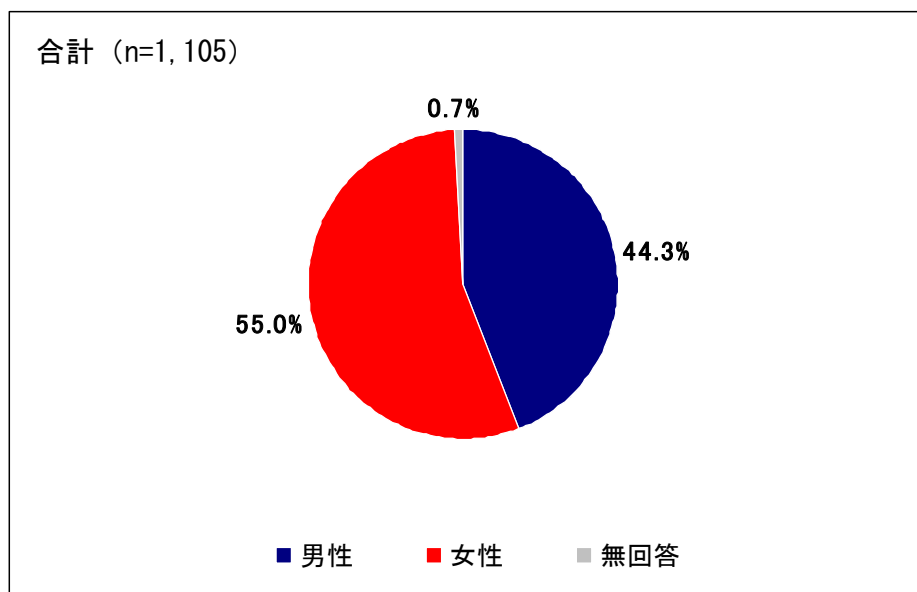
① 属性について

■性別・年齢【問 12・問 13】

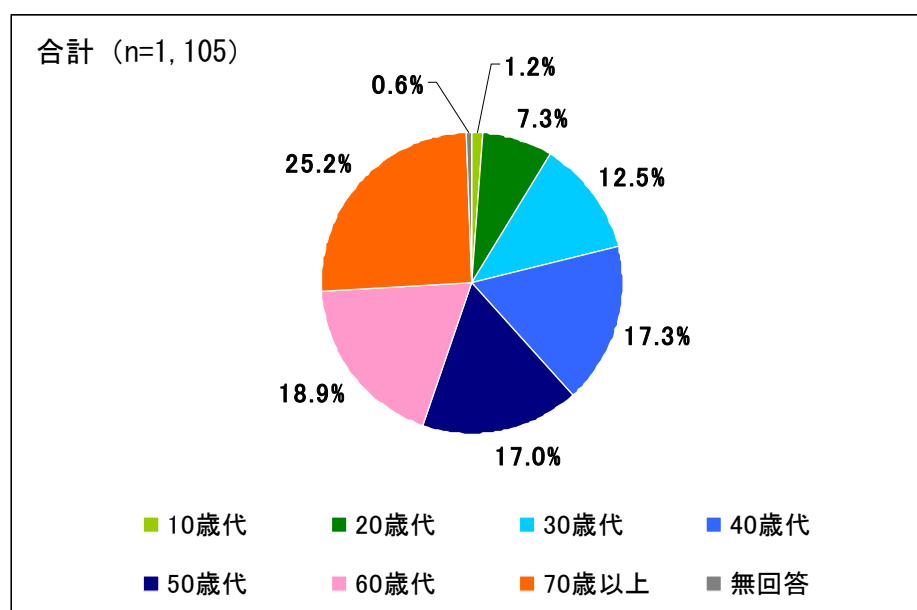
■性別は、「男性」が約 44%、「女性」が約 55%となっています。

■年齢は、「70 歳以上」が約 25%と最も高く、次いで「60 歳代」が約 19%となっています。

▼性別



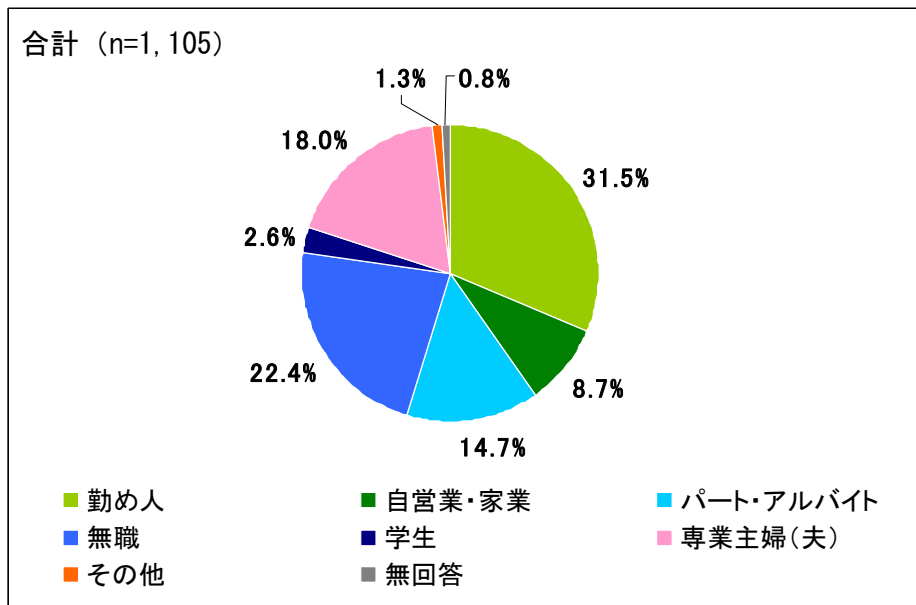
▼年齢



■職業【問 14】

■「勤め人」が約 32%と最も高く、次いで「無職」が約 22%となっています。

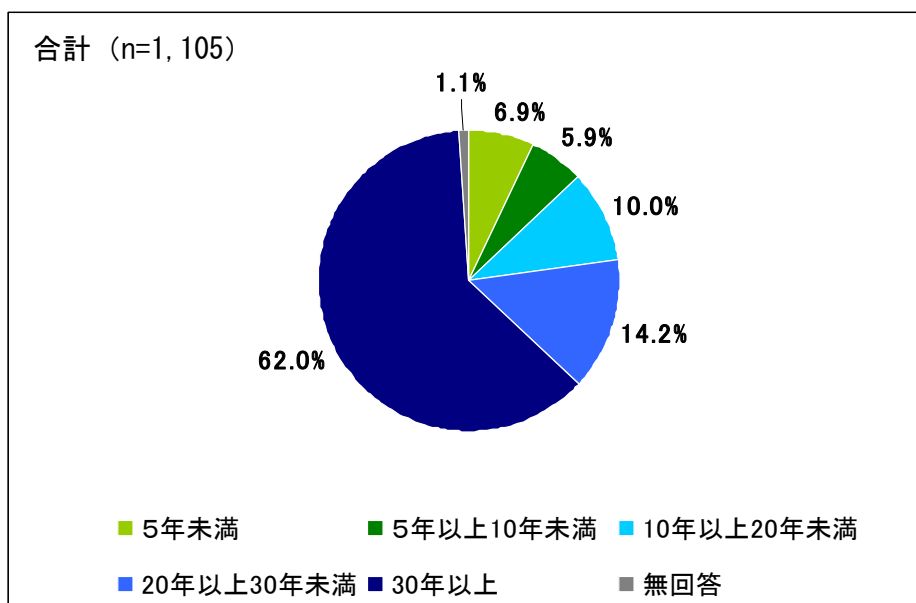
▼職業



■居住年数【問 15】

■「30 年以上」が 62%と最も高く、次いで「20 年以上 30 年未満」が約 14%となっています。

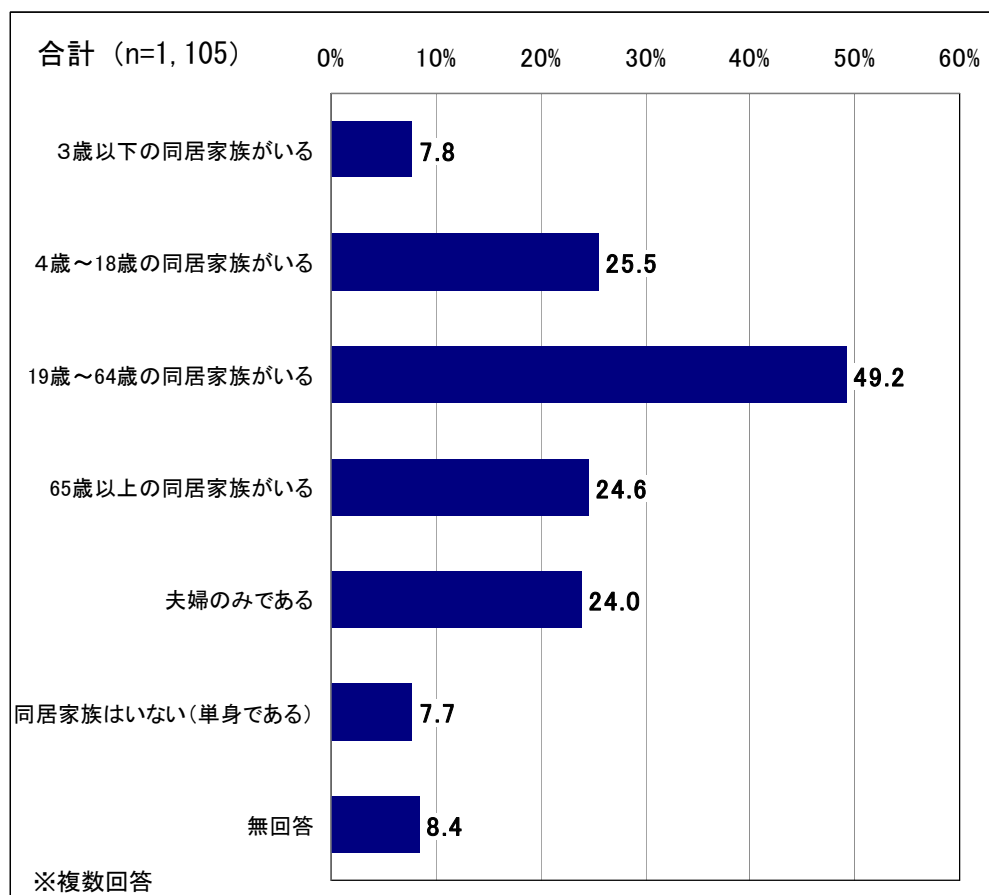
▼居住年数



■ 家族構成【問 16】 ※複数回答

■ 「19 歳～64 歳の同居家族がいる」が約 49%と最も高く、次いで「4 歳～18 歳の同居家族がいる」が約 26%となっています。

▼ 家族構成

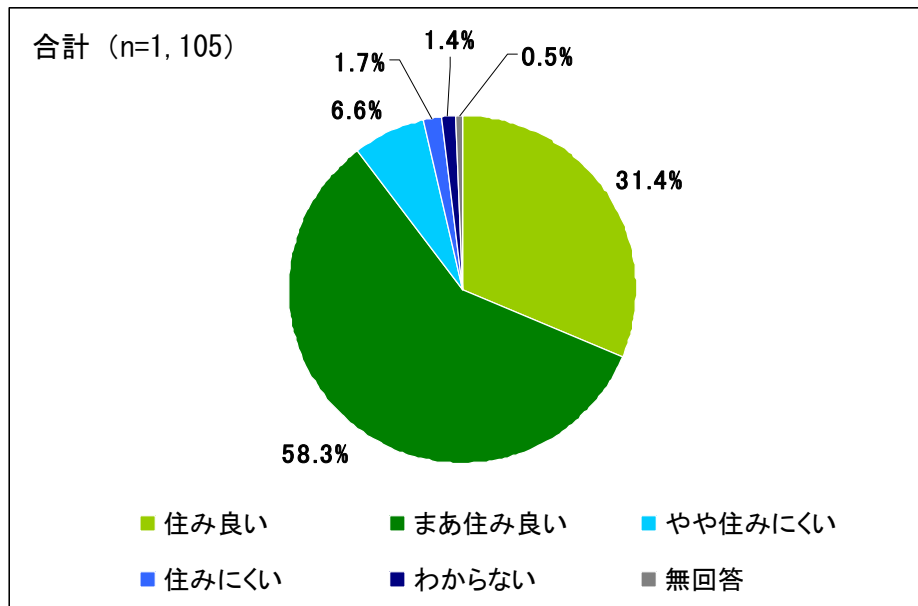


② 岡崎のまちについて

■岡崎市の住みやすさ【問 1】

- 「まあ住み良い」が約 58%と最も高く、次いで「住み良い」が約 31%となっています。
- 「住み良い」及び「まあ住み良い」の合計が約 90%となっているのに対し、「やや住みにくい」及び「住みにくい」の合計は約 8%となっています。

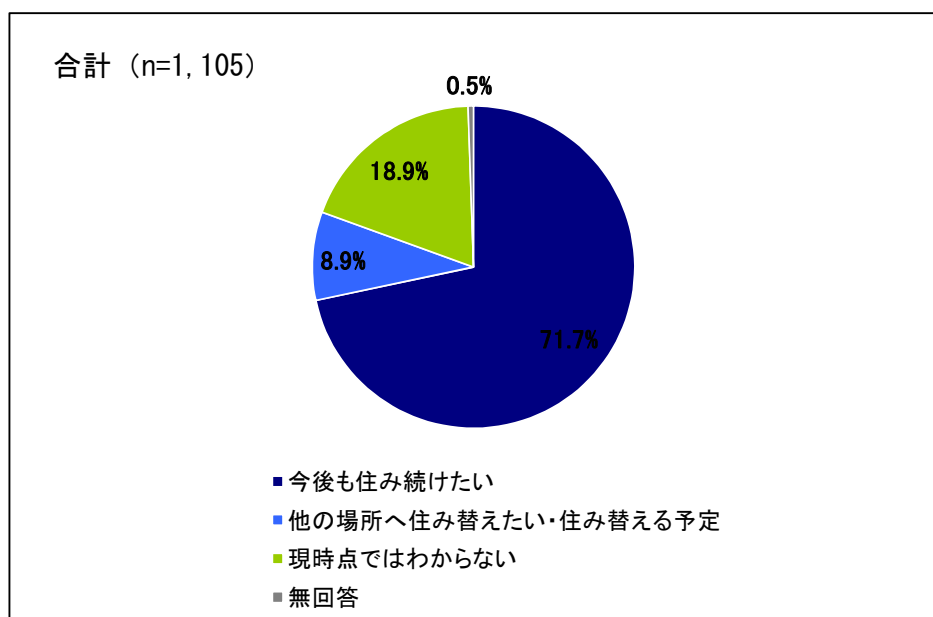
▼岡崎市の住みやすさ

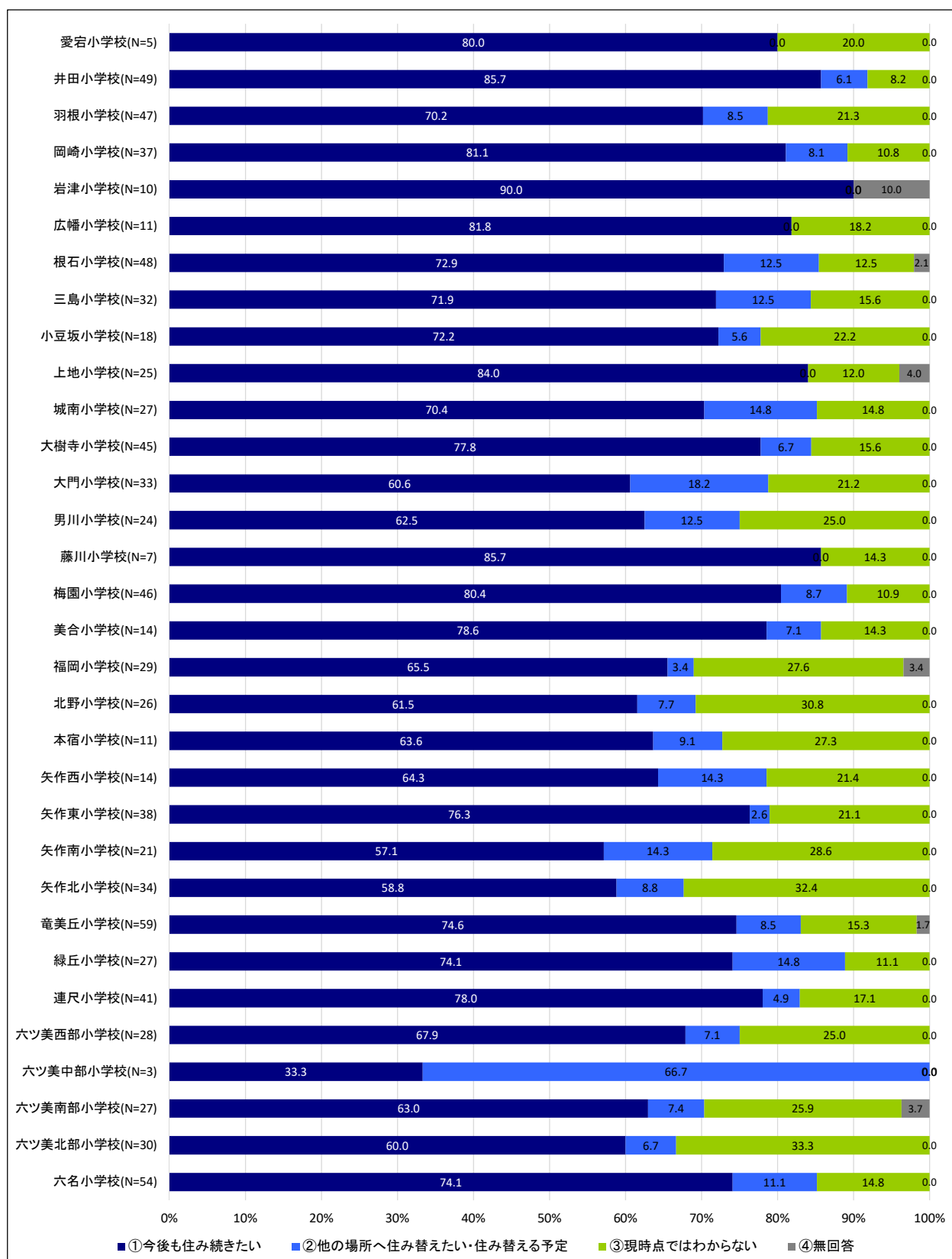


■居住意向【問 2】

- 「今後も住み続けたい」が約 72%と最も高い一方、「他の場所へ住み替えたい・住み替える予定」は約 9%となっています。
- 小学校区別にみても、「今後も住み続けたい」が大半を占める小学校区がほとんどとなっています。

▼居住意向



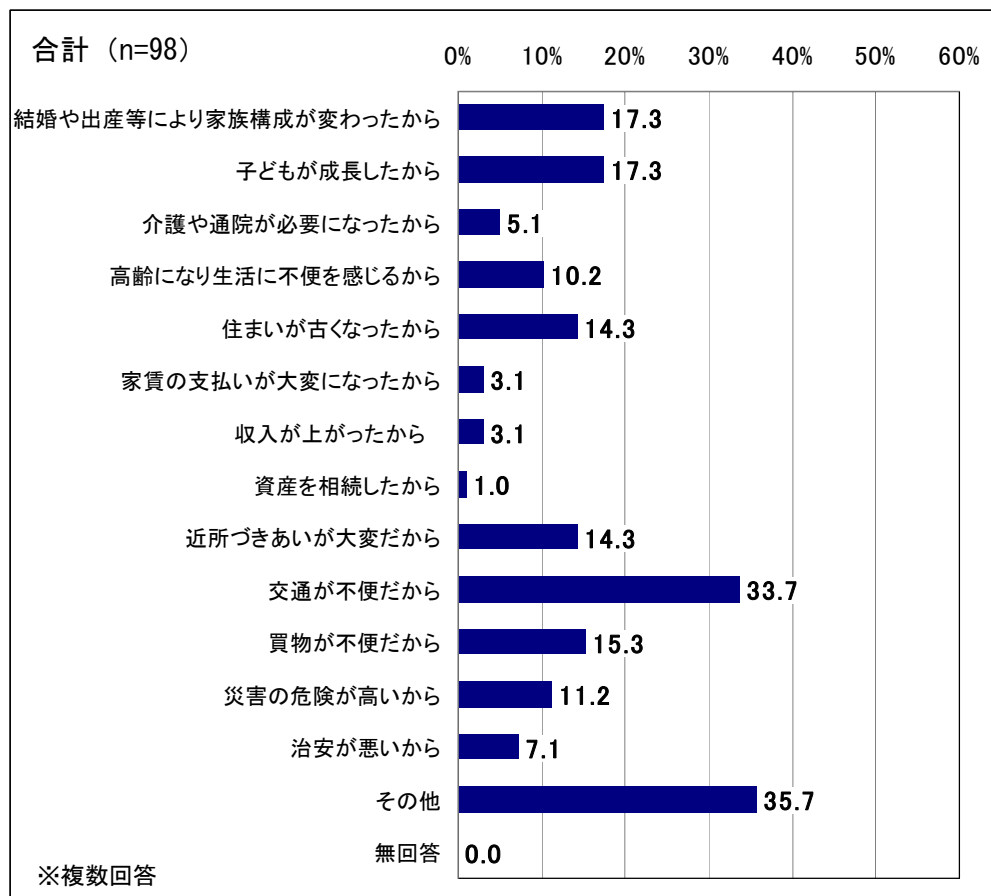


■ 住み替えたいと思う理由について【問3】 ※複数回答

※問2で「他の場所へ住み替えたい・住み替える予定」と答えた方（2と回答した方）

■ 「交通が不便だから」が約34%と最も高く、次いで「結婚や出産等により家族構成が変わったから」および「子どもが成長したから」が同数で約17%となっています。

▼ 住み替えたいと思う理由について

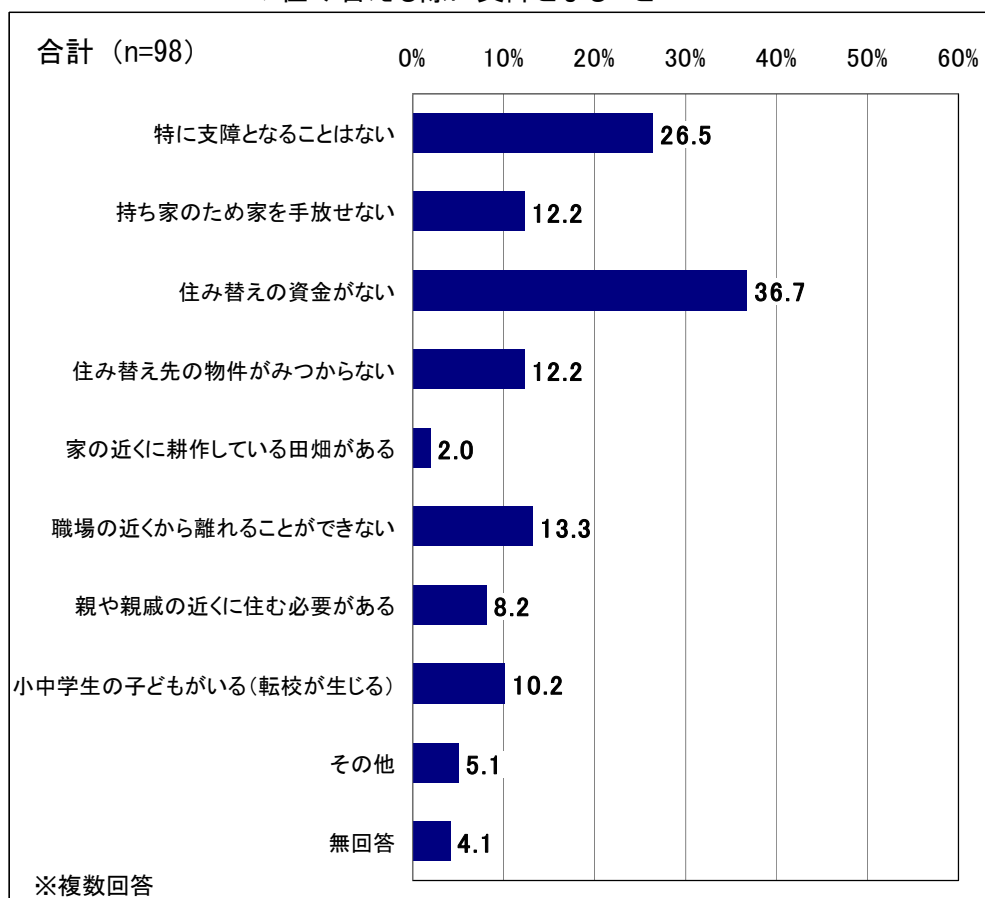


■ 住み替える際に支障となること【問 4】 ※複数回答

※問 2 で「他の場所へ住み替えたい・住み替える予定」と答えた方（2 と回答した方）

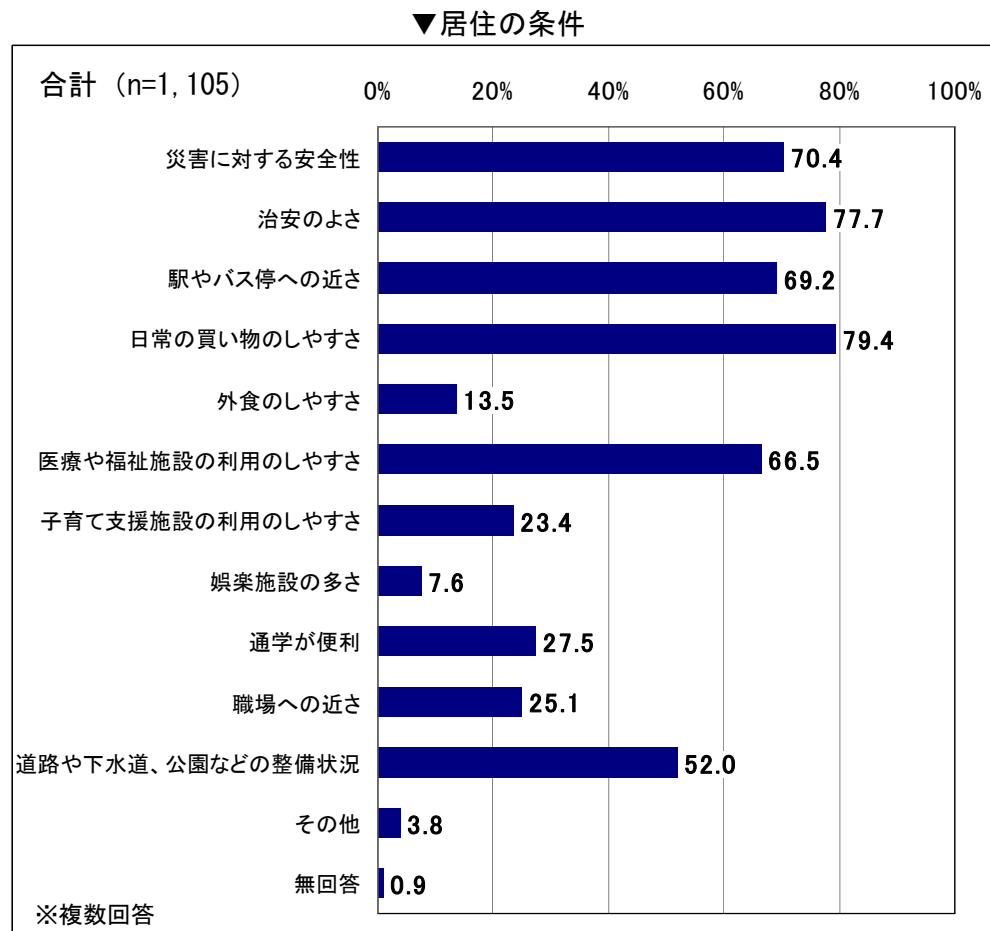
■ 「住み替えの資金がない」が約 37%と最も多く、次いで「特に支障となることはない」が約 27%となっています。

▼ 住み替える際に支障となること



■居住の条件【問 5】 ※複数回答

■「日常の買い物のしやすさ」が約 79%と最も高く、次いで「治安のよさ（約 78%）」、「災害に対する安全性（約 70%）」、「駅やバスへの近さ（約 69%）」、「医療や福祉施設の利用しやすさ（約 67%）」が概ね同水準となっています。



■岡崎市内で居住するのに魅力を感じる場所・理由【問6】 ※自由記述

- 「竜美丘学区」が70票と最も多く、次いで「JR岡崎駅周辺」が50票、「岡崎公園」が34票となっています。
- 「竜美丘学区」が魅力を感じると回答した理由については、「交通の便が良い」、「商業施設や医療施設等へのアクセスが良い」、「高台にあるので災害に強そう」および「閑静な住宅地だから」という意見が多くなっています。
- 小学校区別にみると、回答者が居住している学校区を魅力を感じる場所として回答する傾向がある一方、「竜美丘学区」や「JR岡崎駅周辺」は広い範囲の小中学校区で回答されています。

▼岡崎市内で居住するのに魅力を感じる場所(上位30位)

	回答数
1 竜美丘学区	70
2 JR岡崎駅周辺	50
3 岡崎公園周辺	34
4 梅園学区	22
5 名鉄東岡崎駅周辺	20
6 六名学区	18
6 根石学区	18
8 連尺学区	17
8 イオンモール岡崎周辺	17
10 緑丘学区	16
11 明大寺町周辺	14
12 井田学区	13
12 羽根学区	13
14 福岡学区	12
15 東公園周辺	11
15 上地学区	11
17 戸崎町周辺	10
17 羽根町周辺	10
17 南公園周辺	10
17 岡崎学区	10
21 岡崎中央総合運動公園周辺	9
21 男川学区	9
21 康生町周辺	9
24 乙川周辺	8
24 大樹寺学区	8
26 六ツ美西部学区	7
27 六ツ美北部学区	6
27 城南学区	6
27 大門学区	6
27 大樹寺	6
27 三島学区	6

▼岡崎市内で居住するのに魅力を感じる場所（地区別）

井田小学校

	回答数
1 井田学区	10
2 竜美丘学区	3
3 名鉄東岡崎駅周辺	2
3 連尺学区	2
3 大樹寺	2
6 岡崎公園周辺	1
6 イオンモール岡崎周辺	1
6 東公園周辺	1
6 岡崎学区	1
6 岡崎中央総合運動公園周辺	1
6 康生町周辺	1
6 広幡学区	1
6 真伝町周辺	1

羽根小学校

	回答数
1 羽根学区	8
2 JR岡崎駅周辺	5
3 戸崎町周辺	3
3 羽根町周辺	3
5 岡崎中央総合運動公園周辺	2
6 竜美丘学区	1
6 岡崎公園周辺	1
6 根石学区	1
6 イオンモール岡崎周辺	1
6 男川学区	1
6 乙川周辺	1
6 美合学区	1
6 柱町周辺	1
6 岩津天満宮	1
6 分子科学研究所明大寺キャンパス	1
6 真福寺周辺	1
6 滝山寺周辺	1
6 常盤学区	1

岡崎小学校

	回答数
1 JR岡崎駅周辺	9
2 岡崎学区	4
3 竜美丘学区	2
3 イオンモール岡崎周辺	2
5 岡崎公園周辺	1
5 名鉄東岡崎駅周辺	1
5 南公園周辺	1
5 若松町周辺	1

岩津小学校

	回答数
1 岩津学区	4
2 奥殿陣屋	1

広幡小学校

	回答数
1 岡崎公園周辺	3
2 名鉄東岡崎駅周辺	1
2 りぶら周辺	1
2 広幡学区	1
2 愛知環状鉄道沿線	1

根石小学校

	回答数
1 根石学区	11
2 竜美丘学区	4
3 東公園周辺	3
4 戸崎町周辺	2
5 岡崎公園周辺	1
5 梅園学区	1
5 名鉄東岡崎駅周辺	1
5 明大寺町周辺	1
5 羽根町周辺	1
5 岡崎学区	1
5 三島学区	1
5 岡崎げんき館	1

三島小学校

	回答数
1 竜美丘学区	5
1 明大寺町周辺	5
3 三島学区	4
4 岡崎公園周辺	2
5 JR岡崎駅周辺	1
5 名鉄東岡崎駅周辺	1
5 緑丘学区	1
5 岡崎中央総合運動公園周辺	1
5 広幡学区	1
5 鴨田町周辺	1
5 六供町周辺	1

小豆坂小学校

	回答数
1 竜美丘学区	2
1 JR岡崎駅周辺	2
3 名鉄東岡崎駅周辺	1
3 羽根学区	1
3 羽根町周辺	1
3 小豆坂学区	1

上地小学校

	回答数
1 福岡学区	3
1 上地学区	3
3 羽根学区	1
3 東公園周辺	1
3 南公園周辺	1
3 岡崎学区	1
3 岡崎中央総合運動公園周辺	1
3 りぶら周辺	1

城南小学校

	回答数
1 城南学区	6
2 竜美丘学区	1
2 岡崎公園周辺	1
2 イオンモール岡崎周辺	1
2 井田学区	1
2 羽根学区	1
2 羽根町周辺	1
2 南公園周辺	1
2 六ツ美西部学区	1
2 六名町周辺	1
2 六ツ美北中学区	1

大樹寺小学校

	回答数
1 大樹寺学区	6
2 岡崎公園周辺	2
2 井田学区	2
4 竜美丘学区	1
4 JR岡崎駅周辺	1
4 六名学区	1
4 連尺学区	1
4 イオンモール岡崎周辺	1
4 羽根学区	1
4 東公園周辺	1
4 南公園周辺	1
4 康生町周辺	1
4 六ツ美北部学区	1
4 大樹寺	1

大門小学校

	回答数
1 大門学区	6
2 JR岡崎駅周辺	2
2 連尺学区	2
2 大樹寺	2
5 竜美丘学区	1
5 岡崎公園周辺	1
5 名鉄東岡崎駅周辺	1
5 南公園周辺	1
5 大樹寺学区	1
5 鴨田町周辺	1

男川小学校

	回答数
1 男川学区	8
2 竜美丘学区	2
3 根石学区	1
3 イオンモール岡崎周辺	1
3 藤川学区	1

藤川小学校

	回答数
1 岡崎公園周辺	1
1 名鉄美合駅周辺	1
1 りぶら周辺	1

梅園小学校

	回答数
1 梅園学区	15
2 岡崎公園周辺	4
3 乙川周辺	2
3 稲熊町周辺	2
5 名鉄東岡崎駅周辺	1
5 東公園周辺	1
5 康生町周辺	1

美合小学校

	回答数
1 竜美丘学区	2
2 JR岡崎駅周辺	1
2 明大寺町周辺	1
2 名鉄美合駅周辺	1
2 藤川学区	1

福岡小学校

	回答数
1 福岡学区	6
2 JR岡崎駅周辺	2
3 名鉄東岡崎駅周辺	1
3 緑丘学区	1
3 明大寺町周辺	1
3 東公園周辺	1
3 上地学区	1
3 羽根町周辺	1
3 南公園周辺	1
3 岡崎中央総合運動公園周辺	1
3 美合学区	1
3 六名町周辺	1

北野小学校

	回答数
1 北野学区	2
1 愛知環状鉄道北野塚駅周辺	2
3 豊富学区	1
3 愛知環状鉄道中岡崎駅周辺	1

本宿小学校

	回答数
1 竜美丘学区	1
1 戸崎町周辺	1
1 大樹寺学区	1
1 名鉄美合駅周辺	1
1 竜海中学区	1
1 南中学区	1
1 本宿学区	1

矢作西小学校

	回答数
1 六名学区	1
1 福岡学区	1
1 北野学区	1
1 矢作西学区	1

矢作東小学校

	回答数
1 矢作東学区	5
2 竜美丘学区	2
2 連尺学区	2
4 JR岡崎駅周辺	1
4 上地学区	1
4 岡崎学区	1
4 矢作北学区	1
4 中町周辺	1

矢作南小学校

	回答数
1 JR岡崎駅周辺	2
2 イオンモール岡崎周辺	1
2 東公園周辺	1
2 JR西岡崎駅周辺	1
2 常盤学区	1
2 矢作南学区	1

矢作北小学校

	回答数
1 矢作北学区	3
1 矢作地域	3
3 名鉄東岡崎駅周辺	2
4 竜美丘学区	1
4 岡崎公園周辺	1
4 康生町周辺	1
4 岡崎げんき館	1

竜美丘小学校

	回答数
1 竜美丘学区	24
2 名鉄東岡崎駅周辺	4
3 JR岡崎駅周辺	3
4 岡崎公園周辺	2
4 梅園学区	2
4 連尺学区	2
7 根石学区	1
7 イオンモール岡崎周辺	1
7 明大寺町周辺	1
7 康生町周辺	1
7 六ツ美学区	1

▼岡崎市内で居住するのに魅力を感じる場所（地区別） つづき

緑丘小学校

	回答数
1 緑丘学区	9
2 岡崎中央総合運動公園周辺	2
3 竜美丘学区	1
3 JR岡崎駅周辺	1
3 イオンモール岡崎周辺	1
3 上地学区	1
3 南公園周辺	1

連尺小学校

	回答数
1 連尺学区	7
2 岡崎公園周辺	5
3 竜美丘学区	2
3 康生町周辺	2
3 乙川周辺	2
6 梅園学区	1
6 イオンモール岡崎周辺	1
6 戸崎町周辺	1
6 岡崎中央総合運動公園周辺	1
6 庄司田周辺	1
6 北中学区	1

六ツ美西部小学校

	回答数
1 六ツ美西部学区	5
2 JR岡崎駅周辺	3
3 岡崎公園周辺	2
4 六名学区	1
4 福岡学区	1
4 六ツ美北部学区	1
4 六ツ美学区	1
4 なのはな公園	1

六ツ美中部小学校

	回答数
1 戸崎町周辺	1
1 羽根町周辺	1

六ツ美南部小学校

	回答数
1 六ツ美南部学区	4
2 JR岡崎駅周辺	3
3 竜美丘学区	1
3 名鉄東岡崎駅周辺	1
3 六名学区	1
3 岡崎学区	1
3 六ツ美西部学区	1
3 六ツ美北部学区	1
3 美合学区	1

六ツ美北部小学校

	回答数
1 JR岡崎駅周辺	4
2 六ツ美北部学区	3
3 六ツ美地域	2
4 岡崎公園周辺	1
4 六名学区	1
4 イオンモール岡崎周辺	1
4 緑丘学区	1
4 福岡学区	1
4 東公園周辺	1
4 上地学区	1
4 羽根町周辺	1
4 岡崎学区	1
4 美合学区	1
4 六ツ美学区	1
4 柱町周辺	1

六名小学校

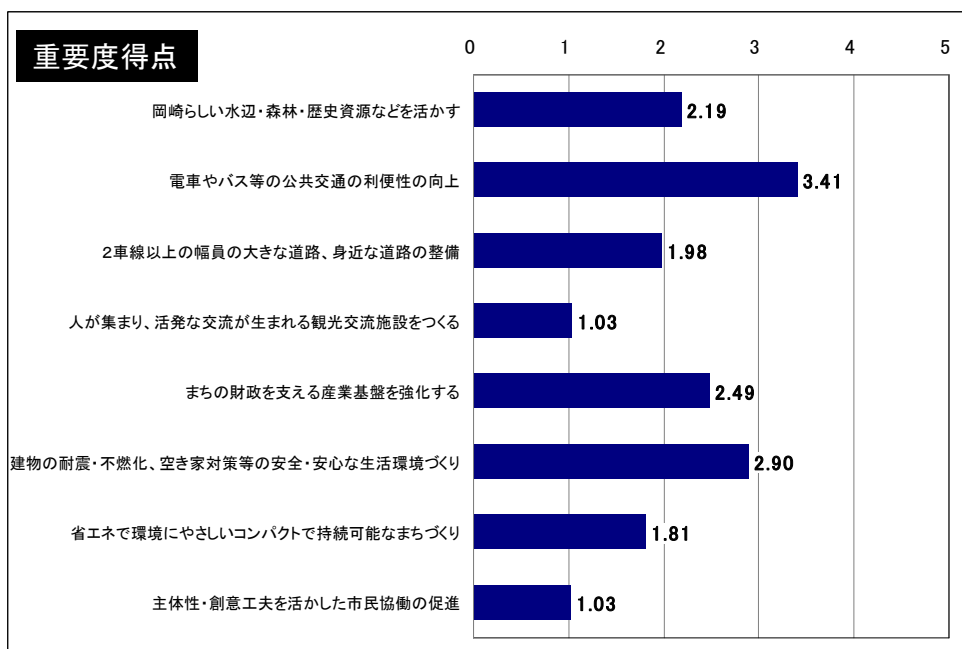
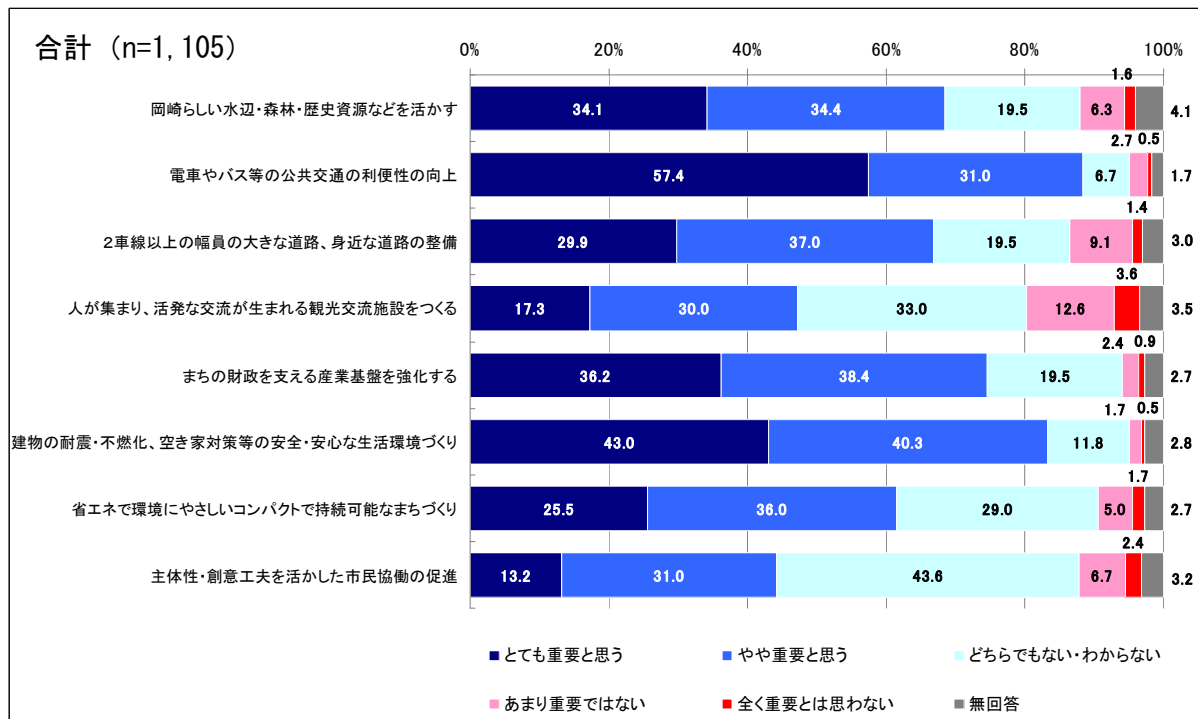
	回答数
1 六名学区	12
2 竜美丘学区	4
3 JR岡崎駅周辺	2
3 岡崎公園周辺	2
3 イオンモール岡崎周辺	2
3 明大寺町周辺	2
7 名鉄東岡崎駅周辺	1
7 乙川周辺	1
7 りふら周辺	1
7 六ツ美南部学区	1
7 竜海中学区	1
7 南中学区	1
7 岩津天満宮	1

③ 今後の都市づくりのあり方について

■岡崎市の将来の都市づくりについての重要度【問 7】

■重要度においては「電車やバス等の公共交通の利便性の向上」が約 88% (3.41pt) が最も高く、次いで「建物の耐震・不燃化、空き家対策等の安全・安心な生活環境づくり」が約 83% (2.90 pt)、「まちの財政を支える産業基盤を強化する」が約 75% (2.49 pt) となっています。

▼岡崎市の将来の都市づくりについて(重要度)



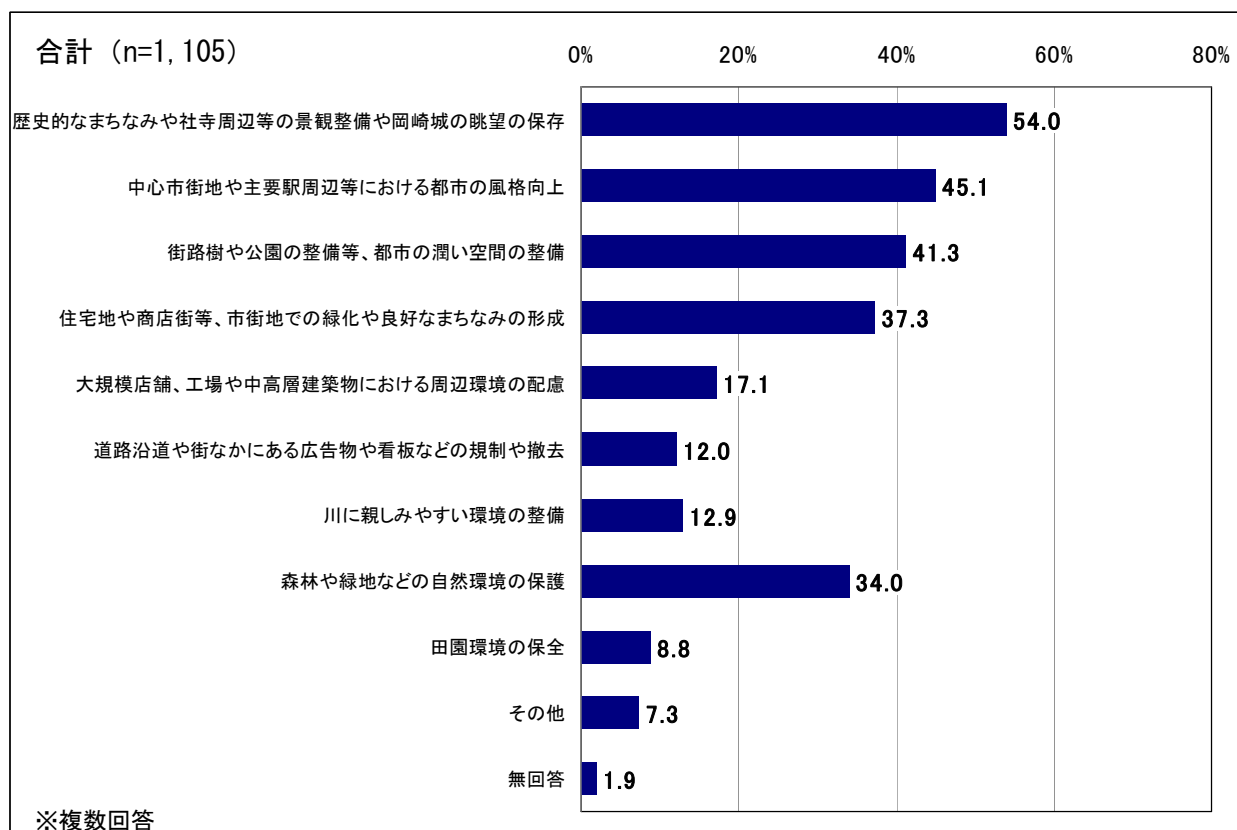
※各項目の重要度の回答数に、とても重要：5点、やや重要：2点、あまり重要ではない：-2点、全く重要とは思わない：-5点、どちらでもない・わからない・無回答：0点の点数を乗じて、回答数の合計で除したものを点数として算出しています。

④ まちの美しさや景観について

■ 魅力あふれる上質な都市をめざすために重要な取り組み【問 8】 ※最大 3 つまで回答

■ 「歴史的なまちなみや社寺周辺等の景観整備や岡崎城の眺望の保存」が 54%と最も高く、次いで「中心市街地や主要駅周辺等における都市の風格向上」が約 45%となっています。

▼ 魅力あふれる上質な都市をめざすために重要な取り組み



⑤ お住まいの地域のまちづくりについて

■居住地区（小学校区）【問 9】 ※自由記述

■小学校区においては「竜美丘小学校」が 59 票と最も多く、次いで「六名小学校」が 54 票、「井田小学校」が 49 票となっています。

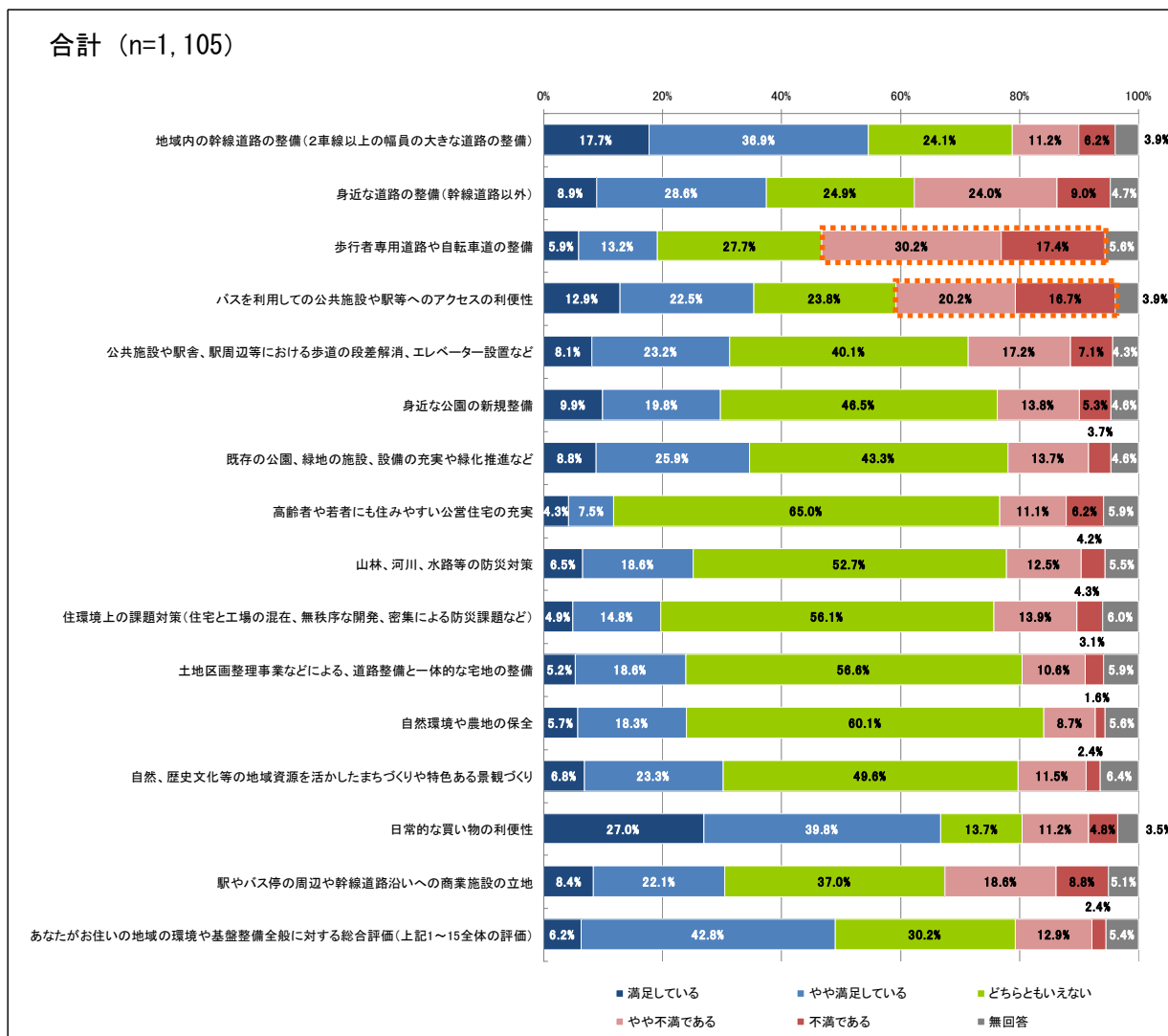
▼居住地区（小学校区）

小学校区	回答数
竜美丘小学校	59
六名小学校	54
井田小学校	49
根石小学校	48
羽根小学校	47
梅園小学校	46
大樹寺小学校	45
連尺小学校	41
矢作東小学校	38
岡崎小学校	37
矢作北小学校	34
大門小学校	33
三島小学校	32
六ツ美北部小学校	30
福岡小学校	29
六ツ美西部小学校	28
緑丘小学校	27
六ツ美南部小学校	27
城南小学校	27
北野小学校	26
上地小学校	25
男川小学校	24
矢作南小学校	21
小豆坂小学校	18
美合小学校	14
矢作西小学校	14
広幡小学校	11
本宿小学校	11
岩津小学校	10
藤川小学校	7
愛宕小学校	5
六ツ美中部小学校	3

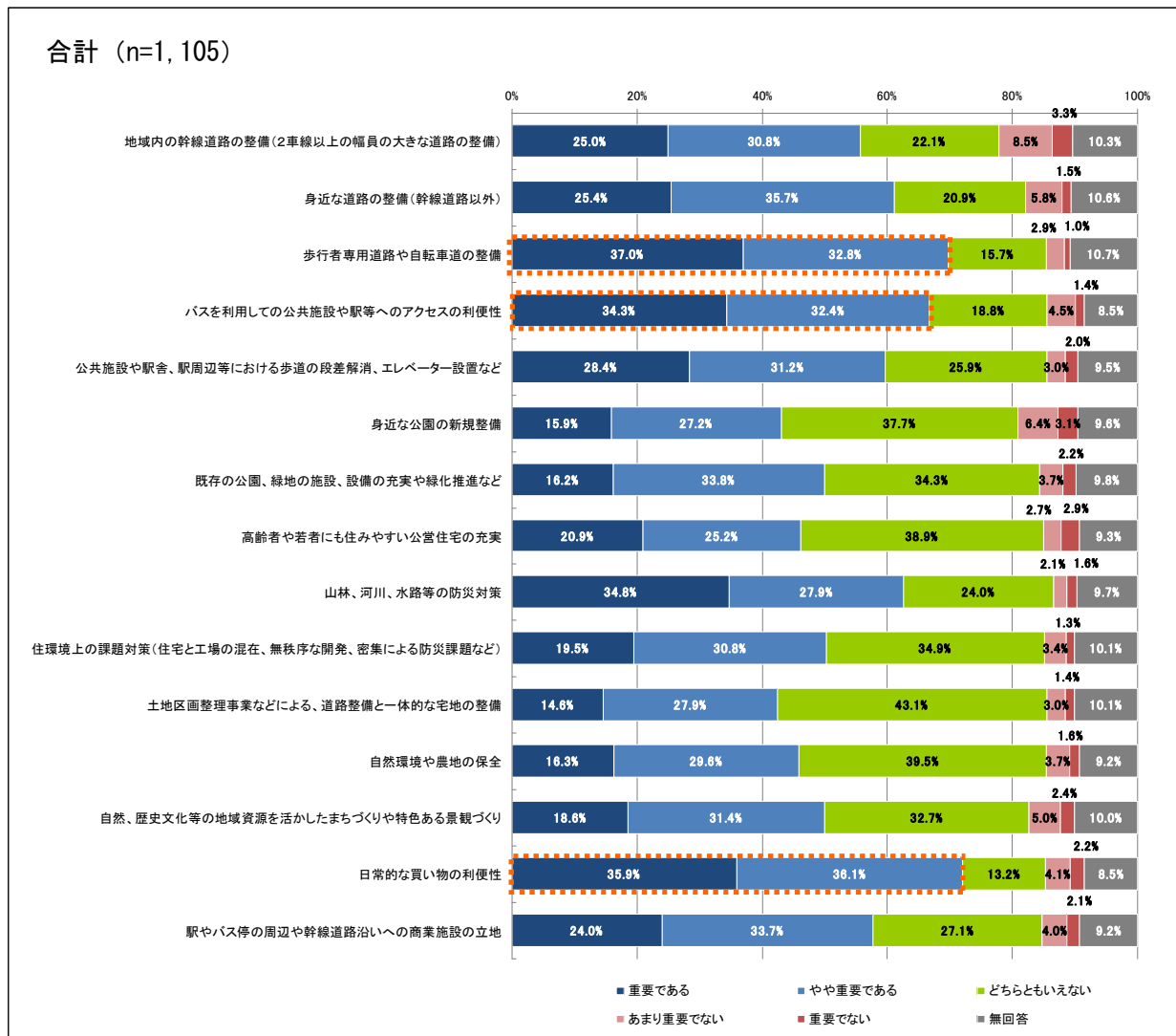
■お住まいの地域のまちづくりに対する現状の満足度と今後の重要度【問 10】

- 満足度における「やや不満である」及び「不満である」の合計は、「歩行者専用道路や自転車道の整備」が約 48%、次いで「バスを利用する際の公共施設や駅等へのアクセスの利便性」が約 37%と不満が高くなっています。
- 重要度における「重要である」及び「やや重要である」の合計は、「日常的な買い物の利便性」が 72%と最も高く、次いで「歩行者専用道路や自転車道の整備」が約 70%、「バスを利用する際の公共施設や駅等へのアクセスの利便性」が約 67%となっています。
- 満足度と重要度の相関関係においては「歩行者専用道路や自転車道の整備」、「バスを利用する際の公共施設や駅等へのアクセスの利便性」が重要な項目であるとしながらも、不満が高いことがうかがえます。

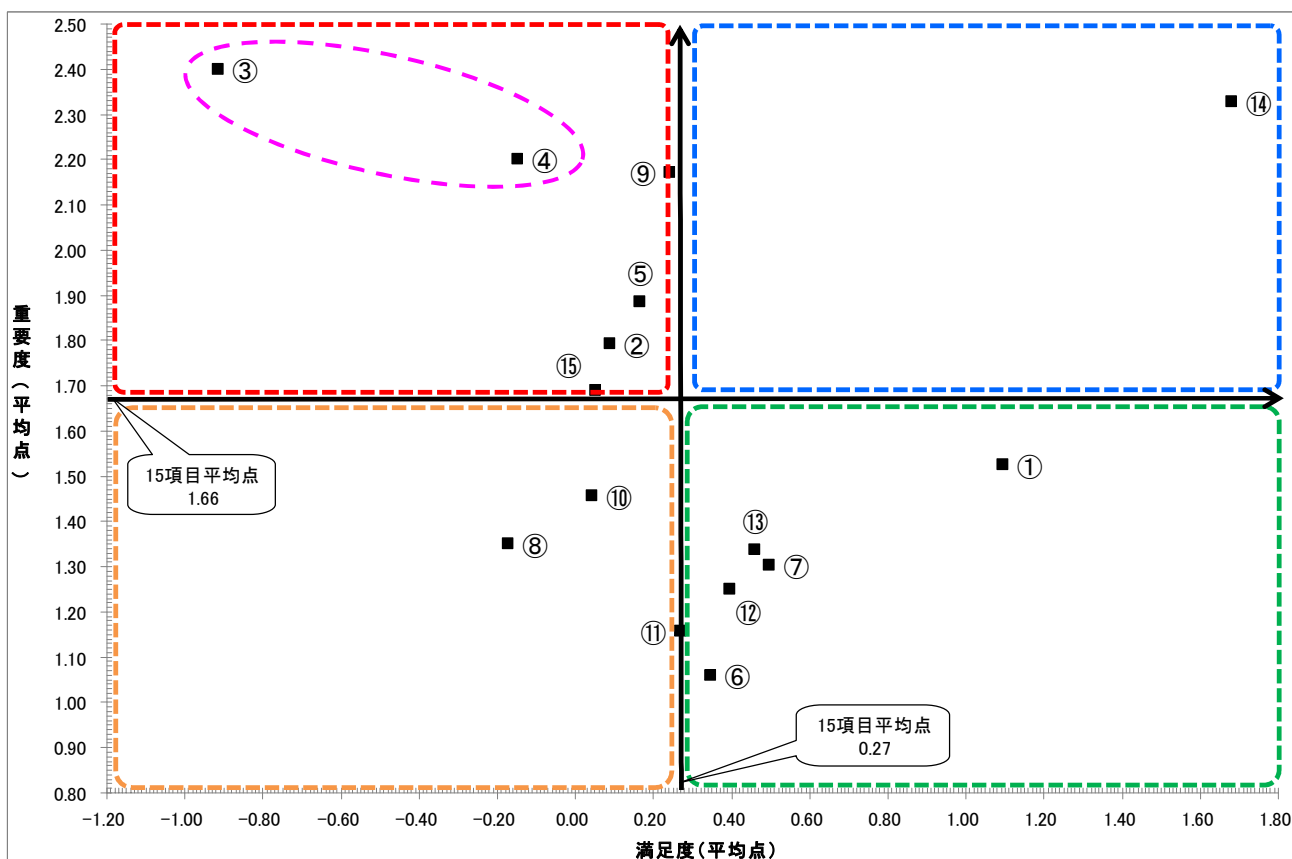
▼お住まいの地域のまちづくりに対する現状の満足度



▼お住まいの地域のまちづくりに対する今後の重要度



▼満足度と重要度の相関図



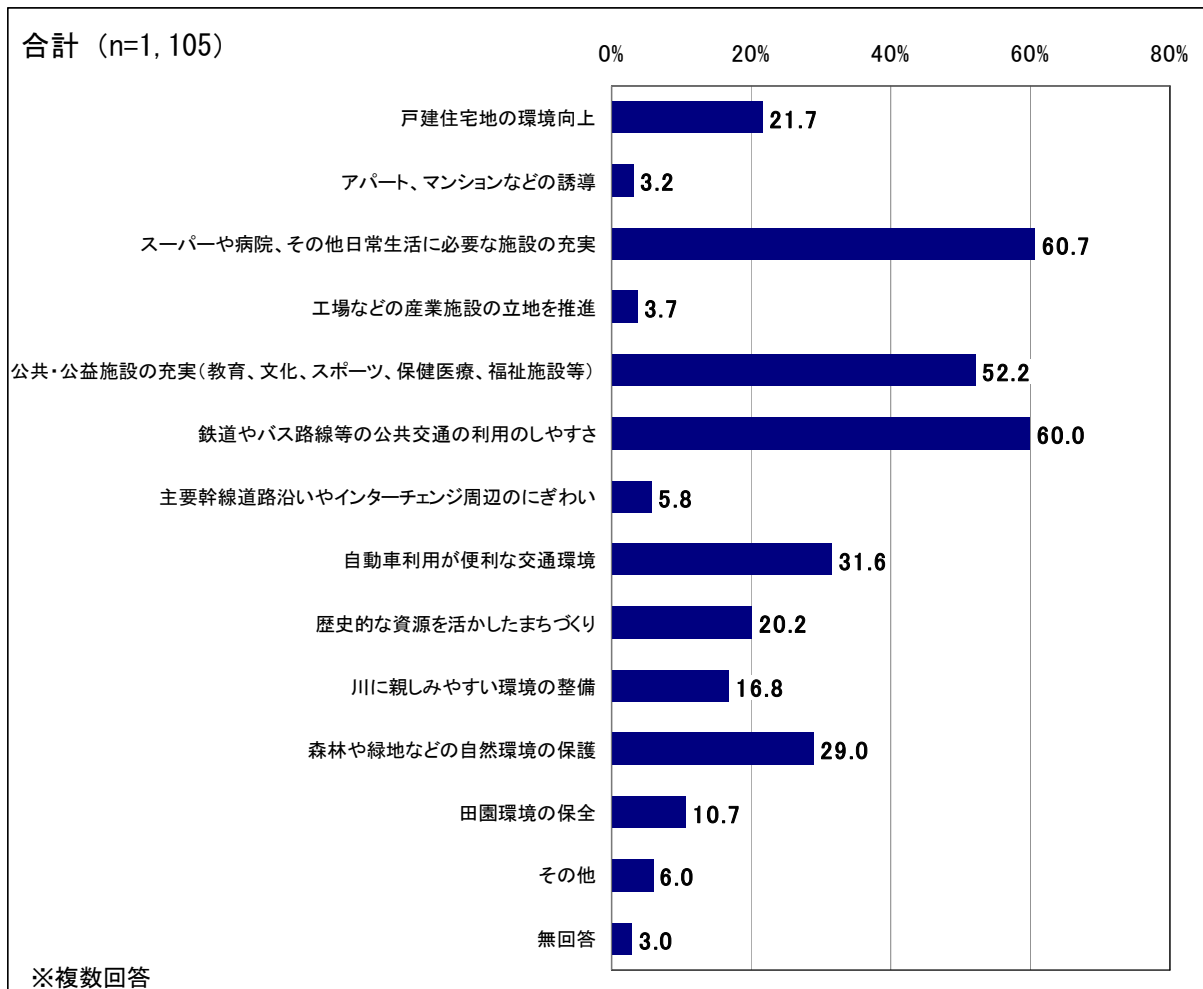
- ①地域内の幹線道路の整備（2車線以上の幅員の大きな道路の整備）
- ②身近な道路の整備（幹線道路以外）
- ③歩行者専用道路や自転車道の整備
- ④バスを利用したの公共施設や駅等へのアクセスの利便性
- ⑤公共施設や駅舎、駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ⑥身近な公園の新規整備
- ⑦既存の公園、緑地の施設、設備の充実や緑化推進など
- ⑧高齢者や若者にも住みやすい公営住宅の充実
- ⑨山林、河川、水路等の防災対策
- ⑩住環境上の課題対策（住宅と工場の混在、無秩序な開発、密集による防災課題など）
- ⑪土地区画整理事業などによる、道路整備と一体的な宅地の整備
- ⑫自然環境や農地の保全
- ⑬自然、歴史文化等の地域資源を活かしたまちづくりや特色ある景観づくり
- ⑭日常的な買い物の利便性
- ⑮駅やバス停の周辺や幹線道路沿いへの商業施設の立地

※各項目の満足度、重要度の回答数に、満足度では、満足：5点、まあ満足：2点、やや不満：-2点、不満：-5点、わからない0点、重要度では、重要：5点、まあ重要：2点、あまり重要でない：-2点、重要でない：-5点、わからない0点の点数を乗じて、回答数の合計で除したものを点数として算出しています。

■お住まいの地域のまちづくりの将来方向について【問 11】 ※最大4つまで回答

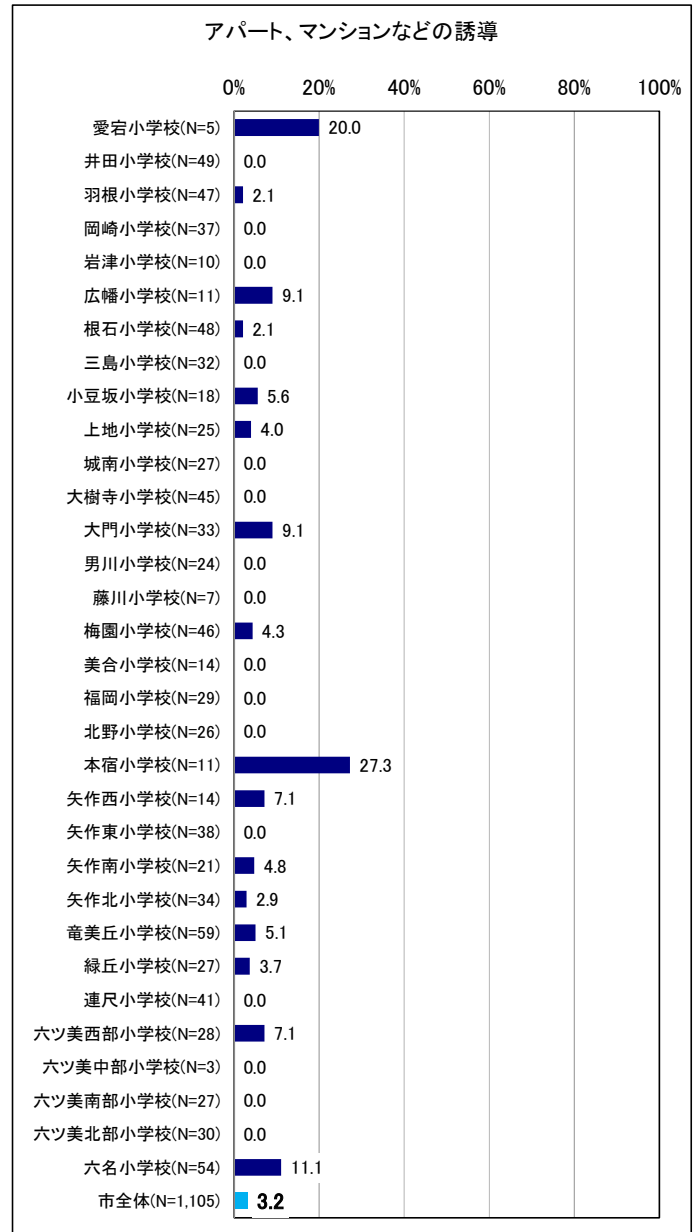
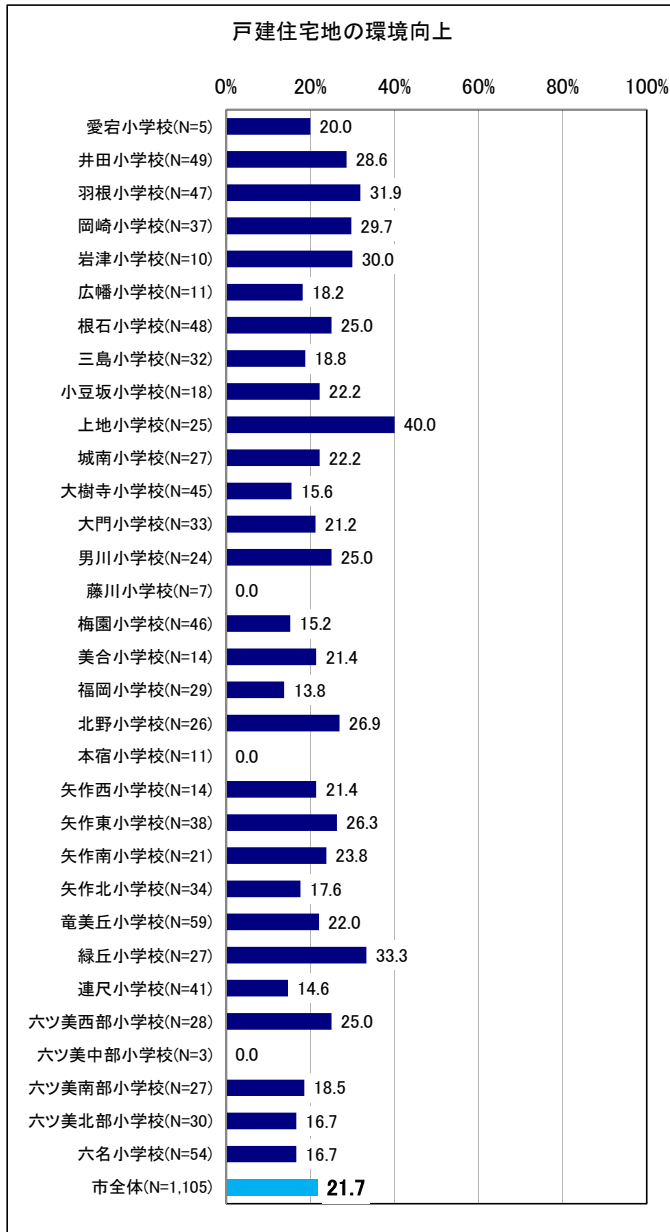
■「スーパーや病院、その他日常生活に必要な施設の充実」が約 61%と最も高く、次いで「鉄道やバス路線等の公共交通の利用のしやすさ」が 60%、「公共・公益施設の充実（教育、文化、スポーツ、保健医療、福祉施設等）」が約 52%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について



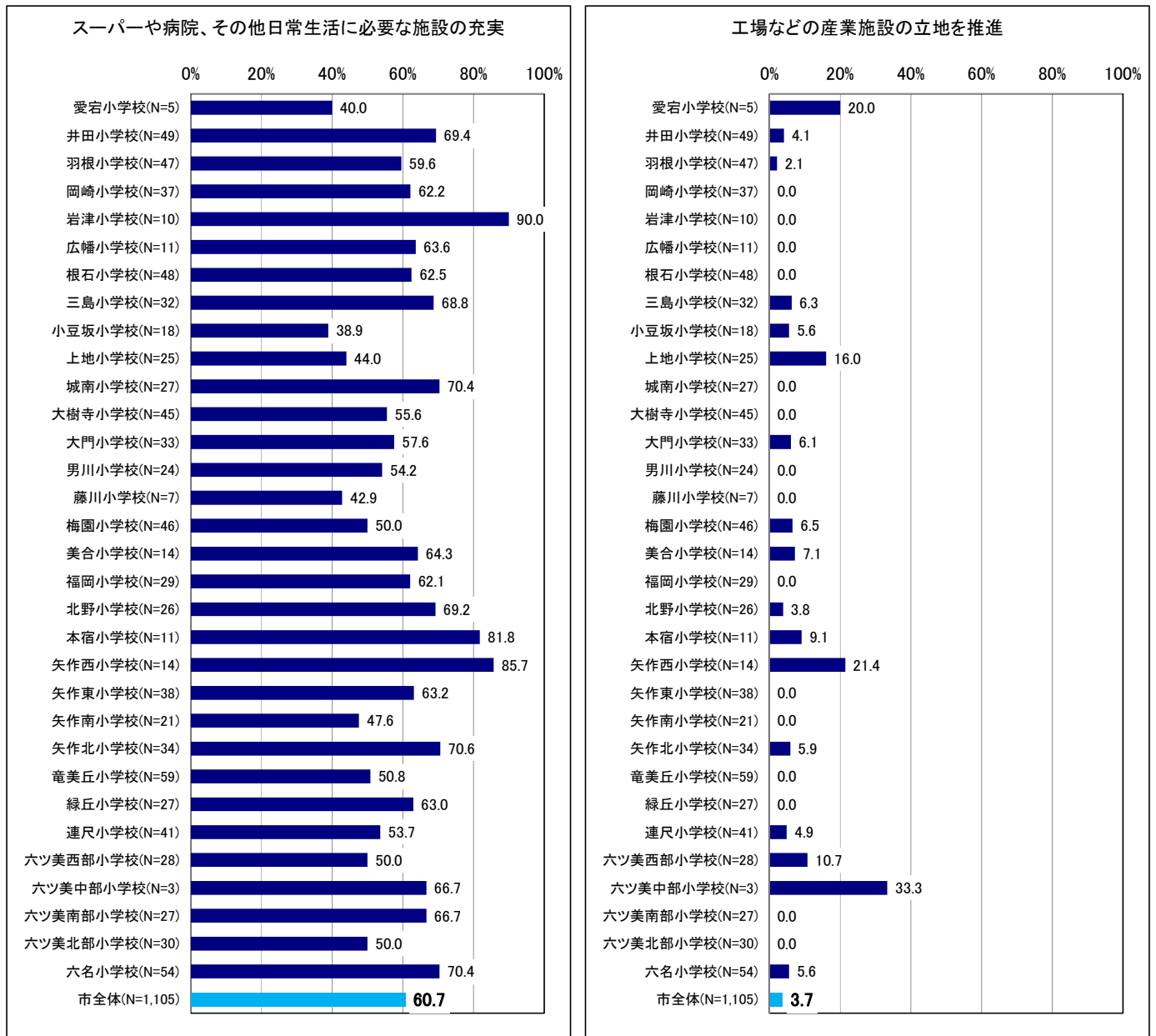
- 「戸建住宅地の環境向上」の回答率は、上地小学校区が 40%と最も高く、次いで緑丘小学校区が約 33%、羽根小学校区が約 32%となっています。
- 「アパート、マンションなどの誘導」の回答率は、本宿小学校区が約 27%と最も高く、次いで愛宕小学校区が 20%、六名小学校区が約 11%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)



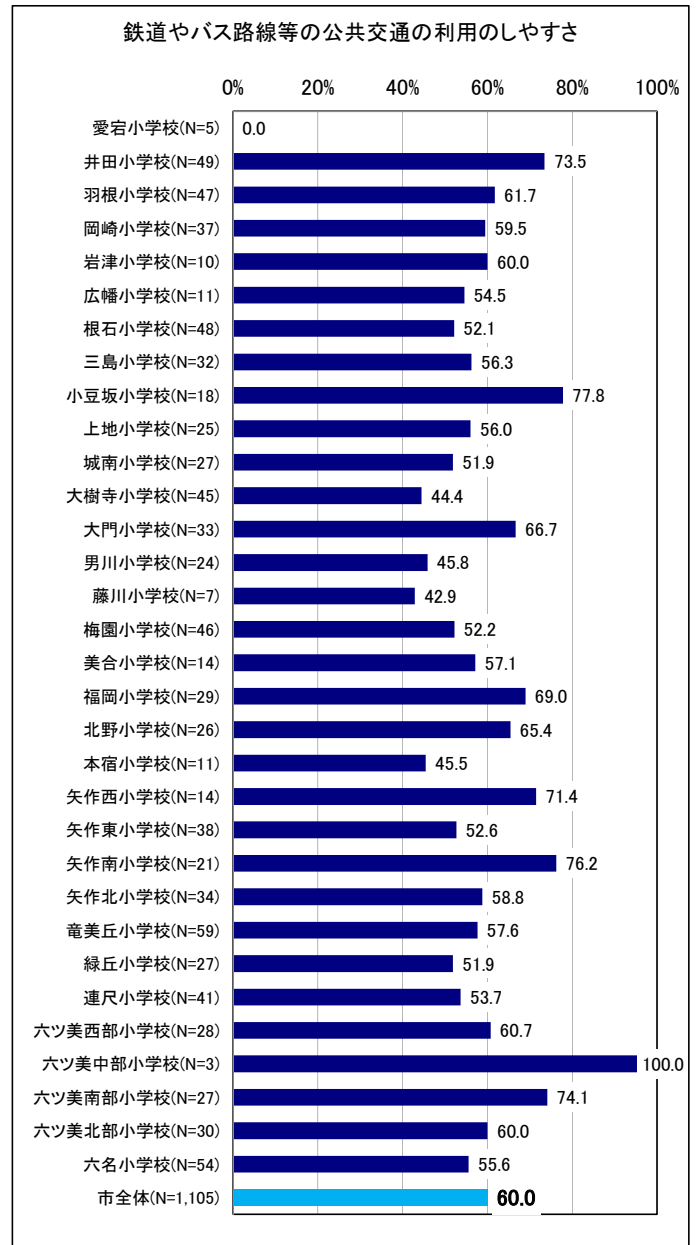
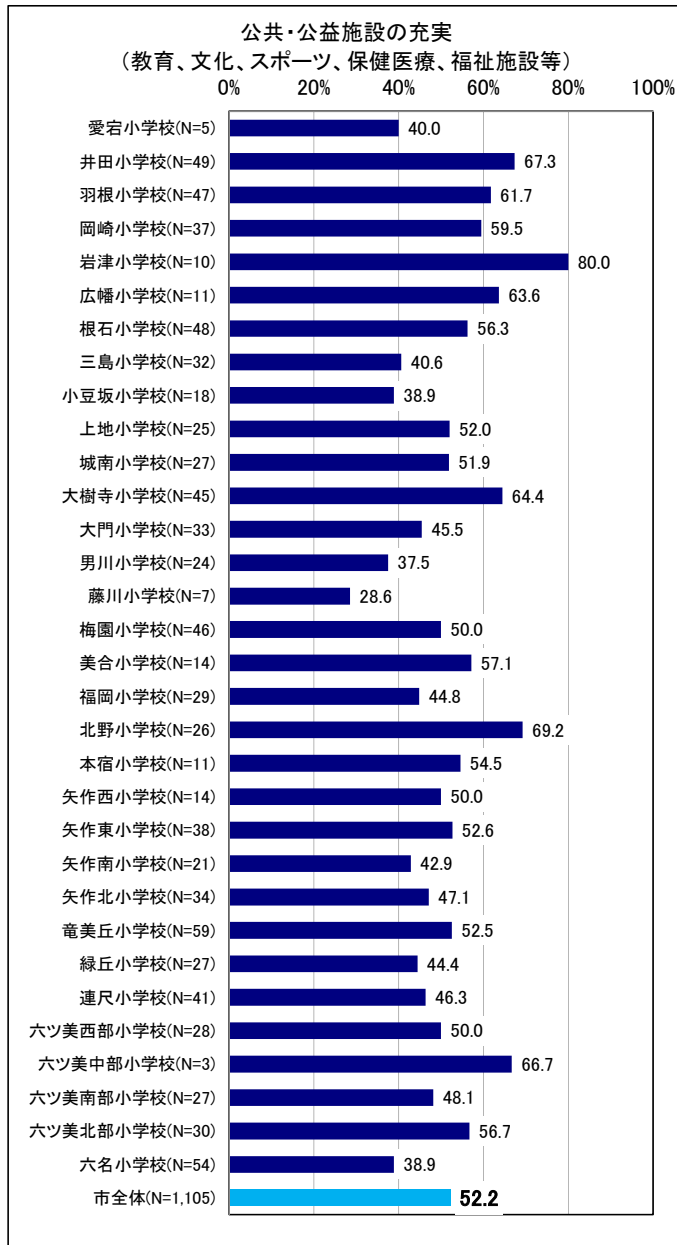
- 「スーパーや病院、その他日常生活に必要な施設の充実」の回答率は、岩津小学校区が90%と最も高く、次いで矢作西小学校区が約86%、本宿小学校区が約82%となっています。
- 「工場などの産業施設の立地を推進」の回答率は、六ツ美中部小学校区が約33%と最も高く、次いで矢作西小学校区が約21%、愛宕小学校区が20%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)つづき



- 「公共・公益施設の充実」の回答率は、岩津小学校区で 80%と最も高く、次いで北野小学校区が約 69%、井田小学校区が約 67%となっています。
- 「鉄道駅やバス路線等の公共交通の利用のしやすさ」の回答率は、六ツ美中部小学校区が 100%と最も高く、次いで小豆坂小学校区が約 78%、矢作南小学校区が約 76%となっています。

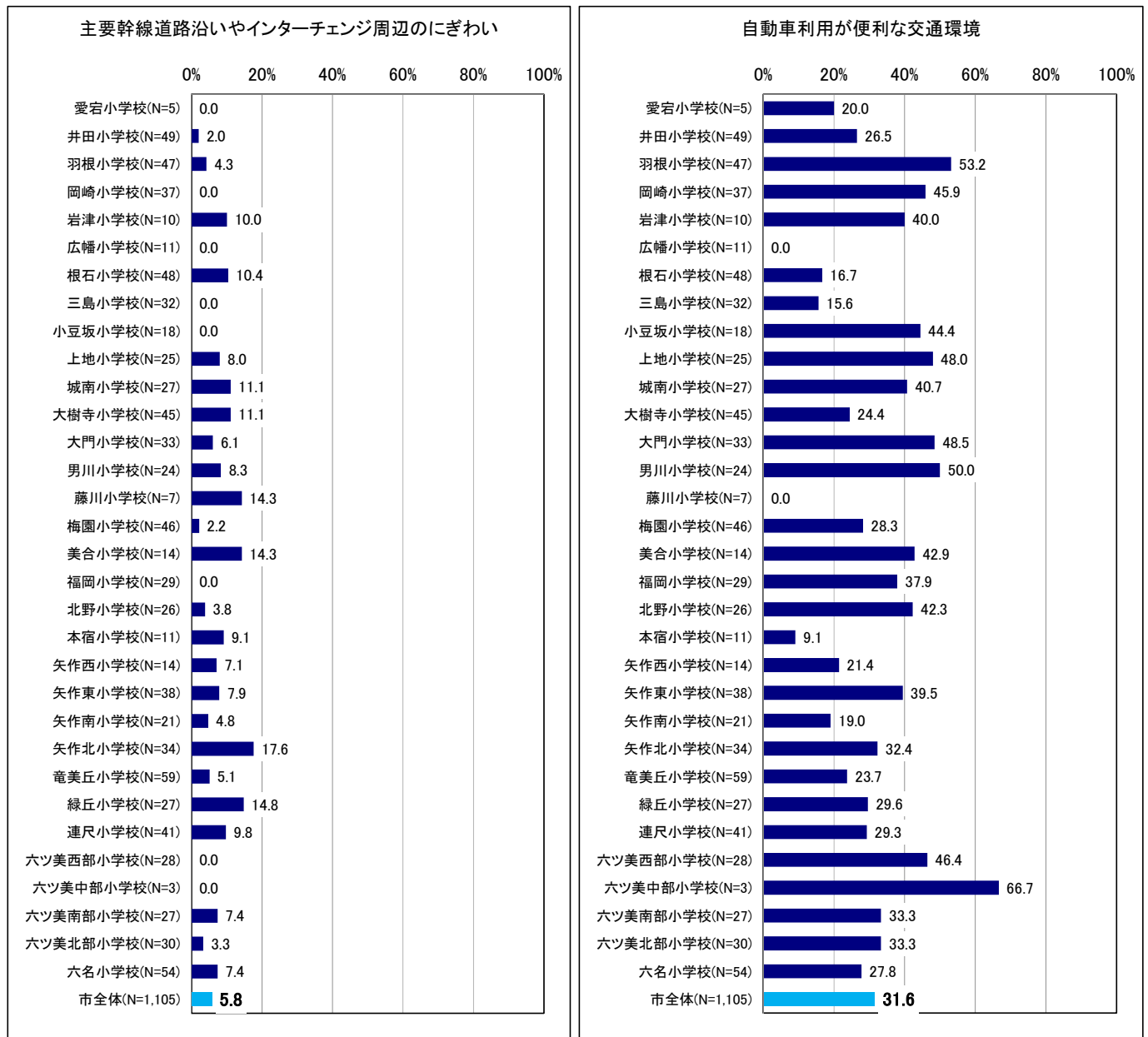
▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)つづき



■「主要幹線道路沿いやインターチェンジ周辺のにぎわい」の回答率は、矢作北小学校区で約 18%と最も高く、次いで緑丘小学校区が約 15%、藤川小学校区及び美合小学校区でそれぞれ約 14%となっています。

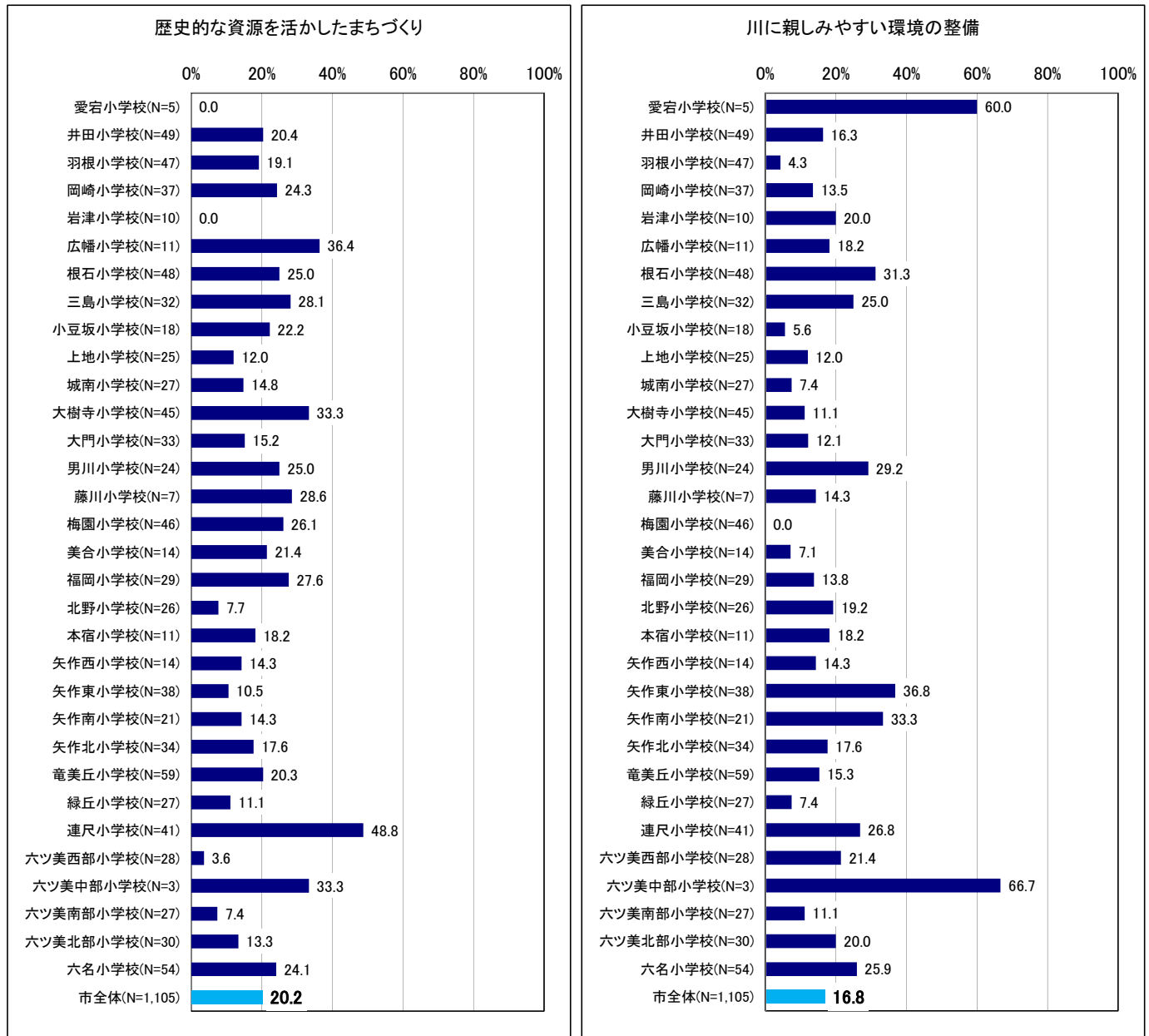
■「自動車利用が便利な交通環境」の回答率は、六ツ美中部小学校区が約 67%と最も高く、次いで羽根小学校区が約 53%、男川小学校区が 50%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)つづき



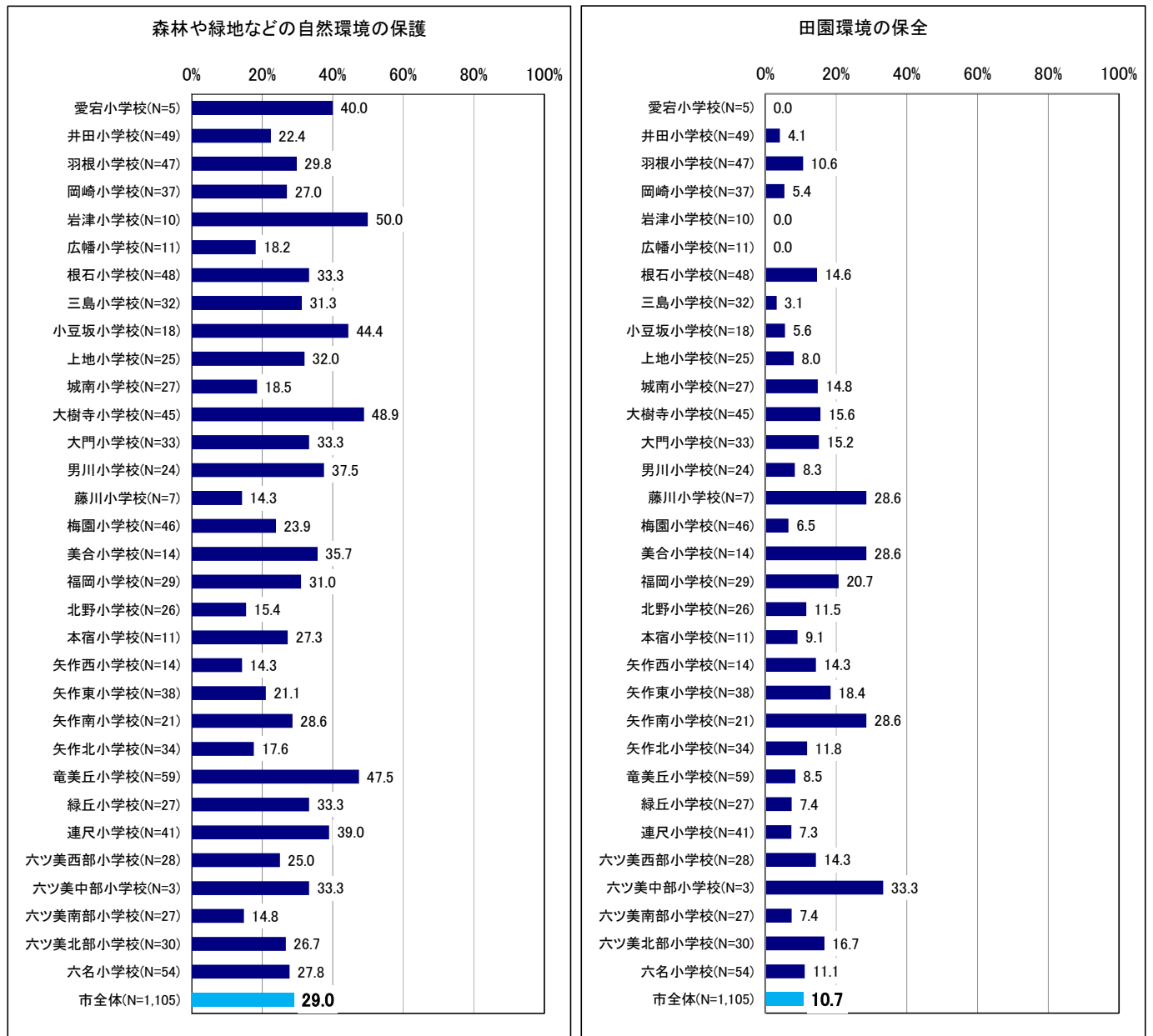
- 「歴史的な資源を活かしたまちづくり」の回答率は、蓮尺小学校区で約 49%と最も高く、次いで広幡小学校区が約 36%、大樹寺小学校区および六ツ美中部小学校区がそれぞれ約 33%となっています。
- 「川に親しみやすい環境の整備」の回答率は、六ツ美中部小学校区で約 67%と最も高く、次いで愛宕小学校区が 60%、矢作東小学校区が約 37%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)つづき



- 「森林や緑地などの自然環境の保護」の回答率は、岩津小学校区で 50%と最も高く、次いで大樹寺小学校区が約 49%、竜美丘小学校区が約 48%となっています。
- 「田園環境の保全」の回答率は、六ツ美中部小学校区で約 33%と最も高く、次いで藤川小学校区、美合小学校区及び矢作南小学校区がそれぞれ約 29%となっています。

▼お住まいの地域のまちづくりの将来方向について(小学校区別)つづき



(3) 調査票

アンケート調査票

A 岡崎のまちについて

問1 あなたは、岡崎市を住み良いまちだと思いますか。次のうちから1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 住み良い | 2. まあ住み良い | 3. やや住みにくい | 4. 住みにくい |
| 5. わからない | | | |

問2 あなたは、現在お住まいの場所に今後も住み続けたいとお考えですか。次のうちから1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 今後も住み続けたい | ⇒問5へお進みください |
| 2. 他の場所へ住み替えたい・住み替える予定 | ⇒問3へお進みください |
| 3. 現時点ではわからない | ⇒問5へお進みください |

※ 問2で「2. 他の場所へ住み替えたい・住み替える予定」に○をつけた方におたずねします。

問3 あなたが、他の場所へ住み替えたいと思う理由は何ですか。該当する番号を全て選び、○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 結婚や出産等により家族構成が変わったから | 9. 近所づきあいが大変だから |
| 2. 子どもが成長したから | 10. 交通が不便だから |
| 3. 介護や通院が必要になったから | 11. 買物が不便だから |
| 4. 高齢になり生活に不便を感じるから | 12. 災害の危険が高いから |
| 5. 住まいが古くなったから | 13. 治安が悪いから |
| 6. 家賃の支払いが大変になったから | 14. その他 |
| 7. 収入が上がったから | () |
| 8. 資産を相続したから | |

⇒次ページ問4へお進みください。

問4 あなたは、住み替える際に支障となることはありますか。該当する番号を全て選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 特に支障となることはない。 | 6. 職場の近くから離れることができない |
| 2. 持ち家のため家を手放せない | 7. 親や親戚の近くに住む必要がある |
| 3. 住み替えの資金がない | 8. 小中学生の子どもがいる（転校が生じる） |
| 4. 住み替え先の物件が見つからない | 9. その他 |
| 5. 家の近くに耕作している田畑がある | （ ） |

※ 以降全ての方におたずねします。

問5 あなたは、居住の条件として、どのようなことが重要であると考えますか。該当する番号を全て選び、○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 災害に対する安全性 | 8. 娯楽施設の多さ |
| 2. 治安のよさ | 9. 通学が便利 |
| 3. 駅やバス停への近さ | 10. 職場への近さ |
| 4. 日常の買い物のしやすさ | 11. 道路や下水道、公園などの整備状況 |
| 5. 外食のしやすさ | 12. その他 |
| 6. 医療や福祉施設の利用のしやすさ | （ ） |
| 7. 子育て支援施設の利用のしやすさ | |

問6 岡崎市内で居住するのに魅力を感じる場所がありますか。

町名や地域、学区名などでお答えください。（「〇〇周辺」でも可）

また、その場所を選んだ理由もお聞かせください。

場所：

理由：

B 今後の都市づくりのあり方について

問7 岡崎市の将来の都市づくりにあたって、以下のような考え方について、あなたはどの程度重要と思いますか。それぞれのまちづくりについて、あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。

	とても重要と思う	やや重要と思う	どちらでもない・わからない	あまり重要ではない	全く重要とは思わない
1. 岡崎らしい水辺・森林・歴史資源などを活かす	1	2	3	4	5
2. 電車やバス等の公共交通の利便性の向上	1	2	3	4	5
3. 2車線以上の幅員の大きな道路、身近な道路の整備	1	2	3	4	5
4. 人が集まり、活発な交流が生まれる観光交流施設をつくる	1	2	3	4	5
5. まちの財政を支える産業基盤を強化する	1	2	3	4	5
6. 建物の耐震・不燃化、空き家対策等の安全・安心な生活環境づくり	1	2	3	4	5
7. 省エネで環境にやさしいコンパクトで持続可能なまちづくり	1	2	3	4	5
8. 主体性・創意工夫を活かした市民協働の促進	1	2	3	4	5

C まちの美しさや景観について

問8 魅力あふれる上質な都市をめざすために、どのような取り組みが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 歴史的なまちなみや社寺周辺等の景観整備や岡崎城の眺望の保存
2. 中心市街地や主要駅周辺等における都市の風格向上
3. 街路樹や公園の整備等、都市の潤い空間の整備
4. 住宅地や商店街等、市街地での緑化や良好なまちなみの形成
5. 大規模店舗、工場や中高層建築物における周辺環境の配慮
6. 道路沿道や街なかにある広告物や看板などの規制や撤去
7. 川に親しみやすい環境の整備
8. 森林や緑地などの自然環境の保護
9. 田園環境の保全
10. その他

(具体的に)

D お住いの地域のまちづくりについて

問9 あなたは、どちらにお住いですか。町名をお答えください。町名がお答えづらい場合は小学校区でお答えください。

町名：

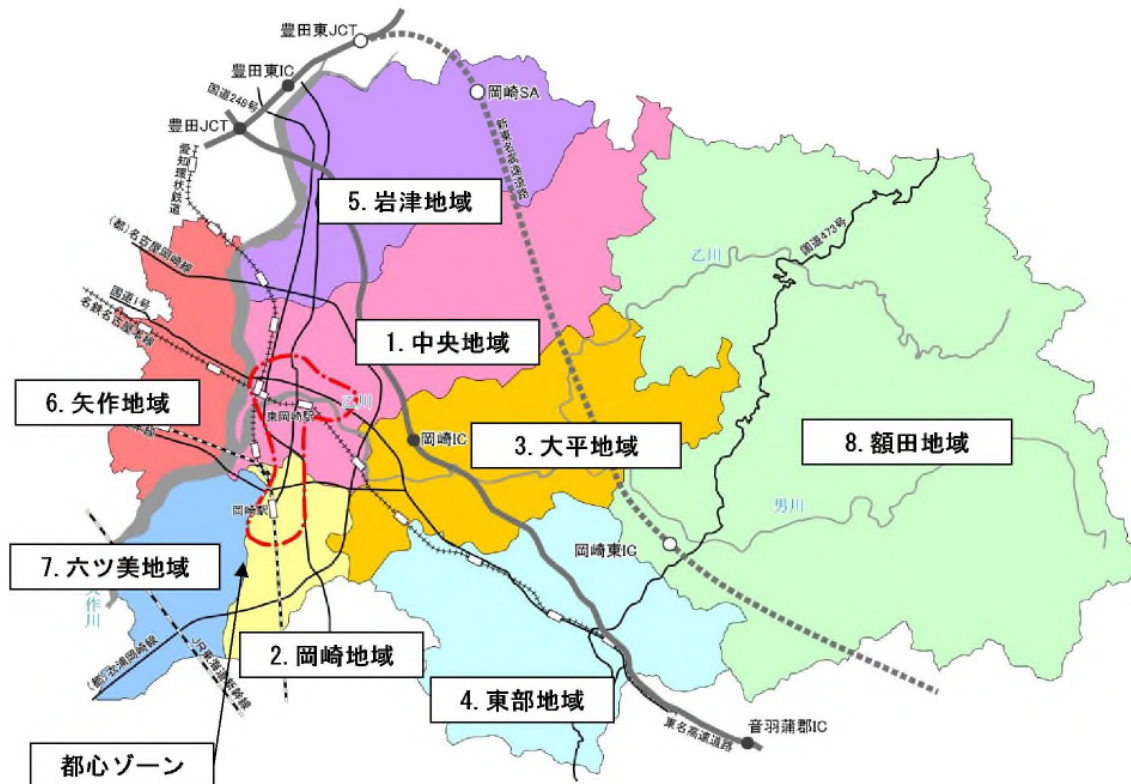
小学校区：

■あなたがお住いの地域（支所区域）を、具体的にイメージしながら、以下の質問にお答えください。※支所区域については次ページの図をご参照ください。

問 10 現在、あなたがお住いの地域（支所区域）のまちづくりについて、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
都市施設・都市基盤	1. 地域内の幹線道路の整備 （2車線以上の幅員の大きな道路の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 身近な道路の整備（幹線道路以外）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 歩行者専用道路や自転車道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. バスを利用しての公共施設や駅等へのアクセスの 利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 公共施設や駅舎、駅周辺等における歩道の段差解 消、エレベーター設置など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 身近な公園の新規整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 既存の公園、緑地の施設、設備の充実や緑化推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 高齢者や若者にも住みやすい公営住宅の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 山林、河川、水路等の防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
土地利用・居住環境など	10. 住環境上の課題対策（住宅と工場の混在、無秩序 な開発、密集による防災課題など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 土地区画整理事業などによる、道路整備と一体的 な宅地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 自然環境や農地の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 自然、歴史文化等の地域資源を活かしたまちづく りや特色ある景観づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 日常的な買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 駅やバス停の周辺や幹線道路沿いへの商業施設 の立地	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. あなたがお住いの地域の環境や基盤整備全般に対す る総合評価（上記1～15全体の評価）		1	2	3	4	5					

支所区域図



問 11 あなたがお住いの地域（支所区域）のまちづくりの将来方向について、どのような方向をめざしていくことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大4つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 戸建住宅地の環境向上
2. アパート、マンションなどの誘導
3. スーパーや病院、その他日常生活に必要な施設の充実
4. 工場などの産業施設の立地を推進
5. 公共・公益施設の充実（教育、文化、スポーツ、保健医療、福祉施設等）
6. 鉄道やバス路線等の公共交通の利用のしやすさ
7. 主要幹線道路沿いやインターチェンジ周辺のにぎわい
8. 自動車利用が便利な交通環境
9. 歴史的な資源を活かしたまちづくり
10. 川に親しみやすい環境の整備
11. 森林や緑地などの自然環境の保護
12. 田園環境の保全
13. その他

（具体的に

）

E あなた自身のことについて

問 12 あなたの性別をお答えください。(番号を○で囲んでください)

1. 男性

2. 女性

問 13 あなたの年齢をお答えください。(番号を○で囲んでください)

1. 10 歳代

5. 50 歳代

2. 20 歳代

6. 60 歳代

3. 30 歳代

7. 70 歳以上

4. 40 歳代

問 14 あなたの職業をお答えください。(番号を○で囲んでください)

1. 勤め人

5. 学生

2. 自営業・家業

6. 専業主婦（夫）

3. パート・アルバイト

7. その他（ ）

4. 無職

問 15 あなたが、市内（旧額田町を含む）にお住いになっている年数（市外へ転出され戻られた方は通算の年数）をお答えください。(番号を○で囲んでください)

1. 5 年未満

4. 20 年以上 30 年未満

2. 5 年以上 10 年未満

5. 30 年以上

3. 10 年以上 20 年未満

問 16 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか。(当てはまるものの全ての番号を○で囲んでください)

1. 3 歳以下の同居家族がいる

4. 65 歳以上の同居家族がいる

2. 4 歳～18 歳の同居家族がいる

5. 夫婦のみである

3. 19 歳～64 歳の同居家族がいる

6. 同居家族はいない（単身である）

F あなたの自由なご意見をお聞かせください。

問 17 将来に残したい・伸ばしたい「自然・歴史等の地域資源」や「地域の魅力となっている施設や文化」などがございましたら、下欄に具体的な資源の名称、セールスポイントや、活かしたい都市づくりのアイデア等をご記入ください。

（地域資源の例）〇〇の歴史的な建物、〇〇地区の歴史、〇〇な施設
〇〇地区の〇祭り、〇〇山の眺望、〇〇地区の田園風景 等

問 18 岡崎市の都市づくりに関する施策（都市計画、建築、公共施設、道路、上下水道、公園施設等）についてご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

質問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。調査票は、同封の封筒に入れてご返送ください。

6 居住誘導区域の設定の検討

(1) 誘導区域の基本的考え方

居住誘導重点区域及び居住誘導区域は、市街化区域から法令等に示されている災害危険性が高い区域等を除外した上で、災害についての安全性、公共交通、土地利用の状況、インフラ、公的施設や生活利便施設の立地利便性についての各項目を総合的に評価し、立地利便度の評価が高い区域を基本として設定します。

居住誘導重点区域は、本市独自の区域で居住誘導区域に内包される区域であり、重点方針に基づき、都心ゾーン及び（都）岡崎駅平戸橋線沿道を中心に設定し、土地の高度利用・高密度化を促し、居住誘導を図る区域

居住誘導区域は、一般方針に基づき、公共交通を利用した暮らしやすさや生活利便施設への近さ等の、生活利便性が良い区域に設定し、ゆるやかに居住の誘導を図る区域

居住誘導区域は、誘導すべきではない区域を整理し、除外した後に、国土交通省国土技術政策総合研究所が研究・開発を進めている「土地利用の適正を評価するための技術手法」や愛知県の「あいち集約型まちづくりモデルにおける評価手法」を参考に設定した「居住誘導区域設定検討モデル」を使用し、本市において立地利便度が高い区域（住宅地利用に適している区域）を定量的に評価・抽出し、本計画で採用する将来人口の実現可能性や地形地物の状況及び市街地状況等の定性的要素を総合的に勘案して、区域の設定を行うものとします。

（２）居住誘導区域に含めない地域

誘導すべきではない区域について、法令等による根拠から、以下のように設定します。

表 居住誘導区域に含めない地域

名称	区域に含めないとする根拠
市街化調整区域	都市再生特別措置法により含めないとされている
保安林	
土砂災害特別警戒区域	都市計画運用指針により含めないとされている
急傾斜地崩壊危険区域	
工業専用地域	法令等により住宅の建築が制限されている
地区計画により住宅の建築が制限されている地域	

誘導すべきではない区域以外であっても、災害発生の危険性があり、居住誘導区域設定の際に留意すべき地域について、以下に示します。

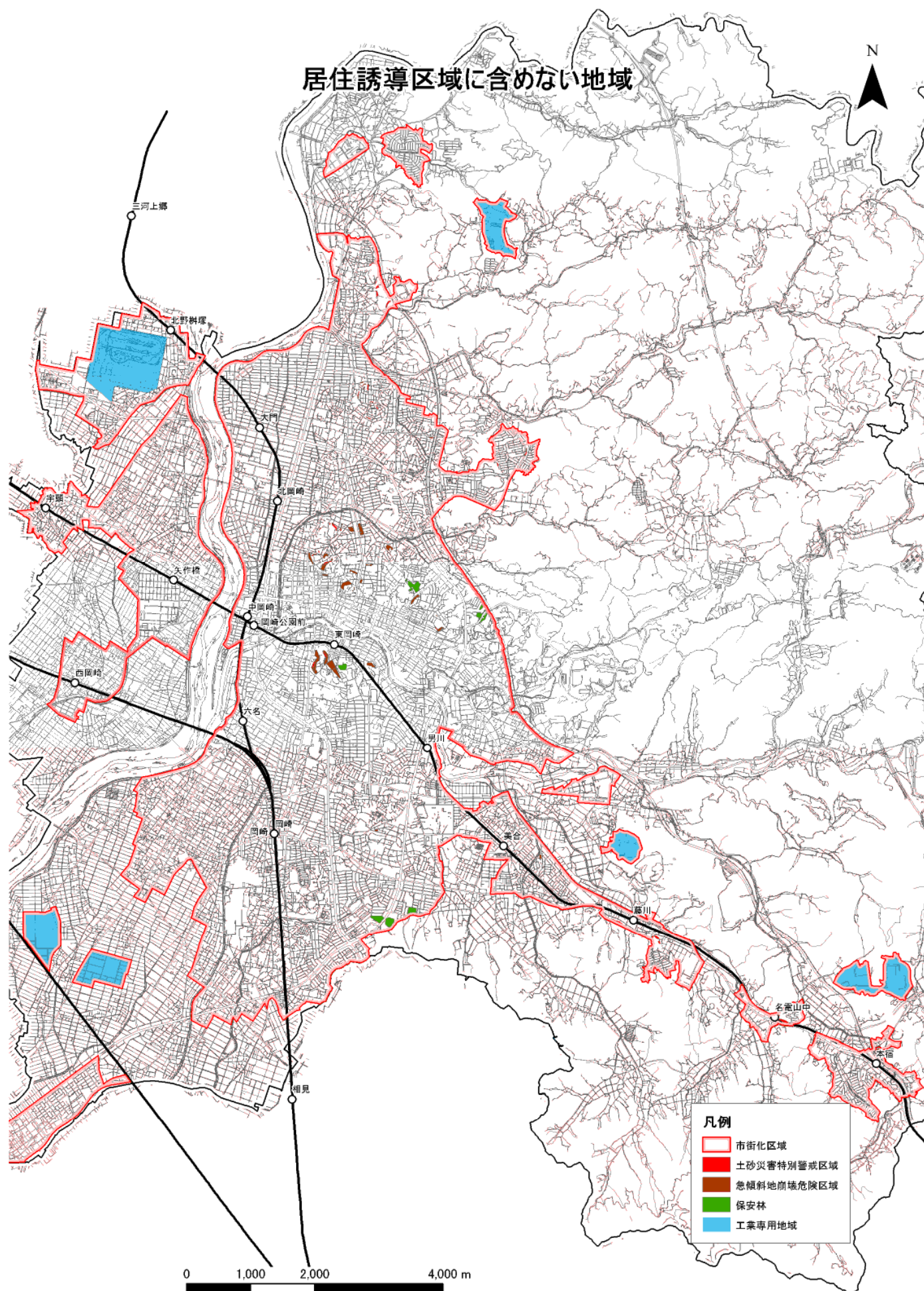
表 居住誘導区域設定の際に留意すべき地域

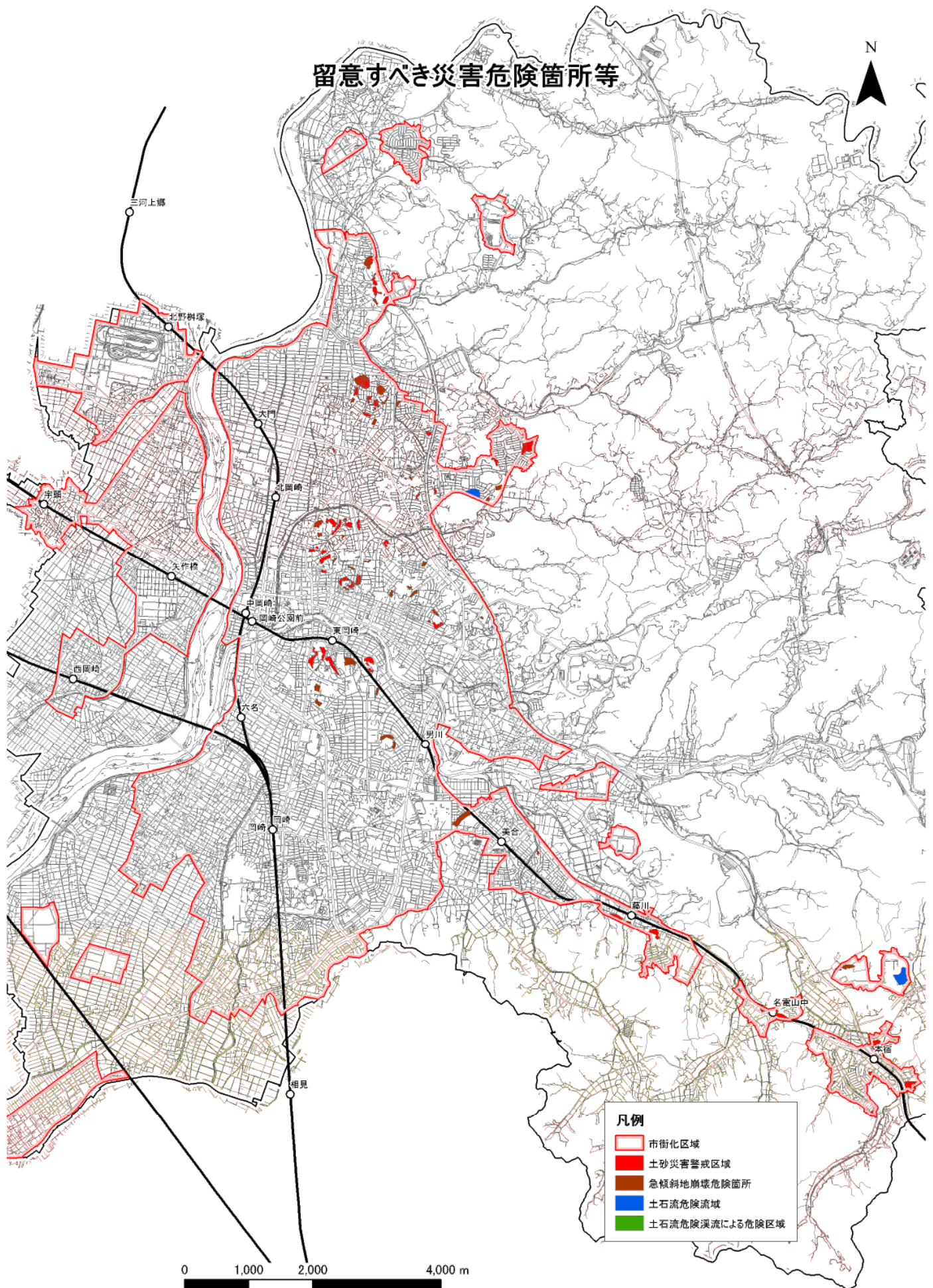
名称	留意すべきとする根拠
土砂災害警戒区域	都市計画運用指針により、条件※により含めないとされている
水防法における浸水想定区域	
急傾斜地崩壊危険箇所	法的根拠はないものの、災害発生の危険性を考慮し、区域設定にあたって留意する
土石流危険渓流による危険区域	
土石流危険流域	
中小河川の浸水想定地区（外水氾濫）	
総合雨水対策計画における浸水警戒地区（内水氾濫）	

※災害リスク、警戒避難体制の整備状況、災害を防止し、又は軽減するための施設の整備状況や整備見込み等を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合

上記の居住誘導区域設定の際に留意すべき地域は、居住誘導区域から除外することを基本としますが、水防法における浸水想定区域、中小河川の浸水想定地区（外水氾濫）、総合雨水対策計画における浸水警戒地区（内水氾濫）については、「（３）誘導区域の定量的検討」における立地利便評価により、区域の検討を行うこととします。

以上の居住誘導区域に含めない地域及び居住誘導区域設定の際に留意すべき地域のうち居住誘導区域から除外する具体的な地域は、次頁の図のとおりです。

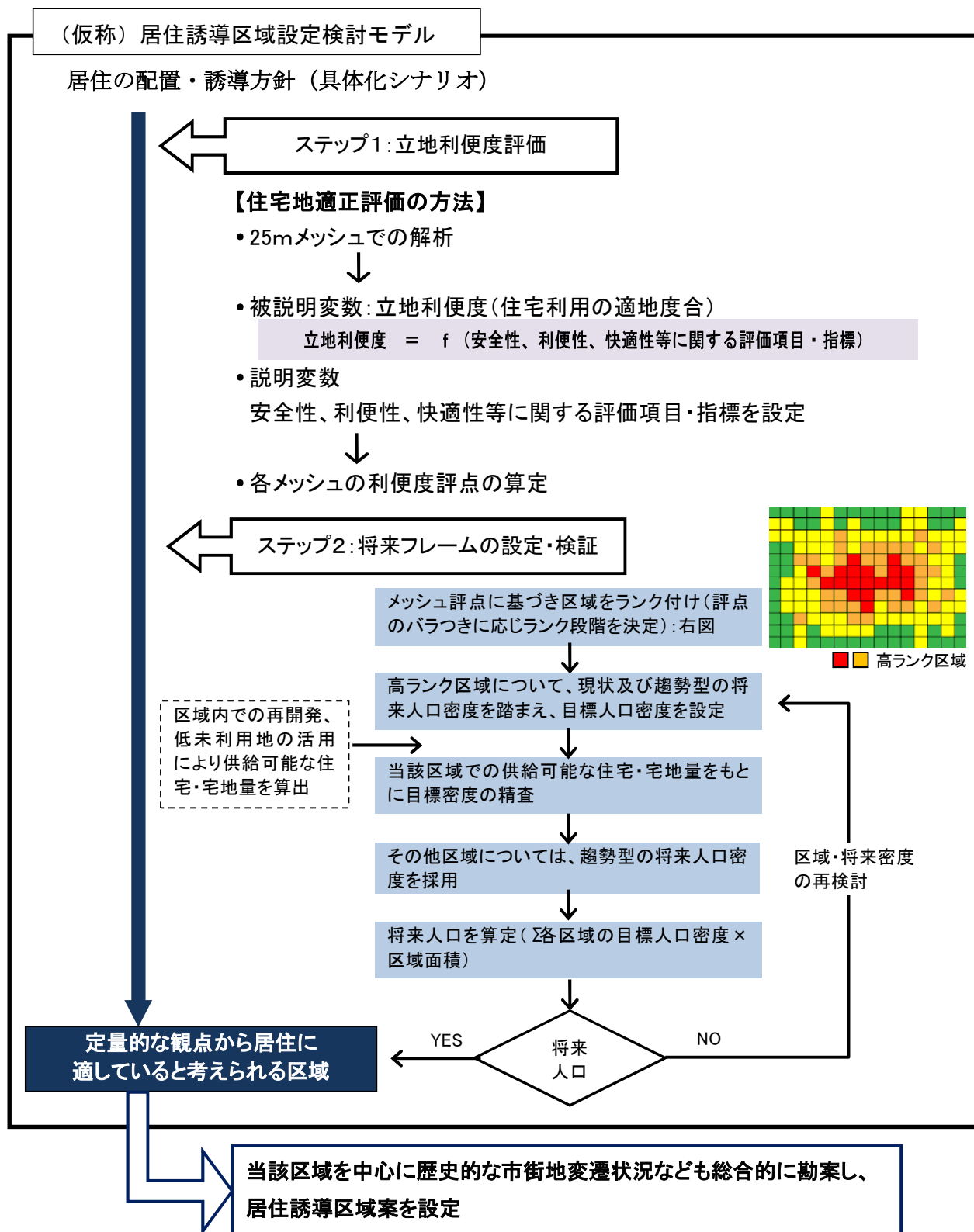




(3) 誘導区域の定量的検討

① 誘導区域の定量的検討モデル

下図に示す「居住誘導区域設定検討モデル」を用いて、本市において住宅立地の利便度が高い区域を評価した上で、本計画で採用する将来人口の実現可能性を加味して、定量的な観点から居住に適していると考えられる区域を抽出します。



② 評価項目・指標

本市が目指す将来都市像の実現に向けた居住誘導のため、良好な居住環境を有し、地域における公共投資や公共公益施設の維持管理などの都市経営を効率的に行うことができる区域（＝住宅地適地）を定量的に選定します。

評価項目・指標の設定にあたっては、愛知県が実施している「あいち集約型まちづくりモデル検討」における土地利用利便度評価（案）をベースに、安全性、公共交通利便性、土地利用状況と立地利便性、効率・経済性とインフラ利便性、施設立地利便性の視点から、本市の実情を踏まえて設定する。評価単位は25mメッシュとし、メッシュ単位で評価点数を付け、これを合計することにより評価を行います。

評価項目は、土地利用の適正を評価する項目（加点項目）と不適正を評価する項目（減点項目）から成り、加点項目を合計した評価点に0.5～0.9の間で設定された減点項目の減点掛率を全て乗じることにより算出するものとします。

（評価点数計算例）

$ \begin{array}{c} \text{（公共交通利便性、効率・経済性等の加点項目）} \times \text{安全性等の減点項目} = \text{総合評価点} \\ \begin{array}{ccc} \swarrow & & \searrow \\ \text{（30点＋10点＋10点＋5点＋10点＋10点＋…）} & \times 0.5 \times 0.9 \times 0.75 \times \dots = & \text{総合評価点} \end{array} \end{array} $
--

【減点項目の減点掛率の設定】

減点掛率は、「あいち集約型まちづくりモデル検討」にならい0.5を基本とします。

ただし、災害の発生確率が低い（概ね10年に1度程度）又は人的被害が少ないと考えられる項目については、減点掛率を1～0.5の中間値として0.75とし、さらに、災害の発生確率が非常に低い（概ね30年に1度程度）又は人的被害が非常に少ないと考えられる項目については、減点掛率を0.9とします。

【加点項目の配点の設定】

加点評価項目については、以下の4つの大項目に分類し、それぞれの配点は50点を基本とします。

ただし、「公共交通利便性」については、居住の誘導・配置方針における「重点方針」に直接的に関わる指標であるため配点を高くし、70点を基本とします。

＜加点項目の大分類と配点＞

1	公共交通利便性（重点方針）	70点
2	土地利用状況と立地利便性	50点
3	効率・経済性とインフラ利便性	50点
4	施設立地利便性	50点

次に、大項目中の小項目の配点については、原則として10点を最高点として付与します。

ただし、「1公共交通利便性」と「4施設立地利便性」については、以下の考え方のもとに各小項目の配点を調整します。

「1 公共交通利便性」については、一般バス停の利便性が他の一般小項目の利便性と同等評価と見なし10点を付与し、順次利便性の向上とともに配点を上げ、最高点を40点と設定します。さらに市民意向調査結果（H29）において居住の条件として「駅やバス停の近さ」に対する回答率が高いことを反映し、鉄道利便性、バス利便性に各10ずつ加点します。

また、「4 施設立地利便性」については、「保育園・幼稚園」及び「高齢者福祉施設」の利用者層が限定されることから配点を下げ、最高点を5点と設定します。その他の小項目については、最高点を一律10点と設定します。さらに「1 公共交通利便性」と同様に、市民意向調査結果（H29）において居住の条件として「医療施設や福祉施設の利用のしやすさ」「日常の買い物のしやすさ」に対する回答率が高いことを反映し、医療施設利便性、通所系高齢者福祉施設利便性、商業施設利便性に各10ずつ加点します。

上記より、加点項目の大分類と配点は以下のようになります。

＜加点項目の大分類と配点＞

- | | | |
|---|----------------|--|
| 1 | 公共交通利便性（重点方針） | 70点+10点（鉄道利便性）+10点（バス利便性）＝90点 |
| 2 | 土地利用状況と立地利便性 | 50点 |
| 3 | 効率・経済性とインフラ利便性 | 50点 |
| 4 | 施設立地利便性 | 50点+10点（医療施設利便性）+10点（通所系高齢者福祉施設利便性）+10点（商業施設利便性）＝80点 |

これら各項目の評価にあたっての元となる空間データ、指標値の算出方法、評価の考え方については次のとおりです。

■安全性（災害リスク等）＜減点項目＞

○NO.1 浸水被害1

【元になる空間データ】

国土交通省の矢作川洪水浸水想定区域図（計画規模）（H28）

愛知県の矢作川水系広田川浸水想定区域図、矢作川水系乙川浸水想定区域図（H29）

【指標値算出方法】

外水氾濫の該当有無（浸水想定区域、及び中小河川の浸水想定地区）

【評価の考え方】

水防法における浸水想定区域及び岡崎市水害対応ガイドブックにおける中小河川の決壊による浸水被害を受ける懸念がある区域を不適正評価

○N0.2 浸水被害 2

【元になる空間データ】

市資料 (H28)

【指標値算出方法】

内水氾濫の該当有無 (総合雨水対策計画における浸水警戒地区)

【評価の考え方】

総合雨水対策計画において「当面の目標」とされる「30 年確率降雨に対して床上浸水被害解消」と整合を図り、それを超えるものを不適正評価。

○N0.3 液状化被害

【元になる空間データ】

防災危機管理課 液状化・浸水深データ (H28)

【指標値算出方法】

液状化危険区域の該当有無

【評価の考え方】

地震による液状化被害を受ける懸念がある区域を不適正評価。

○N0.4 災害危険度 (延焼危険度)

【元になる空間データ】

市資料 (H28)

【指標値算出方法】

災害危険度判定調査に用いられる延焼クラスター棟数等による災害危険度

【評価の考え方】

災害危険度判定調査の手法に則り、延焼クラスター内の建物棟数が多い地区を、延焼危険性が高い地区として不適正評価。

ただし消防活動可能区域又は一時避難可能区域は、比較的防災性が高い地区として減点掛率を軽減。

○N0.5 工業専用地域近接性

【元になる空間データ】

都市計画基礎調査 (H28)

【指標値算出方法】

工業専用地域及び隣接区域 (おおむね 100m 圏)

【評価の考え方】

工業専用地域隣接区域は、騒音、振動等による生活環境悪化が懸念される区域として不適正評価。

○N0.6 高速道路等沿道区域

【元になる空間データ】

国土数値情報（H27）

【指標値算出方法】

高速道路・自動車専用道路沿道区域（おおむね100m圏）内外

【評価の考え方】

高速道路・自動車専用道路沿道区域は、騒音、振動等による生活環境悪化が懸念される区域として不適正評価。

■公共交通利便性（重点方針との整合）〈加点項目〉

○N0.7 鉄道利便性

【元になる空間データ】

国土数値情報（H28）

【指標値算出方法】

鉄道駅徒歩利用圏（800m）内外

【評価の考え方】

鉄道の駅徒歩利用圏内（都市構造の評価に関するハンドブックより800m）は、公共交通の利便性が高く、重点方針に合致する区域として特に高く評価。

○N0.8 バス利便性

【元になる空間データ】

国土数値情報（H28）

【指標値算出方法】

バス停留所駅徒歩利用圏（300m）内外

【評価の考え方】

バスの駅徒歩利用圏内（都市構造の評価に関するハンドブックより300m）は、公共交通の利便性が高く、重点方針に合致する区域として特に高く評価。

■土地利用状況と立地利便性〈加点項目〉

○N0.9 土地利用集積度

【元になる空間データ】

都市計画基礎調査（土地利用現況）（H25）

【指標値算出方法】

住居系及び商業系の土地利用割合、住工混在の割合を算定

【評価の考え方】

工業系土地利用割合が低い区域は住工混在率が低く、快適性が高い区域として評価。

○N0.10 空地充足度

【元になる空間データ】

都市計画基礎調査（土地利用現況）（H25）

【指標値算出方法】

公共空地率（公共空地面積/都市計画基礎調査区面積）

【評価の考え方】

公共空地（公園・緑地、広場、運動場）率が高い区域は、居住環境の向上に寄与するとともに、災害時の延焼防止機能が高い区域として評価。

○N0.11 用途地域

【元になる空間データ】

都市計画基礎調査（H28）

【指標値算出方法】

住専系用途地域の該当有無

【評価の考え方】

法的に住居専用系用途に指定される区域は、居住地としての既存ストックに優れる区域として評価。

○N0.12 まちの中心へのアクセス性

【元になる空間データ】

国土数値情報（H28）

【指標値算出方法】

徒歩及び公共交通を利用したまちの中心までの所要時間

【評価の考え方】

中心部（市内で最も乗降客数の多い東岡崎駅）までの所要時間が短い区域は、公共交通による多様な都市活動への近接性や、日常の生活利便性が高い区域として評価。

○N0.13 大規模事業所への通勤利便性

【元になる空間データ】

経済センサス基礎調査メッシュデータ（H24）

【指標値算出方法】

500mメッシュあたり従業員数 5,000 人以上のメッシュ中心点から半径 5km 内外

【評価の考え方】

大規模事業所への通勤圏内は、就業の場の近接性・選択性の高い区域として評価。

■効率・経済性とインフラ利便性<加点項目>

○N0.14 道路充足度

【元になる空間データ】

国土数値情報（H22）

【指標値算出方法】

道路網密度（道路延長/面積）

【評価の考え方】

道路網密度が高い区域は、インフラストックが優れているとともに、災害時の避難活動や消防活動を容易にする区域として評価。

○N0.15 公園充足度

【元になる空間データ】

国土数値情報（H23）

【指標値算出方法】

公園誘致圏（街区 250m、近隣 500m、地区 1km、総合 2km）内外

【評価の考え方】

公園誘致圏内は、快適性、安全性が高く、既存ストックを有効活用できる区域として評価。

○N0.16 下水道充足度

【元になる空間データ】

市資料（H28）

【指標値算出方法】

公共下水道整備済区域内外

【評価の考え方】

公共下水道整備済区域内は、保健衛生性、快適性が高く、既存ストックを有効活用できる区域として評価。

○N0.17 地区計画

【元になる空間データ】

市資料（H28）

【指標値算出方法】

住居系地区計画区域内外

【評価の考え方】

住居系地区計画区域内は、都市機能の既存ストックに優れる区域として評価。

■施設立地利便性<加点項目>

○N0.18 医療施設利便性

【元になる空間データ】

市資料（H27）

【指標値算出方法】

病院・診療所徒歩利用圏（800m）内外

【評価の考え方】

病院・診療所の徒歩利用圏内（都市構造の評価に関するハンドブックより 800m）は、日常の生活利便性が高い区域として評価。

○N0.19 小学校利便性

【元になる空間データ】

国土数値情報（H28）

【指標値算出方法】

小学校徒歩利用圏（500m）内外

【評価の考え方】

小学校の徒歩利用圏内（近隣住区論より 500m）は、日常の生活利便性が高い区域として評価。

○N0.20 中学校利便性

【元になる空間データ】

国土数値情報（H28）

【指標値算出方法】

中学校徒歩利用圏（1km）内外

【評価の考え方】

中学校の徒歩利用圏内（近隣住区論より 1km）は、日常の生活利便性が高い区域として評価。

○N0.21 保育園・幼稚園利便性

【元になる空間データ】

市資料（H27）

【指標値算出方法】

保育園・幼稚園徒歩利用圏（500m）内外

【評価の考え方】

保育園・幼稚園の徒歩利用圏内（近隣住区論より 500m）は、日常の生活利便性が高い区域として評価。

○N0.22 通所系高齢者福祉施設利便性

【元になる空間データ】

市資料（H27）

【指標値算出方法】

通所系高齢者福祉施設徒歩利用圏（500m）内外

【評価の考え方】

通所系高齢者福祉施設徒歩利用圏内（都市構造の評価に関するハンドブックより 500m）は、今後の高齢社会における生活利便性が高い区域として評価。

○N0.23 商業施設利便性

【元になる空間データ】

i タウンページデータベース（H27）、市資料（H27）

【指標値算出方法】

スーパーマーケット、ドラッグストア及びコンビニエンスストア徒歩利用圏（800m）内外

【評価の考え方】

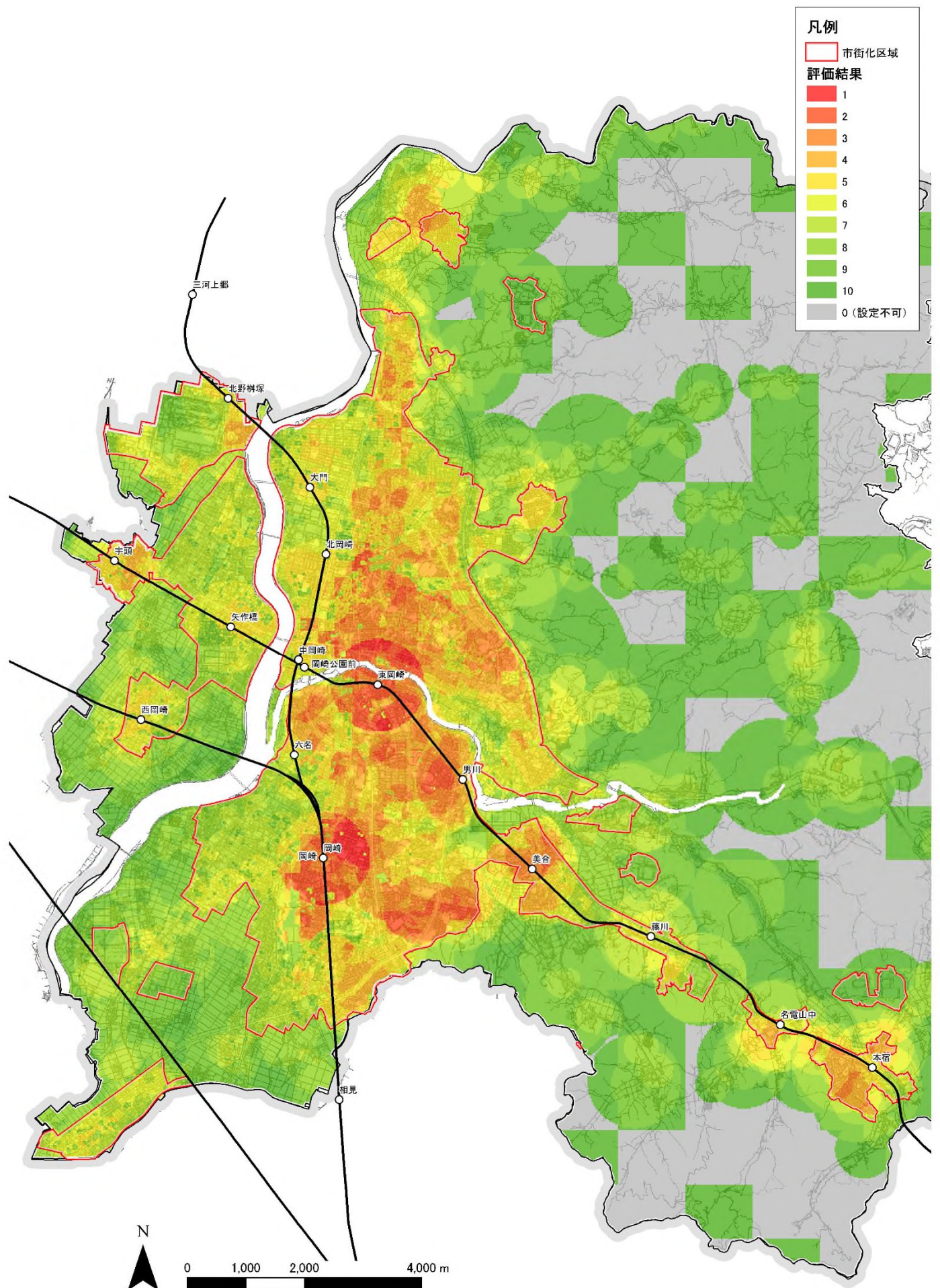
スーパーマーケット、ドラッグストア及びコンビニエンスストア徒歩利用圏内（都市構造の評価に関するハンドブックより 800m）は、日常の生活利便性が高い区域として評価。

以上の小分類の一覧及び各評価点数については、次表のとおりです。

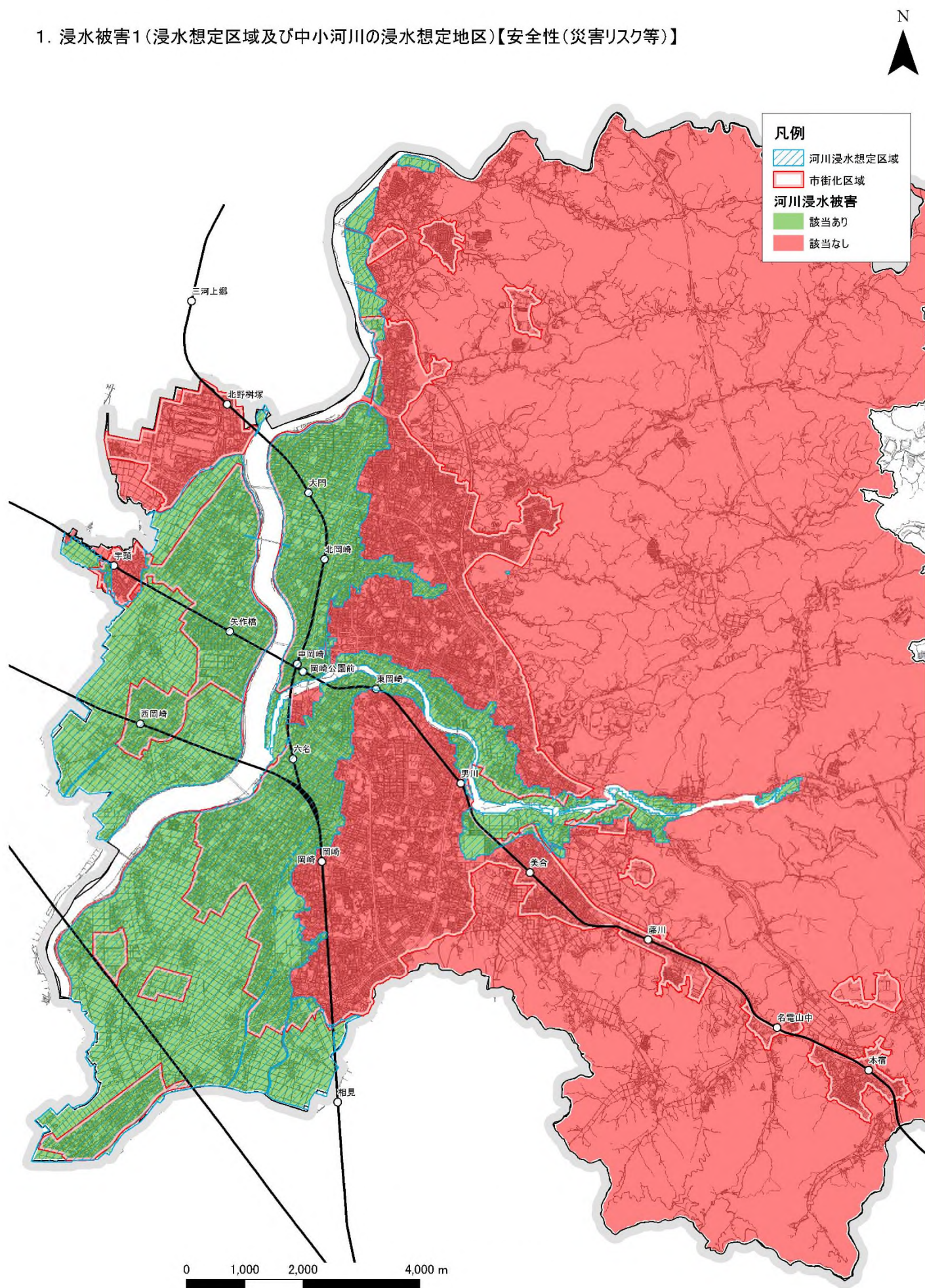
カテゴリ	NO	評価項目	計算方法	評価点数	評価の考え方		配点・減点掛率の考え方
					アンケート結果による加減		
安全性 (災害リスク等)	1	浸水被害1	外水氾濫の該当有無 (浸水想定区域、及び中小河川の浸水想定地区)	該当有：減点掛率(×0.9)		水防法における浸水想定区域及び岡崎市水害対応ガイドブックにおける中小河川の決壊による浸水被害を受ける懸念がある区域を不適正評価	発生確率が非常に低いいため、減点掛率を0.9とする
	2	浸水被害2	内水氾濫の該当有無 (総合雨水対策計画における浸水警戒地区)	・総合雨水対策計画による30年確率(河川整備計画改修済)における床上浸水(45cm以上)の浸水警戒地区：減点掛率(×0.5) 該当有：減点掛率(×0.75)		総合雨水対策計画において「当面の目標」とされる「30年確率降雨」に対して床上浸水被害解消し、被害を回避するものを超えない不適正評価	基本減点掛率0.5とする
	3	液状化被害	液状化危険区域の該当有無	該当有：減点掛率(×0.75)		地震による液状化被害を受ける懸念がある区域を不適正評価	発生頻度が比較的低いため、減点掛率を0.75とする
	4	災害危険度 (延焼危険度)	災害危険度判定調査に用いられる 延焼クラスター模数等による災害危険度	・延焼クラスター1000棟以上：減点掛率(×0.5) ・このうち消防活動可能区域又は一時避難可能区域該当区域：減点掛率(×0.75) ・延焼クラスター500棟以上：減点掛率(×0.75) ・このうち消防活動可能区域又は一時避難可能区域該当区域：減点掛率(×0.90)		災害危険度判定調査の手法に則り、延焼クラスター内の建物棟数が多い地区を、延焼危険性が高い地区として不適正評価 ただし消防活動可能区域又は一時避難可能区域は比較的低い危険性が高い地区として減点掛率を軽減	災害危険度判定調査の評価手法に則り、総合危険度の高い順に設定
	5	工業専用地域近接性	工業専用地域及び隣接区域(おおむね100m圏)	・工業専用地域100m圏内：減点掛率(×0.75)		工業専用地域隣接区域は、騒音、振動等による生活環境悪化が懸念される区域として不適正評価	人的被害が比較的小さいため減点掛率0.75とする
	6	高速度道路等沿道区域	高速度道路・自動車専用道路沿道区域(おおむね100m圏)内外	100m圏内：減点掛率(×0.75)		高速度道路・自動車専用道路沿道区域は、騒音、振動等による生活環境悪化が懸念される区域として不適正評価	人的被害が比較的小さいと考えられるため、減点掛率0.75とする
公共交通 利便性 (重点方針との整合) (90点)	7	鉄道利便性	鉄道駅徒歩利用圏(800m)内外	・名鉄特急、JR快速停車駅利用圏内：40点 ・名鉄急行停車駅利用圏内：20点 ・一般駅圏内：15点 ・圏外：0点	居住の条件として「駅やバス停の近さ」に対する回答率が高い ⇒プラス10点	鉄道の徒歩利用圏内(都市構造の評価に関するハンドブックより800m)は、公共交通の利便性が高く、重点方針に合致する区域として特に高く評価	名鉄特急、JR快速停車駅は最も利便性が高いため40点、名鉄急行停車駅は次いで利便性が高いため20点、その他一般駅は一般評価項目の満点より高く評価の扱いで15点とする。さらにアンケート結果を踏まえ各10点加算する。
	8	バス利便性	バス停留所徒歩利用圏(300m)内外	・基幹バス停留所利用圏内：30点 ・運行本数30本/日以上停留所利用圏内：15点 ・その他バス停留所：10点 ・圏外：0点	居住の条件として「駅やバス停の近さ」に対する回答率が高い ⇒プラス10点	バスの徒歩利用圏内(都市構造の評価に関するハンドブックより300m)は、公共交通の利便性が高く、重点方針に合致する区域として特に高く評価	都市ゾーンの基幹バスの停留所は最も利便性が高いため30点、運行本数30本/日以上停留所は次いで利便性が高いため15点、その他停留所は一般評価項目の満点、その他停留所は一般評価項目の結果を踏まえ各10点加算する。さらにアンケート結果を踏まえ各10点加算する。
	9	土地利用集積度	住居系及び商業系の土地利用割合、住居混在の割合を算定	・工業系10%未満：10点 ・工業系30%未満：5点 ・それ以外：0点		工業系土地利用割合が低い区域は住居混在率が低く、快適性が高い区域として評価	工業系土地利用割合が10%(平均)未満を10点とし、30%未満(平均+1標準偏差)を5点とする
	10	公共空地充足度	公共空地率(公共空地面積/都市計画基礎調査区面積)	・2%(平均)以上：10点 ・2%未満：0点		公共空地(公園・緑地、広場、運動場)率が高い区域は、居住環境の向上に寄与するとともに、災害時の延焼防止機能が高い区域として評価	公共空地率2%(市街化区域内の平均)以上を5点とする (公園充足度と重複する性質を持つため、満点の半分の5点とする)
減点項目							
加減項目							

カテゴリ	NO	評価項目	計算方法	評価点数		評価の考え方	配点・減点率の考え方
				アンケート結果による加減点			
土地利用状況と立地利便性(50点)	11	用途地域	住専系用途地域の該当有無	・該当有:10点 ・該当なし:0点		法的に住居専用系用途に指定される区域は、居住地としての既存ストックに優れる区域として評価	該当区域を10点とする
	12	まちの中心へのアクセシビリティ	徒歩及び公共交通を利用したまちの中心までの所要時間	・10分圏内:10点 ・20分圏内:5点 ・20分圏外:0点		中心部(市内で最も乗降客数の多い東岡崎駅)までの所要時間が短い区域は、公共交通による多様な都市活動への近接性や、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を10点とする
	13	大規模事業所への通勤利便性	500mメッシュあたり従業員数5,000人以上のメッシュ中心点から半径5km内外	・圏内:10点 ・圏外:0点		大規模事業所への通勤圏内は、就業の場の近接性・選択性の高い区域として評価	該当区域を10点とする
	14	道路充足度	道路網密度(道路延長/面積)	・10km/km ² (市街化区域平均)以上:10点 ・10km/km ² 未満:0点		道路網密度が高い区域は、インフラストックが優れているとともに、災害時の避難活動や消防活動を容易にする区域として評価	該当区域を10点とする
効率・経済性とインフラ利便性(50点)	15	公園充足度	公園誘致圏(街区250m、近隣500m、地区1km、総合2km)内外	・誘致圏内:10点 ・圏外:0点		公園誘致圏内は、快適性、安全性が高く、既存ストックを有効活用できる区域として評価	該当区域を10点とする
	16	下水道充足度	公共下水道整備済区域内外	・区域内:10点 ・区域外:0点		公共下水道整備済区域内は、保健衛生性、快適性が高く、既存ストックを有効活用できる区域として評価	該当区域を10点とする
	17	地区計画	住居系地区計画区域内外	・区域内:10点 ・区域外:0点		住居系地区計画区域内は、都市機能の既存ストックに優れる区域として評価	該当区域を10点とする
	18	医療施設利便性	病院・診療所徒歩利用圏(800m)内外	・利用圏内:10点 ・圏外:0点	居住の条件として「医療施設や福祉施設の利用のしやすさ」に対する回答率が高い ⇒プラス10点	病院・診療所の徒歩利用圏内(都市構造の評価に関するハンドブックより800m)は、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を10点とする さらにアンケート結果を踏まえ各10点加算する。
	19	小学校利便性	小学校徒歩利用圏(500m)内外	・利用圏内:10点 ・圏外:0点		小学校の徒歩利用圏内(近隣住区論より500m)は、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を10点とする
	20	中学校利便性	中学校徒歩利用圏(1km)内外	・利用圏内:10点 ・圏外:0点		中学校の徒歩利用圏内(近隣住区論より1km)は、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を10点とする
施設立地利便性(80点)	21	保育園・幼稚園利便性	保育園・幼稚園徒歩利用圏(500m)内外	・利用圏内:5点 ・圏外:0点		保育園・幼稚園の徒歩利用圏内(近隣住区論より500m)は、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を5点とする (利用者が制限されるため5点とする)
	22	通所系高齢者福祉施設利便性	通所系高齢者福祉施設徒歩利用圏(500m)内外	・利用圏内:5点 ・圏外:0点	居住の条件として「医療施設や福祉施設の利用のしやすさ」に対する回答率が高い ⇒プラス10点	通所系高齢者福祉施設徒歩利用圏内(都市構造の評価に関するハンドブックより500m)は、今後の高齢社会における生活利便性が高い区域として評価	該当区域を5点とする (利用者が制限されるため5点とする) さらにアンケート結果を踏まえ各10点加算する。
	23	商業施設利便性	スーパーマーケット、ドラッグストア及びコンビニエンスストア徒歩利用圏(800m)内外	・利用圏内:10点 ・圏外:0点	居住の条件として「日常の買い物のしやすさ」に対する回答率が高い ⇒プラス10点	スーパーマーケット、ドラッグストア及びコンビニエンスストア徒歩利用圏内(都市構造の評価に関するハンドブックより800m)は、日常の生活利便性が高い区域として評価	該当区域を10点とする

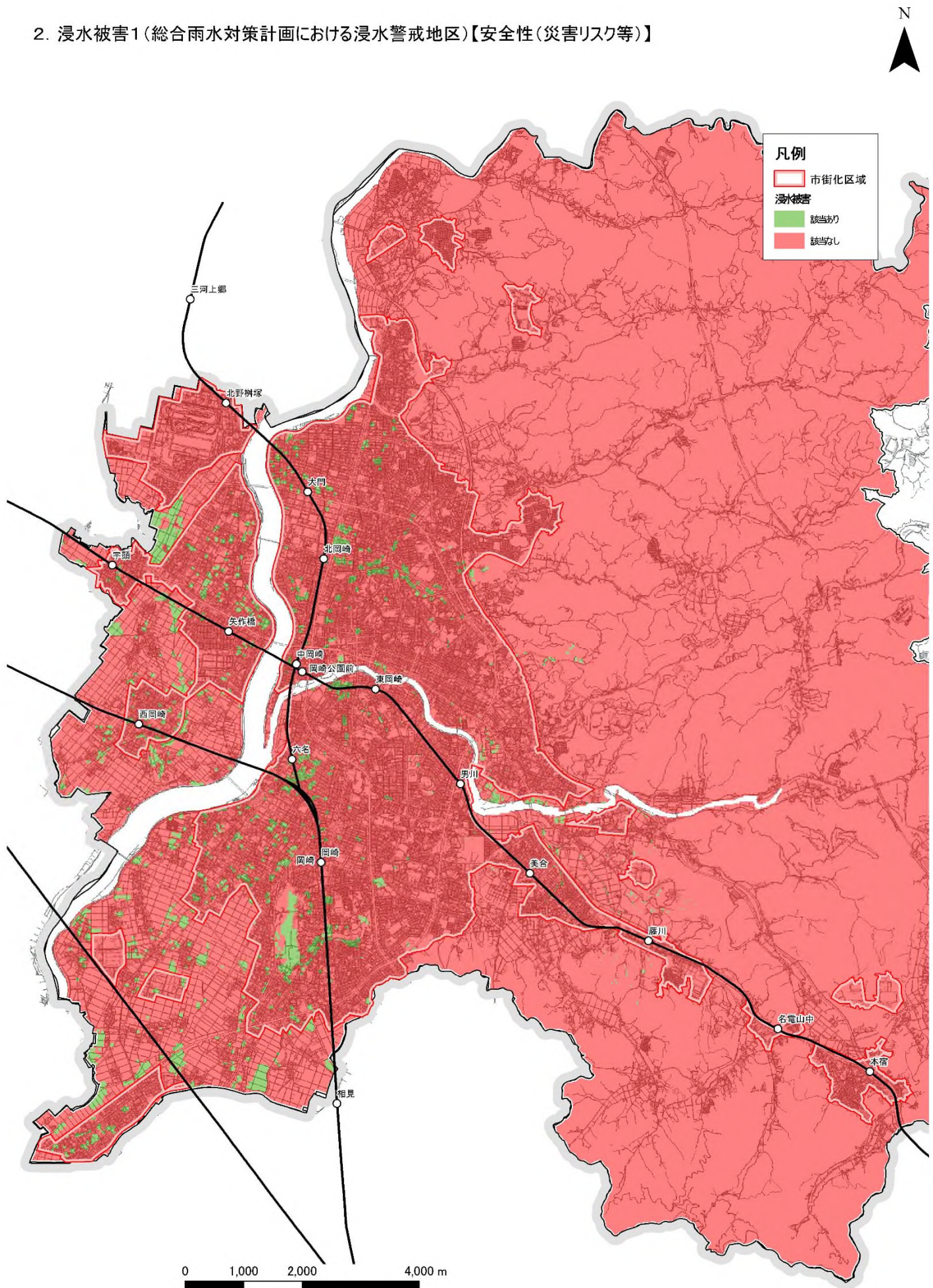
< 加 点 項 目 >



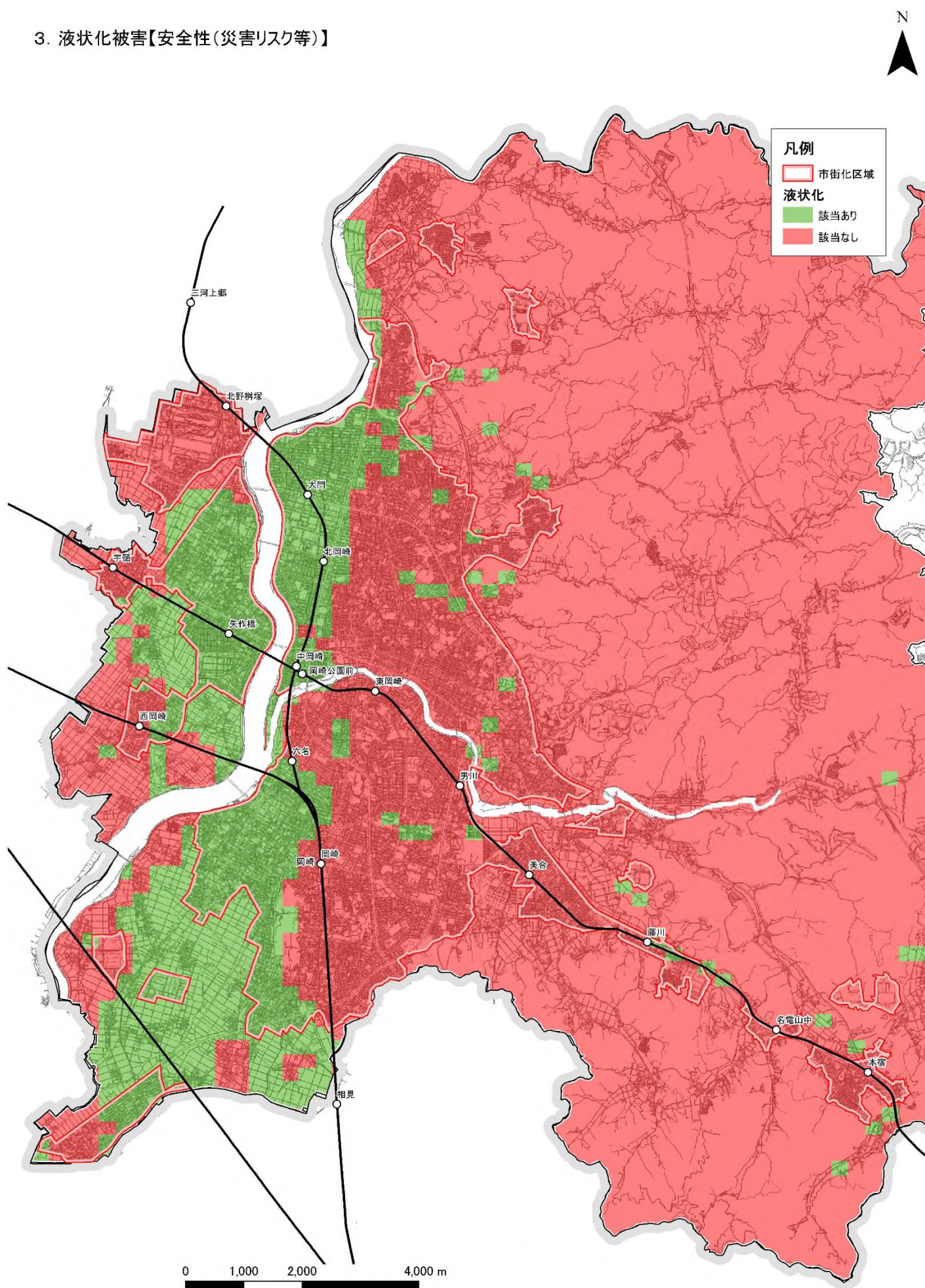
1. 浸水被害1(浸水想定区域及び中小河川の浸水想定地区)【安全性(災害リスク等)】



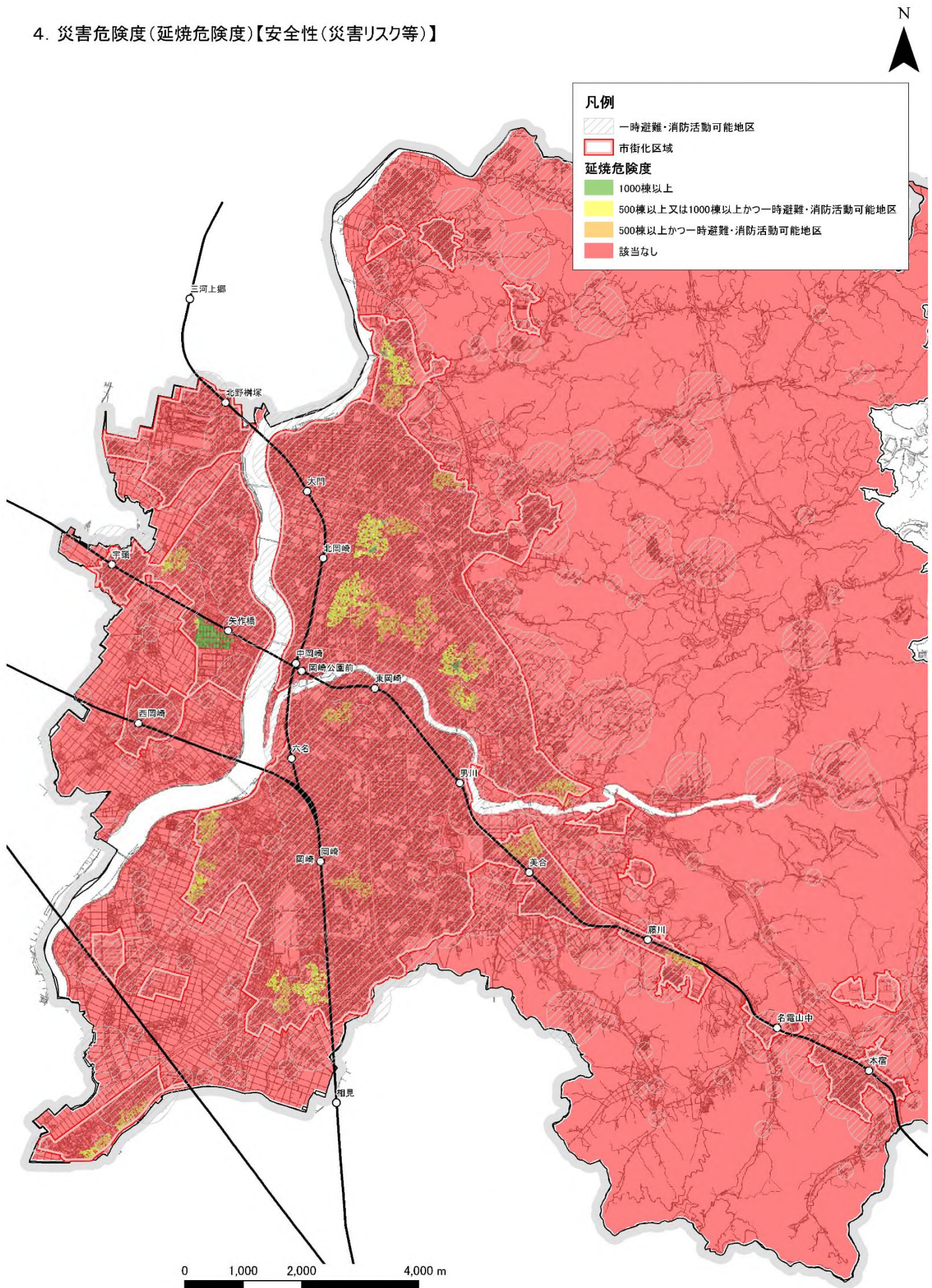
2. 浸水被害1(総合雨水対策計画における浸水警戒地区)【安全性(災害リスク等)】



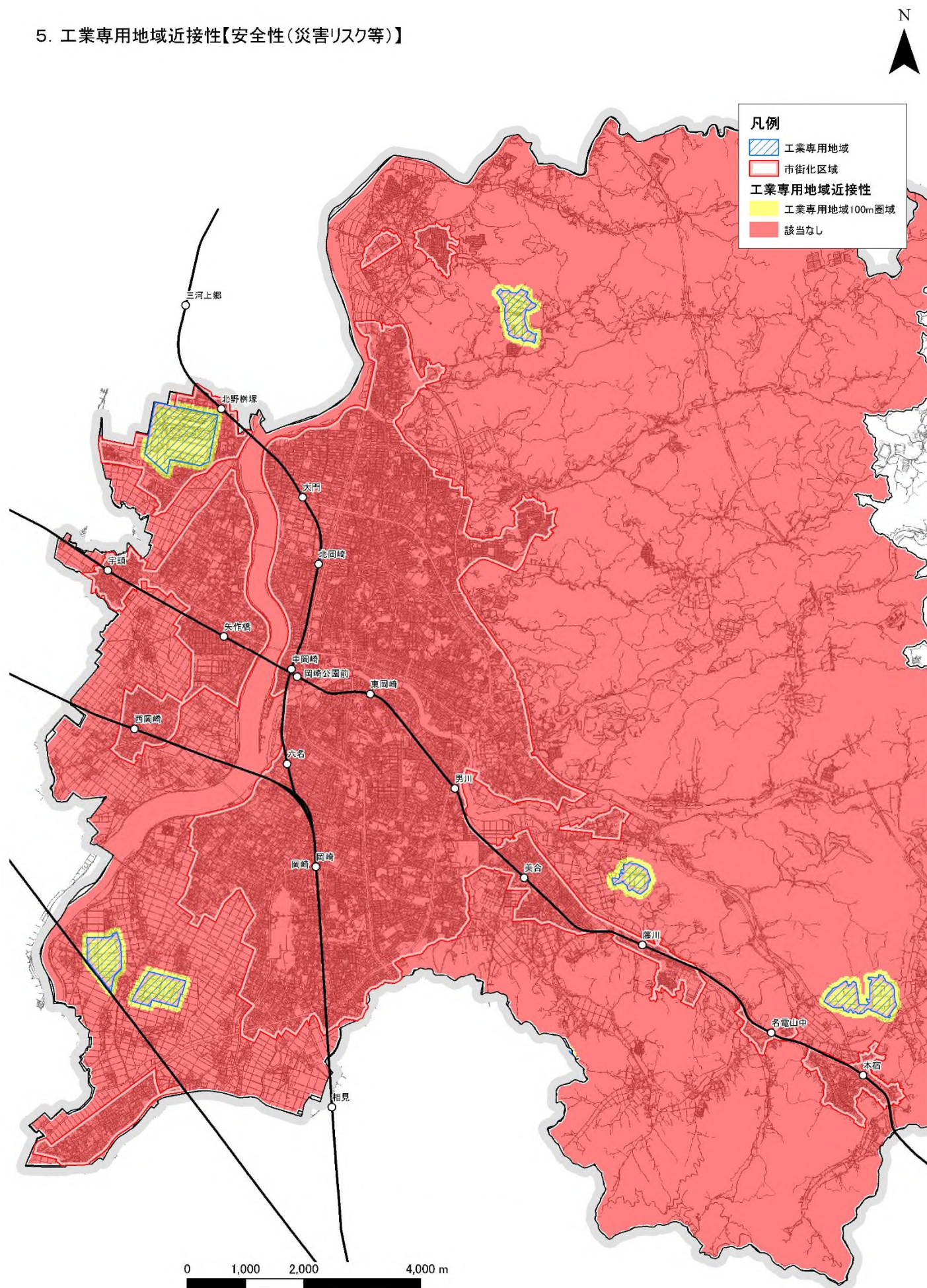
3. 液状化被害【安全性(災害リスク等)】



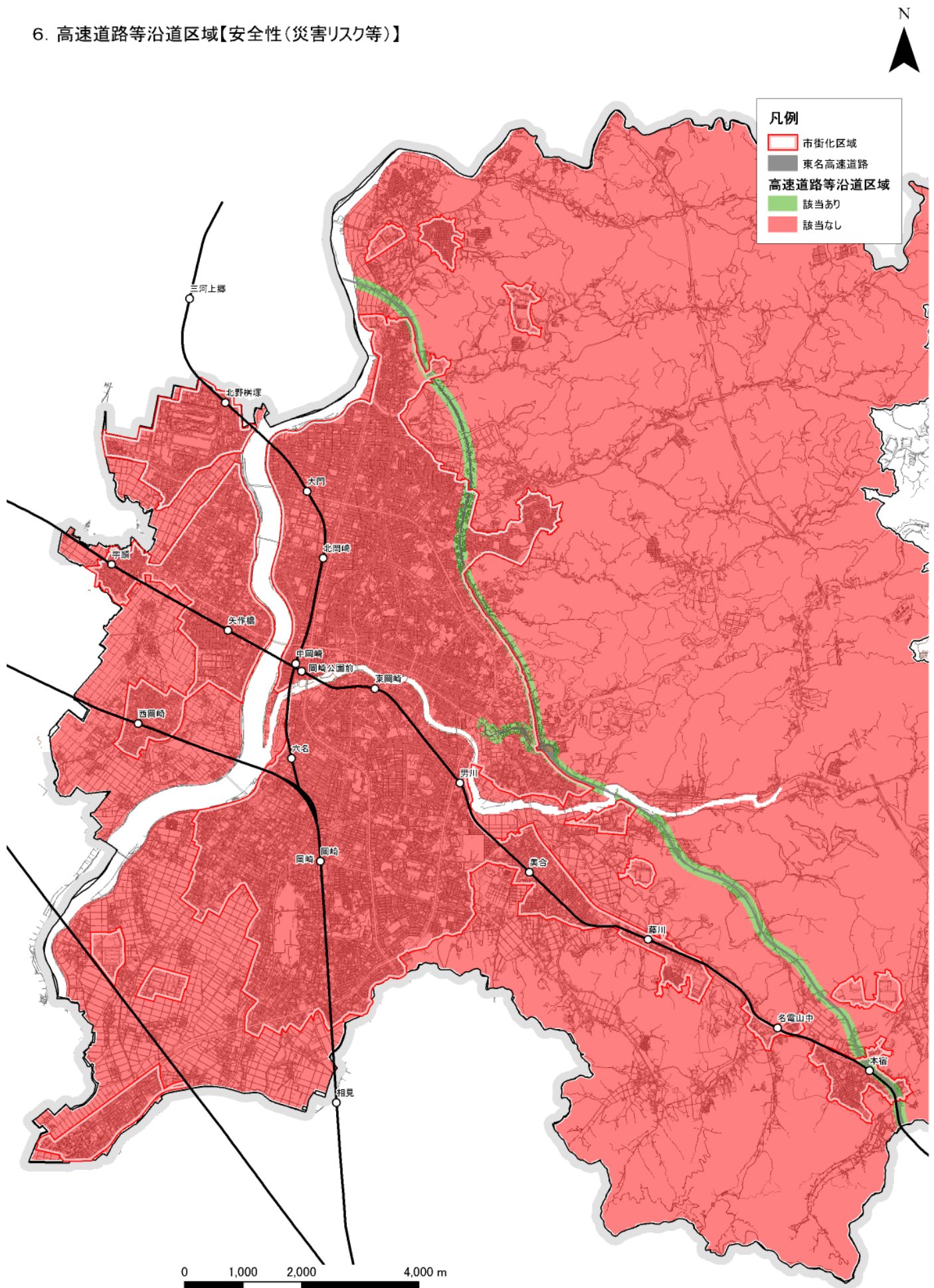
4. 災害危険度(延焼危険度)【安全性(災害リスク等)】



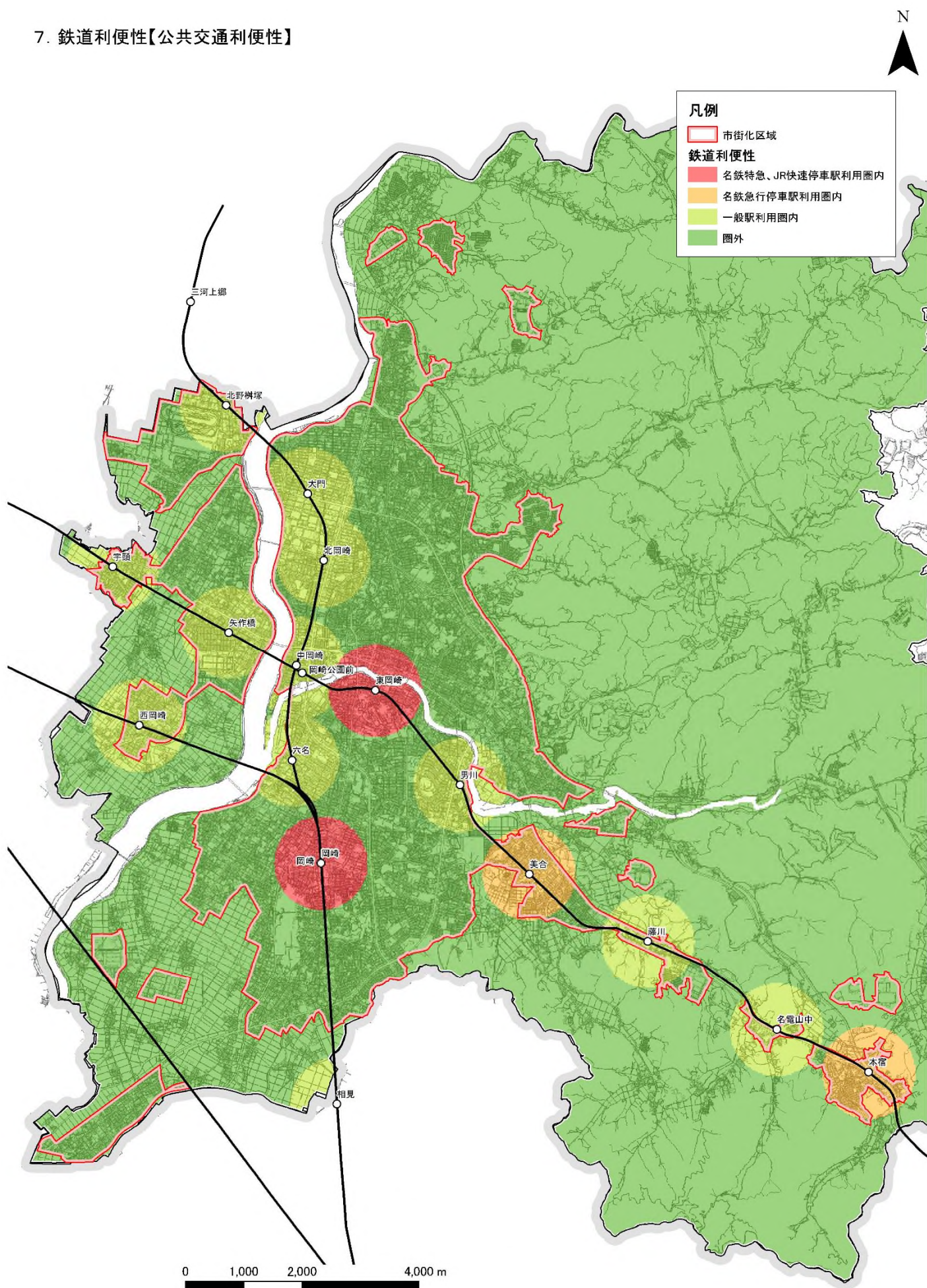
5. 工業専用地域近接性【安全性(災害リスク等)】



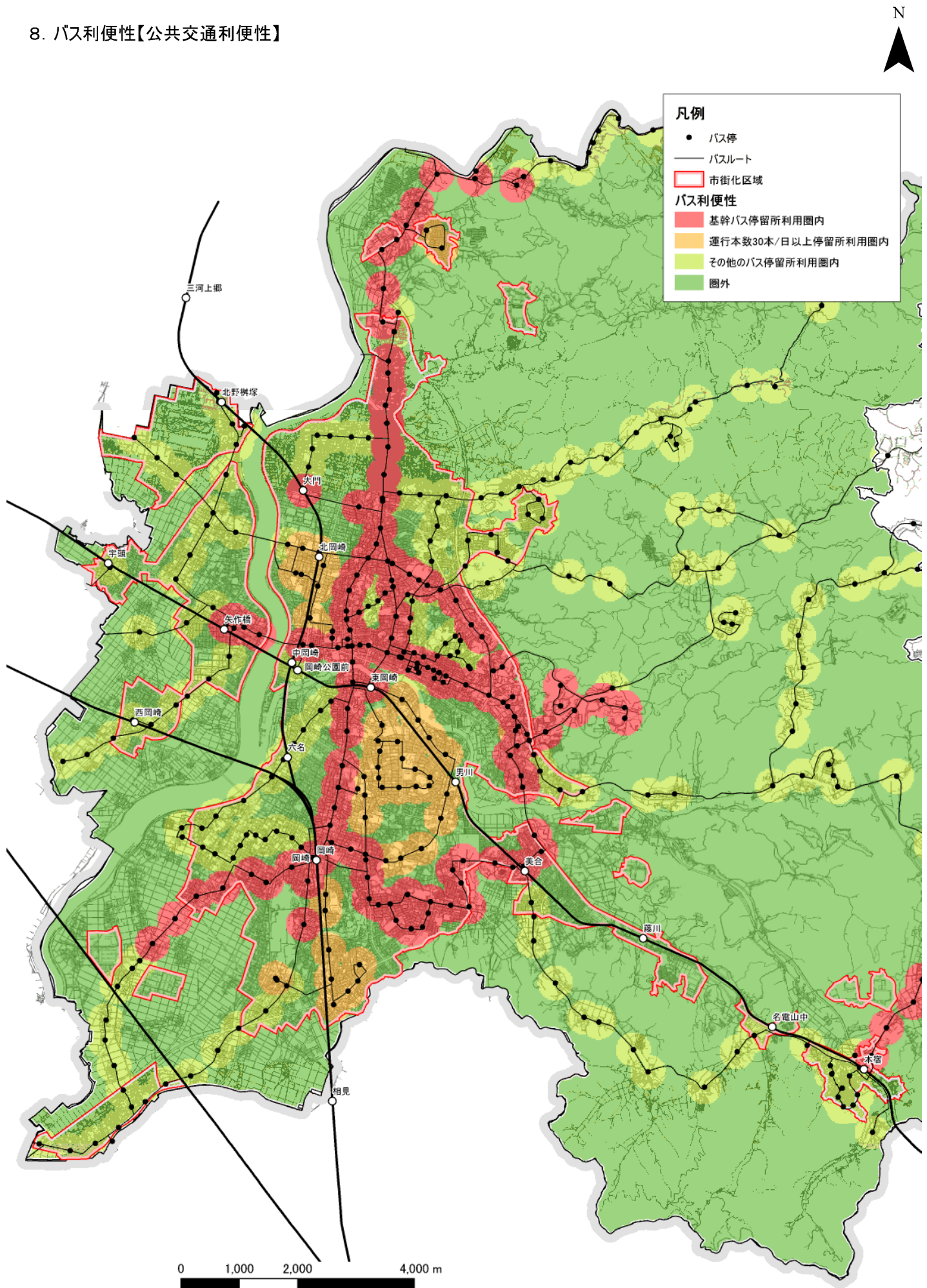
6. 高速道路等沿道区域【安全性(災害リスク等)】



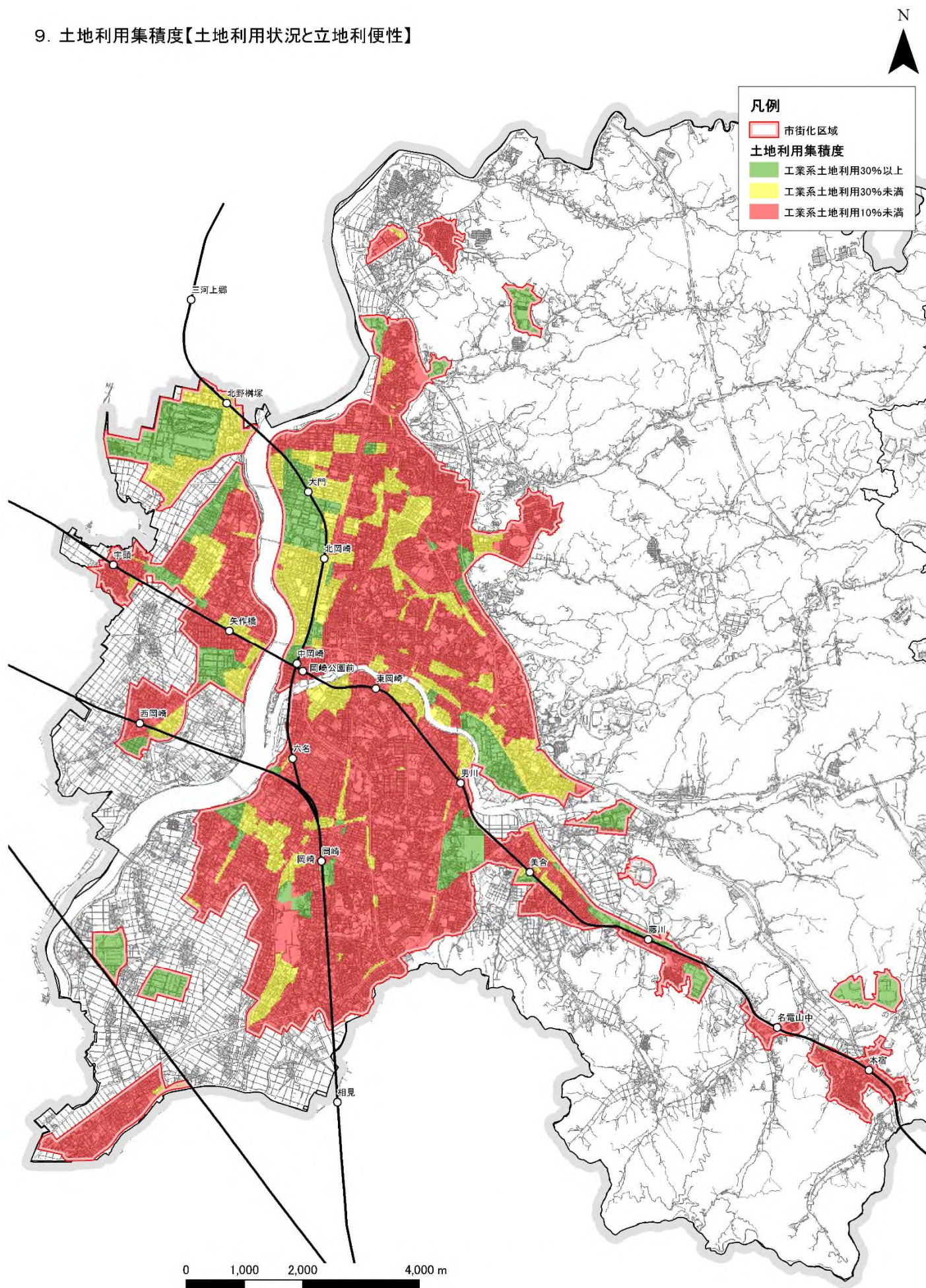
7. 鉄道利便性【公共交通利便性】



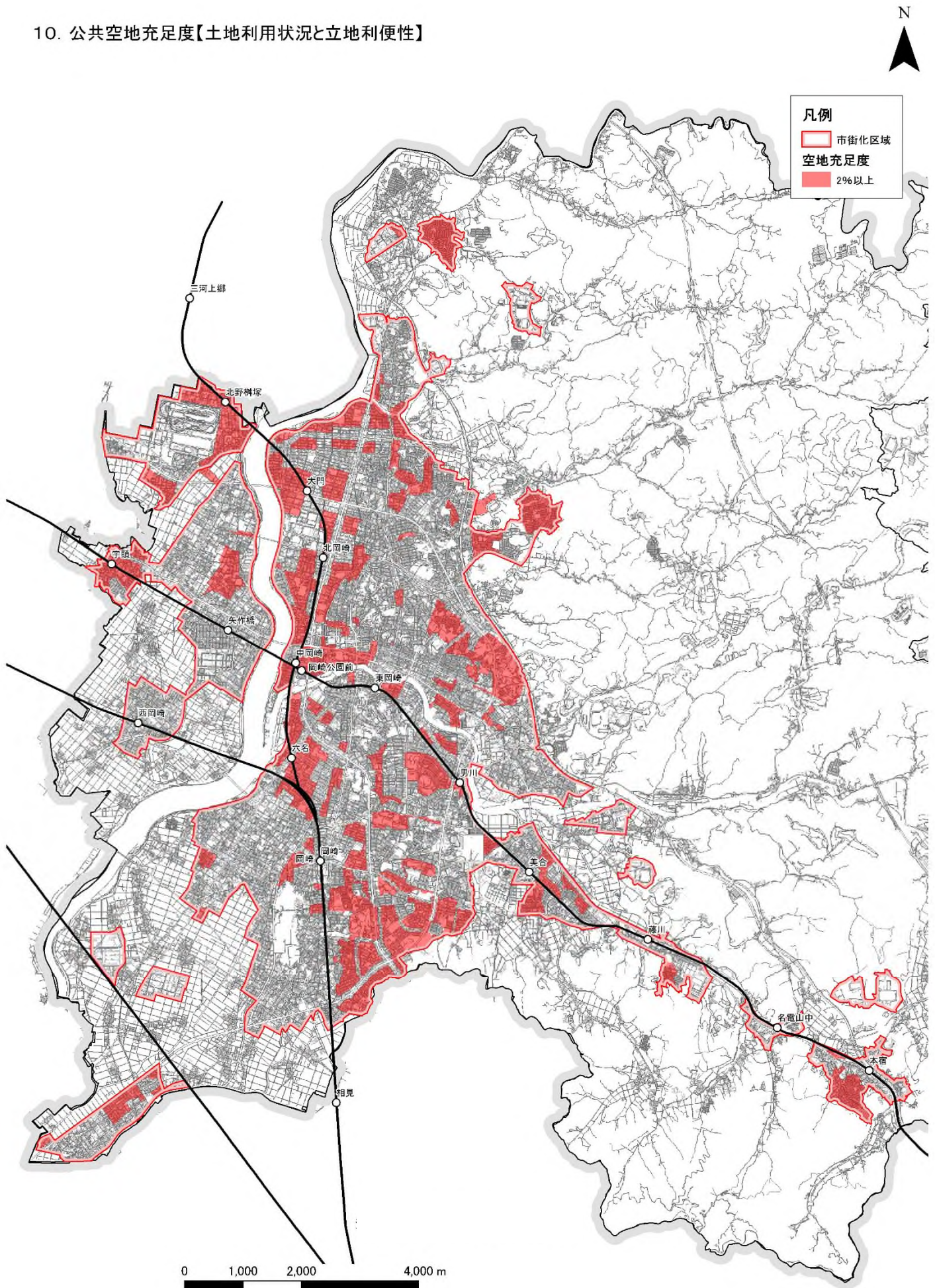
8. バス利便性【公共交通利便性】



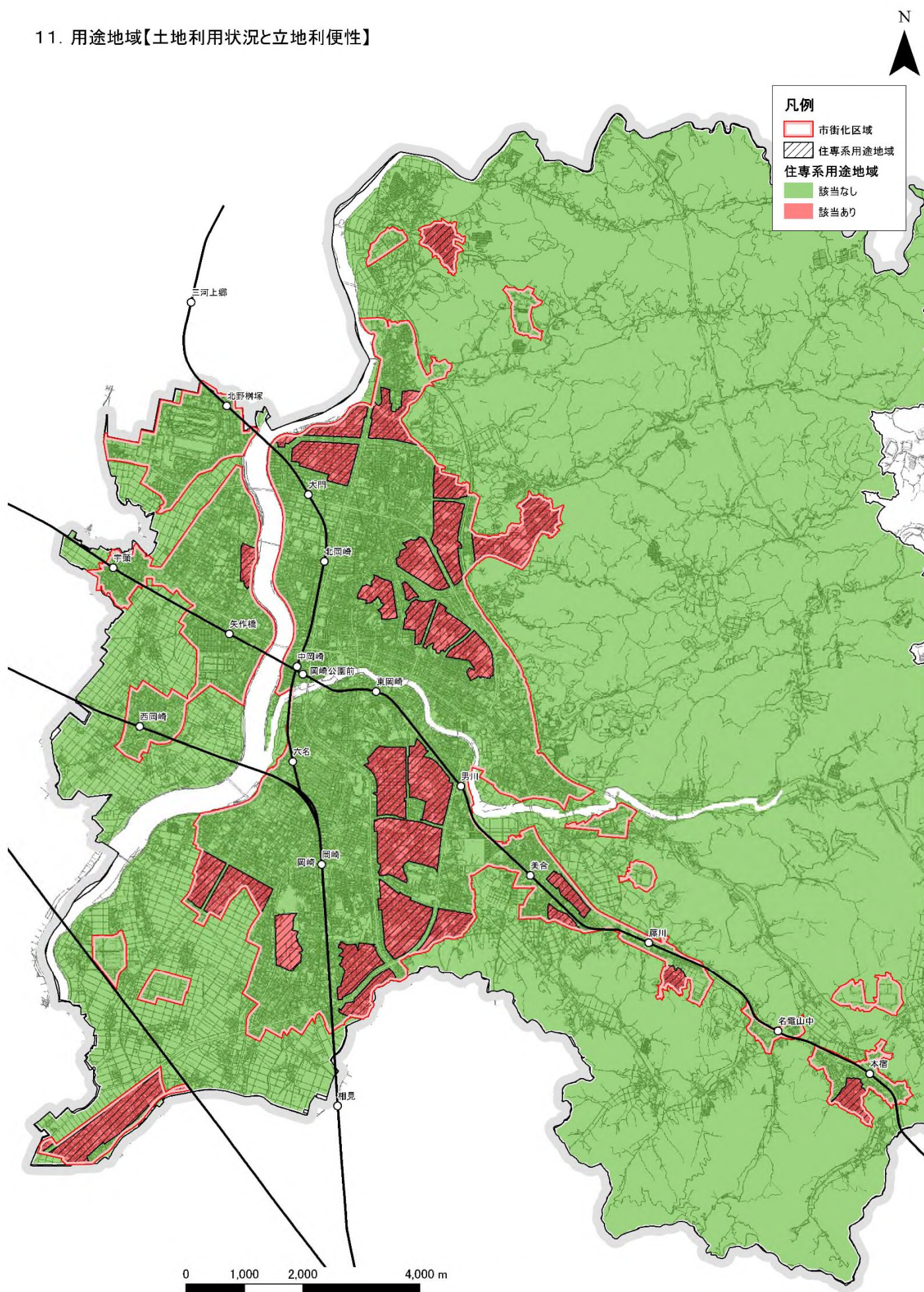
9. 土地利用集積度【土地利用状況と立地利便性】



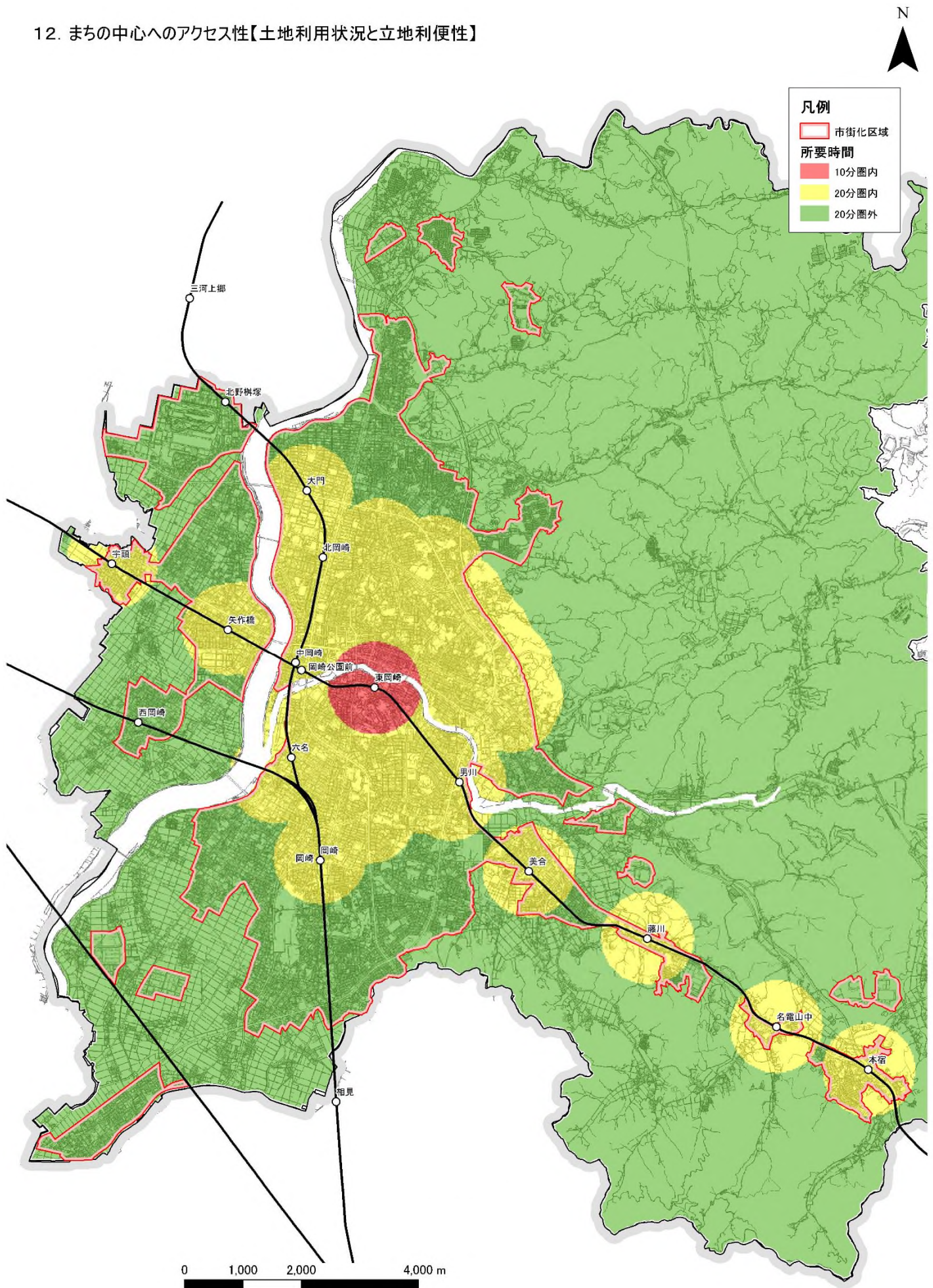
10. 公共空地充足度【土地利用状況と立地利便性】



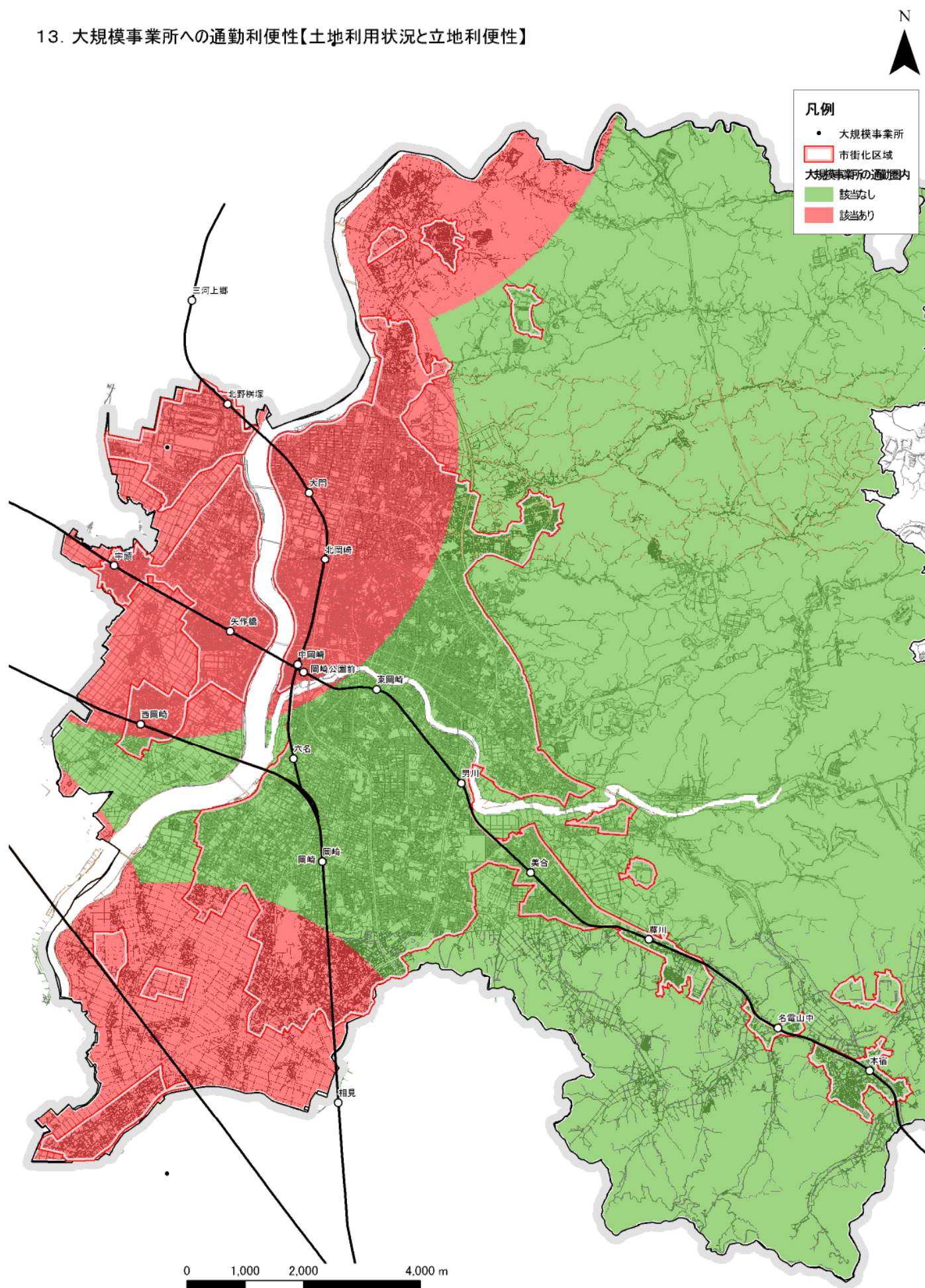
11. 用途地域【土地利用状況と立地利便性】



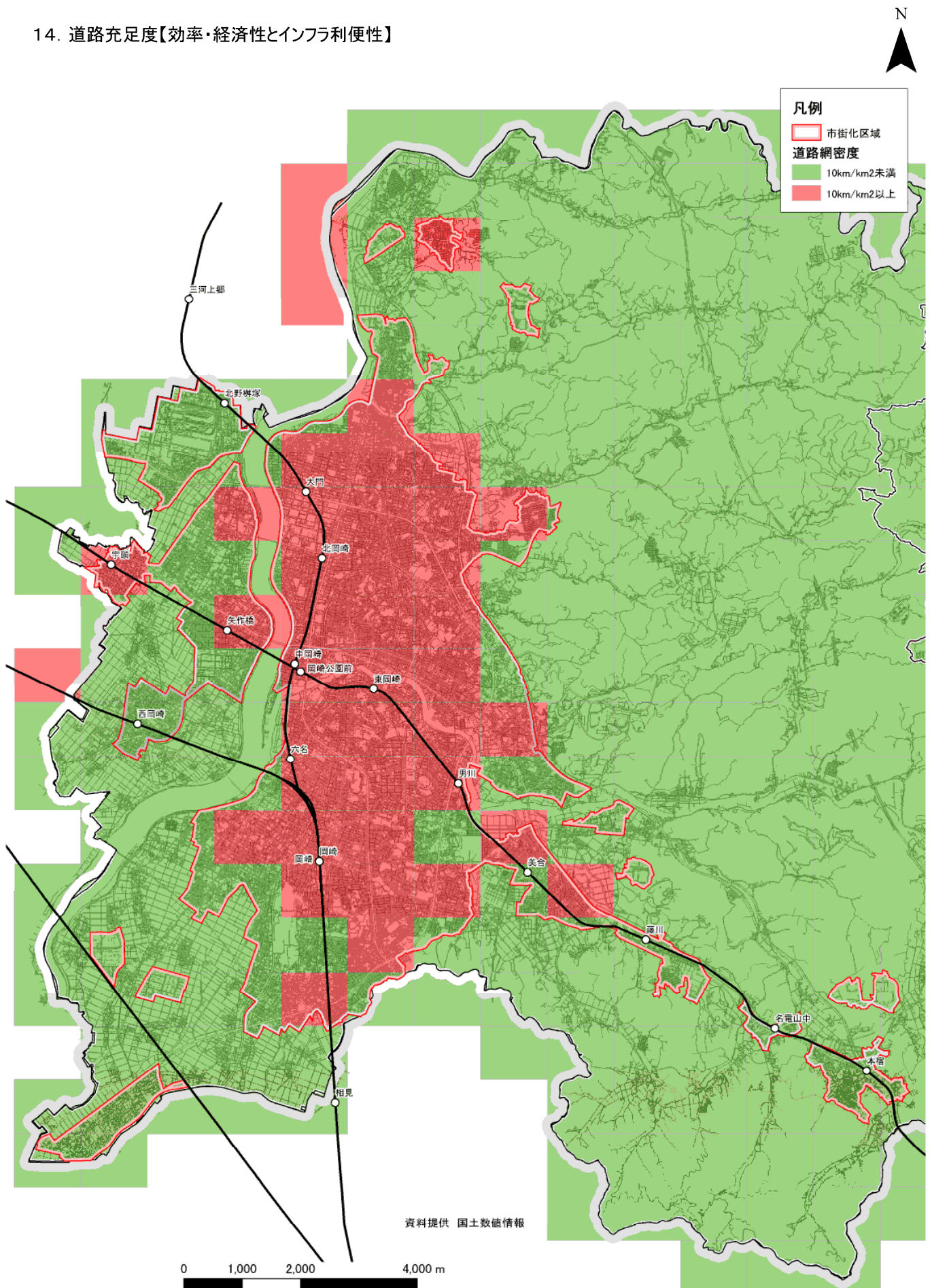
12. まちの中心へのアクセス性【土地利用状況と立地利便性】



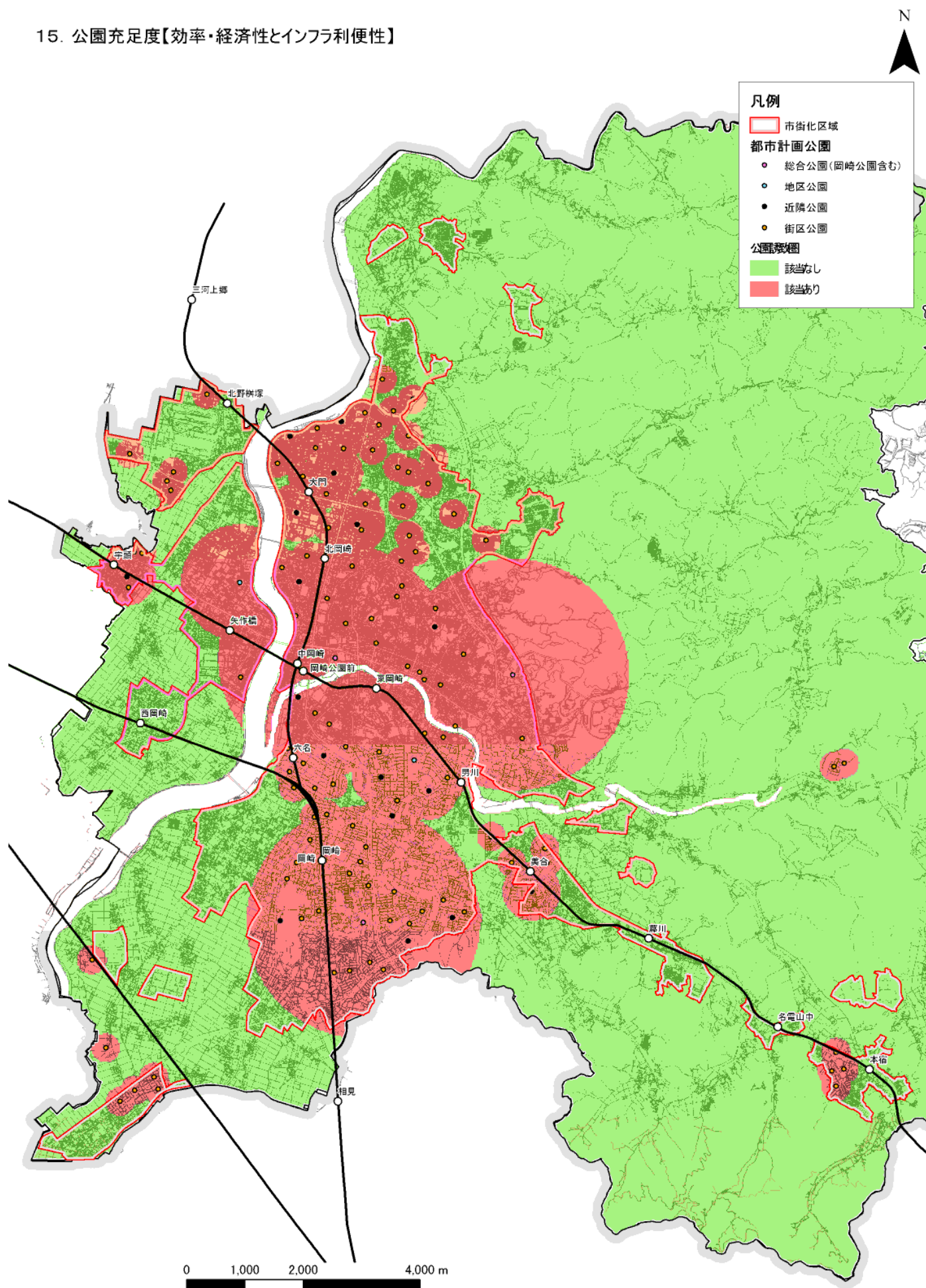
13. 大規模事業所への通勤利便性【土地利用状況と立地利便性】



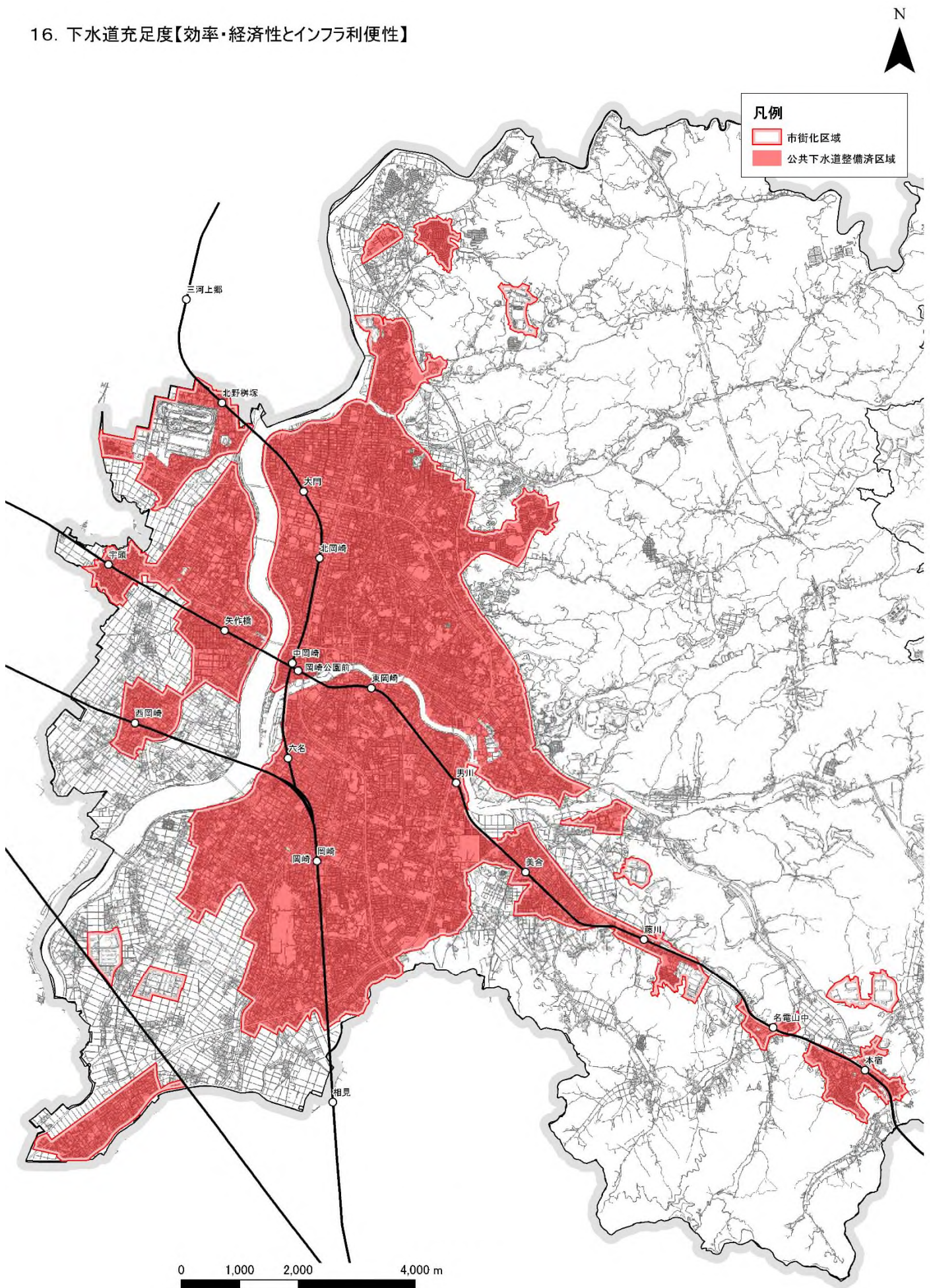
14. 道路充足度【効率・経済性とインフラ利便性】



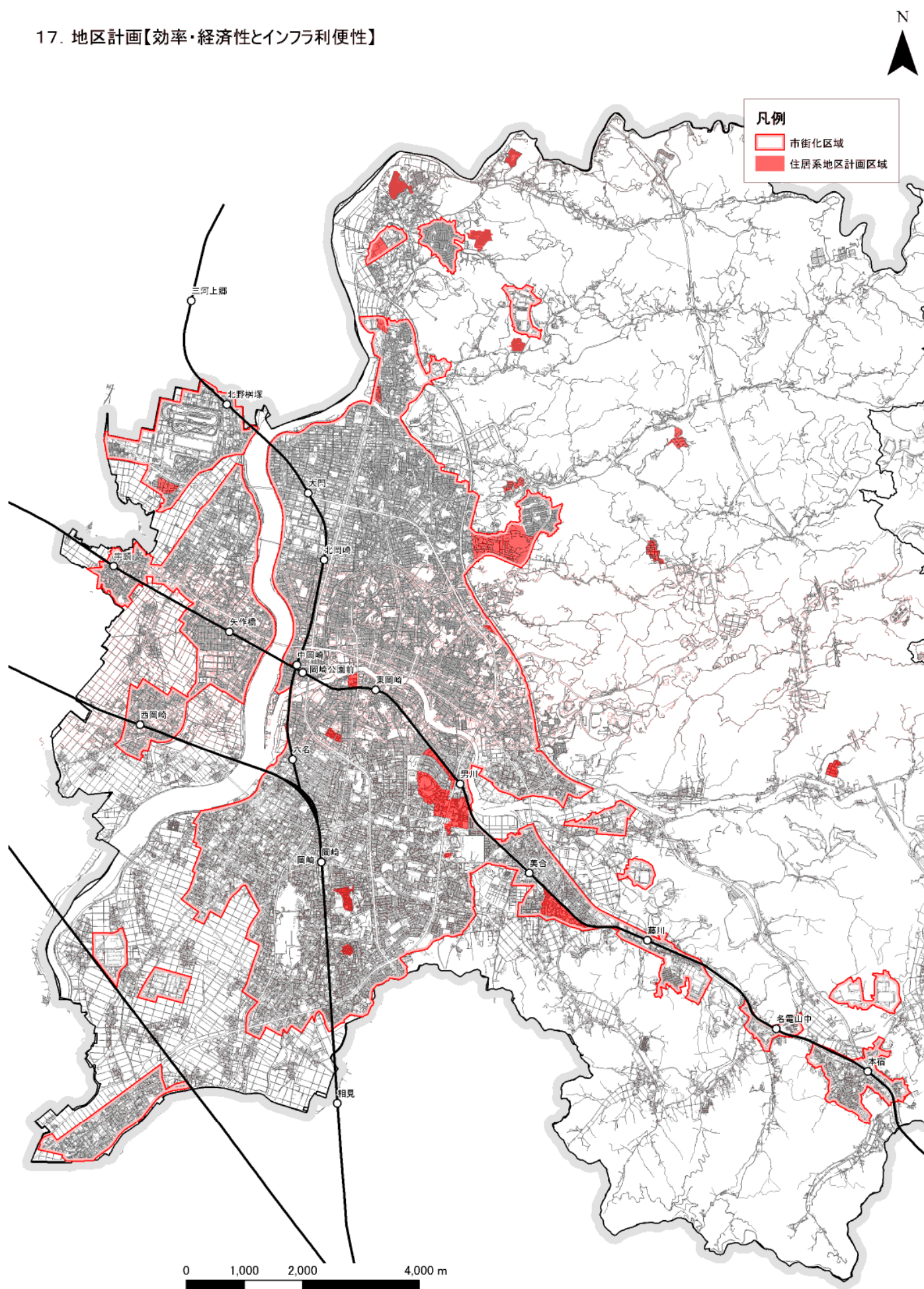
15. 公園充足度【効率・経済性とインフラ利便性】



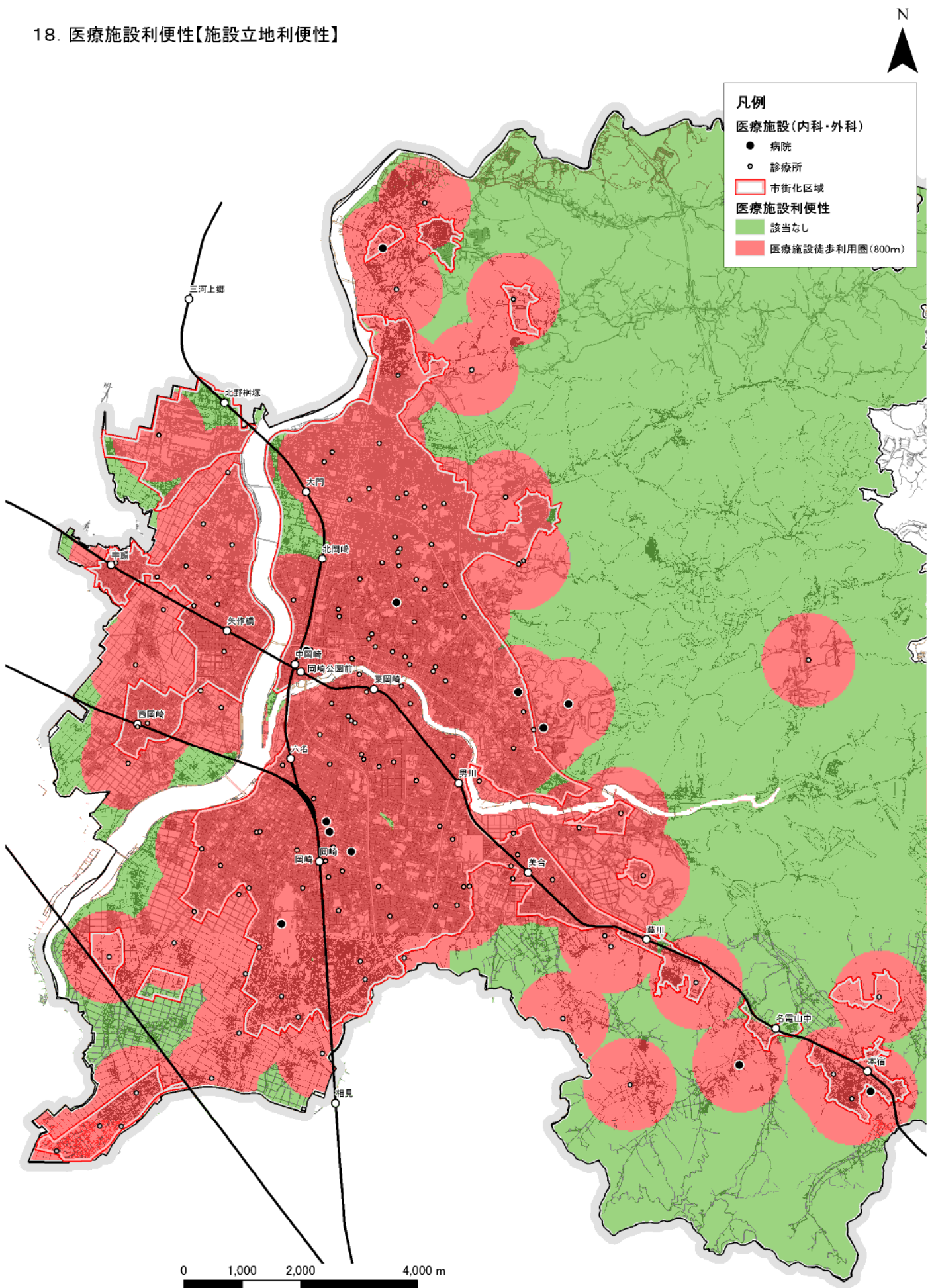
16. 下水道充足度【効率・経済性とインフラ利便性】



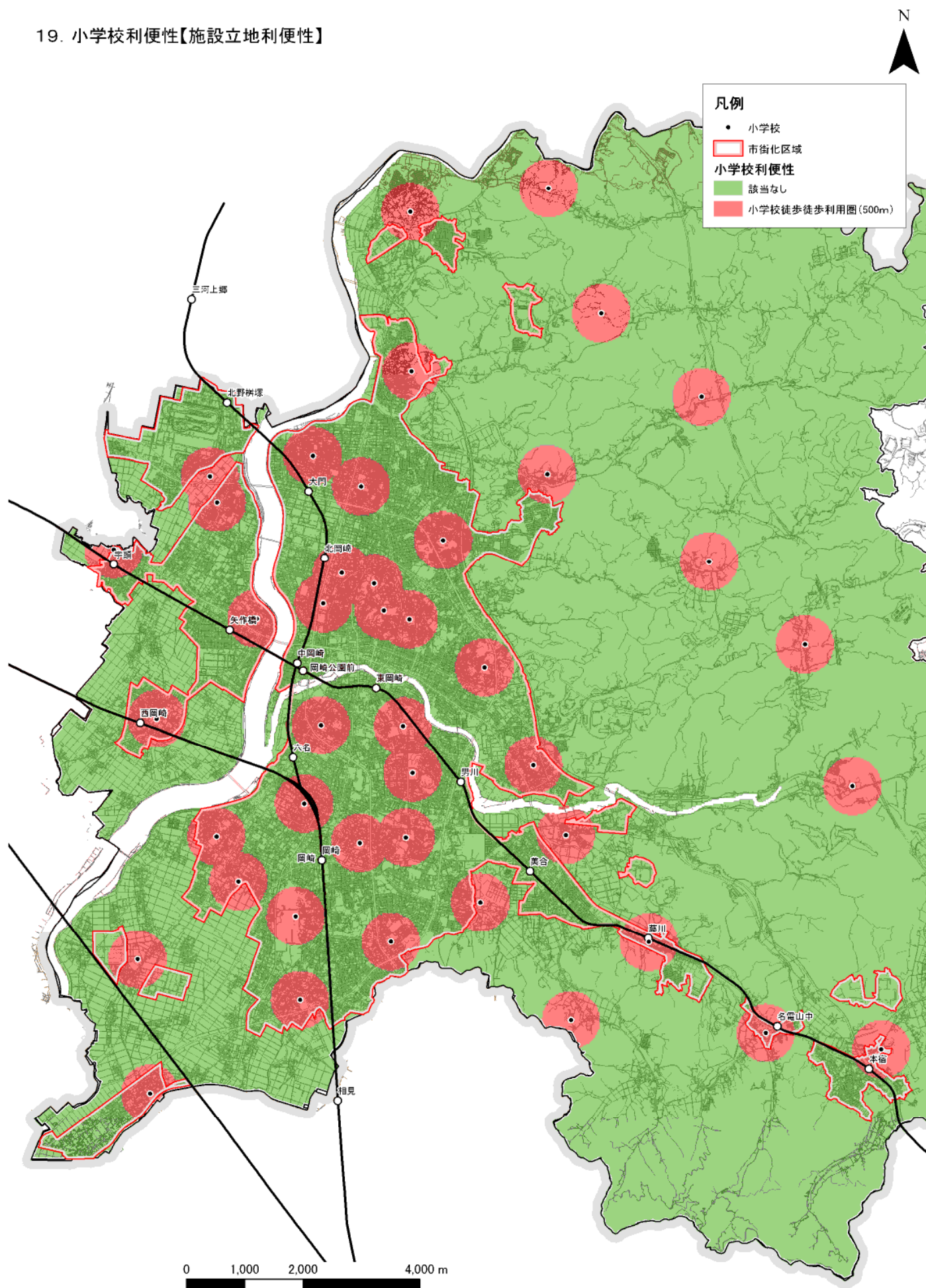
17. 地区計画【効率・経済性とインフラ利便性】



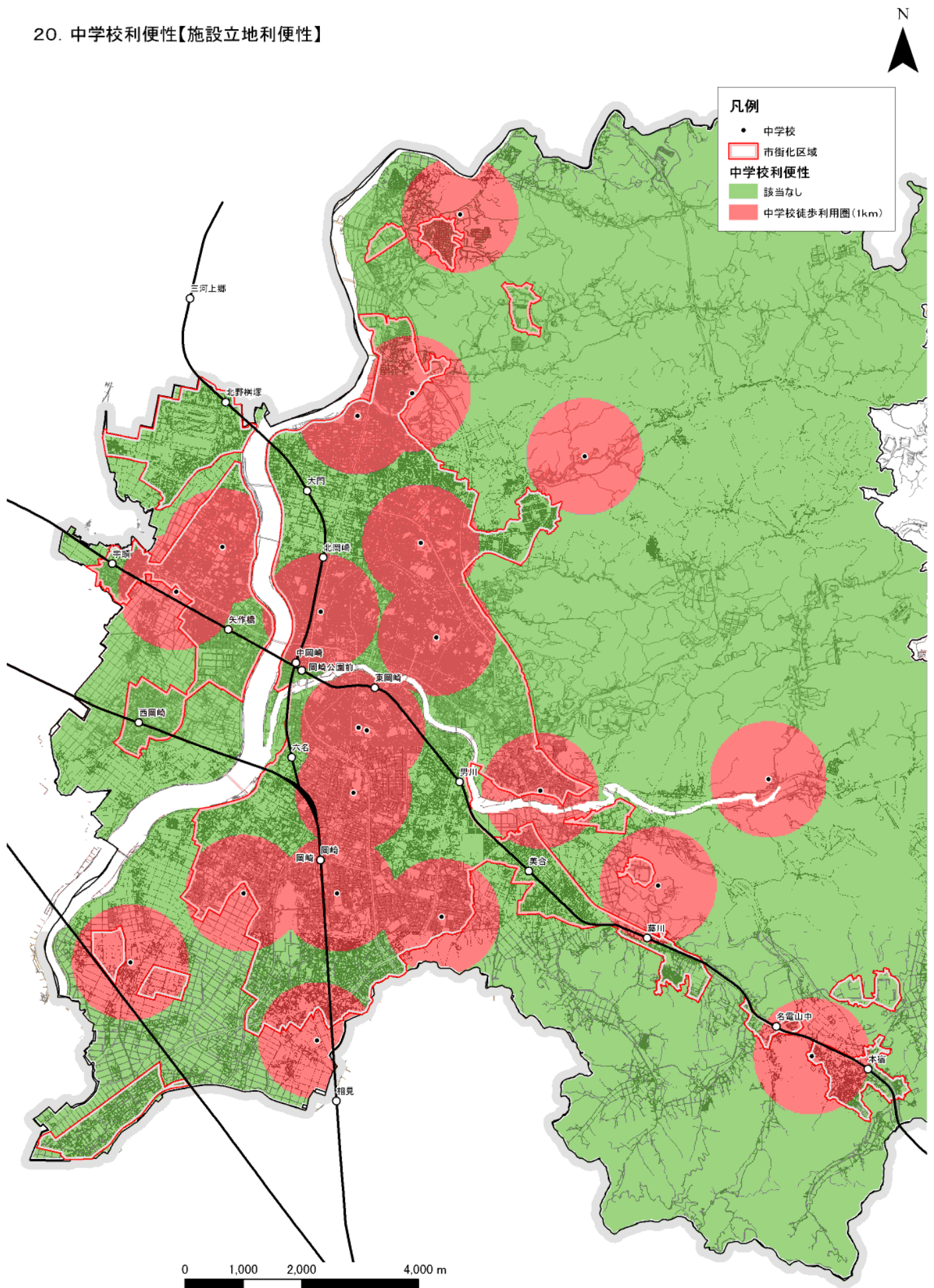
18. 医療施設利便性【施設立地利便性】



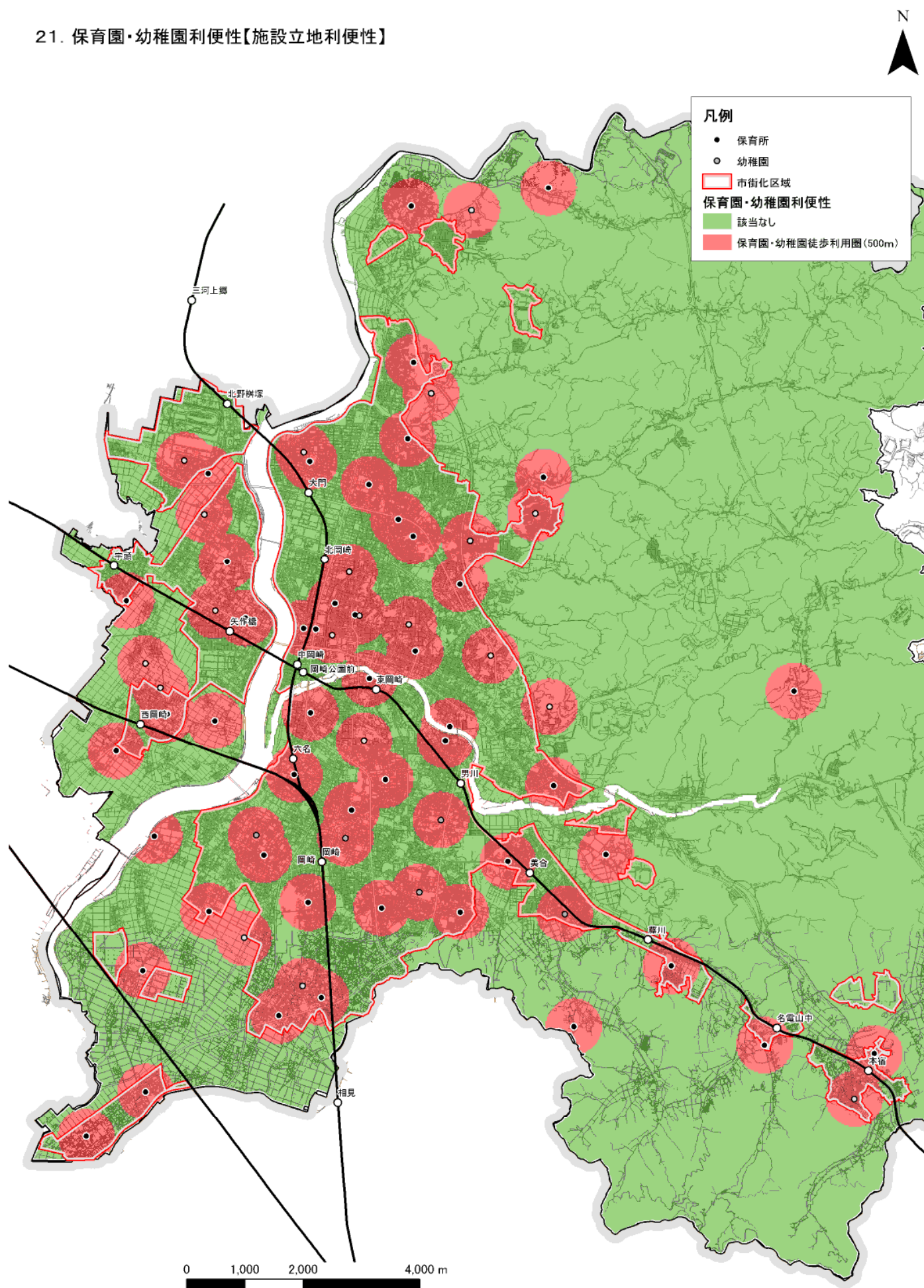
19. 小学校利便性【施設立地利便性】



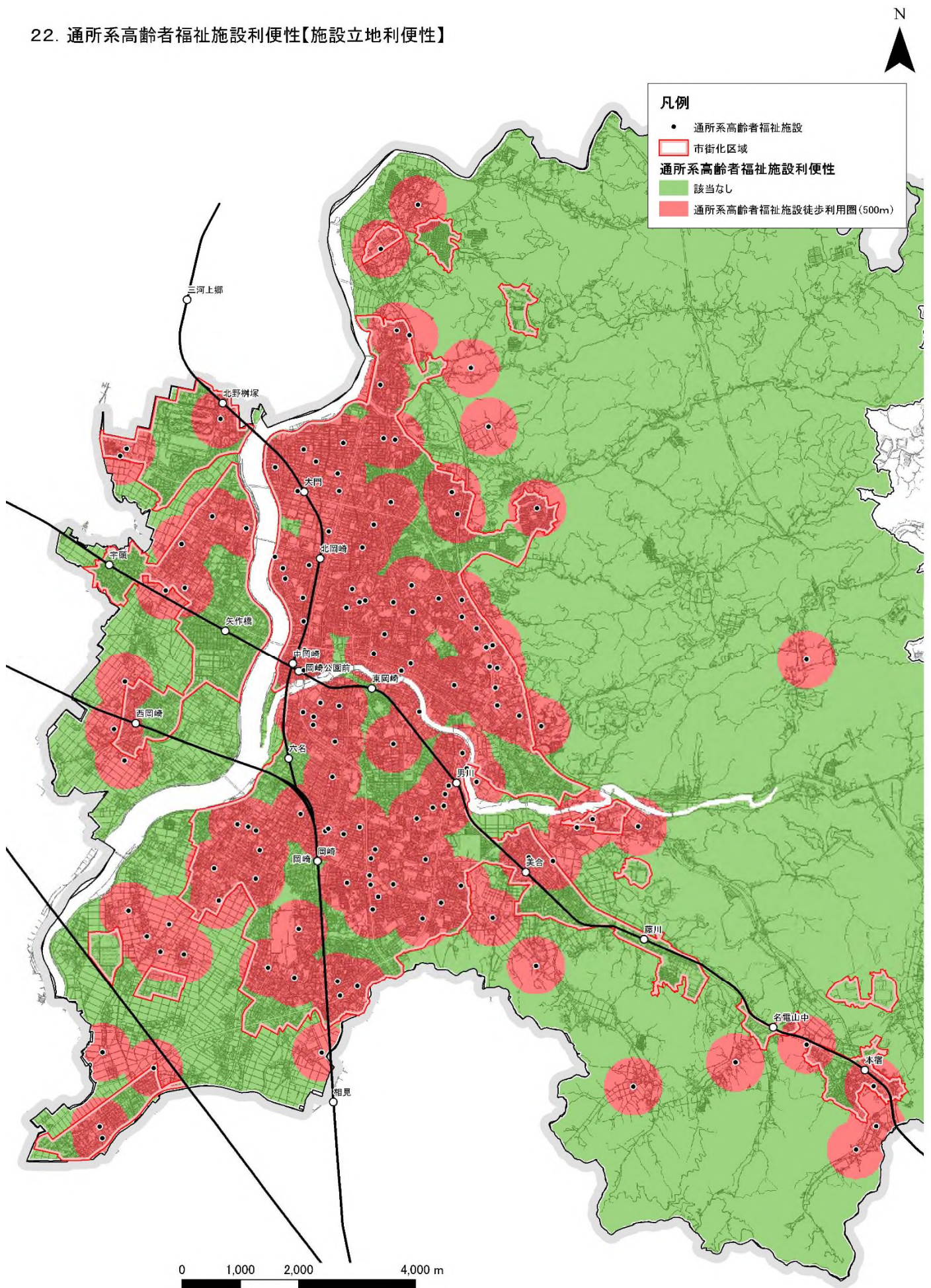
20. 中学校利便性【施設立地利便性】



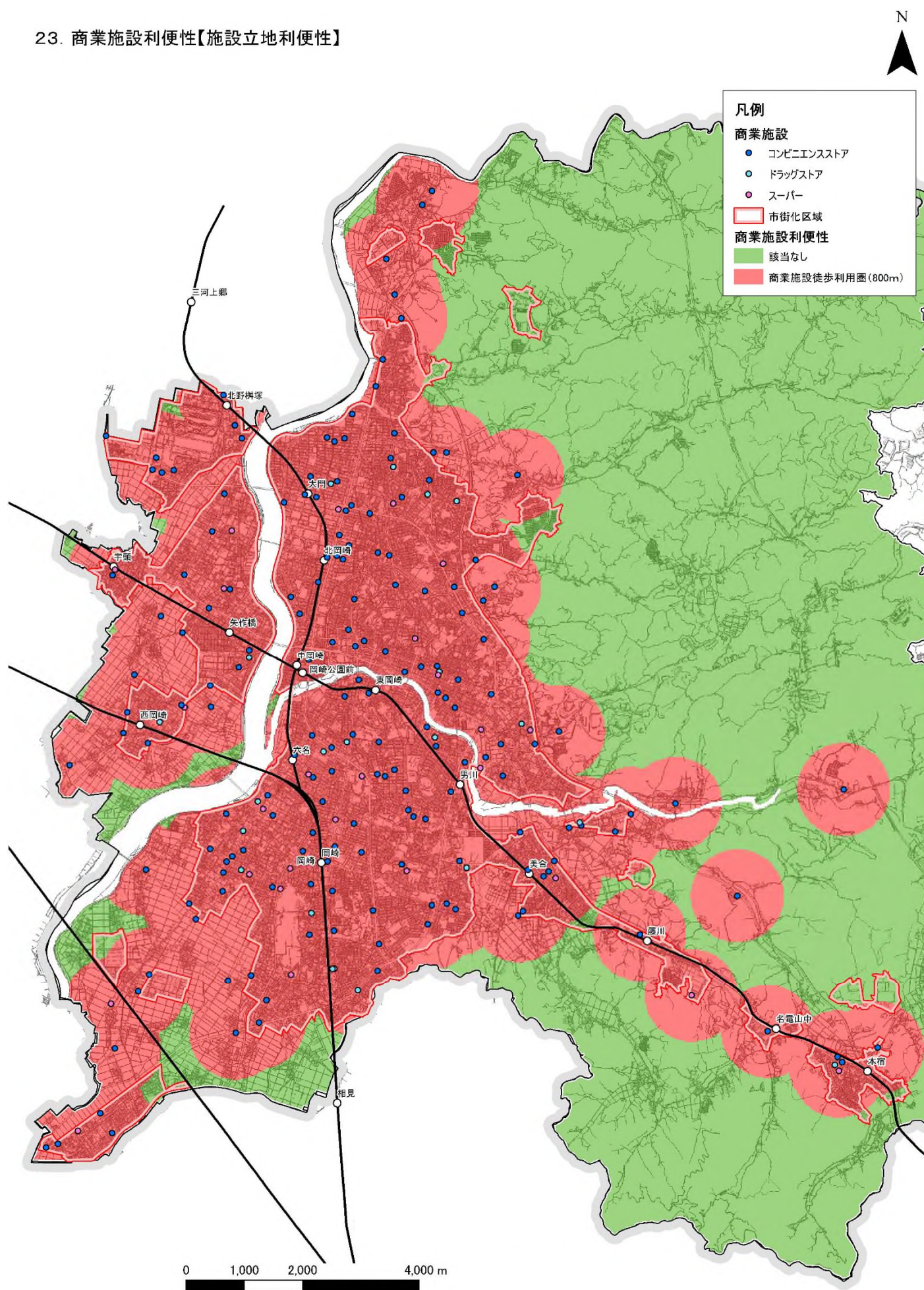
21. 保育園・幼稚園利便性【施設立地利便性】



22. 通所系高齢者福祉施設利便性【施設立地利便性】



23. 商業施設利便性【施設立地利便性】



（４）居住誘導区域の具体的設定

① 居住誘導区域の設定基準

先に整理した「居住の誘導・配置方針」及び「立地利便度評価」結果を踏まえ、具体的な居住誘導区域の設定基準を以下のように定めます。

■区域設定のベース基準

まず、目標とする人口密度と人口推計から、居住誘導区域の面積を立地利便度評価結果のランクベースで検討し、区域設定の基準とする立地利便度評価結果ランクの範囲を設定します。

a 目標とする年度：平成 52 年度

都市計画運用指針より、誘導区域の検討に当たってはおおむね 20 年後もしくはその先の将来の都市の姿を展望する必要があることから、H52 年（＝H30+20+ α ）とします

b 指標とする人口密度

居住誘導重点区域 : 100 人/ha（可住地人口密度）

居住誘導区域 : 95 人/ha（可住地人口密度）

上記以外の市街化区域 : 60 人/ha（可住地人口密度）

※市街化調整区域及び都市計画区域外の人口は、現状維持を想定

【人口密度の設定根拠】

居住誘導重点区域、居住誘導区域外の市街化区域については、都市計画運用指針より 100 人/ha、60 人/ha と設定します。

居住誘導区域は、立地利便度評価結果のランク 1～7 の H52 可住地人口密度平均値が約 91 人/ha であることから、将来的にもこの人口密度を維持しつつ、居住誘導も加味し 95 人/ha と設定します。

なお、可住地は、都市計画基礎調査における「水面」「その他の自然地」「公的・公益用地」「商業地（1ha 以上の用地）」「道路用地」「交通施設用地」「公共空地」「工業専用地域」を除いた土地をいいます。

c 使用する人口推計値：平成 52 年社人研推計値＝384,525 人

上記のように設定すると、居住誘導区域を定量的評価結果ランク 6 以上とした場合、将来人口は 359,795 人となり、社人研推計値 384,525 人を下回りますが、ランク 7 以上とした場合、将来人口は 386,852 人となり、社人研推計値と同水準の結果となります。

以上より、居住誘導区域の設定にあたっては、立地利便度評価結果のランク 7 の区域を中心とした設定が妥当と言えます。



【ベース基準】

立地利便度評価結果のランク7の区域を中心に設定

■区域設定の付加基準

居住誘導区域を設定するにあたって、定性的な評価を加える基準として、以下の付加基準（プラス基準及びマイナス基準）を設定します。

【プラス基準】

（「居住の誘導・配置方針～具体化シナリオ～」より）

- 自動車利用を主な移動手段とする生活スタイルを志向する子育て世帯や就労世帯等については、その居住を維持しつつ、都市基盤や都市機能等の既存ストックが整った区域、ハード・ソフト対策により災害危険性の低減が図られる区域を中心に、緩やかに居住を誘導します。
- 同時に、公共交通を利用したまちなか居住の生活スタイルを志向する子育て世帯や就労世帯等についても、居住の選択肢を広く提供するとともに、高齢世代になっても安心して暮らし続けることができるよう、公共交通（鉄道、バス）の利用がしやすい区域を中心に、緩やかに居住を誘導します。
- 本市を通る鉄道のうち、ＪＲ東海道本線及び名鉄名古屋本線は名古屋市や刈谷市をはじめ近隣都市への通勤時の移動手段としての役割を担っており、愛知環状鉄道は豊田市への通勤・通学手段としての役割を担っています。そこで、若年世代の中でも就職や転職を契機に本市へ転入してくる单身、夫婦のみ世帯等については、周辺都市への通勤のしやすさ等を活かし、各鉄道駅周辺の区域を中心に居住を誘導します。



【プラス基準】

- 基準①：鉄道駅徒歩圏（半径 800m 圏※1）、
基幹的なバス路線※2 のバス停徒歩圏（半径 300m 圏※3）**
- 基準②：土地区画整理事業施行済または予定地区**
- 基準③：都市基盤が整備されている区域**

※1、※3：鉄道駅及びバス停の徒歩圏域は「都市構造の評価に関するハンドブック（平成 26 年 8 月国土交通省）」より

※2：基幹的バス路線は運行頻度が片道 30 本／日以上バス路線（上記ハンドブックより）

【マイナス基準】

利便度評価がランク 7 以上であるものの次の区域の場合は、評価がランク 7 以上の要因を分析・評価した上で誘導区域から除外する箇所を設定します。

- ・ 工業地域（用途地域）（ただし、現況の土地利用状況を勘案する）
- ・ 地区計画において工業地区として土地利用を誘導しているところ
- ・ 都市計画マスタープランにて工業地等の位置づけがあり、一定程度の工業系土地利用されているところ
- ・ 生産緑地地区が多く指定され、地区一帯が都市農地として保全されているところ
- ・ 未開発の風致地区

■ 区域設定基準

立地利便度評価結果ランク 7 の区域を中心として、付加基準（プラス基準及びマイナス基準）を総合的に勘案した上で、区域の連続性なども加味し、道路などの地形地物や用途地域境界等により設定を行うものとします。

② 居住誘導重点区域の設定基準

【「居住の誘導・配置方針(重点方針)」より】

- 都心ゾーンでは、他の市街地に比べ、高齢化や人口減少が顕著に進むことが見込まれることから、広域的な都市機能が集積した都心ゾーンの形成を促進するため、その立地を支える居住人口（特に、にぎわいや交流の創出に必要な若年世代（単身、夫婦のみ世帯等））の集積を積極的に高めます。
- 都心ゾーンは、歴史的にみて本市の骨格を形づくる市街地の区域でもあることから、これまでに蓄積されてきた都市基盤や都市機能等の既存ストックを有効に活用するとともに、歴史文化等を後世に継承していくためにも、居住人口の集積を積極的に高めます。
- 都心ゾーンの一体性や利便性を高めるために必要な基幹バス路線（南北軸等）については、利用を促進して今後も高度なサービス水準を維持するとともに、沿線での便利な暮らしを提供するため、これら沿線地区での居住人口の集積を積極的に高めます。
- 安心して便利に暮らせるバス基幹軸の沿線では、低未利用地への多様な世代の居住を促進し、市外からの転入や郊外部市街地からの誘導（便利なまちなか暮らしへの誘導）を積極的に促します。



【設定基準】

基準①: 名鉄東岡崎駅・康生地区、JR岡崎駅⇒各駅徒歩圏（半径 800 m～1000m圏）

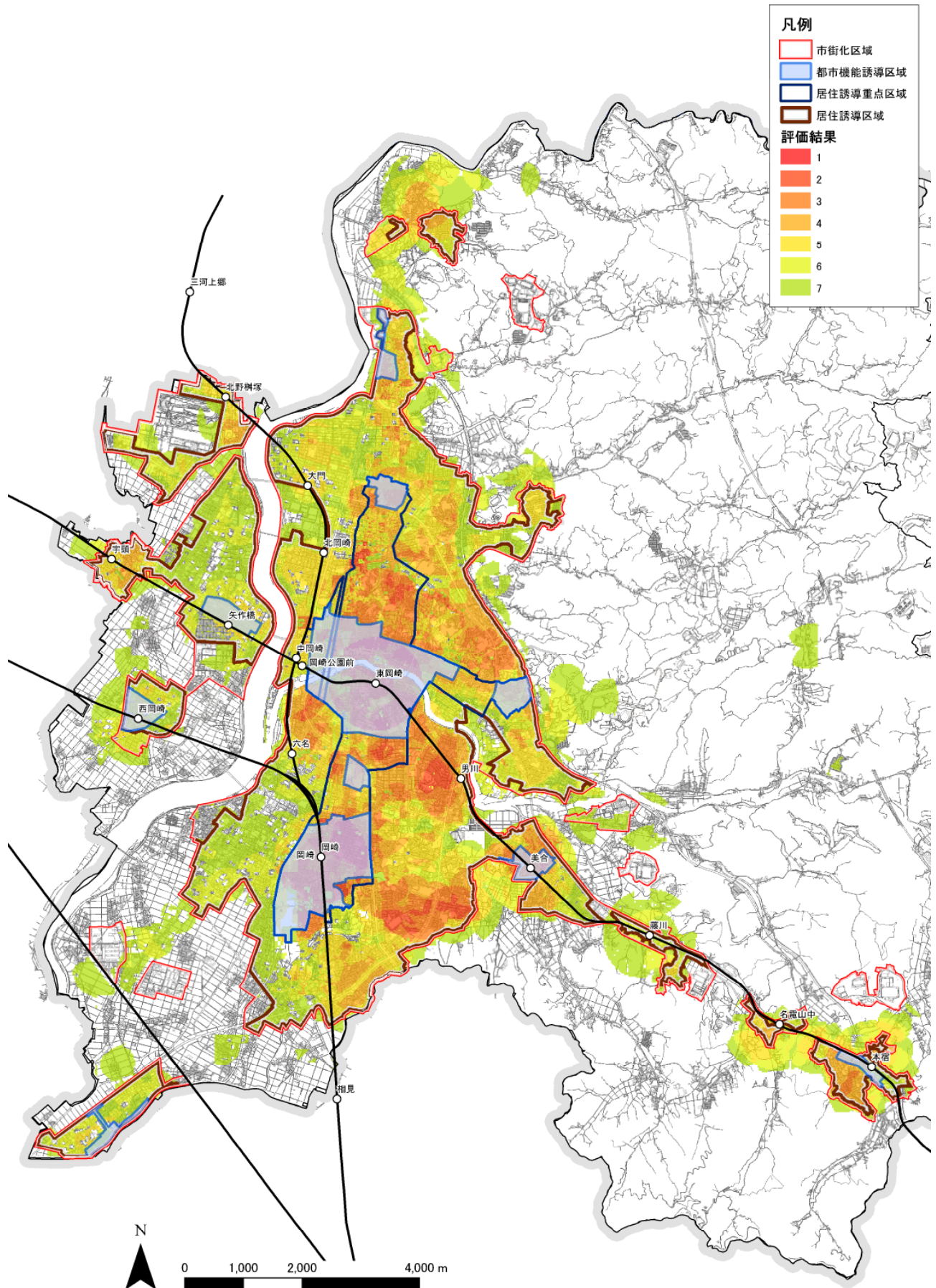
基準②: (都)岡崎駅平戸橋線沿線、(都)明代橋線沿線及び(都)伝馬町線沿線⇒大樹寺、洞町等の各バス停徒歩圏（半径 300m圏）

上記設定基準を中心に、都市基盤整備状況や既存ストック等も総合的に勘案し、居住誘導重点区域を設定します。

③ 居住誘導重点区域及び居住誘導区域の設定

以上の考え方から設定した居住誘導重点区域及び居住誘導区域を次頁に示します。

図 居住誘導区域・重点区域 検討図



(5) 居住誘導区域における将来人口

立地適正化計画に定めた居住誘導重点区域、居住誘導区域における将来人口を以下に整理します。将来人口は平成27年の国勢調査人口（500mメッシュ人口）を基にした推計（コーホート要因法による推計）を社会移動による増減が0と仮定して行いました。

その結果をみると、このまま何も施策を実施せず、自然増減（出生及び死亡）のみで推移する場合、人口は減少し、居住誘導区域や居住誘導重点区域では可住地人口密度が低下することが予測されます。特に、居住誘導重点区域では可住地人口密度が顕著に低下する懸念があります。

図 居住誘導区域・重点区域における将来人口

		A人口(人) ※括弧内は構成比					D可住地面積(ha)※3	E=A/D F=B/D G=F-E			H目標可住地人口密度(人/ha)	I目標人口(人) H52	J年齢別転入人口割合	備考		
		年齢区分	H27(実績)※1	H52(推計)※2		H52-H27		H27	H52	H52-H27						
市街化区域		0～14歳	48,769 (14.9)	41,349 (13.1)	-7,420	3,617	90.2	87.6	-2.6	92	331,068	—	—			
		15～64歳	210,950 (64.6)	177,026 (55.9)	-33,924											
		65歳～	66,622 (20.4)	98,433 (31.1)	31,811											
		計	326,341 (100.0)	316,808 (100.0)	-9,533											
	居住誘導区域【法定】	0～14歳	45,558 (14.9)	38,648 (13.0)	-6,910	3,237	94.5	91.5	-3.0	96	310,465	—	若者世代に対する施策例 ・子育て環境整備 ・子どもの読書習慣の形成を図るための地域図書室の充実等			
		15～64歳	197,387 (64.5)	165,132 (55.7)	-32,255											
		65歳～	63,008 (20.6)	92,425 (31.2)	29,417											
		計	305,953 (100.0)	296,205 (100.0)	-9,748											
		居住誘導区域	0～14歳	37,767 (15.3)	31,864 (13.1)	-5,903	2,647	93.5	91.8	-1.7	95	251,465	12.1%	84.7%	高年齢世代に対する施策例 ・高齢者・障がい者向けの住宅供給や居住支援の充実等を推進等	
			15～64歳	161,186 (65.1)	136,119 (56.0)	-25,067										
			65歳～	48,603 (19.6)	74,898 (30.8)	26,295										
			計	247,556 (100.0)	242,881 (100.0)	-4,675										
	居住誘導重点区域	0～14歳	7,791 (13.3)	6,784 (12.7)	-1,007	590	99.0	90.4	-8.6	100	59,000	11.6%	86.1%	若者・高年齢世代に対する施策例 ・中高層住宅の立地誘導 ・空き地等の敷地の一体化 ・市街地再開発事業や優良建築物等整備事業を促進 ・住宅供給促進等		
		15～64歳	36,201 (62.0)	29,013 (54.4)	-7,188											
		65歳～	14,405 (24.7)	17,527 (32.9)	3,122											
		計	58,397 (100.0)	53,324 (100.0)	-5,073											
	居住誘導区域外	0～14歳	3,211 (15.7)	2,701 (13.1)	-510	380	53.7	54.2	0.5	54	20,603	—	—			
		15～64歳	13,563 (66.5)	11,894 (57.7)	-1,669											
		65歳～	3,614 (17.7)	6,008 (29.2)	2,394											
		計	20,388 (100.0)	20,603 (100.0)	215											
市街化調整区域	0～14歳	7,746 (15.1)	6,023 (12.5)	-1,723	—	—	—	—	—	51,340	11.6%	85.9%	社入研人口と本市推計人口との差、約7,200人は拠点周辺における新市街地整備(市街化編入)で対応を検討			
	15～64歳	30,954 (60.3)	26,334 (54.8)	-4,620												
	65歳～	12,640 (24.6)	15,707 (32.7)	3,067												
	計	51,340 (100.0)	48,064 (100.0)	-3,276												
都市計画区域外	0～14歳	290 (8.6)	188 (7.9)	-102	—	—	—	—	—	2,394	—	—				
	15～64歳	1,781 (52.8)	1,032 (43.1)	-749												
	65歳～	1,300 (38.6)	1,174 (49.0)	-126												
	計	3,371 (100.0)	2,394 (100.0)	-977												
市全体	0～14歳	56,805 (14.9)	47,560 (12.9)	-9,245	—	—	—	—	—	384,802	—	—				
	15～64歳	243,685 (64.0)	204,392 (55.7)	-39,293												
	65歳～	80,562 (21.1)	115,314 (31.4)	34,752												
	計	381,052 (100.0)	367,266 (100.0)	-13,786												

※1:都市計画基礎調査の調査区別人口を基に各区域のH27人口(実績)を面積按分により集計

年齢3区分別人口は国勢調査500mメッシュを基に集計した各区域の構成比により算出

※2:H27における各区域の5歳階級別人口から、社入研に準拠した方法(社会移動は加味しない)により将来人口を推計

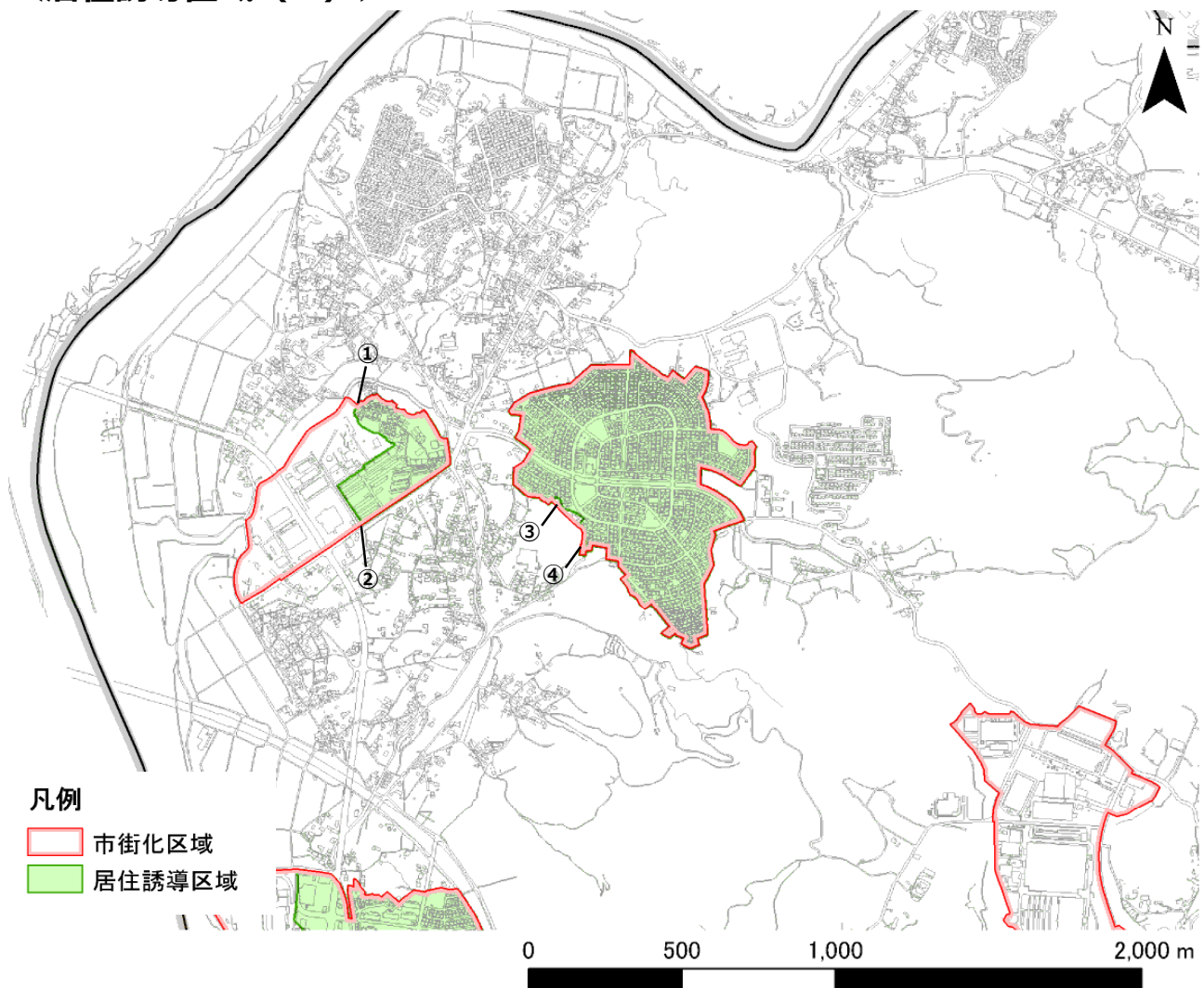
社入研推計値384,525人に対して約1万7千人の差があるが、この差は社会移動による転入超過分になると考えられる

※3:可住地は、都市計画基礎調査における「水面」「その他の自然地」「公的・公益用地」「商業地(1ha以上の用地)」「道路用地」「交通施設用地」「公共空地」「工業専用地域」を除いた土地

※4:年齢別転入人口割合は、H28～H30の過去3年間の転入人口の年齢3区分別割合(但し、H30は11月末までの実績値)
年齢別割合は各区域に過半数以上含まれる字における転入人口を集計することにより算出

7 居住誘導区域図

<居住誘導区域（1）>



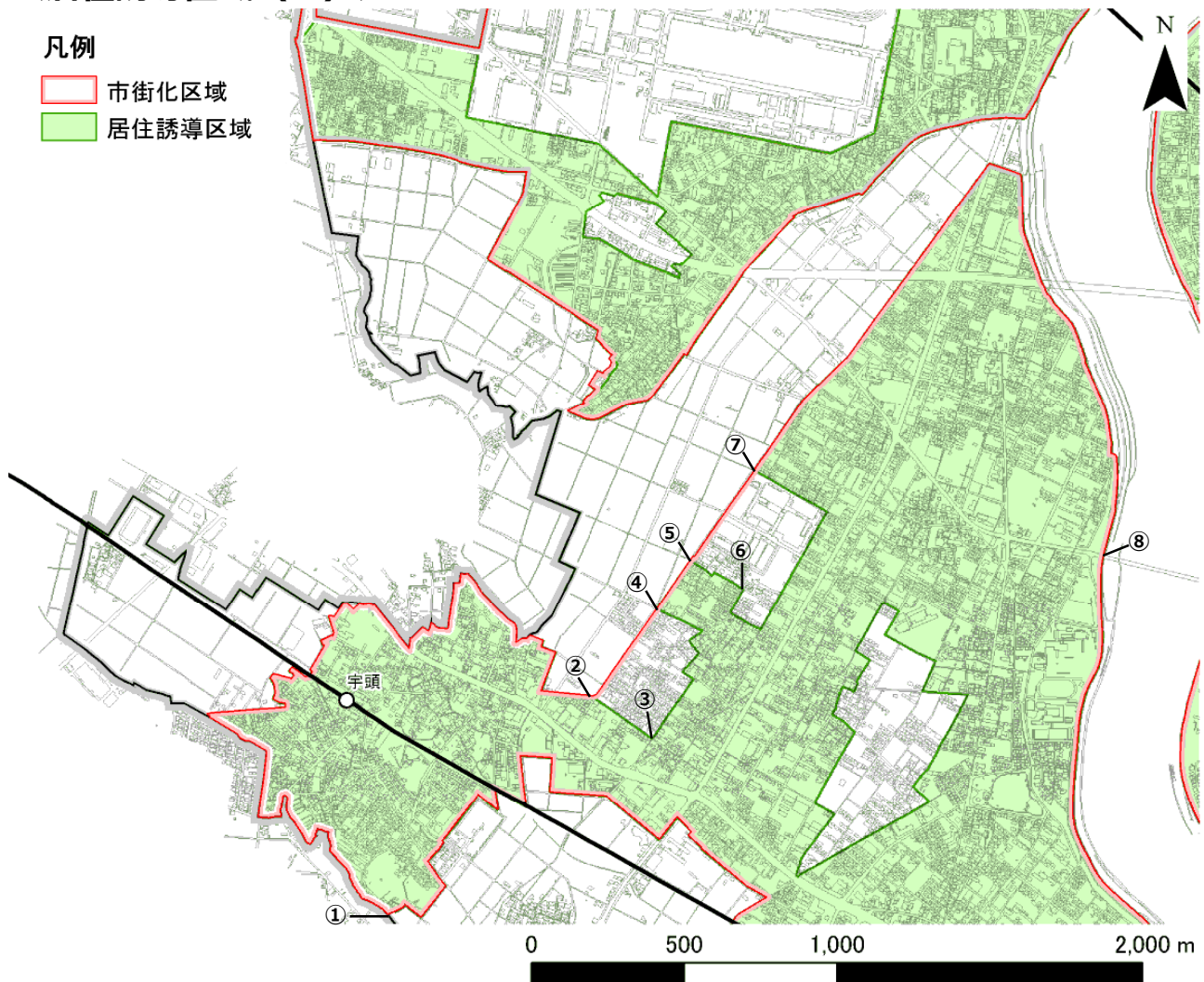
- ①～②：市街化区域界
- ②～①：筆界
- ③～④：市街化区域界
- ④～③：土砂災害警戒区域界

<居住誘導区域（２）>



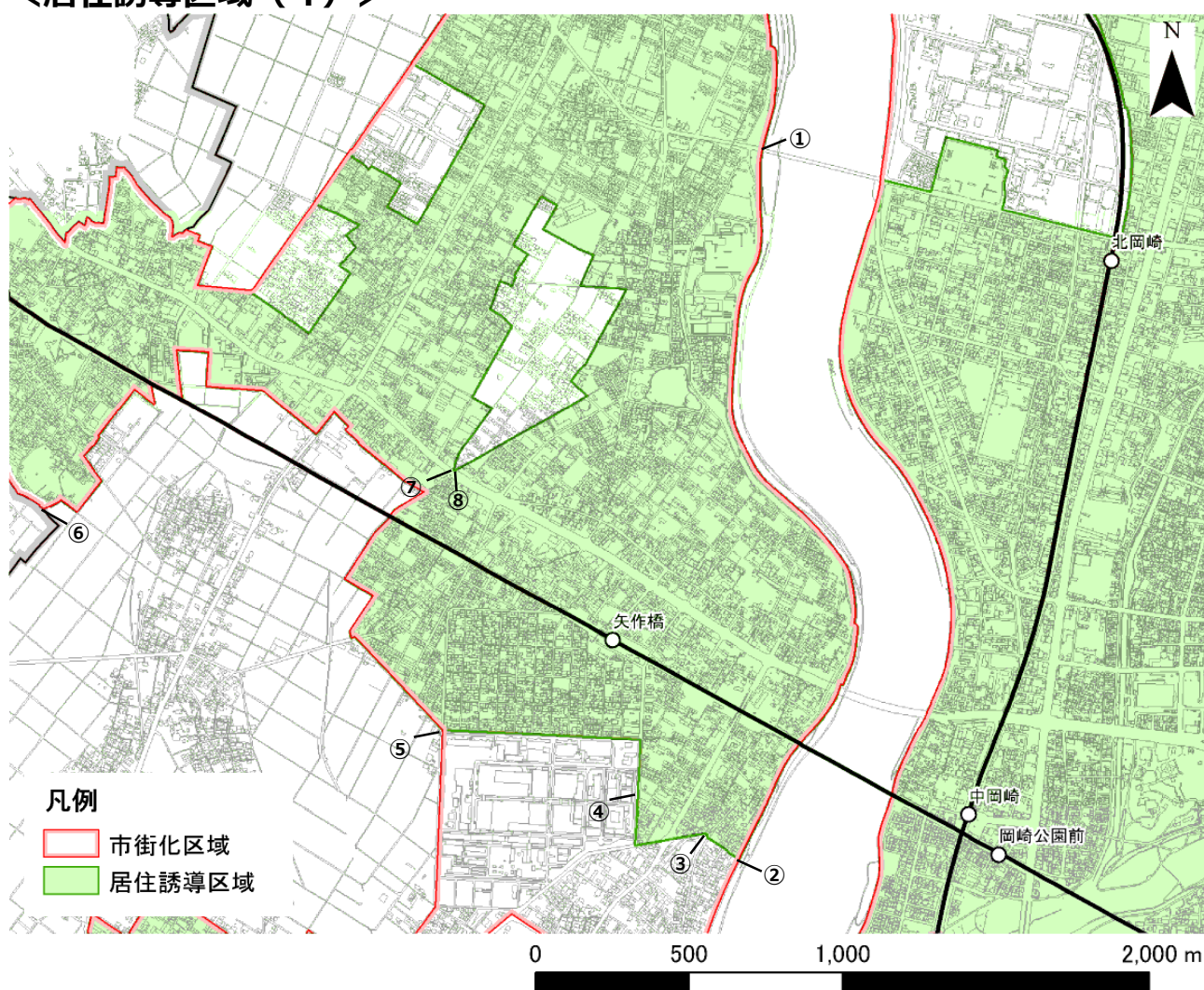
- ①～②：道路中心線
- ②～③：市街化区域界
- ③～④：道路中心線
- ④～⑤：⑤～⑥の延長線
- ⑤～⑥：道路中心線
- ⑥～⑦：用途地域界（道路中心線）
- ⑦～①：市街化区域界
- ⑧～⑨：地区計画の地区区分界
- ⑨～⑧：地区地区計画区域界
- ⑩～⑪：急傾斜地危険箇所界

<居住誘導区域（3）>



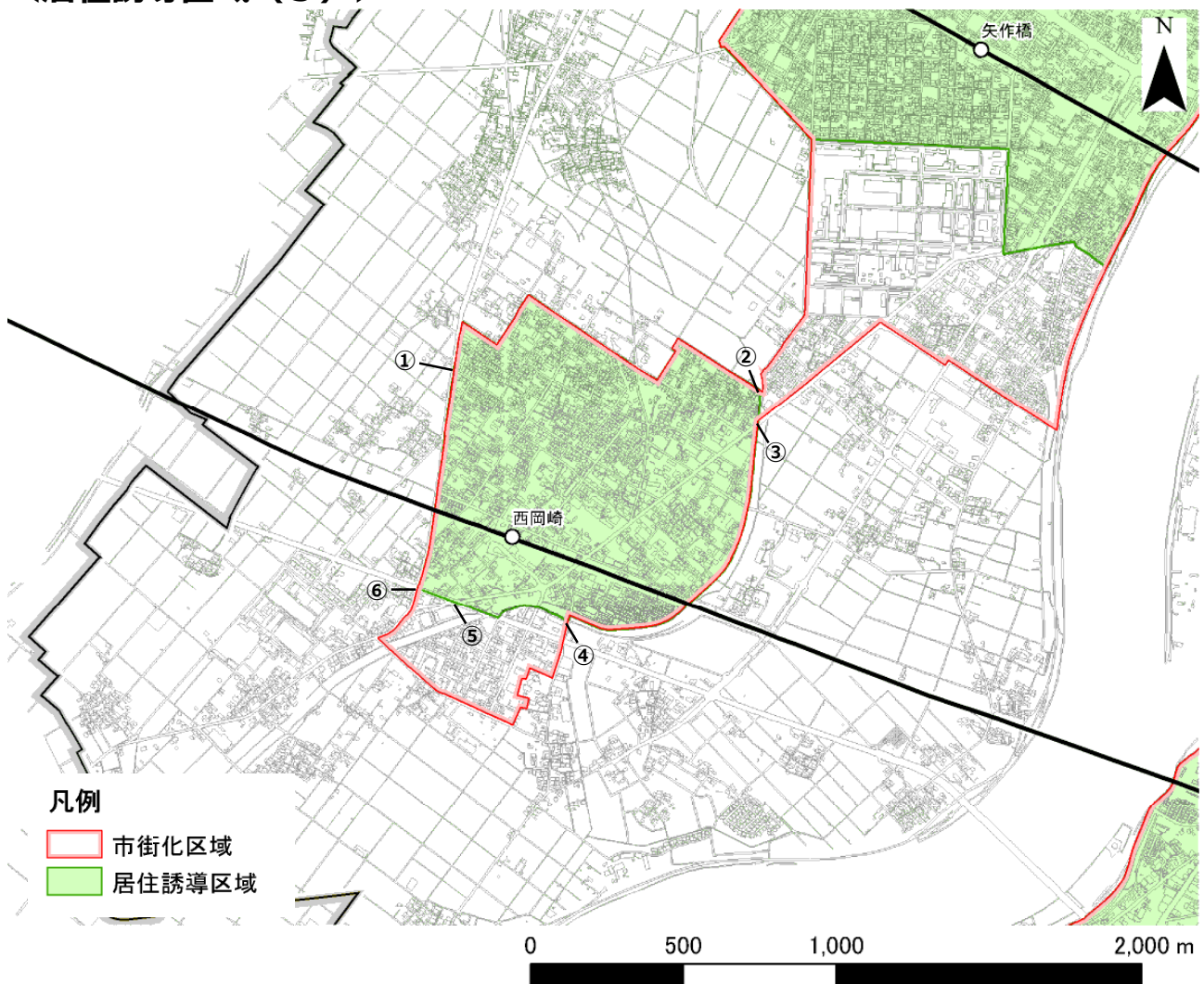
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：用途地域界（道路中心線）
- ③～④：道路中心線
- ④～⑤：市街化区域界
- ⑤～⑥：用途地域界（道路中心線）
- ⑥～⑦：道路中心線
- ⑦～⑧：市街化区域界

<居住誘導区域（４）>



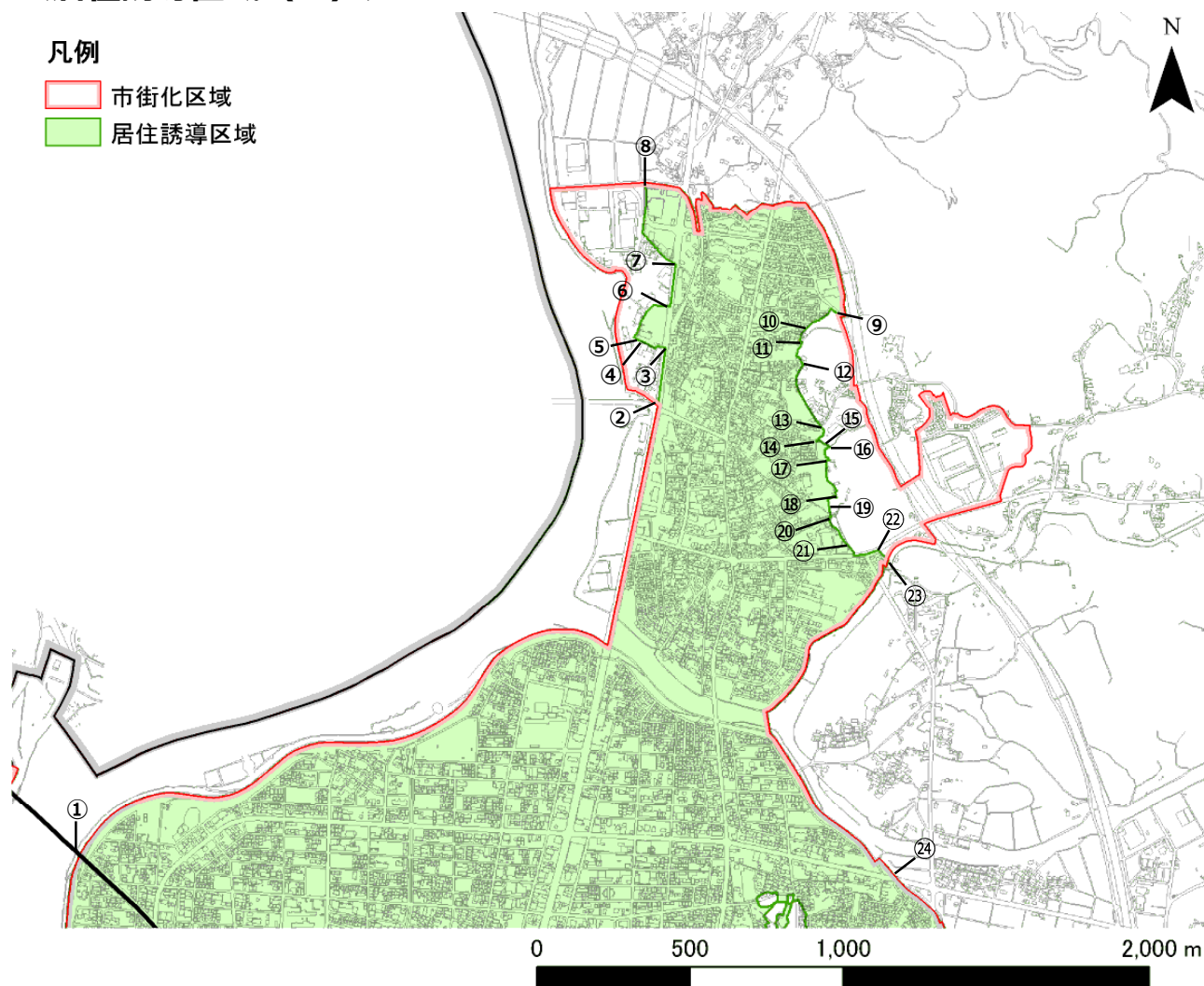
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：用途地域界(道路中心線)
- ③～④：道路中心線
- ④～⑤：用途地域界(道路中心線)
- ⑤～⑥：市街化区域界
- ⑦～⑧：道路中心線
- ⑧～⑦：道路端

<居住誘導区域（5）>



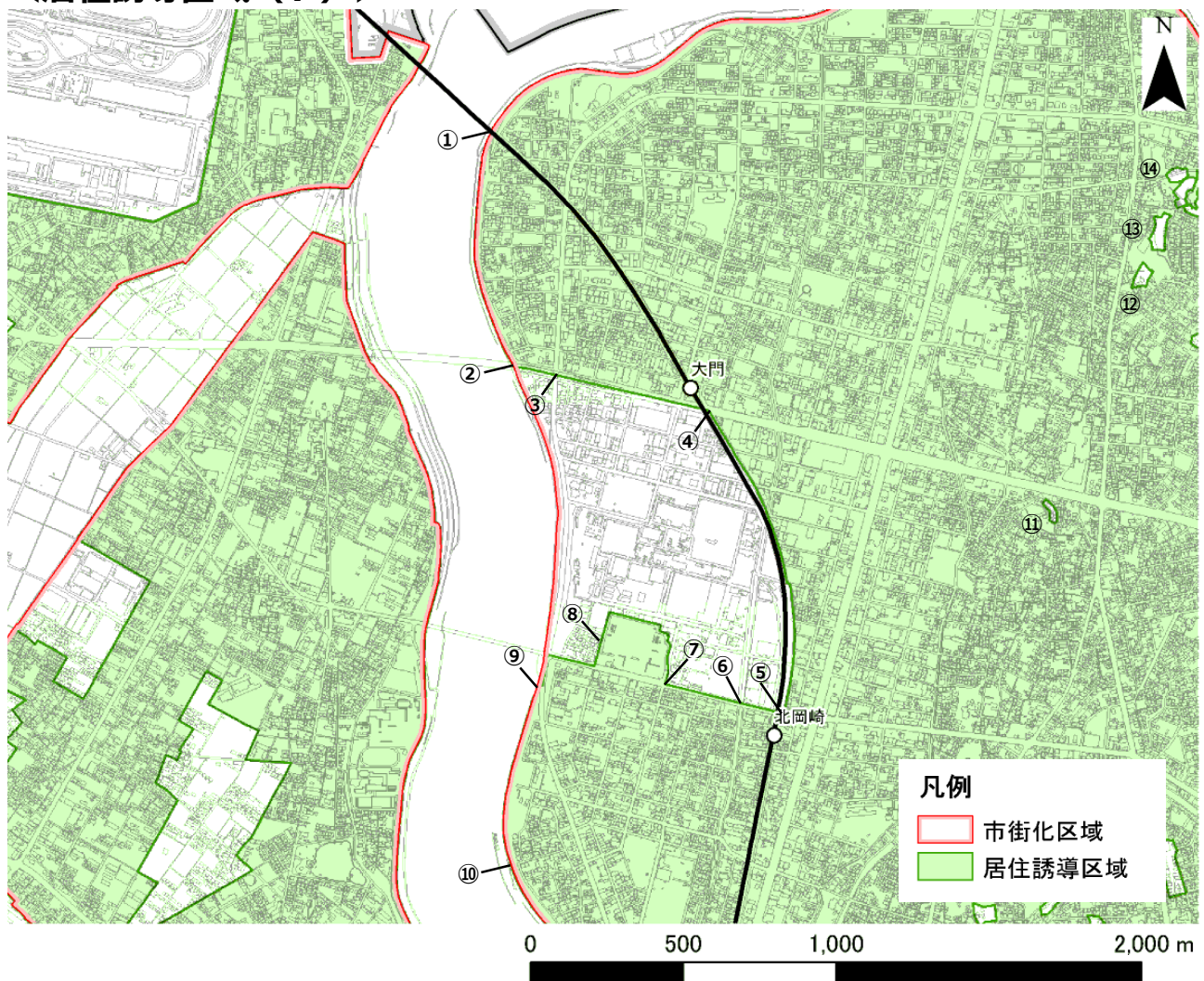
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：地形線（法尻）
- ③～④：市街化区域界
- ④～⑤：道路中心線
- ⑤～⑥：用途地域界（道路中心線）
- ⑥～①：市街化区域界

<居住誘導区域（6）>



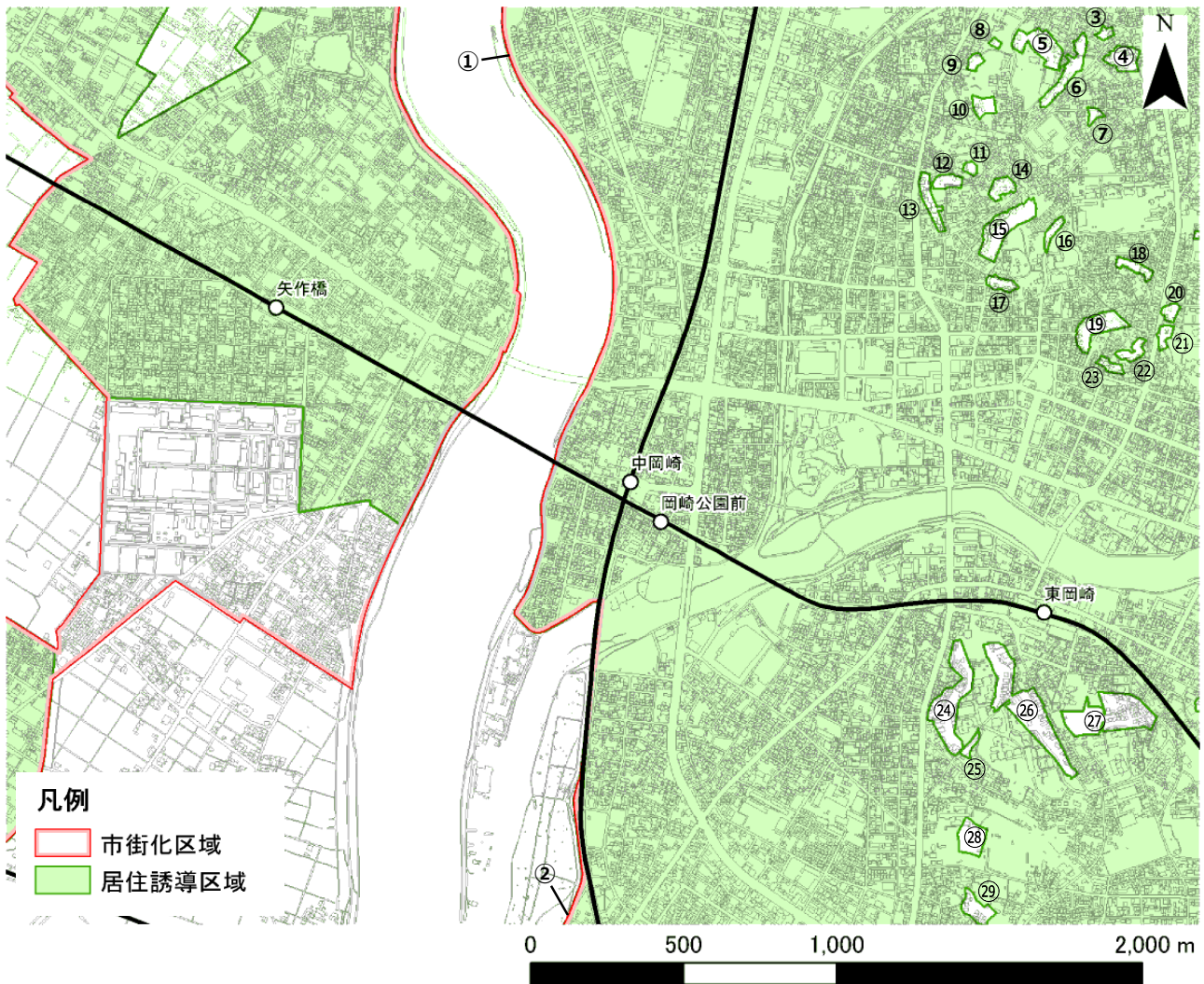
- | | |
|------------------|-----------------|
| ①～②:市街化区域界 | ①7～①8:土砂災害警戒区域界 |
| ②～③:用途地域界(道路中心線) | ①8～①9:地形線 |
| ③～④:道路中心線 | ①9～②0:地形線の延長線 |
| ④～⑤:道路中心の延長線 | ②0～②①:急傾斜地危険箇所界 |
| ⑤～⑥:地形線 | ②①～②2:道路中心線 |
| ⑥～⑦:用途地域界(道路中心線) | ②2～②3:地形線の延長線 |
| ⑦～⑧:用途地域界 | ②3～②4:市街化区域界 |
| ⑧～⑨:市街化区域界 | |
| ⑨～⑩:地形線 | |
| ⑩～⑪:土砂災害警戒区域界 | |
| ⑪～⑫:風致地区界 | |
| ⑫～⑬:道路中心線 | |
| ⑬～⑭:地形線 | |
| ⑭～⑮:道路中心線 | |
| ⑮～⑯:土砂災害警戒区域界 | |
| ⑯～⑰:地形線 | |

<居住誘導区域（7）>



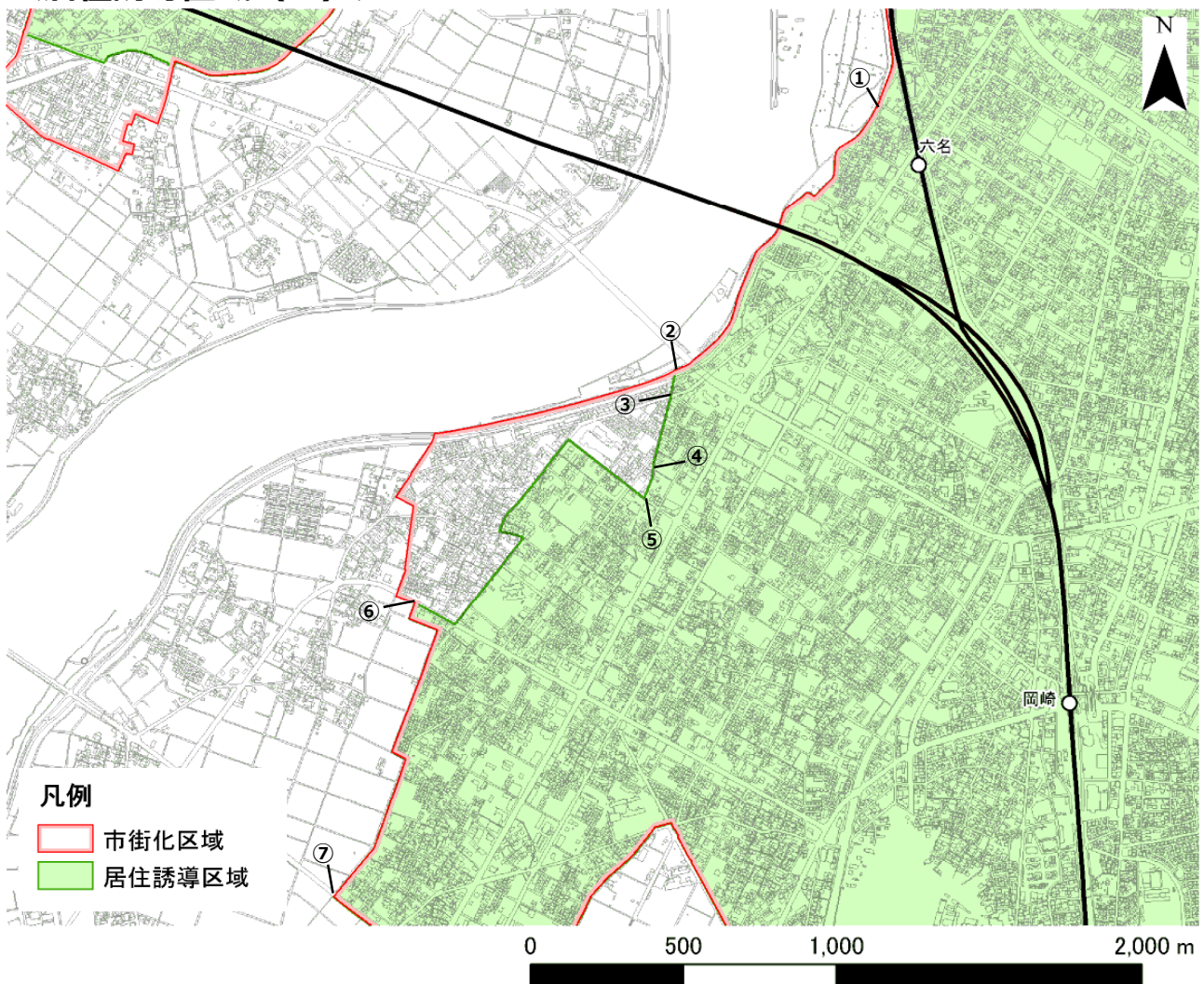
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：道路中心線
- ③～④：用途地域界(道路中心線)
- ④～⑤：道路中心線
- ⑤～⑥：用途地域界(道路中心線)
- ⑥～⑦：道路中心線
- ⑦～⑧：道路端
- ⑧～⑨：道路中心線
- ⑨～⑩：市街化区域界
- ⑪：急傾斜地危険箇所界
- ⑫：急傾斜地危険箇所界
- ⑬：土砂災害警戒区域界
- ⑭：土砂災害警戒区域界

<居住誘導区域（8）>



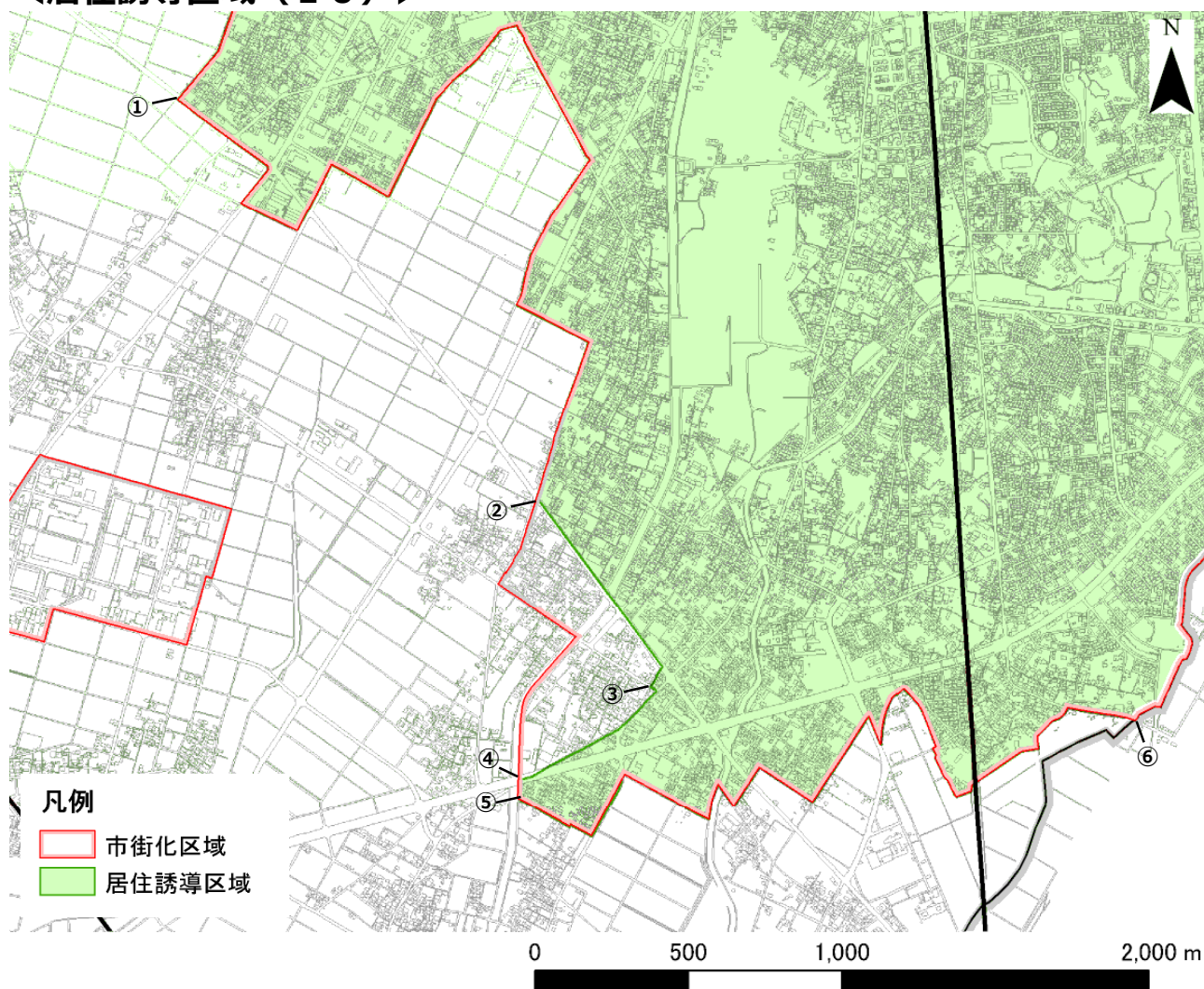
- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ①～②：市街化区域界 | ⑮：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ③：急傾斜地危険箇所界 | ⑯：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ④：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | ⑰：土砂災害警戒区域界 |
| ⑤：土砂災害警戒区域界 | ⑱：土砂災害警戒区域界 |
| ⑥：土砂災害警戒区域界 | ⑲：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑦：急傾斜地危険箇所界 | ⑳：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ⑧：土砂災害警戒区域界 | ㉑：土砂災害警戒区域界 |
| ⑨：土砂災害警戒区域界 | ㉒：土砂災害警戒区域界 |
| ⑩：急傾斜地危険箇所界 | ㉓：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑪：土砂災害警戒区域界 | ㉔：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ⑫：土砂災害警戒区域界 | ㉕：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑬：土砂災害警戒区域、災害危険区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | ㉖：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ⑭：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | ㉗：保安林及び急傾斜地危険箇所界 |
| ⑮：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | ㉘：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑯：急傾斜地危険箇所界 | ㉙：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑰：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | |

<居住誘導区域（9）>



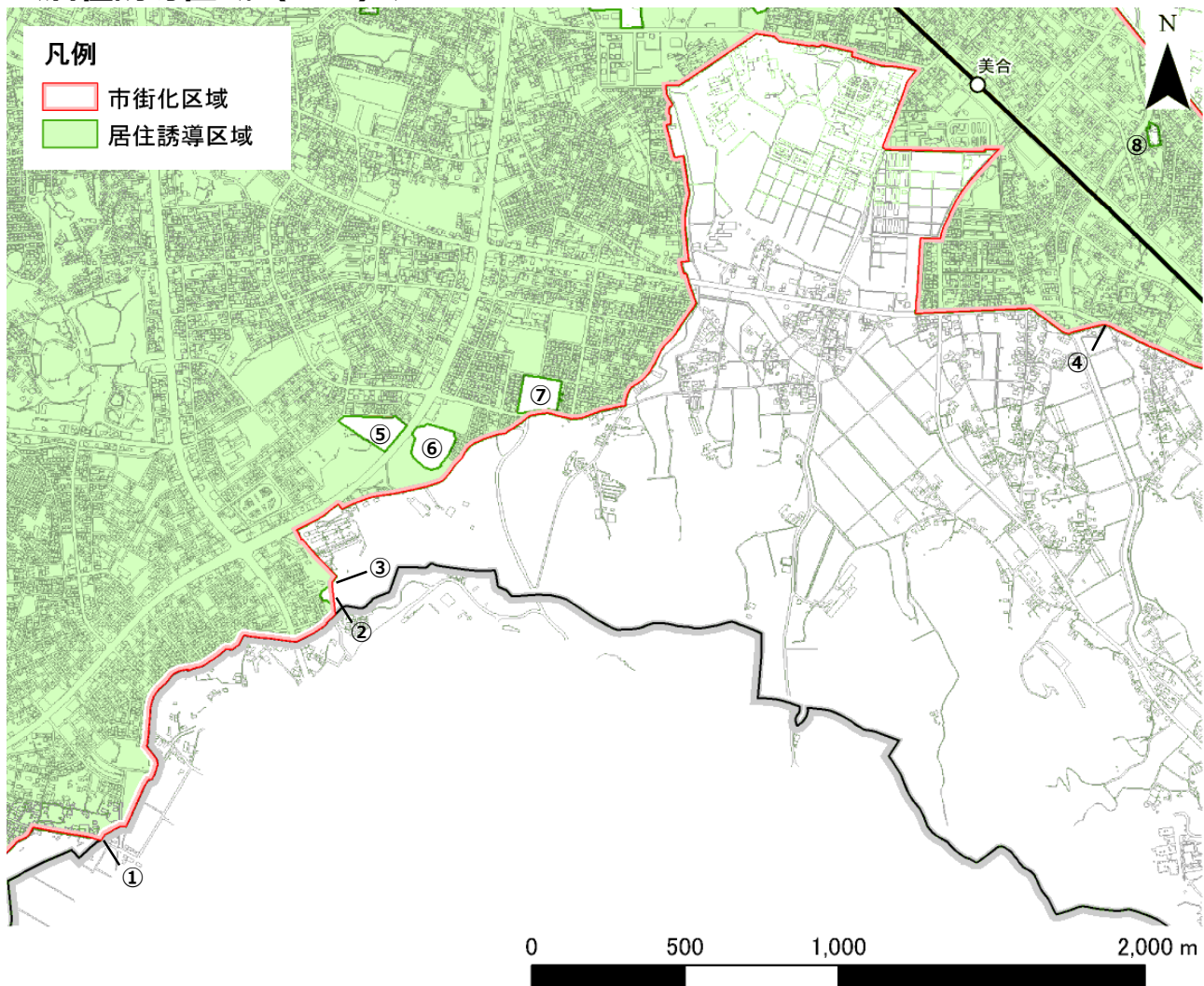
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：③～④の延長線
- ③～④：道路中心線
- ④～⑤：水路中心線
- ⑤～⑥：道路中心線
- ⑥～⑦：市街化区域界

<居住誘導区域（10）>



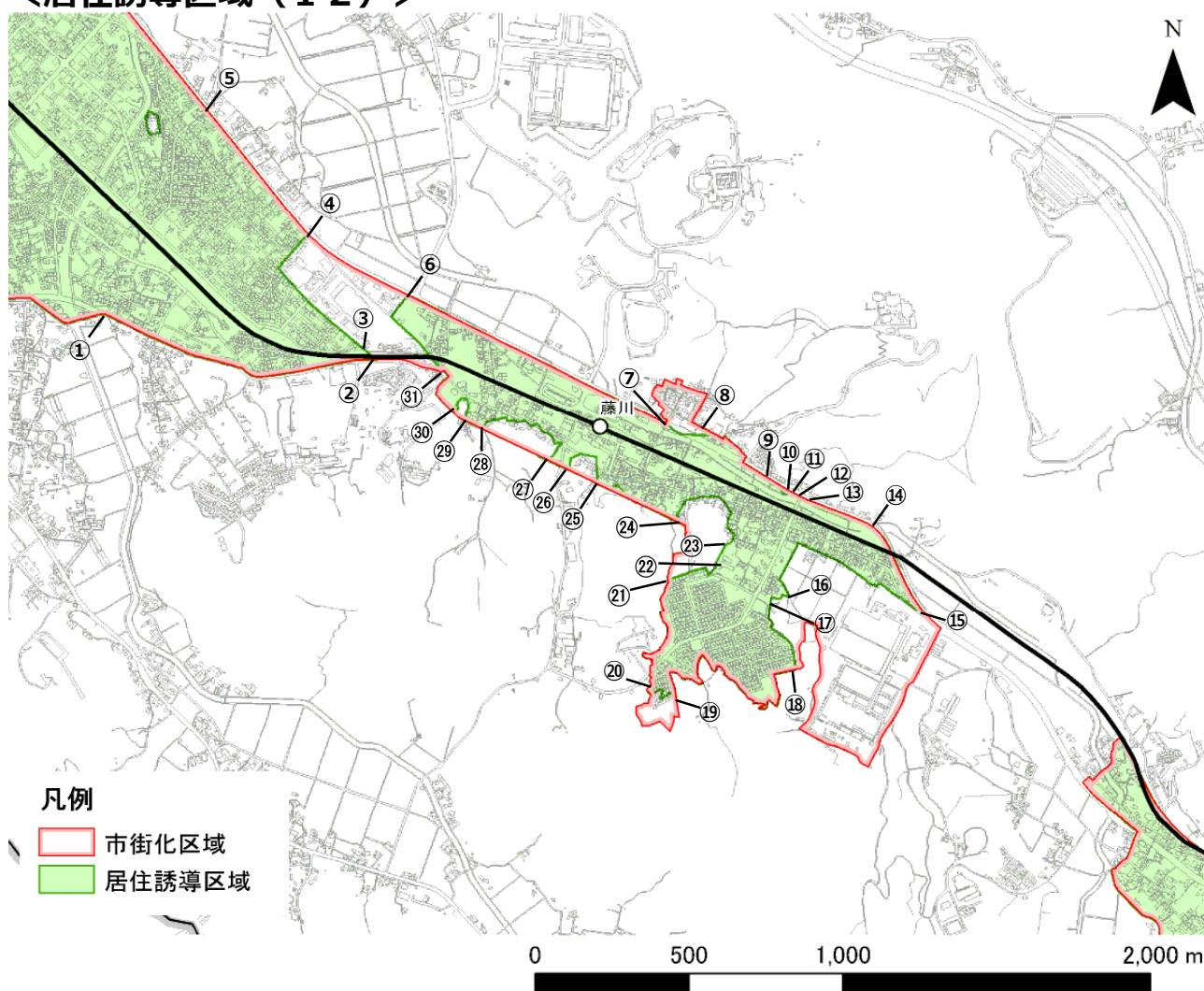
- ①～②:市街化区域界
- ②～③:道路中心線
- ③～④:用途地域界(道路中心線)
- ④～⑤:道路中心線
- ⑤～⑥:市街化区域界

<居住誘導区域（1 1）>



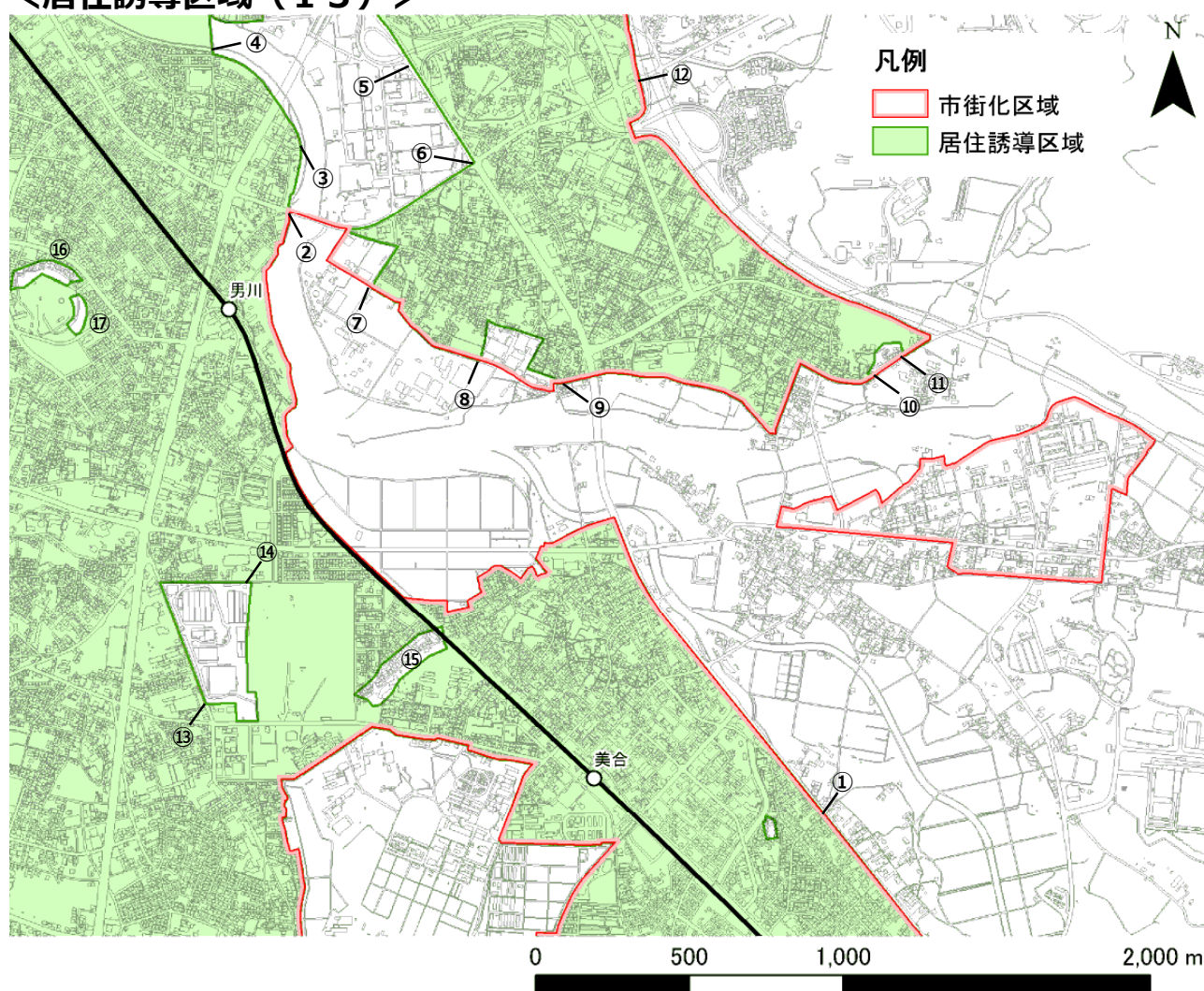
- ①～②：市街化区域界
- ②～③：保安林区域界
- ③～④：市街化区域界
- ⑤：保安林区域界
- ⑥：保安林区域界
- ⑦：保安林区域界
- ⑧：急傾斜地崩壊危険区域及び急傾斜地危険箇所界

<居住誘導区域（12）>



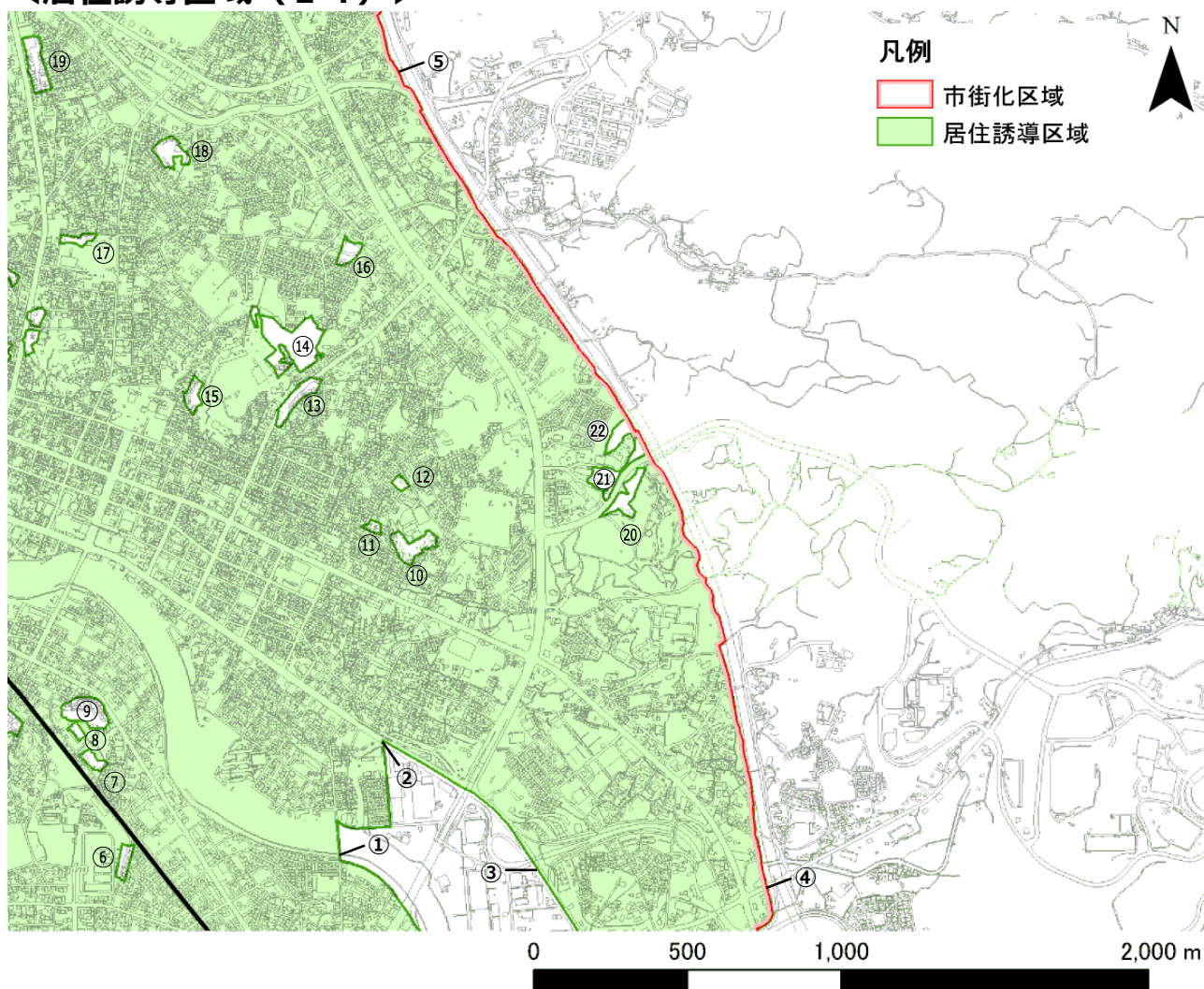
- | | |
|------------------|-----------------|
| ①～②:市街化区域界 | ①9～②0:土砂災害警戒区域界 |
| ②～③:用途地域界 | ②0～②1:市街化区域界 |
| ③～④:道路中心線 | ②1～②2:道路中心線 |
| ④～⑤:市街化区域界 | ②2～②3:地形線(法肩) |
| ⑥～⑦:市街化区域界 | ②3～②4:土砂災害警戒区域界 |
| ⑦～⑧:土砂災害警戒区域界 | ②4～②5:市街化区域界 |
| ⑧～⑨:市街化区域界 | ②5～②6:土砂災害警戒区域界 |
| ⑨～⑩:土砂災害警戒区域界 | ②6～②7:市街化区域界 |
| ⑩～⑪:市街化区域界 | ②7～②8:土砂災害警戒区域界 |
| ⑪～⑫:土砂災害警戒区域界 | ②8～②9:市街化区域界 |
| ⑫～⑬:市街化区域界 | ②9～③0:土砂災害警戒区域界 |
| ⑬～⑭:土砂災害警戒区域界 | ③0～③1:市街化区域界 |
| ⑭～⑮:市街化区域界 | ③1～⑥:道路中心線 |
| ⑮～⑯:用途地域界(道路中心線) | |
| ⑯～⑰:地形線(法尻) | |
| ⑰～⑱:道路中心線 | |
| ⑱～⑲:市街化区域界 | |

<居住誘導区域（13）>



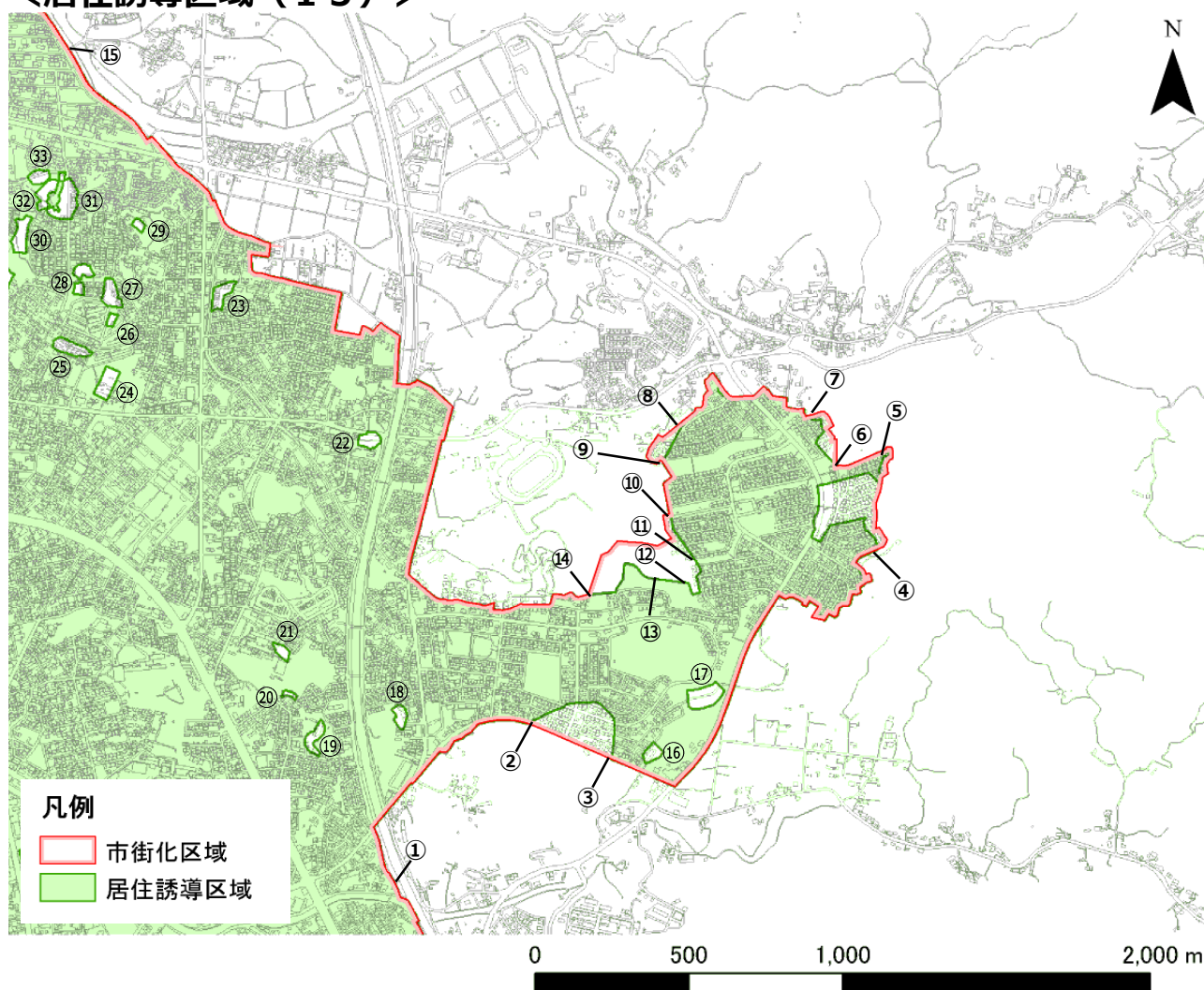
- ①～②:市街化区域界
- ②～③:地形線(法肩)
- ③～④:道路中心線
- ⑤～⑥:用途地域界(道路中心線)
- ⑥～⑦:道路中心線
- ⑦～⑧:市街化区域界
- ⑧～⑨:道路中心線
- ⑨～⑩:市街化区域界
- ⑩～⑪:急傾斜地崩壊危険箇所界
- ⑪～⑫:市街化区域界
- ⑬～⑭:道路中心線
- ⑭～⑬:敷地界線
- ⑮ :急傾斜地危険箇所界
- ⑯ :急傾斜地危険箇所界
- ⑰ :急傾斜地危険箇所界

<居住誘導区域（14）>



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ①～②：道路中心線 | ⑩：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| ②～③：用途地域界（道路中心線） | ⑪：急傾斜地危険箇所界 |
| ④～⑤：市街化区域界 | ⑫：土砂災害警戒区域界 |
| ⑥：急傾斜地危険箇所界 | ⑬：急傾斜地崩壊危険区域及び急傾斜地危険箇所界 |
| ⑦：土砂災害警戒区域界 | ⑭：保安林及び急傾斜地危険箇所界 |
| ⑧：土砂災害警戒区域界 | ⑮：急傾斜地危険箇所界 |
| ⑨：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 | ⑯：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| | ⑰：急傾斜地崩壊危険区域及び急傾斜地危険箇所界 |
| | ⑱：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| | ⑲：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界 |
| | ⑳：保安林及び急傾斜地危険箇所界 |
| | ㉑：保安林区域界 |
| | ㉒：保安林区域界 |

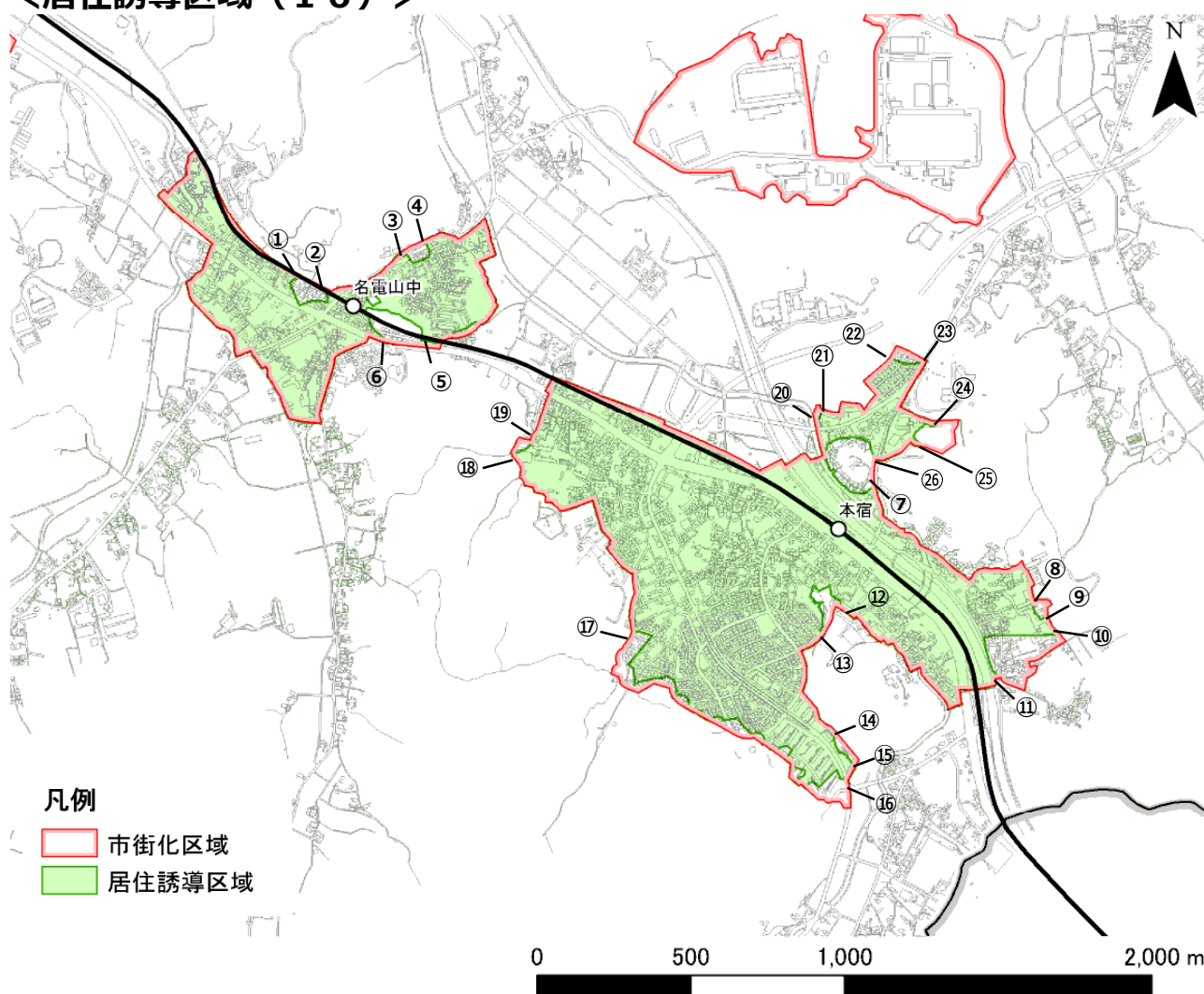
<居住誘導区域（15）>



- ①～②：市街化区域界
- ②～③：土石流危険流域界
- ③～④：市街化区域界
- ④～⑤：土砂災害警戒区域界
- ⑤～⑥：市街化区域界
- ⑥～⑦：土砂災害警戒区域界
- ⑦～⑧：市街化区域界
- ⑧～⑨：土砂災害警戒区域界
- ⑨～⑩：市街化区域界
- ⑩～⑪：道路中心線
- ⑪～⑫：土砂災害警戒区域界
- ⑫～⑬：道路の延長線
- ⑬～⑭：道路中心線
- ⑭～⑮：市街化区域界
- ⑯：急傾斜地危険箇所界
- ⑰：急傾斜地危険箇所界
- ⑱：土砂災害警戒区域界
- ⑲：急傾斜地危険箇所界
- ⑳：急傾斜地危険箇所界
- ㉑：急傾斜地危険箇所界

- ㉒：土砂災害警戒区域界
- ㉓：急傾斜地危険箇所界
- ㉔：急傾斜地危険箇所界
- ㉕：土砂災害警戒区域界
- ㉖：土砂災害警戒区域界
- ㉗：土砂災害警戒区域界
- ㉘：土砂災害警戒区域界
- ㉙：土砂災害警戒区域界
- ㉚：土砂災害警戒区域界
- ㉛：土砂災害警戒区域界
- ㉜：土砂災害警戒区域界
- ㉝：土砂災害警戒区域界
- ㉞：土砂災害警戒区域界
- ㉟：土砂災害警戒区域界
- ㊱：土砂災害警戒区域界
- ㊲：土砂災害警戒区域界
- ㊳：土砂災害警戒区域界

<居住誘導区域（16）>



- ①～②：土砂災害警戒区域界
- ②～③：市街化区域界
- ③～④：土砂災害警戒区域界
- ④～⑤：市街化区域界
- ⑤～⑥：土砂災害警戒区域界
- ⑥～①：市街化区域界
- ⑦～⑧：市街化区域界
- ⑧～⑨：土砂災害警戒区域界
- ⑨～⑩：市街化区域界
- ⑩～⑪：土砂災害警戒区域界
- ⑪～⑫：市街化区域界
- ⑫～⑬：土砂災害警戒区域界
- ⑬～⑭：市街化区域界
- ⑭～⑮：土砂災害警戒区域界
- ⑮～⑯：市街化区域界

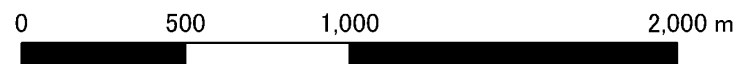
- ⑯～⑰：土砂災害警戒区域界、急傾斜地崩壊危険箇所及び土石流危険渓流による危険区域界
- ⑰～⑱：市街化区域界
- ⑱～⑲：土砂災害警戒区域界
- ⑲～⑳：市街化区域界
- ㉑～㉒：土石流危険渓流による危険区域界
- ㉒～㉓：市街化区域界
- ㉓～㉔：急傾斜地崩壊危険箇所界
- ㉔～㉕：市街化区域界
- ㉕～㉖：土石流危険渓流による危険区域界
- ㉖～㉗：市街化区域界
- ㉗～㉘：土砂災害警戒区域界

<居住誘導区域（17）>



凡例

- 市街化区域
- 居住誘導区域



- ①～②:道路中心線
- ②～①:市街化区域界

8 岡崎市における都市機能増進施設の定義

種類		都市機能				定義
		A	B	C	D	
①医療施設	大規模な病院 (地域医療支援病院・第3次救急病院等)	○				医療法第4条の1に定める地域医療支援病院や救命救急センターを有する第3次救急病院、並びにこれに準ずる機能・規模を有する地域の拠点的な病院
	中・小規模な病院		○			医療法第1条の5第1項に定める病院のうち、内科系・外科系の診療科を標ぼうしている病院
	診療所			○		医療法第1条の5第2項に定める診療所(事業所内診療所及び歯科系のみを標ぼうする診療所は除く)
②高齢者福祉施設	老人福祉センター		○			岡崎市地域福祉センター条例に定める「老人福祉センター」 高齢者のための軽娯楽・入浴等の機能を持つ施設 高年者センターや地域福祉センター内にデイサービスセンターとともに併設されている
	地域包括支援センター		○			介護保険法第115条の46に定める「地域包括支援センター」 高齢者のための包括的な相談所、訪問サービスも併せ持つ施設
	通所型介護施設			○		介護保険法に規定される「通所介護(第8条第7項)」、「通所リハビリテーション(法第8条第8項)」等の通所することでサービスを受けるデイサービス等の施設

都市機能A: 広域機能

都市機能B: 中域生活機能

都市機能C: 狭域生活機能

都市機能D: 公的機能

種類		都市機能				定義
		A	B	C	D	
③子育て支援施設	総合子育て支援センター	○				児童福祉法第21条の8に基づき岡崎市が設置する「総合子育て支援センター」 子育て支援センター機能、つどいの広場機能に加え、サークル支援や発達支援機能が強化された施設
	地区子育て支援センター		○			児童福祉法第21条の8に基づき岡崎市が設置する「地区子育て支援センター」 子育て中の親子が気軽に集い、一緒に遊びながら交流でき、育児相談機能を併せ持つ施設
	つどいの広場		○			未就学児が親子で遊べるプレイルーム、育児相談機能をもつ施設
	幼稚園				○	学校教育法第 22 条に規定される「幼稚園」で、市立または私立の施設。
	保育所				○	児童福祉法39条に規定される「保育所」で、市長の認可を受けた施設 (認可外保育施設は市内に 11 施設(平成 28 年 4 月 1 日現在)あるが、積極的に誘導するものではないため、ここでは含めていない)
	認定こども園				○	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項に規定される「認定こども園」で都道府県知事の認定(法第 3 条第 1 項)を受けた施設
④教育施設	大学	○				学校教育法第 83 条に規定される「大学」
	短期大学	○				「大学」のうち、学校教育法第 108 条に規定される「短期大学」
	高等専門学校	○				学校教育法第 115 条に規定される「高等専門学校」
	専修学校	○				学校教育法第 124 条に規定される「専修学校」
	研究施設	○				国が設置する研究施設
	小学校 中学校				○	学校教育法第 29 条又は 45 条の規定に基づき設置される小学校及び中学校
	高等学校				○	学校教育法第 50 条の規定に基づき設置される高等学校

都市機能A: 広域機能

都市機能B: 中域生活機能

都市機能C: 狭域生活機能

都市機能D: 公的機能

種類		都市機能				定義
		A	B	C	D	
⑤文化・集会施設	図書館	○				図書館法第 2 条第1項に規定される図書館
	美術館・博物館	○				博物館法第 2 条に規定される「博物館」で、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集、保管、展示する施設
	ホール	○				市民の集会、音楽、演劇その他の催しの場とすることを目的とした施設
⑥商業施設 (スーパーマーケット等)	百貨店 10,000 m ² 以上スーパー	○				商業統計調査の業務分類表における百貨店及び総合スーパーで売場面積が 10,000 m ² 以上の施設
	3,000～10,000 m ² スーパー		○			商業統計調査の業務分類表における総合スーパー及び食料品スーパーで売場面積が 3,000 以上 10,000 m ² 未満の施設
	商店 コンビニエンスストア			○		商業統計調査の業務分類表における売場面積 3,000 m ² 未満の食料品スーパー及びコンビニエンスストア
⑦業務施設 (金融機関等)	銀行		○			銀行法第 2 条第1項に規定される「銀行」
	郵便局		○			日本郵便株式会社法第 2 条第4項に規定される「郵便局」で、郵便窓口業務、銀行窓口業務及び保険窓口業務を行う施設
⑧行政施設	国・県施設	○				国又は県が設置する施設
	市役所	○				岡崎市役所
	支所				○	岡崎市役所支所設置条例に定める「支所」
⑨にぎわい交流施設		○				商業、飲食、集会、宿泊機能等から構成される複合施設

都市機能A: 広域機能

都市機能B: 中域生活機能

都市機能C: 狭域生活機能

都市機能D: 公的機能

9 施設リスト

①医療施設（H22年・H26年）

資料：国土数値情報

名称	所在	都市機能分類
岡崎市民病院	岡崎市高隆寺町字五所合3-1	A
岡崎メイツ腎・睡眠クリニック	岡崎市稲熊町2-83	B
岡崎南病院	岡崎市羽根東町1-1-3	B
愛知県がんセンター愛知病院	岡崎市欠町字栗宿18	B
北斗病院	岡崎市仁木町字川越17-33	B
宇野病院	岡崎市中岡崎町1-10	B
葵セントラル病院	岡崎市中田町4-5	B
岡崎東病院	岡崎市洞町字向山16-2	B
富田病院	岡崎市本宿町字南中町26	B
三嶋内科病院	岡崎市六供町3-8-2	B
岡崎共立病院	岡崎市羽根町64-1	B
羽栗病院	岡崎市羽栗町字田中26・27・30番合併地	B
伊賀新クリニック	岡崎市伊賀新町13-22	C
かとう内科	岡崎市伊賀新町35-2	C
山本クリニック	岡崎市伊賀町7-33	C
中西外科	岡崎市伊賀町7-85	C
伊賀眼科	岡崎市伊賀町字東郷中59-1	C
しばた医院	岡崎市井田町字1-85	C
寺岡クリニック	岡崎市井内町字風見53	C
潤クリニック	岡崎市稲熊町1-146-1	C
岸本内科	岡崎市稲熊町字4-17	C
山中クリニック	岡崎市稲熊町字5-135	C
吉田医院	岡崎市宇頭町57-1	C
おおほりクリニック	岡崎市宇頭町88-2	C
小林医院	岡崎市羽根西新町2-14	C
永坂内科医院	岡崎市羽根町13	C
杉浦医院	岡崎市羽根町字前田30-1	C
うちぼり医院	岡崎市岡町字方便1-22	C
おくやしきクリニック	岡崎市下青野町奥屋敷39	C
星野クリニック	岡崎市榎山町字新居野56-5	C
別府外科	岡崎市鴨田町字広元21	C
サトー内科小児科	岡崎市鴨田町字末広53	C
栗屋医院	岡崎市鴨田本町21-7	C
須田クリニック	岡崎市鴨田本町8-4	C
岡崎市額田宮崎診療所	岡崎市宮崎町字荒井沢西30	C
城南整形外科	岡崎市宮地町字柳畑47-1	C
青木医院	岡崎市橋目町字請地1-1	C
光ヶ丘クリニック	岡崎市戸崎町字牛転36	C
林医院	岡崎市広幡町2-8	C
たなむらクリニック	岡崎市康生通南2-20-1	C
玉木内科	岡崎市江口2-4-8	C
山本整形外科	岡崎市国正町字下川田6-1	C
北斗台診療所	岡崎市細川町字窪地77-128	C
高村医院	岡崎市細川町字長原57-33	C
岡崎市額田北部診療所	岡崎市桜形町字東田12-1	C

名称	所在	都市機能分類
堤医院	岡崎市若松東2-5-1	C
岡田胃腸科クリニック	岡崎市若松東2-9-5	C
西澤整形外科クリニック	岡崎市庄司田1-15-8	C
葵クリニック西岡崎	岡崎市昭和町字北浦1	C
大浜医院	岡崎市松本町1-91	C
大見医院	岡崎市上青野町字新井50	C
中部在宅ターミナルクリニック・愛知	岡崎市上地1-41-9	C
上地内科クリニック	岡崎市上地2-47-8	C
岡崎整形外科	岡崎市真伝町62-1	C
平幸内科クリニック	岡崎市吹矢町90	C
伊藤整形外科	岡崎市西大友町字桃々木15-2	C
神谷内科	岡崎市大西1-17-11	C
オハラ医院	岡崎市大平町字建石25	C
野田整形外科クリニック	岡崎市大和町字西島51-18	C
杉浦内科小児科	岡崎市中町6-1-1	C
ごとう内科	岡崎市中町6-3-1	C
村山医院	岡崎市中島中町4-1-1	C
城南リハビリクリニック	岡崎市中島町字藤屋15-1	C
志賀医院	岡崎市中島町字薬師23	C
玄クリニック	岡崎市柱町219	C
中尾医院	岡崎市柱町4-96	C
伊藤医院	岡崎市定国町字郷外7	C
クリニックさいとう	岡崎市伝馬通3-23	C
大原内科医院	岡崎市伝馬通5-52	C
六ッ美内科クリニック	岡崎市土井町字柳ヶ坪19-1	C
加藤医院	岡崎市東蔵前町字犬飼21	C
大山医院	岡崎市東蔵前町字木平59	C
おにつか内科クリニック	岡崎市筒針町字池田150-4	C
築瀬医院	岡崎市洞町字上荒田34-8	C
日名南おはまクリニック	岡崎市日名南町17-4	C
松田内科医院	岡崎市能見通1-71	C
鈴木クリニック	岡崎市箱柳町字泉119-2	C
和田内科医院	岡崎市八帖北町2-5	C
岸本外科医院	岡崎市八幡町3-28	C
新海医院	岡崎市板屋町105-1	C
菅外科胃腸科	岡崎市美合新町19-2	C
おおくぼ整形外科	岡崎市美合町字生田108	C
美合クリニック	岡崎市美合町字天白107-1	C
あけぼのクリニック	岡崎市美合町字平端24	C
杉浦内科医院	岡崎市美合町字平地45	C
松下クリニック	岡崎市美合町字平地64	C
おの医院	岡崎市百々西町4-3	C
岩瀬医院	岡崎市福岡町字新町55	C
細井医院	岡崎市福岡町字菱田72	C
やはぎ医院	岡崎市暮戸町字南川畔36	C
矢田内科循環器科	岡崎市北野町字榎ノ木21	C
北野榊塚診療所	岡崎市北野町字二番沢75-1	C
小出クリニック	岡崎市牧御堂町字油田58-1	C
つかざき医院	岡崎市本宿町1-92	C
グレースクリニック岡崎	岡崎市本町通1-12	C

名称	所在	都市機能分類
前川内科医院	岡崎市本町通3-67	C
しまだ小児科	岡崎市明大寺町字義路15-1	C
川島小児科水野医院	岡崎市明大寺町字出口10	C
大竹医院	岡崎市明大寺町字川端20	C
松下医院	岡崎市明大寺町字長泉19-1	C
船川医院	岡崎市明大寺町字長泉8	C
柴田胃腸科・内科	岡崎市明大寺町字奈良井35	C
山本医院	岡崎市明大寺本町3-38	C
金山医院	岡崎市野畑町字南郷中50	C
カミヤ医院	岡崎市矢作町字赤池29	C
中田医院	岡崎市矢作町字北河原10	C
岸本クリニック	岡崎市藪田1-19-14	C
ところ内科	岡崎市藪田2-2-15	C
小森内科クリニック	岡崎市竜美台1-3-20	C
竜美ヶ丘整形外科	岡崎市竜美中2-6-11	C
宇野整形外科	岡崎市緑丘2-7-3	C
川部内科皮膚科	岡崎市緑丘3-1-26	C
若山内科	岡崎市連尺通3-2	C
内科・消化器科ゆうクリニック	岡崎市六名南1-4-5	C
かごた公園メンタルクリニック	岡崎市籠田町11	C
こじまファミリークリニック	岡崎市舳越町宮前17-1	C
神谷こども内科クリニック	安城市別郷町荒子98	C
渡辺医院	岡崎市久右エ門町1-3	C
宮地医院	岡崎市柱町南屋敷32	C

②高齢者福祉施設（H28 年）

資料：市資料

（地域福祉センター）

名称	所在	都市機能分類
岡崎市西部地域福祉センター老人福祉センター	岡崎市宇頭町字小藪 70-1	B
岡崎市南部地域福祉センター老人福祉センター	岡崎市下青野町字天神 78	B
岡崎市北部地域福祉センター老人福祉センター	岡崎市岩津町字西坂 54-1	B
岡崎市中央地域福祉センター老人福祉センター	岡崎市梅園町字寺裏 5-1	B
岡崎市高年者センター老人福祉センター	岡崎市美合町字下長根 2 番地 1	B
岡崎市東部地域福祉センター老人福祉センター	岡崎市山綱町中柴 1	B

（地域包括支援センター）

名称	所在	都市機能分類
岡崎市西部地域福祉センター地域包括支援センター	岡崎市宇頭町字小藪 70-1	B
岡崎市南部地域福祉センター地域包括支援センター	岡崎市下青野町字天神 78	B
岡崎市北部地域福祉センター地域包括支援センター	岡崎市岩津町字西坂 54-1	B
岡崎市中央地域福祉センター地域包括支援センター	岡崎市梅園町字寺裏 5-1	B
岡崎市総合老人福祉センター地域包括支援センター	岡崎市美合町字下長根 2 番地 1	B
やはぎ苑地域包括支援センター	岡崎市上佐々木町大官 49	B
ひな地域包括支援センター	岡崎市日名南町 20-3	B
さくら地域包括支援センター	岡崎市堂前町 2 丁目 2-18	B
竜美地域包括支援センター	岡崎市竜美西 1 丁目 9-1	B
なのはな苑地域包括支援センター	岡崎市福岡町四反田 26	B

名称	所在	都市機能分類
かわいの里地域包括支援センター	岡崎市秦梨町平畑 16-1	B
岡崎市社会福祉協議会地域包括支援センター	岡崎市康生通南 3 丁目 56	B
岡崎市東部地域福祉センター地域包括支援センター	岡崎市山綱町中柴 1	B
額田地域包括支援センター	岡崎市夏山町シモツキテン 1-1	B
ねいし地域包括支援センター	岡崎市洞町向山 16-2	B
真福地域包括支援センター	岡崎市真福寺町神田 100-1	B
さくらの里地域包括支援センター	岡崎市中岡崎町 12-9	B
スクエアガーデン地域包括支援センター	岡崎市羽根町 中田 34	B
むつみ地域包括支援センター	岡崎市合歓木町 上郷間 297-1	B
ふじ地域包括支援センター	岡崎市美合町字下長根2番地1	B
第二やはぎ苑地域包括支援センター	岡崎市橋目町字恵香 16 番地	B

(通所系高齢者福祉施設)

名称	所在	都市機能分類
高年者センター岡崎 デイサービスほほえみ	岡崎市美合町字下長根 2 番地 1	C
コープあいちデイサービスひな	岡崎市日名南町 20 番地 3	C
なんぶの郷 デイサービスアンサンブル	岡崎市若松町字西之切 50	C
ニコニコデイサービスセンター緑丘	岡崎市緑丘一丁目 27 番地 8	C
ツクイ岡崎大樹寺	岡崎市大樹寺 3-4-9	C
デイサービス たんぽぽの家	岡崎市日名中町 2 番地 14	C
GENKI NEXT 岡崎	岡崎市庄司田 1-11-13 広陽ビル 1 階	C
デイサービス なちゆるら・みい〜	岡崎市鉢地町字宮前 38 番地 1	C
レッツ倶楽部 岡崎河原町	岡崎市河原町 1-17	C
デイサービス 和ごころ竜美丘	岡崎市竜美台 2-8-12	C
GENKINEXT 岡崎矢作	岡崎市橋目町勘介屋敷 58-1	C
金魚苑	岡崎市新堀町字大庭 16 番地 3	C
デイサービスビーフィット 岡崎	岡崎市大西 2 丁目 17-6	C
リハビリデイサービス・アップ	岡崎市欠町三田田南通 7 ハウス HAKUHO1 階-A	C
クローバーデイサービス	岡崎市大門 5-1-15	C
アクアデイサービス岡崎鴨田町	岡崎市鴨田町向山 45-1	C
元気広場 岡崎	岡崎市若松東 1-7-22	C
あおばデイサービスセンター	岡崎市中岡崎町 5-1	C
あづま家デイサービス	岡崎市欠町字清水田 29-1	C
デイサービス トレーニングルーム 光ヶ丘	岡崎市大西町字奥長入 4-4	C
デイサービスふじの里	岡崎市美合町島廻り 43 番-1	C
デイサービス細川	岡崎市細川町字長原 31-2	C
デイサービス羽根	岡崎市羽根町陣場 235 番地	C
ヒューマンライフケア岡崎の湯	岡崎市井田西町 13-16	C
のんびりハウスひびき	岡崎市在家町字西五反田 13 番地 1	C
デイサービスあさひ	岡崎市上六名町寺山 36	C
デイサービスセンターうらら館	岡崎市大西二丁目 6 番地 6	C
デイサービス ひより	岡崎市中島町字新町 13 番地	C
ハートフルデイナンプ庄司田	岡崎市庄司田 2 丁目 10-6	C
デイサービス花畑	岡崎市下青野町字宮東 13-1	C
株式会社ピバント	岡崎市法性寺町字猿待 79-1	C

名称	所在	都市機能分類
デイサービス 夢野	岡崎市伝馬通 5-54	C
岡崎市中央地域福祉センター デイサービスほほえみ	岡崎市梅園町字寺裏 5 番地 1	C
いきいきはうす小呂の郷デイサービス	岡崎市小呂町三丁目 21 番地 1	C
ケアパートナー岡崎	岡崎市北野町字高塚 26-1 エターナルステアス [®] 1 階	C
デイサービスほっとハウス愛	岡崎市上地 1 丁目 44 番地 17	C
デイサービス つばさ	岡崎市稲熊町字六丁目 20 番地	C
たつのこ	岡崎市久後崎キロ 7 番地 1	C
岡崎市東部地域福祉センター デイサービスほほえみ	岡崎市山綱町字中柴 1 番地	C
デイサービス かもめさん	岡崎市六供町字三本松 10-1	C
デイサービスセンターおとがわ	岡崎市明大寺町字中道 28 番地 2	C
デイサービス かもめ	岡崎市六供町字三本松 15 番地 2	C
デイサービス まつざき	岡崎市牧御堂町字花辺 6 番地	C
岡崎市西部地域福祉センター デイサービスほほえみ	岡崎市宇頭町字小藪 70 番地 1	C
デイサービスセンター榎山365	岡崎市榎山町字山ノ神 29 番地 1	C
デイサービスあゆみ 保母町ケアセンター	岡崎市保母町字神星 46 番地	C
デイサービスころぼっくるの家	岡崎市橋目町字神田 105 番地	C
よっころしょっ青い鳥	岡崎市昭和町字天神 18	C
リハビリデイサービス エール	岡崎市美合町字生田 240	C
ハートフルデイ竜美倶楽部	岡崎市戸崎町字牛転 10 番地 91 ハートケアメゾン みなみの風 竜美丘	C
デイサービス和ごころ大門	岡崎市大門 3 丁目 15-29	C
ツクイ岡崎むつな	岡崎市六名 3-2-7	C
あるるデイサービスセンター	岡崎市上六名 3 丁目 10 番地 21	C
デイサービス助っ人ハウス白樹会	岡崎市福桶町字高畑 202 番地	C
デイサービスセンター 真福の郷	岡崎市真福寺町神田 100-1	C
岡崎市南部地域福祉センター デイサービスほほえみ	岡崎市下青野町字天神 78 番地	C
三田介護老人保健施設	岡崎市欠町三田々北通 13-1	C
デイサービス アディソル	岡崎市羽根北町 3 丁目 2 番地 5 EsEビル 101 号室	C
リハビリ特化型デイサービス こきょう	岡崎市日名西町 8 番地 8	C
かわいの里	岡崎市秦梨町字平畑 16 番地 1	C
デイサービス和ごころ羽根	岡崎市羽根町字大池 66 番地 1	C
デイサービス さくら並木	岡崎市東大友町字並木側 16 番地 1	C
ハートケナンブデイサービス岡崎北	岡崎市百々西町 12 番地 28	C
デイサービスセンターなのはな苑ふくおか	岡崎市福岡町字四反田 26 番地	C
デイサービスセンター美合365	岡崎市美合町字本郷 77 番地	C
デイサービス あすか	岡崎市滝町字芳殿 204 番地	C
くわがいのデイサービスセンター	岡崎市桑谷町字西平地 45 番地	C
デイサービスころぼっくるの杜	岡崎市橋目町字御小屋西 178 番地 15	C
滝町介護老人保健施設	岡崎市滝町字十楽 72 番地	C
岡崎市北部地域福祉センター デイサービスほほえみ	岡崎市岩津町字西坂 54 番地 1	C
デイセンター楽楽	岡崎市真伝二丁目 1 番地 4	C
デイサービス もみじ	岡崎市洞町字西浦 32 番地 3	C
デイサービス虹	岡崎市稲熊町 5-112	C

名称	所在	都市機能分類
むつみデイセンター	岡崎市法性寺町北浦 18 番地	C
デイサービス桃太郎	岡崎市上地 6-1-18	C
デイサービスはればれ	岡崎市羽根東町 3 丁目 4-1	C
介護老人保健施設 羽栗の里 通所リハビリテーション	岡崎市羽栗町字田中 30 番地	C
わくわくデイサービス	岡崎市井田町 565 番地 11	C
岡崎ケアセンターそよ風	岡崎市日名南町 5-25	C
有限会社のみデイサービス	岡崎市能見町 263-1	C
デイサービスセンター燦てんま	岡崎市伝馬通 1 丁目 78	C
緑丘デイサービス	岡崎市緑丘 2 丁目 2 番地 7	C
デイサービスみのがわ	岡崎市鉢地町字下中野 2 番地 1	C
デイサービス コスモス	岡崎市上青野町字城屋敷 44-3	C
やはぎ苑	岡崎市上佐々木町字大官 49 番地	C
デイサービスぽっかぽか	岡崎市伊賀町字愛宕下 22 番地 4	C
デイサービス おかげ庵	岡崎市橋目町御小屋西 68	C
おげんき荘	岡崎市羽根町字小豆坂 53 番地 1	C
らいおんハートデイサービスセンター	岡崎市日名西町 15-10	C
ドリームデイサービス光ヶ丘	岡崎市大西町字奥長入 37 番地 1	C
デイサービス めくもり	岡崎市岡町字下野川 65 番地 2	C
デイサービス あすなろ	岡崎市岩津町字新城 7-8	C
大正村しあわせ荘	岡崎市二軒屋町 1 丁目 9 番地 6	C
デイサービス あすか いなぐま	岡崎市稲熊町字三丁目 148 番地 1	C
介護老人保健施設ヴィラ葵	岡崎市竜泉寺町黒土 55 番地	C
リハビリデイサービス イマージュ	岡崎市鴨田本町 9-23 嵯峨ビルⅡ	C
CASA デイサービス	岡崎市下和田町大島15	C
あんじゅデイサービス	岡崎市法性寺町荒子16	C
岡崎老人保健施設スクエアガーデン	岡崎市羽根町中田34	C
介護老人保健施設さくら大樹	岡崎市大樹寺3丁目9-1	C
高齢者生協デイサービスかけはし	岡崎市大門2丁目7-9	C
さかえの郷 デイサービスセンター 竜美	岡崎市竜美東3丁目9-2	C
ツクイ岡崎洞町	岡崎市洞町東前田2-1	C
デイサービス アルクオーレ岡崎大平	岡崎市大平町古淵25	C
デイサービス いこまい	岡崎市稲熊町8丁目184	C
デイサービス こあ 欠町	岡崎市欠町札木51-4	C
デイサービス 花	岡崎市西藏前町1丁目5-2	C
デイサービス ユーワン	岡崎市欠町清水田44-7	C
デイサービスおかげ庵岡崎南	岡崎市土井町字荒井乙12-1	C
デイサービスきらら	岡崎市上和田町北屋敷3	C
デイサービスさるびあ 岡崎	岡崎市戸崎新町6-21	C
デイサービスセンター額田365	岡崎市夏山町シモツキテン1-1	C
デイサービスセンター燦 はね	岡崎市羽根北町1丁目3-26	C
デイサービスセンター白樺	岡崎市福岡町御堂山29-1	C
デイサービスのぞみ	岡崎市上青野町馬場8-1	C
デイサービス柱	岡崎市柱町福部池29	C
デイサービス花水木	岡崎市欠町地藏前1-2	C
ニチケアセンター岡崎	岡崎市竜美北2丁目7-5	C
ニチケアセンター上里	岡崎市上里2丁目13-3	C
ハートフルデイナンプ 八帖	岡崎市八帖北町14-5	C

名称	所在	都市機能分類
ポッジョ・デル・アルジェント デイサービスセンター	岡崎市真伝町荒戸21-5	C
みのりライフ介護センター	岡崎市六名2丁目2-1	C
リハビリカフェ倶楽部 岡崎店	岡崎市井内町北浦48-1	C
老人保健施設さくらの里	岡崎市中岡崎町2-25	C
一笑の宿	岡崎市舩越町東沖7-1	C
茶話本舗デイサービス岡崎六名亭	岡崎市六名2丁目10-5	C

③子育て支援施設（H27 年）

資料：国土数値情報

名称	所在	種別	都市機能分類
城北	岡崎市八帖北町4の9	総合子育て支援センター	A
福岡	岡崎市上地町丸根47の2	地区子育て支援センター・子育て広場・保育所	B
藤川	岡崎市藤川台3丁目1番5号	地区子育て支援センター・保育所	B
岩松	岡崎市奥殿町根屋敷11	地区子育て支援センター・保育所	B
六ツ美中	岡崎市下青野町祐知35	子育て広場・保育所	B
六ツ美南	岡崎市中島東町2丁目4	子育て広場・保育所	B
八帖	岡崎市八帖北町21の1	子育て広場・保育所	B
竜谷	岡崎市竜泉寺町笹口5	子育て広場・保育所	B
島坂	岡崎市島坂町川田55の1	地区子育て支援センター・保育所	B
中園	岡崎市中園町大エ29の1	子育て広場・保育所	B
緑丘	岡崎市緑丘3丁目5の3	子育て広場・保育所	B
豊富第二	岡崎市榎山町字市場45	地区子育て支援センター・保育所	B
根石	岡崎市栄町4丁目130の1	保育所	D
福岡南	岡崎市福岡町下高須38	保育所	D
山中	岡崎市舞木町向市場60	保育所	D
本宿	岡崎市本宿町丸山腰17	保育所	D
常磐	岡崎市滝町入ノ谷3の4	保育所	D
細川	岡崎市細川町長原47の6	保育所	D
大樹寺	岡崎市鴨田町広元14の1	保育所	D
北野	岡崎市北野町山下71の1	保育所	D
矢作西	岡崎市西本郷町和志山101の4	保育所	D
矢作南	岡崎市大和町中切29の1	保育所	D
六ツ美北	岡崎市土井町字柳ヶ坪8	保育所	D
六ツ美西	岡崎市中之郷町元山乙21の5	保育所	D
百々	岡崎市河原町15の1	保育所	D
若松	岡崎市若松東2丁目1の1	保育所	D
六名南	岡崎市六名南2丁目7の7	保育所	D
井田	岡崎市井田町1丁目109の7	保育所	D
稲熊	岡崎市稲熊町宮下59	保育所	D
大西	岡崎市大西1丁目5	保育所	D
奈良井	岡崎市竜美南2丁目8の1	保育所	D
豊富	岡崎市榎山町字西原98の2	保育所	D
八十塚	岡崎市鴨田町南魂場2の1	保育所	D
男川	岡崎市丸山町ハサマ17の2	保育所	D

名称	所在	種別	都市機能分類
六名	岡崎市六名 2 丁目 9 の 3	保育所	D
明德	岡崎市明大寺本町 3 丁目 33	保育所	D
元能見	岡崎市元能見町 152 の 1	保育所	D
美合	岡崎市美合町平地 4	保育所	D
燕ヶ丘	岡崎市中町野添 25 の 19	保育所	D
岩津	岡崎市岩津町東山 29 の 2	保育所	D
白鳩	岡崎市針崎町朱印地 3	保育所	D
矢作	岡崎市矢作町馬場 4	保育所	D
るんびに一	岡崎市能見通 1 丁目 93	保育所	D
秦梨	岡崎市秦梨町遠行 24	保育所	D
みなみ	岡崎市戸崎町一丁田 51	保育所	D
むつみ	岡崎市法性寺町色子 16	保育所	D
岡	岡崎市岡町大谷口 7 の 1	保育所	D
大門	岡崎市大門 4 丁目 4 の 2	保育所	D
中島	岡崎市中島町町後 86	保育所	D
渡	岡崎市渡町善国寺 35 の 2	保育所	D
キッズプラネットエ リオット	岡崎市明大寺本町 1-5-2	保育所	D
託児園ソリッソ	岡崎市板屋町 2	保育所	D
広幡	岡崎市広幡町 11-4	幼稚園	D
梅園	岡崎市梅園 2-6-1	幼稚園	D
矢作	岡崎市矢作町西河原 49	幼稚園	D
愛隣幼稚園	岡崎市六供町西茶臼 15	幼稚園	D
あさひこ幼稚園	岡崎市桑原町大沢 29-7	幼稚園	D
岡崎女子短期大学付 属嫩幼稚園	岡崎市魚町 1-8	幼稚園	D
岡崎女子短期大学付 属第一早蕨幼稚園	岡崎市欠町狐ヶ入 21	幼稚園	D
岡崎女子短期大学付 属第二早蕨幼稚園	岡崎市洞町八王子 10-1	幼稚園	D
聖カタリナ幼稚園	岡崎市大西町奥長入 52	幼稚園	D
竹の子幼稚園	岡崎市蓑川町東屋敷 16	幼稚園	D
岡崎聖園マリア幼稚 園	岡崎市明大寺町向山 2-120	幼稚園	D
本宿幼稚園	岡崎市本宿町字下トコサフ 1-9	幼稚園	D
レオナ第一幼稚園	岡崎市真伝町鐘鋳 1-5	幼稚園	D
レオナ第二幼稚園	岡崎市西阿知和町御用田 208-5	幼稚園	D
かおる幼稚園	岡崎市滝町芳殿 80	幼稚園	D
橋目幼稚園	岡崎市橋目町毘沙門 11	幼稚園	D
長瀬台幼稚園	岡崎市橋目町割塚 3-3	幼稚園	D
みやこ幼稚園	岡崎市福岡町北西仲 9-4	幼稚園	D
たつみ幼稚園	岡崎市緑丘 1-2-3	幼稚園	D
まこと幼稚園	岡崎市大門 4-5-16	幼稚園	D
めぐみ幼稚園	岡崎市羽根町池下 57-1	幼稚園	D
みやこ第二幼稚園	岡崎市宮地町柳畑 58-3	幼稚園	D
やはぎみやこ幼稚園	岡崎市富永町平田 10-1	幼稚園	D
矢作白鳥幼稚園	岡崎市東本郷町川原田 39	幼稚園	D

④教育施設（H27 年）

資料：国土数値情報

（小学校・中学校・高校）

名称	所在	都市機能分類
愛知学泉短期大学	岡崎市舩越町上川成 28	A
愛知産業大学短期大学	岡崎市岡町原山 12-5	A
岡崎女子短期大学	岡崎市中町 1-8-4	A
愛知学泉大学	岡崎市舩越町上川成 28	A
愛知産業大学	岡崎市岡町原山 12-5	A
人間環境大学	岡崎市本宿町上三本松 6-2	A
岡崎高等技術専門学校	岡崎市美合町字平端 24 番地	A
愛知教育大学附属岡崎小学校	岡崎市六供町八貫 15	D
愛宕小学校	岡崎市伊賀町愛宕山 1	D
井田小学校	岡崎市茨坪 4-3	D
羽根小学校	岡崎市羽根町池脇 24-2	D
奥殿小学校	岡崎市奥殿町仲西 73	D
岡崎小学校	岡崎市針崎町フ口 1	D
下山小学校	岡崎市保久町市場 16	D
夏山小学校	岡崎市夏山町細田 7-1	D
岩津小学校	岡崎市岩津町申堂 24-2	D
宮崎小学校	岡崎市石原町古城 9	D
形埜小学校	岡崎市桜形町中嶋 13	D
恵田小学校	岡崎市三月ヶ入 71-1	D
広幡小学校	岡崎市広幡町 11-1	D
根石小学校	岡崎市欠町石ヶ崎 1-2	D
細川小学校	岡崎市細川町石田 45	D
三島小学校	岡崎市明大寺町池上 1	D
山中小学校	岡崎市舞木町天神越 1	D
小豆坂小学校	岡崎市戸崎町藤狭 13-5	D
上地小学校	岡崎市上地 3-31	D
城南小学校	岡崎市城南町 1-11	D
常磐小学校	岡崎市滝町入ノ谷 3-4	D
常磐東小学校	岡崎市米河内町字惣作 32	D
常磐南小学校	岡崎市田口町岩本 12-4	D
秦梨小学校	岡崎市秦梨町世土田 2	D
生平小学校	岡崎市生平町鷺場 25-1	D
大樹寺小学校	岡崎市鴨田町広元 31	D
大門小学校	岡崎市大門 4-4-1	D
男川小学校	岡崎市大平町中道 17	D
藤川小学校	岡崎市藤川町西町北 44	D
梅園小学校	岡崎市稲熊町 4-68-1	D
美合小学校	岡崎市岡町南石原 30	D
福岡小学校	岡崎市福岡町西市仲 3	D
豊富小学校	岡崎市檜山町西ノ沢 3	D
北野小学校	岡崎市北野町山下 1-1	D
本宿小学校	岡崎市本宿町三本松入 14-1	D
矢作西小学校	岡崎市宇頭町長合 40	D
矢作東小学校	岡崎市矢作町切戸 28	D
矢作南小学校	岡崎市大和町西島 13	D
矢作北小学校	岡崎市橋目町西遠山 9-2	D
竜谷小学校	岡崎市竜泉寺町松本 34	D
竜美丘小学校	岡崎市竜美台 1-1	D

名称	所在	都市機能分類
緑丘小学校	岡崎市美合町沢渡 12	D
連尺小学校	岡崎市城北町 4	D
六ッ美西部小学校	岡崎市赤渋町道本 33	D
六ッ美中部小学校	岡崎市下青野町井戸尻 71	D
六ッ美南部小学校	岡崎市中島町下井ノ上 9-1	D
六ッ美北部小学校	岡崎市土井町炭焼 2	D
六名小学校	岡崎市六名 3-2-1	D
愛知教育大学附属岡崎中学校	岡崎市明大寺町栗林 1	D
愛知産業大学三河中学校	岡崎市岡町原山 12-10	D
葵中学校	岡崎市伊賀新町 31-1	D
河合中学校	岡崎市茅原沢町上平 7	D
額田中学校	岡崎市檜山町原新田 88	D
岩津中学校	岡崎市東蔵前 2-36	D
甲山中学校	岡崎市巾町北野東 20-1	D
城北中学校	岡崎市城北町 3-1	D
常磐中学校	岡崎市滝町山籠 109	D
新香山中学校	岡崎市桑原町大沢 20-86	D
人間環境大学岡崎学園中学校 (休校中)	岡崎市稲熊町 3-110	D
東海中学校	岡崎市山綱町中柴 51	D
南中学校	岡崎市戸崎町野畔 8-1	D
美川中学校	岡崎市丸山町ハサマ 4-1	D
福岡中学校	岡崎市福岡町井杭 3	D
北中学校	岡崎市上里 1-10	D
矢作中学校	岡崎市暮戸町蓮代 18	D
矢作北中学校	岡崎市東大友町筆屋 43-1	D
竜海中学校	岡崎市明大寺町栗林 48-1	D
竜南中学校	岡崎市緑丘 2-17	D
六ッ美中学校	岡崎市下青野町井戸尻 72	D
六ッ美北中学校	岡崎市井内町六反 2	D
翔南中学校	岡崎市針崎町春咲 1-2	D
愛知産業大学三河高等学校	岡崎市岡町原山 12-10	D
岡崎工業高等学校	岡崎市羽根町陣場 47	D
岡崎高等学校	岡崎市明大寺町伝馬 1	D
岡崎商業高等学校	岡崎市栄町 3-76	D
岡崎城西高等学校	岡崎市中園町川成 98	D
岡崎西高等学校	岡崎市日名南町 7	D
岡崎東高等学校	岡崎市竜泉寺町後山 27	D
岡崎北高等学校	岡崎市石神町 17-1	D
岩津高等学校	岡崎市東蔵前町馬場 5	D
光ヶ丘女子高等学校	岡崎市大西町奥長入 52	D
人間環境大学岡崎学園高等学校	岡崎市稲熊町 3-110	D

(専修学校)

名称	所在	都市機能分類
県立愛知看護専門学校	岡崎市欠町字栗宿 18	A
県立農業大学校	岡崎市美合町字並松 1-2	A
市立看護専門学校	岡崎市伊賀町字西郷中 104	A
東海医療技術専門学校	岡崎市美合町字平端 24-45	A
中部美容専門学校岡崎校	岡崎市祐金町 119-2	A

名称	所在	都市機能分類
慈恵福祉保育専門学校	岡崎市大和町字中切 1-9	A
三河歯科衛生専門学校	岡崎市岡町字原山 12-130	A
愛知ペット専門学校	岡崎市羽根町鰻池 246-1	A

(研究施設)

名称	所在	都市機能分類
自然科学研究機構	岡崎市明大寺町字西郷中38番地	A
自然科学研究機構	岡崎市明大寺町字東山5-1	A

⑤文化施設 (H27 年)

資料：国土数値情報

名称	所在	都市機能分類
おかざき世界子ども美術博物館	岡崎市岡町字鳥居戸 1-1	A
岡崎市美術館	岡崎市明大寺町字茶園 11-3	A
岡崎市美術館(マインドスケープ・ミュージアム)	岡崎市高隆寺町峠 1(岡崎中央総合公園内)	A
岡崎市立額田図書館	岡崎市榎山字山ノ神 10-1	A
岡崎市立中央図書館	岡崎市康生通西 4-71	A
岡崎市せきれいホール	岡崎市朝日町 3 丁目 36-5	A
岡崎市民会館・甲山会館	岡崎市六供町出崎 15 番地 1	A
岡崎市竜美丘会館	岡崎市東明大寺町 5 番地 1	A
岡崎市シビックセンター	岡崎市羽根町字貴登野 15 番地	A

⑥商業施設 (H27 年)

資料：大型小売店総覧、i タウンページ

(百貨店・10,000㎡以上スーパー)

名称	所在	都市機能分類
SEIYU岡崎店	岡崎市戸崎町越舞2-1	A
エルエルタウン(スーパーマーケット パロー上和田店)	岡崎市上和田町南天白5-1	A
コムタウン(フィールコムタウン)	岡崎市上六名町宮前1	A
イオンモール岡崎(イオン岡崎南 店、西武岡崎店)	岡崎市戸崎町字外山38-5	A
ショッピングモール・レスパ(ドミー若 松店、ケーズデンキ若松店)	岡崎市若松町字折戸3	A
アピタ岡崎北店	岡崎市日名北町4-46	A
ふれ愛の街クラタ(ウイングタウン)	岡崎市羽根町小豆坂3番地	A
岡崎シビコ	岡崎市康生通西2-20-2	A

(3,000~10,000㎡以上スーパー)

名称	所在	都市機能分類
岡崎北ショッピングセンター(ヤマナ カアルテ岡崎北)	岡崎市井ノ口新町2-10	B
ピアゴ上和田店	岡崎市上和田町字サジ10	B
ピアゴ矢作店	岡崎市舳越町神道35	B
ピアゴ洞店	岡崎市洞町的場72-2	B
フィールNews	岡崎市不吹町1-2	B
MEGAドン・キホーテ岡崎店	岡崎市戸崎町原山4-8	B
ドミー美合店	岡崎市美合町字入込8-2	B

名称	所在	都市機能分類
中島貸店舗(ドミー稲熊店)	岡崎市稲熊町1-130	C
プラザヒラク	岡崎市大平町西上野107	C
ショッピングセンター百々(ドミー百々店)	岡崎市百々町川田15	C
アオキスーパー伊賀店	岡崎市伊賀町3-39	C
おかざき農遊館	岡崎市東阿知和町字乗越12	C
ドミー大樹寺店	岡崎市大樹寺3-19-3	C
ドミー岡崎駅東店	岡崎市柱町字下弁当8-3	C
スーパーやまのぶ矢作店	岡崎市橋目町阿知賀1-1	C
ドミー竜美丘店	岡崎市東明大寺16-8	C
フィール福岡店	岡崎市福岡町善棚10	C
ドミー福岡店	岡崎市福岡町字西後田56	C
スーパーマーケットバロー福岡店	岡崎市福岡町荒巻30	C
岩津ショッピングセンター(ドミー岩津店)	岡崎市岩津町字於御所177-1	C
アオキスーパー 岡崎康生店	岡崎市康生通西3-15-4外4	C

(商店・コンビニエンスストア (最寄店))

名称	所在	都市機能分類
ミニストップ 岡崎牧平町店	岡崎市牧平町字荒井野31-1	C
サークルK 上三本松店	岡崎市本宿町字上三本松24-3	C
サークルK 岡崎生平町店	岡崎市生平町字西高根1-9	C
サークルK 岡崎本宿店	岡崎市本宿町字城屋敷2	C
株式会社マグフーズ 本宿店	岡崎市本宿茜1丁目2-9	C
スギドラッグ 本宿店	岡崎市山綱町2丁目2-3	C
セブン-イレブン 岡崎本宿町店	岡崎市本宿西2丁目2-1	C
ローソン 岡崎舞木町店	岡崎市舞木町字市場13-1	C
ローソン 美合パーキングエリア下り店	岡崎市市場町字御成箇3-246	C
かりや愛知中央生協ジェイテクト岡崎売店	岡崎市市場町字桐山8	C
サークルK 岡崎小美町店	岡崎市小美町字殿街道171-2	C
ミニストップ 岡崎岡町店	岡崎市岡町字北石原11	C
デイリーヤマザキ 岡崎岡町店	岡崎市岡町字方便1-2	C
V・drug中部薬品 岡町店	岡崎市岡町字方便1	C
サークルK 岡崎岡町保母店	岡崎市岡町字北保母境3-1	C
株式会社マグフーズ 美合店	岡崎市蓑川新町1丁目6-22	C
ファミリーマート 岡崎美合新町店	岡崎市美合新町6-11	C
セブン-イレブン 岡崎蓑川新町店	岡崎市美合新町53-8	C
サークルK みのかわ店	岡崎市蓑川町字上生道21-1	C
サークルK 大平駒場店	岡崎市大平町字駒場29-2	C
Aコープおとがわ店	岡崎市洞町字上荒田20	C
セブン-イレブン 岡崎美合町店	岡崎市美合町字坂下24-5	C
セブン-イレブン 岡崎地蔵野店	岡崎市美合町字地蔵野1-217	C
ニューヤマザキデイリーストア 岡崎美合駅前店	岡崎市美合町字ノ久保6	C
ミニストップ 岡崎美合町店	岡崎市美合町字地蔵野4-3	C
ミニストップ 岡崎洞町店	岡崎市洞町字宮ノ腰19-6	C
サンドラッグ洞町店	岡崎市洞町字下荒田8-1	C
セブン-イレブン 岡崎稲熊町店	岡崎市稲熊町字1丁目5	C
セブン-イレブン 岡崎滝町店	岡崎市滝町字長坂80-1	C

名称	所在	都市機能分類
ニューヤマザキデイリーストア 岡崎神谷店	岡崎市大平町字辻杉1-1	C
ミニストップ 岡崎小呂町店	岡崎市小呂町字マヤシリ25-8	C
ファミリーマート 岡崎インター店	岡崎市大平町字天神前8-2	C
サンクス 岡崎稲熊店	岡崎市稲熊町字大岩9-15	C
ミニストップ 東阿知和町店	岡崎市東阿知和町字屋下102-2	C
サークルK 東公園店	岡崎市欠町字三田田南通1	C
オークワ岡崎インター店	岡崎市大平町字石丸38	C
ローソン S・ZENT岡崎インター店	岡崎市大平町字堤上1	C
サークルK 岡崎小呂町店	岡崎市小呂町字5丁目56-3	C
V・drug中部薬品 美合店	岡崎市美合町字入込8-2	C
セブン-イレブン 岡崎欠町店	岡崎市欠町字地藏前18-2	C
サークルK 岡崎大西2丁目店	岡崎市大西2丁目16-9	C
ファミリーマート 岡崎東阿知和店	岡崎市東阿知和町字宮前28-1	C
サークルK 岡崎美合店	岡崎市美合町字入込46-6	C
ファミリーマート 岡崎根石町店	岡崎市根石町1	C
サークルK 新岡崎中町店	岡崎市元欠町1丁目3	C
ローソン 岡崎栄町店	岡崎市栄町4丁目2-3	C
サークルK 緑丘店	岡崎市緑丘2丁目9-7	C
ヘルスバンク東海調剤薬局真伝店	岡崎市真伝町字前田22-1	C
みどりスーパー	岡崎市竜美台2丁目8-3	C
セブン-イレブン 岡崎緑丘2丁目店	岡崎市緑丘2丁目2-4	C
パワーズ稲熊店	岡崎市稲熊町字後田28-3	C
サークルK 岡崎竜美台二丁目店	岡崎市竜美台2丁目8-3	C
ドラッグスギヤマ 岡崎中町店	岡崎市中町5丁目7-7	C
アローショッピングセンター	岡崎市中町5丁目8-4	C
サークルK 岡崎朝日町店	岡崎市朝日町4丁目14	C
サンクス 岡崎中町店	岡崎市中町6丁目3-4	C
ファミリーマート 大西店	岡崎市大西3丁目1-2	C
V・drug中部薬品 東岡崎店	岡崎市大西1丁目1-1	C
ミニストップ 細川町店	岡崎市細川町字雨戸33-4	C
ローソンスストア100 岡崎緑丘店	岡崎市緑丘1丁目9-1	C
V・drug中部薬品 岡崎堂前店	岡崎市堂前町1丁目119	C
ローソン 岡崎堂前店	岡崎市堂前町2丁目2-1	C
ファミリーマート 岡崎細川町店	岡崎市細川町字長原52-59	C
サークルK 竜美ヶ丘店	岡崎市東明大寺町6-12	C
ファミリーマート 岡崎両町店	岡崎市両町2丁目17	C
サークルK 岡崎光ヶ丘店	岡崎市戸崎町字牛転10-16	C
サークルK 岡崎稲熊一丁目店	岡崎市稲熊町字1丁目161-1	C
あいランドフレッシュショップ	岡崎市梅園町字1丁目3	C
ファミリーマート 岡崎真伝町店	岡崎市稲熊町字大岡作27-1	C
ローソン 岡崎竜美南店	岡崎市竜美南4丁目8-4	C
デイリーヤマザキ 岡崎市役所店	岡崎市十王町2丁目9	C
サンクス 岡崎伊賀店	岡崎市伊賀町字3丁目23-7	C
ファミリーマート 岡崎伊賀店	岡崎市伊賀町字2丁目2	C
ドラッグスギヤマ百々店	岡崎市百々町字七社14	C
サークルK 岡崎河原町店	岡崎市河原町5-8	C
ローソンスストア100 岡崎竜美ヶ丘店	岡崎市竜美中2丁目3-12	C
セブン-イレブン 岡崎寿町店	岡崎市寿町13-16	C

名称	所在	都市機能分類
ファミリーマート 岡崎鴨田本町店	岡崎市鴨田本町18-1	C
セブン-イレブン 岡崎西蔵前町店	岡崎市西蔵前町2丁目1-4	C
ファミリーマート 岡崎仁木町店	岡崎市仁木町字東郷90-6	C
ローソン 岡崎仁木町店	岡崎市仁木町字川越261-2	C
ミニストップ 岡崎伝馬通店	岡崎市伝馬通2丁目35	C
サークルK 岡崎竜美南店	岡崎市竜美南2丁目1-1	C
ファミリーマート 岩津天神口店	岡崎市岩津町字川畔18-6	C
セブン-イレブン 岡崎岩津町店	岡崎市岩津町字車塚63-11	C
サークルK 岡崎上地店	岡崎市上地3丁目49-9	C
ローソン 岡崎山手店	岡崎市明大寺町字東長峰39	C
ミニストップ 大池店	岡崎市羽根町字大池101	C
ローソン 岡崎上地五丁目店	岡崎市上地5丁目21-21	C
サークルK 東岡崎駅南口店	岡崎市明大寺町字寺東1-1	C
ローソン 岡崎若松東店	岡崎市若松東1丁目2-3	C
サンクス 岡崎鴨田東店	岡崎市鴨田町字向山81	C
セブン-イレブン 岡崎井田町店	岡崎市井田町字南33-1	C
千賀酒店	岡崎市連尺通2丁目4	C
サークルK 岡崎羽根北町店	岡崎市羽根北町5丁目8-5	C
セブン-イレブン 岡崎緑ヶ丘店	岡崎市上地3丁目8-3	C
セブン-イレブン 岡崎竜美西店	岡崎市竜美西1丁目10-3	C
サンクス 岡崎明大寺店	岡崎市明大寺本町1丁目28-1	C
V・drug中部薬品 上地店	岡崎市上地6丁目16-1	C
ローソンストア100 岡崎本町通店	岡崎市本町通1丁目11	C
Yショップ能見町スギマン酒店	岡崎市能見町100	C
ローソン 岡崎羽根北町店	岡崎市羽根北町2丁目5-3	C
ローソン 岡崎明大寺町店	岡崎市明大寺町字野畔11-11	C
ファミリーマート 岡崎材木町店	岡崎市材木町2丁目60	C
サークルK 岡崎鴨田店	岡崎市鴨田町字広元169	C
ファミリーマート 岡崎駅前店	岡崎市羽根町字東荒子42-3	C
ミニストップ 井田南店	岡崎市井田南町10-1	C
サークルK 岡崎上里二丁目店	岡崎市上里2丁目15-8	C
ローソン 岡崎鴨田南町店	岡崎市鴨田南町1-12	C
ハックドラッグ 岡崎明大寺店	岡崎市南明大寺町9-1	C
ファミリーマート 岡崎久後崎町店	岡崎市久後崎町字両神1-16	C
セブン-イレブン 岡崎明大寺町店	岡崎市明大寺町字大塚55-4	C
ミニストップ 岡崎明大寺町店	岡崎市明大寺町字大塚62-5	C
セブン-イレブン 岡崎上里2丁目店	岡崎市上里2丁目21-10	C
セブン-イレブン 岡崎大樹寺店	岡崎市大樹寺3丁目6-13	C
セブン-イレブン 岡崎錦町店	岡崎市錦町5-12	C
セブン-イレブン 岡崎井田南町店	岡崎市井田南町2-7	C
ローソン 岡崎若松店	岡崎市若松町字北之切1	C
ファミリーマート 岡崎羽根町若宮店	岡崎市羽根町字若宮9-1	C
業務スーパー 岡崎店	岡崎市戸崎元町5-10	C
サークルK 岡崎りぶら店	岡崎市康生通西4丁目71	C
ハックドラッグ 岡崎福岡店	岡崎市福岡町字善棚10	C
ファミリーマート 岡崎向山町店	岡崎市向山町1-22	C
スギドラッグ	岡崎市大樹寺3丁目19-3	C
ローソン 岡崎上里店	岡崎市上里3丁目19-1	C
ファミリーマート 岡崎葵町店	岡崎市葵町15-1	C

名称	所在	都市機能分類
サークルK 北岡崎店	岡崎市葵町8-5	C
セブン-イレブン 岡崎六名東町店	岡崎市六名東町8-9	C
V・drug中部薬品 六名店	岡崎市上六名4丁目2-6	C
サークルK 江口店	岡崎市江口2丁目3-4	C
セブン-イレブン 岡崎大門駅東店	岡崎市大樹寺2丁目1-7	C
セブン-イレブン 岡崎八帖北町店	岡崎市八帖北町26-5	C
ミニストップ M&K岡崎店	岡崎市羽根西3丁目2-1	C
ドラッグスギヤマ 針崎店	岡崎市針崎2丁目10-1	C
ローソン 岡崎六名本町店	岡崎市六名本町2-15	C
ファミリーマート 岡崎針崎店	岡崎市針崎町字東カンジ46-1	C
ローソン 中岡崎店	岡崎市中岡崎町2-11	C
ファミリーマート 岡崎若松町店	岡崎市若松町字山田下42	C
セブン-イレブン 岡崎上六名店	岡崎市上六名3丁目12-8	C
ローソン 岡崎六名駅前店	岡崎市六名新町1-11	C
サークルK 岡崎大門店	岡崎市大門5丁目1-2	C
ミニストップ 岡崎大門店	岡崎市大門5丁目8-17	C
ファミリーマート 岡崎羽根西新町店	岡崎市羽根西新町3-12	C
バロー 上和田店	岡崎市上和田町字南天白5-1	C
サークルK 岡崎柱六丁目店	岡崎市柱6丁目6-3	C
マム福岡店	岡崎市福岡町字岩ヶ崎28	C
フィール 岡崎柱町店	岡崎市柱4丁目1-8	C
サークルK 岡崎大門一丁目店	岡崎市大門1丁目11-3	C
志賀食品	岡崎市柱町字堤畔4-1	C
ファミリーマート 岡崎日名本町店	岡崎市日名本町2-18	C
セブン-イレブン 岡崎上和田店	岡崎市上和田町字サジ27-1	C
セブン-イレブン 岡崎福岡町店	岡崎市福岡町字永池21	C
サークルK 岡崎井内町店	岡崎市井内町字川田16-1	C
ファミリーマート 岡崎北天白店	岡崎市上和田町字北天白14-1	C
ニュージョイスYOU&ME	岡崎市福岡町字上高須59-1	C
セブン-イレブン 岡崎矢作町店	岡崎市矢作町字橋塚30-1	C
サンドラッグ 岡崎上和田店	岡崎市天白町字西池28-1	C
V・drug中部薬品 矢作店	岡崎市矢作町字桜海道45-1	C
株式会社マグフーズ 六ツ美店	岡崎市井内町字手保9-1	C
ローソンスストア100岡崎矢作店	岡崎市矢作町字桜海道18-1	C
ミニストップ 岡崎下和田店	岡崎市下和田町字神宮司19-1	C
サンクス 岡崎国正店	岡崎市国正町字稲荷24-1	C
ハックドラッグ 岡崎法性寺店	岡崎市法性寺町字荒子28	C
サークルK 岡崎法性寺店	岡崎市法性寺町字柳之内30-1	C
ローソン 岡崎坂左右店	岡崎市坂左右町字北浦34-4	C
V・drug中部薬品 岡崎牧御堂店	岡崎市牧御堂町字水洗37	C
ローソン 岡崎北野店	岡崎市北野町字善佐3-3	C
ユニー株式会社 ユーホーム矢作店	岡崎市舳越町字神道23-1	C
ローソンスストア100岡崎牧御堂店	岡崎市牧御堂町字溝畔14-1	C
セブン-イレブン 岡崎牧御堂町店	岡崎市牧御堂町字油田38-1	C
ローソン 岡崎赤渋町店	岡崎市赤渋町字田中17-1	C
サークルK 岡崎赤渋町店	岡崎市赤渋町字野中18	C
業務スーパー 中園店	岡崎市中園町字忠田34-1	C
ファミリーマート 岡崎橋目店	岡崎市橋目町字竹之内30-1	C
ミニストップ 榎塚店	岡崎市北野町字二番沢103-1	C

名称	所在	都市機能分類
ローソン 岡崎土井店	岡崎市土井町字荒井甲3-1	C
ファミリーマート 岡崎牧御堂店	岡崎市牧御堂町字郷中57-1	C
セブン-イレブン 岡崎北野町店	岡崎市北野町字東山172-1	C
ファミリーマート 岡崎中園町店	岡崎市中園町字忠田21-1	C
サークルK 矢作小河原店	岡崎市矢作町字小河原99-1	C
サークルK 岡崎筒針店	岡崎市筒針町字池田186-2	C
ローソン 岡崎筒針町店	岡崎市筒針町字池田103-1	C
ファミリーマート 岡崎土井町店	岡崎市土井町字東社口2-2	C
サンクス 岡崎土井町店	岡崎市土井町字地堂41-1	C
ファミリーマート 西大友店	岡崎市西大友町字杭穴86-1	C
フィール 岡崎大和店	岡崎市大和町字荒田41	C
サークルK 北本郷店	岡崎市北本郷町字野添7-1	C
セブン-イレブン 岡崎橋目町店	岡崎市橋目町字阿知賀42-1	C
ローソン 岡崎橋目町店	岡崎市橋目町字割塚37-1	C
サンクス 岡崎小針店	岡崎市小針町3丁目5-2	C
サンドラッグ 岡崎大和店	岡崎市大和町字西島10	C
ファミリーマート 岡崎三菱自動車前店	岡崎市橋目町字御小屋19-1	C
ミニストップ 岡崎矢作南店	岡崎市大和町字荒田37-1	C
セブン-イレブン 岡崎小針町店	岡崎市小針町字神田81-4	C
デイリーヤマザキ 岡崎下青野店	岡崎市下青野町字祐知30-1	C
ファミリーマート 岡崎石工団地口店	岡崎市上佐々木町字鹿乗8-3	C
サンクス 岡崎上青野店	岡崎市上青野町字東市場17-1	C
ミニストップ 岡崎大和町店	岡崎市大和町字西之坊28-4	C
ローソン 岡崎六ツ美工業団地前店	岡崎市下青野町字喜昌島19-1	C
サークルK 岡崎富永店	岡崎市富永町字棚池14-4	C
サークルK 昭和町店	岡崎市昭和町字神郷33-6	C
セブンイレブン 岡崎御小屋西店	岡崎市橋目町字御小屋西284-1	C
セブン-イレブン 岡崎西本郷町店	岡崎市西本郷町字社口104-1	C
セブン-イレブン 岡崎福桶町店	岡崎市福桶町字折戸64	C
ダイワスーパー	岡崎市宇頭町字山ノ神38-1	C
セブン-イレブン 岡崎中島町店	岡崎市中島町字佐渡23-1	C
ローソンスタ100 岡崎中島町店	岡崎市中島町字井龍16-3	C
ファミリーマート 岩本宇頭店	岡崎市宇頭町字山ノ神27-8	C
デイリーヤマザキ 岡崎中島町店	岡崎市中島町字明生池12-1	C
サークルK 岡崎島坂店	岡崎市島坂町字河原1-5	C
株式会社マグフーズ 中島店	岡崎市中島町字馬取池13	C
サークルK 小園前店	岡崎市中島町字小園前2-1	C
フェルナ柱店	岡崎市桂町3-1-4	C
ローソン岡崎駅西口店	岡崎市羽根西新町7-18	C
ファミリーマート 岡崎本町通店	岡崎市本町通2-5-1	C

⑦業務施設（金融機関等）（H27 年）

資料：国土数値情報、i タウンページ

（銀行・信用金庫）

名称	所在	都市機能分類
岡崎信用金庫／本店営業部	岡崎市菅生町字元菅41	B
岡崎信用金庫／本町支店	岡崎市本町通3丁目18	B
岡崎信用金庫／伝馬支店	岡崎市伝馬通4丁目45	B
岡崎信用金庫／中央支店	岡崎市康生通東2丁目18	B
岡崎信用金庫／井田支店	岡崎市井田町字池田48	B
岡崎信用金庫／美合支店	岡崎市美合新町14-2	B
岡崎信用金庫／岩津支店	岡崎市東蔵前町字木平78	B
岡崎信用金庫／矢作支店	岡崎市矢作町字猫田40-2	B
岡崎信用金庫／福岡支店	岡崎市福岡町字新町38-2	B
岡崎信用金庫／本宿支店	岡崎市本宿町字西木竹16-1	B
岡崎信用金庫／六名支店	岡崎市上六名4丁目1-15	B
岡崎信用金庫／根石支店	岡崎市欠町字金谷13-3	B
岡崎信用金庫／細川支店	岡崎市細川町字窪地66-8	B
岡崎信用金庫／／竜美丘支店	岡崎市竜美西1丁目10-4	B
岡崎信用金庫／岡崎駅西支店	岡崎市羽根西新町6-4	B
岡崎信用金庫／緑丘支店	岡崎市緑丘1丁目8-6	B
岡崎信用金庫／日名支店	岡崎市井田西町5-1	B
岡崎信用金庫／橋目支店	岡崎市橋目町字阿知賀39-1	B
岡崎信用金庫／大和支店	岡崎市大和町字中切40-1	B
岡崎信用金庫／六ツ美支店	岡崎市土井町字池田甲1-1	B
岡崎信用金庫／上里支店	岡崎市上里2丁目6-11	B
岡崎信用金庫／稻熊支店	岡崎市稻熊町字1丁目123-1	B
岡崎信用金庫／上地支店	岡崎市上地1丁目5-12	B
岡崎信用金庫／岡崎南支店	岡崎市柱曙1丁目2-18	B
岡崎信用金庫／中島支店	岡崎市中島町字明生池1-1	B
岡崎信用金庫／岡崎市役所出張所	岡崎市十王町2丁目9	B
岡崎信用金庫／城下町支店	岡崎市菅生町字元菅41	B
岡崎信用金庫／額田支店	岡崎市檜山町字山ノ神10-5	B
三菱東京UFJ銀行／岡崎支店	岡崎市本町通1丁目7	B
三菱東京UFJ銀行／岡崎駅前支店	岡崎市羽根町字東ノ郷38-1	B
三菱東京UFJ銀行／北岡崎支店	岡崎市井ノ口新町6-15	B
みずほ銀行／岡崎支店	岡崎市明大寺本町4丁目40	B
三井住友銀行／岡崎支店	岡崎市康生通西2丁目9-1	B
大垣共立銀行／岡崎支店	岡崎市戸崎町字屋敷3-2	B
十六銀行／岡崎支店	岡崎市康生通南2丁目12	B
十六銀行／岡崎羽根支店	岡崎市羽根町字池下63番地1	B
百五銀行／岡崎支店	岡崎市羽根北町二丁目1番地5	B
三井住友信託銀行／岡崎支店	岡崎市康生通西3丁目16	B
愛知銀行／岡崎支店	岡崎市明大寺本町2丁目3	B
愛知銀行／岡崎南支店	岡崎市戸崎町字池下1-4	B
名古屋銀行／岡崎支店	岡崎市本町通3丁目36	B
名古屋銀行／岡崎南支店	岡崎市戸崎町字上り場西5-3	B
名古屋銀行／大樹寺支店	岡崎市鴨田町字田起32-20	B
中京銀行／岡崎支店	岡崎市三崎町1番地25	B
第三銀行／岡崎支店	岡崎市能見通1丁目26	B

名称	所在	都市機能分類
豊川信用金庫／岡崎支店	岡崎市唐沢町1丁目28	B
豊川信用金庫／本宿支店	岡崎市本宿町字西木竹7－1	B
豊田信用金庫／岡崎支店	岡崎市錦町9－17	B
豊田信用金庫／岡崎北支店	岡崎市百々西町19－17	B
碧海信用金庫／岡崎支店	岡崎市康生通南1丁目1	B
碧海信用金庫／中島支店	岡崎市中島町字薬師15－1	B
碧海信用金庫／岡崎北支店	岡崎市大樹寺1丁目1－6	B
碧海信用金庫／矢作支店	岡崎市東大友町字松花45	B
碧海信用金庫／岡崎南支店	岡崎市羽根東町3丁目2－5	B
碧海信用金庫／上和田支店	岡崎市上和田町字サジ23－1	B
碧海信用金庫／竜美丘支店	岡崎市竜美台2丁目9－2	B
碧海信用金庫／岡崎東支店	岡崎市欠町字札木58	B
碧海信用金庫／福岡支店	岡崎市福岡町字西後田68－1	B
碧海信用金庫／稲熊支店	岡崎市稲熊町字2丁目110－1	B
碧海信用金庫／岩津支店	岡崎市西藏前町1丁目6－8	B
碧海信用金庫／美合支店	岡崎市蓑川新町2－1－2	B
西尾信用金庫／岡崎支店	岡崎市上六名4丁目4－5	B
西尾信用金庫／岡崎南支店	岡崎市上地3丁目48－1	B
西尾信用金庫／美合支店	岡崎市美合町字平地25	B
西尾信用金庫／宇頭支店	岡崎市宇頭町字西側76－2	B
西尾信用金庫／中島支店	岡崎市中島町字中道1－1	B
西尾信用金庫／岡崎駅西支店	岡崎市柱2丁目5－11	B
西尾信用金庫／岡崎北支店	岡崎市井ノ口新町7－3	B
西尾信用金庫／六ツ美支店	岡崎市法性寺町字柳之内36－1	B
西尾信用金庫／矢作支店	岡崎市東大友町字西浦4－1	B
西尾信用金庫／西岡崎支店	岡崎市大和町字荒田51－5	B
蒲郡信用金庫／緑丘支店	岡崎市緑丘2丁目9－1	B
蒲郡信用金庫／岡崎南支店	岡崎市羽根西新町2－16	B
蒲郡信用金庫／岡崎北支店	岡崎市堂前町二丁目2－3	B
蒲郡信用金庫／岡崎駅東支店	岡崎市柱曙2丁目3－5	B
信用組合愛知商銀／岡崎支店	岡崎市葵町4－10	B
イオ信用組合／岡崎支店	岡崎市八帖北町10－18	B
東海労働金庫／岡崎支店	岡崎市明大寺本町1丁目34	B
あいち三河農業協同組合／本店	岡崎市坂左右町字葦ノ部18－1	B
あいち三河農業協同組合／井内支店	岡崎市井内町字西浦54	B
あいち三河農業協同組合／青野支店	岡崎市下青野町字本郷27	B
あいち三河農業協同組合／中島支店	岡崎市中島町字井ノ下19	B
あいち三河農業協同組合／福岡支店	岡崎市福岡町字荒追51	B
あいち三河農業協同組合／美合支店	岡崎市岡町字神明15	B
あいち三河農業協同組合／男川支店	岡崎市洞町字上荒田22－1	B
あいち三河農業協同組合／河合支店	岡崎市茅原沢町字築野102	B
あいち三河農業協同組合／山中支店	岡崎市舞木町字市場12－1	B
あいち三河農業協同組合／本宿支店	岡崎市本宿町字三本松入21－1	B

名称	所在	都市機能分類
あいち三河農業協同組合／竜谷支店	岡崎市桑谷町字石丸99－1	B
あいち三河農業協同組合／竜城支店	岡崎市伊賀町字7丁目79	B
あいち三河農業協同組合／常磐支店	岡崎市滝町字神田1－1	B
あいち三河農業協同組合／岩津支店	岡崎市西蔵前町字季平50	B
あいち三河農業協同組合／大樹寺支店	岡崎市鴨田町字広元17	B
あいち三河農業協同組合／中部支店	岡崎市明大寺町字川端25	B
あいち三河農業協同組合／南支店	岡崎市柱2丁目6－8	B
あいち三河農業協同組合／矢作支店	岡崎市北本郷町字御用田15	B
あいち三河農業協同組合／長瀬支店	岡崎市橋目町字遠山31－1	B
あいち三河農業協同組合／牧内支店	岡崎市大和町字家下28	B
あいち三河農業協同組合／額田支店	岡崎市榎山町字ハツ田39	B
あいち三河農業協同組合／宮崎支店	岡崎市宮崎町字亀穴30－1	B
あいち三河農業協同組合／形埜支店	岡崎市桜形町字中門5－3	B

(郵便局)

名称	所在	都市機能分類
岡崎伊賀郵便局	岡崎市伊賀新町 3-31	B
井内簡易郵便局	岡崎市井内町風見 71	B
岡崎宇頭郵便局	岡崎市宇頭町向山 24-5	B
岡崎駅前郵便局	岡崎市羽根町東ノ郷 4-4	B
青野郵便局	岡崎市下青野町奥屋敷 15-1	B
岡崎鴨田郵便局	岡崎市鴨田町山畔 41-2	B
河合郵便局	岡崎市茅原沢町梁野 69-1	B
宮崎郵便局	岡崎市宮崎町東ノ切 27-3	B
岡崎北野郵便局	岡崎市橋目町間見曾 20-1	B
岡崎郵便局	岡崎市戸崎町原山 4-5	B
岡崎康生通西郵便局	岡崎市康生通西 4-32	B
岡崎康生郵便局	岡崎市康生通南 3-41-1	B
岡崎細川郵便局	岡崎市細川町長原 31-9	B
形埜郵便局	岡崎市桜形町中門 1-4	B
山中簡易郵便局	岡崎市山綱町天神 45-1	B
藤川郵便局	岡崎市市場町円光 24	B
岡崎上地郵便局	岡崎市上地 2-43-21	B
岡崎大友郵便局	岡崎市西大友町諏訪 6-1	B
岡崎大樹寺郵便局	岡崎市大樹寺 3-19-11	B
岡崎大平郵便局	岡崎市大平町西上野 79-1	B
大柳簡易郵便局	岡崎市大柳町根畑 46	B
岡崎大和郵便局	岡崎市大和町家下 17-1	B
常磐郵便局	岡崎市滝町本部 1-13	B
岡崎中町郵便局	岡崎市中町 5-1-6	B

名称	所在	都市機能分類
六ツ美郵便局	岡崎市中島町井ノ上 41-2	B
岡崎針崎郵便局	岡崎市柱町東荒子 8	B
岩津郵便局	岡崎市東蔵前町木平 75	B
岡崎日名郵便局	岡崎市日名中町 16-2	B
岡崎能見郵便局	岡崎市能見通 1-69	B
岡崎美合郵便局	岡崎市美合町生田 244	B
岡崎不吹郵便局	岡崎市不吹町 1-205	B
福岡郵便局	岡崎市福岡町西ノ切 33-1	B
額田保久簡易郵便局	岡崎市保久町中村 84-3	B
岡崎法性寺郵便局	岡崎市法性寺町荒子 45-3	B
額田郵便局	岡崎市牧平町荒井野 79-1	B
本宿郵便局	岡崎市本宿町梨子木 9-96	B
岡崎南明大寺郵便局	岡崎市明大寺町沖折戸 4	B
岡崎明大寺郵便局	岡崎市明大寺本町 4-58	B
岡崎矢作郵便局	岡崎市矢作町市場 48-1	B
岡崎竜美丘郵便局	岡崎市竜美東 3-9-8	B
岡崎緑丘郵便局	岡崎市緑丘 2-8-1	B
岡崎六供郵便局	岡崎市六供町 3-28	B
岡崎六名郵便局	岡崎市六名本町 12-16	B

⑧行政施設（H27 年）

資料：国土数値情報

（国・県の施設）

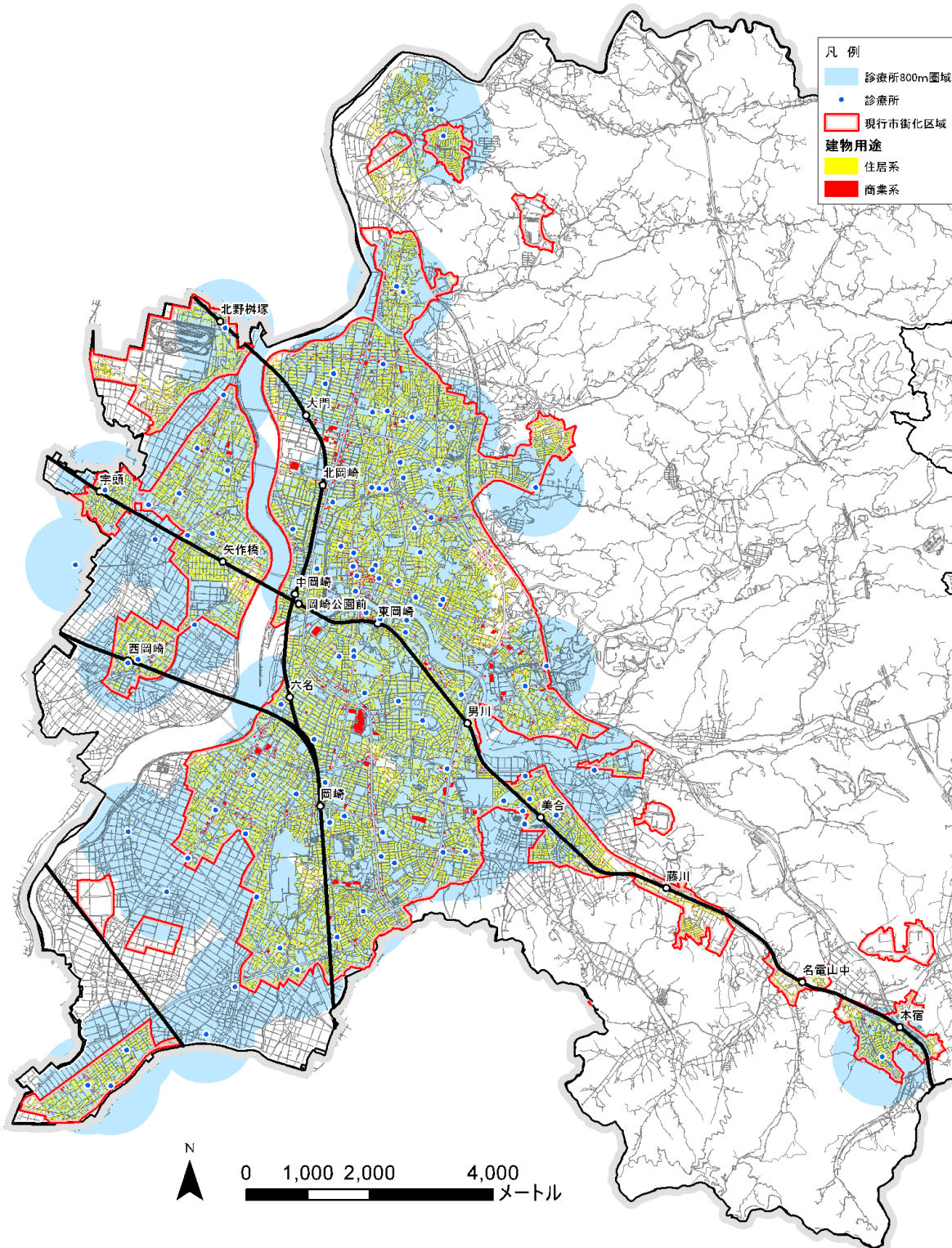
名称	所在	都市機能分類
岡崎医療刑務所	岡崎市上地 4-24-16	A
名古屋刑務所岡崎拘置支所	岡崎市明大寺町道城ヶ入 34-1	A
名古屋法務局岡崎支局	岡崎市羽根町字北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
名古屋地方検察庁岡崎区検察庁	岡崎市羽根町字北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
名古屋地方検察庁岡崎支部	岡崎市羽根町字北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
名古屋国税局岡崎税務署	岡崎市羽根町字北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
愛知労働局岡崎労働基準監督署	岡崎市羽根町北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
岡崎公共職業安定所	岡崎市羽根町北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
岡崎社会保険事務所	岡崎市朝日町 3-9	A
東海農政局岡崎統計・情報センター	岡崎市羽根町北乾地 50-1(岡崎合同庁舎)	A
東海農政局消費・安全部地域第三課	岡崎市美合町字平端 23-70(西三河庁舎)	A
大阪航空局岡崎航空路監視レーダー事務所	岡崎市国正町字下川田 11	A
名古屋家庭裁判所岡崎支部	岡崎市明大寺町字奈良井 3	A
名古屋地方裁判所岡崎簡易裁判所	岡崎市明大寺町字奈良井 3	A
名古屋地方裁判所岡崎支部	岡崎市明大寺町字奈良井 3	A
愛知県西三河家畜保健衛生所	岡崎市美合町字地蔵野 1-306	A
愛知県西三河建設事務所	岡崎市明大寺本町 1-4(西三河総合庁舎)	A
愛知県西三河県事務所	岡崎市明大寺本町 1-4(西三河総合庁舎)	A
愛知県西三河県税事務所	岡崎市明大寺本町 1-4(西三河総合庁舎)	A
愛知県西三河農林水産事務所	岡崎市明大寺本町 1-4(西三河総合庁舎)	A

(市の施設)

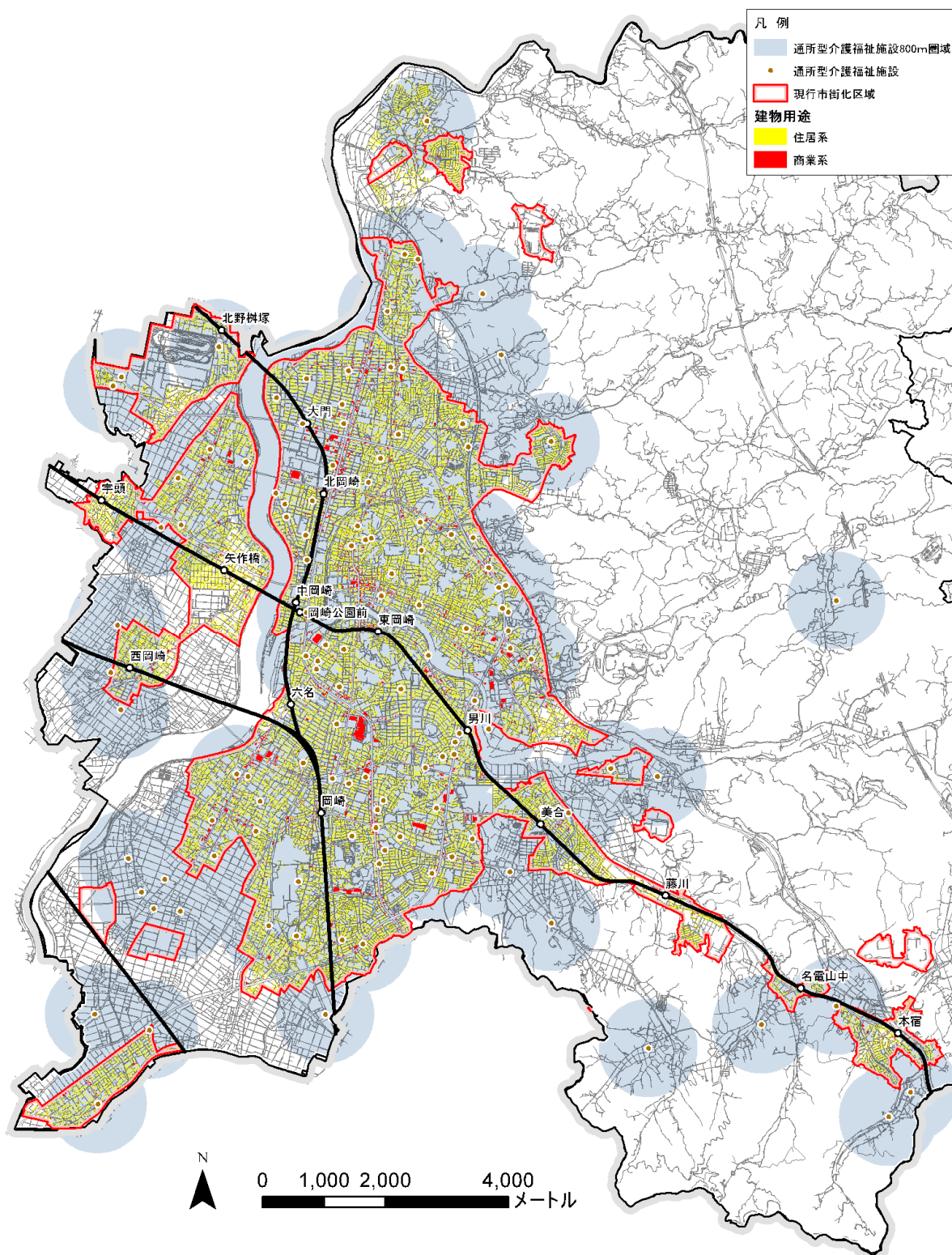
名称	所在	都市機能分類
岡崎市役所	岡崎市十王町2-9	A
げんき館	岡崎市若宮町 2 丁目 1 番地 1	A
岡崎支所	岡崎市羽根町字貴登野 15	D
大平支所	岡崎市大平町字皿田 6	D
東部支所	岡崎市山綱町字天神 2-9	D
岩津支所	岡崎市西蔵前町字季平 45-1	D
矢作支所	岡崎市矢作町字尊所 45-1	D
六ツ美支所	岡崎市下青野町字天神 64	D
額田支所	岡崎市榎山町字山ノ神 21-1	D
宮崎出張所	岡崎市宮崎町字亀穴 33	D
形埜出張所	岡崎市桜形町字福塚 3	D
下山出張所	岡崎市保久町字中村 84-3	D

10 都市機能の徒歩利用圏

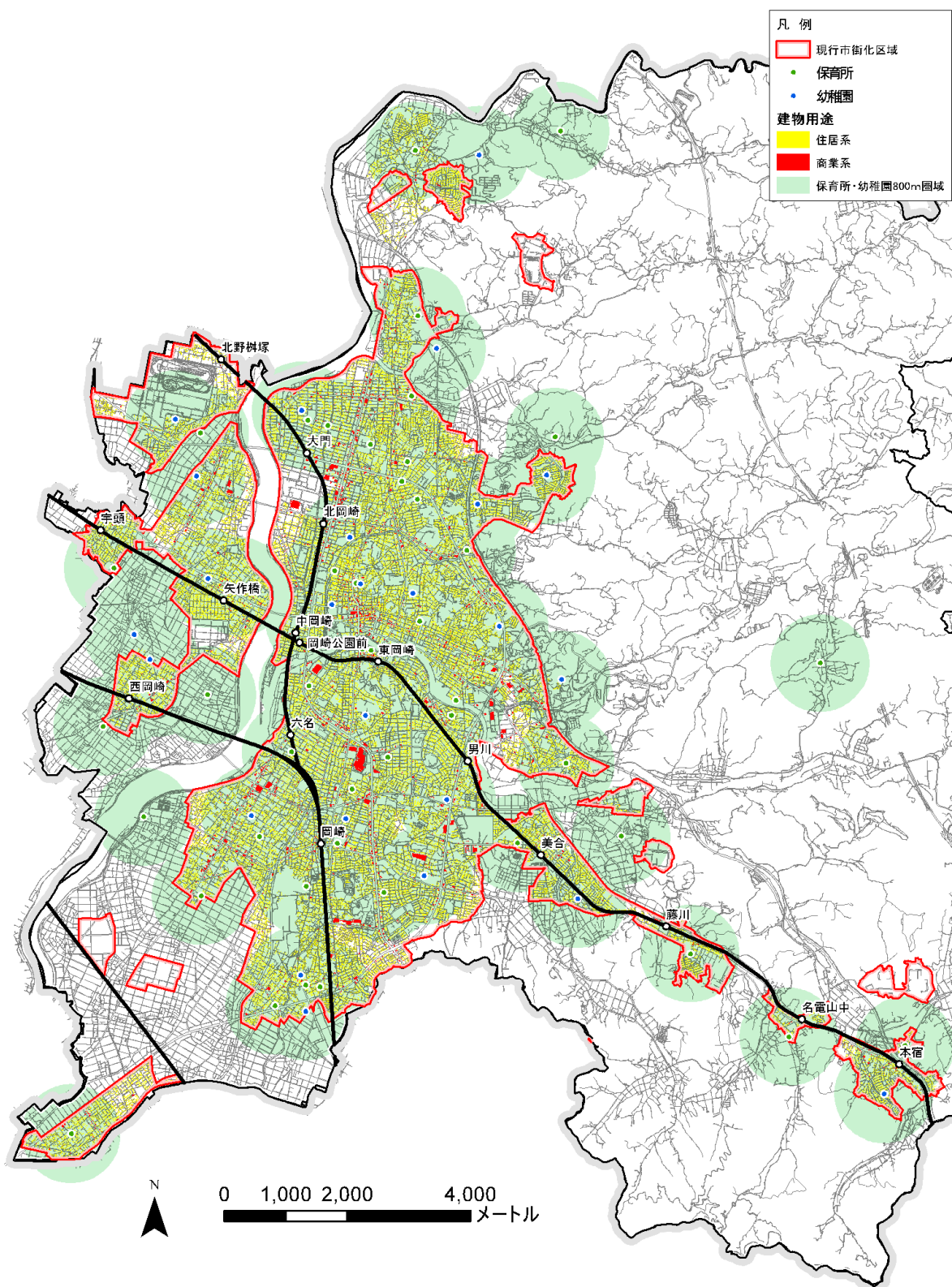
＜都市機能の徒歩利用圏：診療所＞



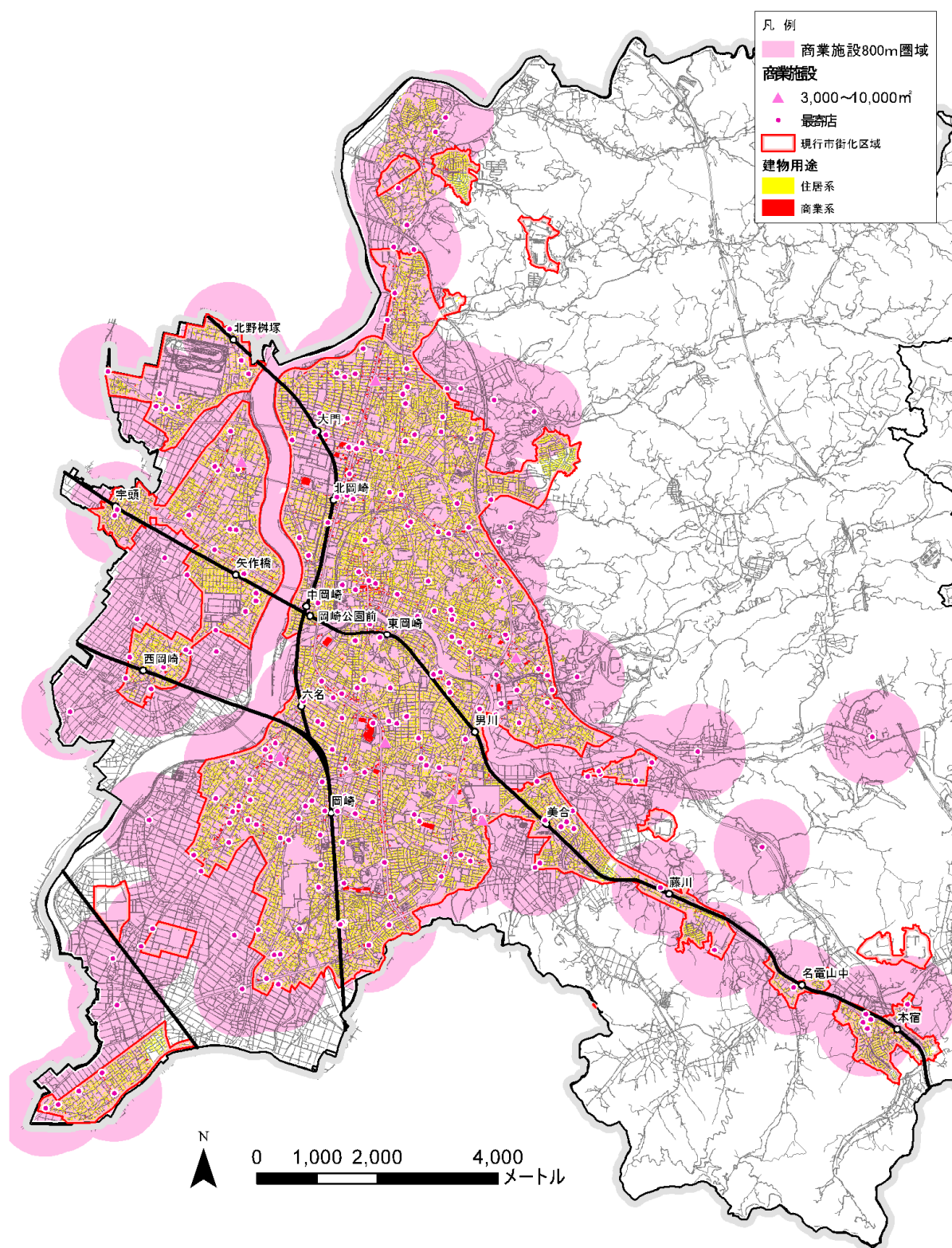
＜都市機能の徒歩利用圏：通所系介護福祉施設＞



＜都市機能の徒歩利用圏：子育て支援施設（保育所・幼稚園）＞

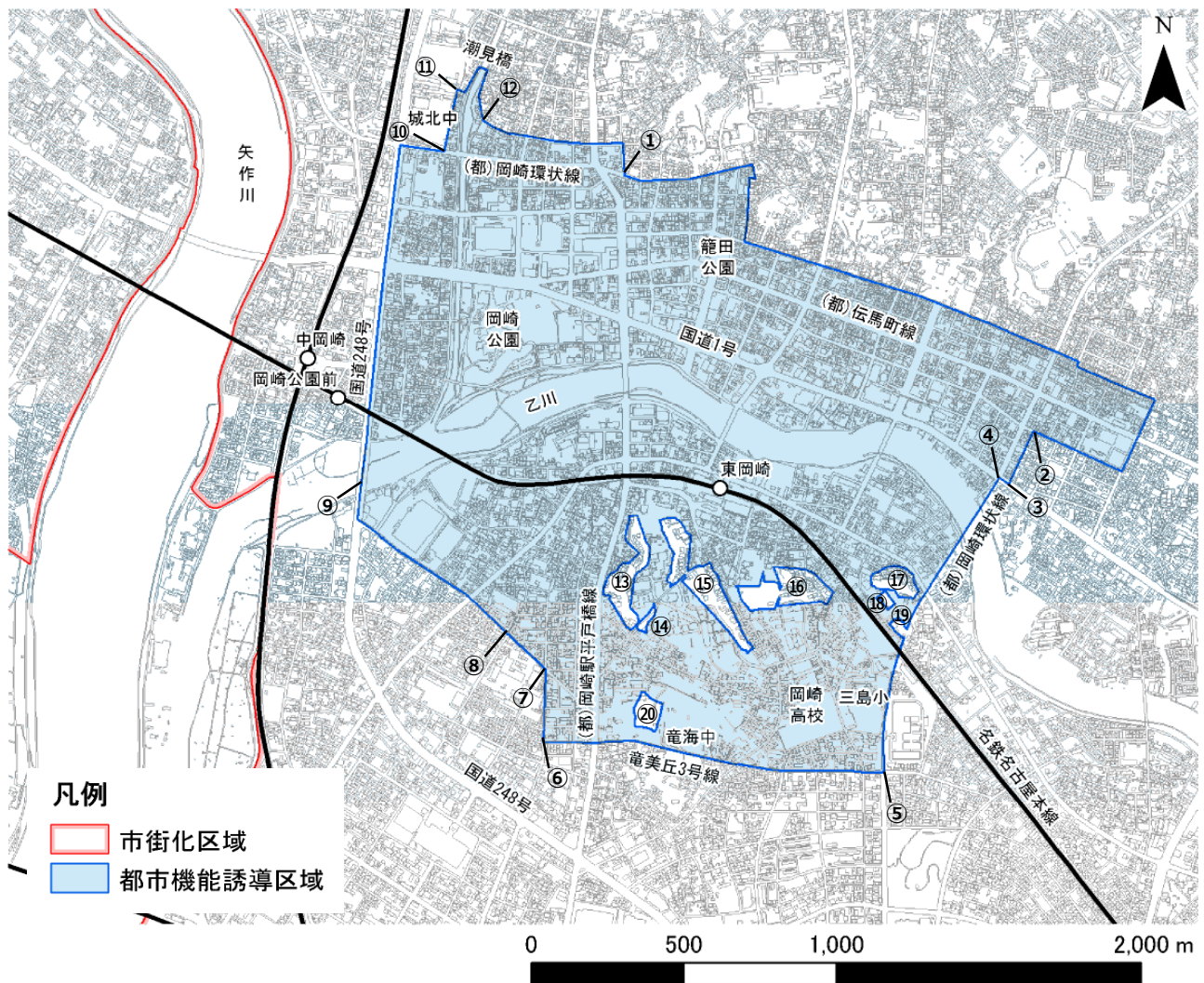


＜都市機能の徒歩利用圏：商業施設＞



1 1 都市機能誘導区域図

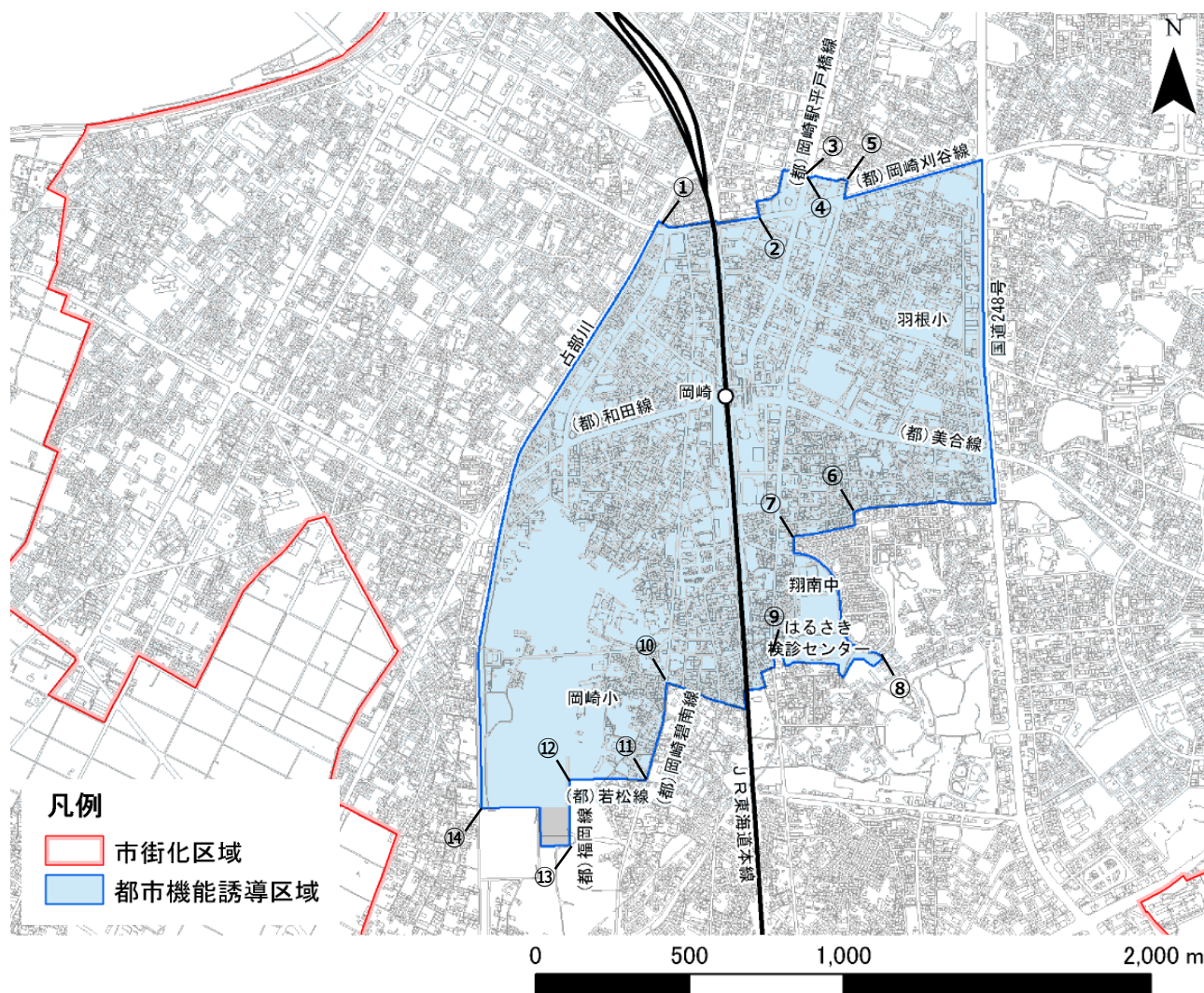
<都市機能誘導区域（東岡崎駅周辺）>



- ①～②：用途地域界(道路中心線)
- ②～③：用途地域界
- ③～④：道路中心線
- ④～⑤：道路中心線((都)岡崎環状線)
- ⑤～⑥：道路中心線
- ⑥～⑦：用途地域界(道路中心線)
- ⑦～⑧：道路中心線
- ⑧～⑨：用途地域界(道路中心線)
- ⑨～⑩：道路中心線
- ⑩～⑪：学校用地敷地界
- ⑪～⑫：道路中心線
- ⑫～⑬：道路端

- ⑬：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界
- ⑭：急傾斜地危険箇所界
- ⑮：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界
- ⑯：保安林及び急傾斜地崩壊危険区域界
- ⑰：土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域界
- ⑱：土砂災害警戒区域界
- ⑲：土砂災害警戒区域界
- ⑳：急傾斜地危険箇所界

<都市機能誘導区域（岡崎駅周辺）>



①～②：土地区画整理事業区域界

②～③：道路中心線

③～④：土地区画整理事業区域界の延長

④～⑤：土地区画整理事業区域界

⑤～⑥：道路中心線

⑥～⑦：用途地域界

⑦～⑧：地区計画の地区区分界

⑧～⑨：地区計画区域界

⑨～⑩：土地区画整理事業区域界

⑩～⑪：道路中心線

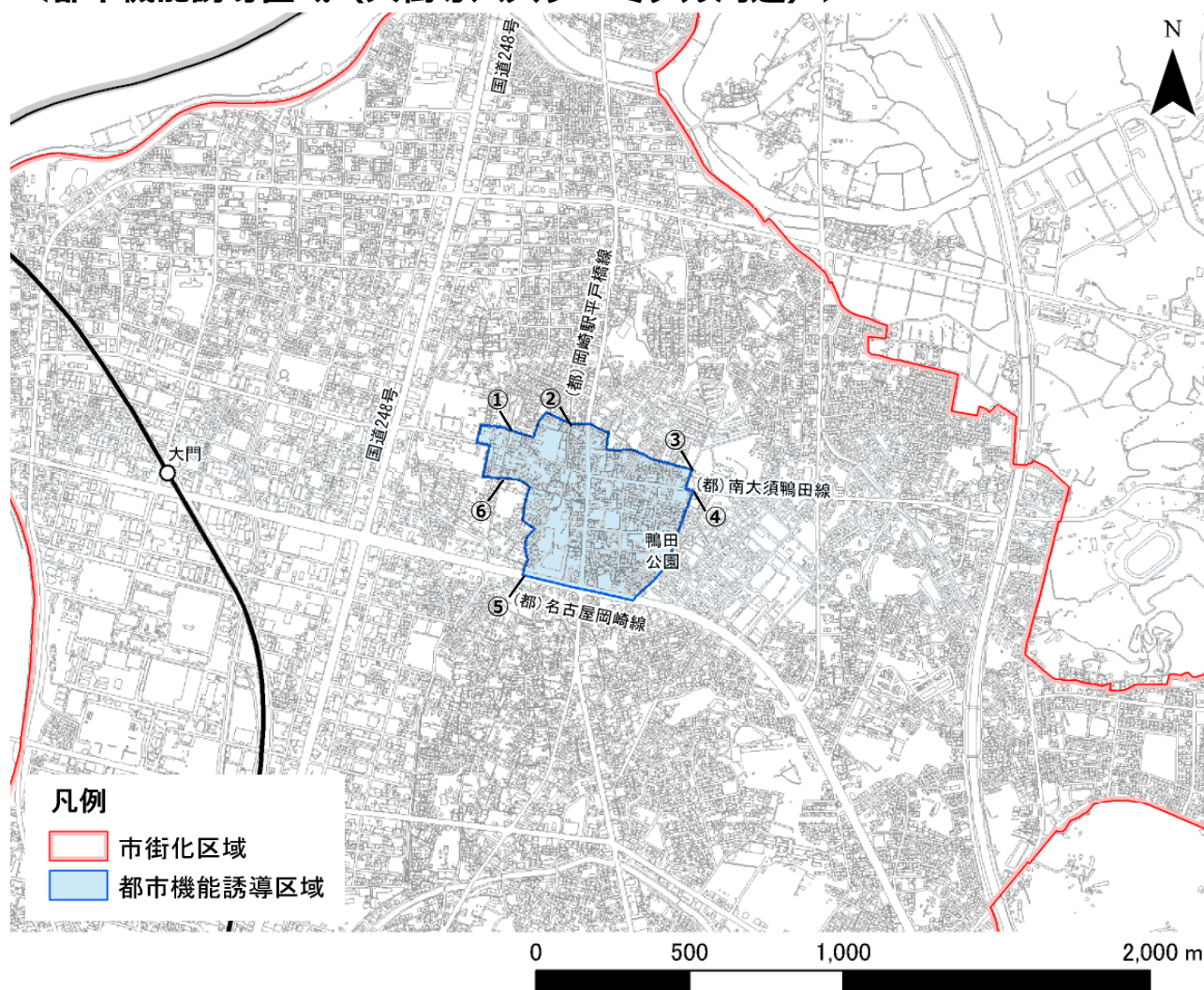
⑪～⑫：道路中心線((都)若松線)

⑫～⑬：道路中心線((都)福岡線)

⑬～⑭：用途地域界

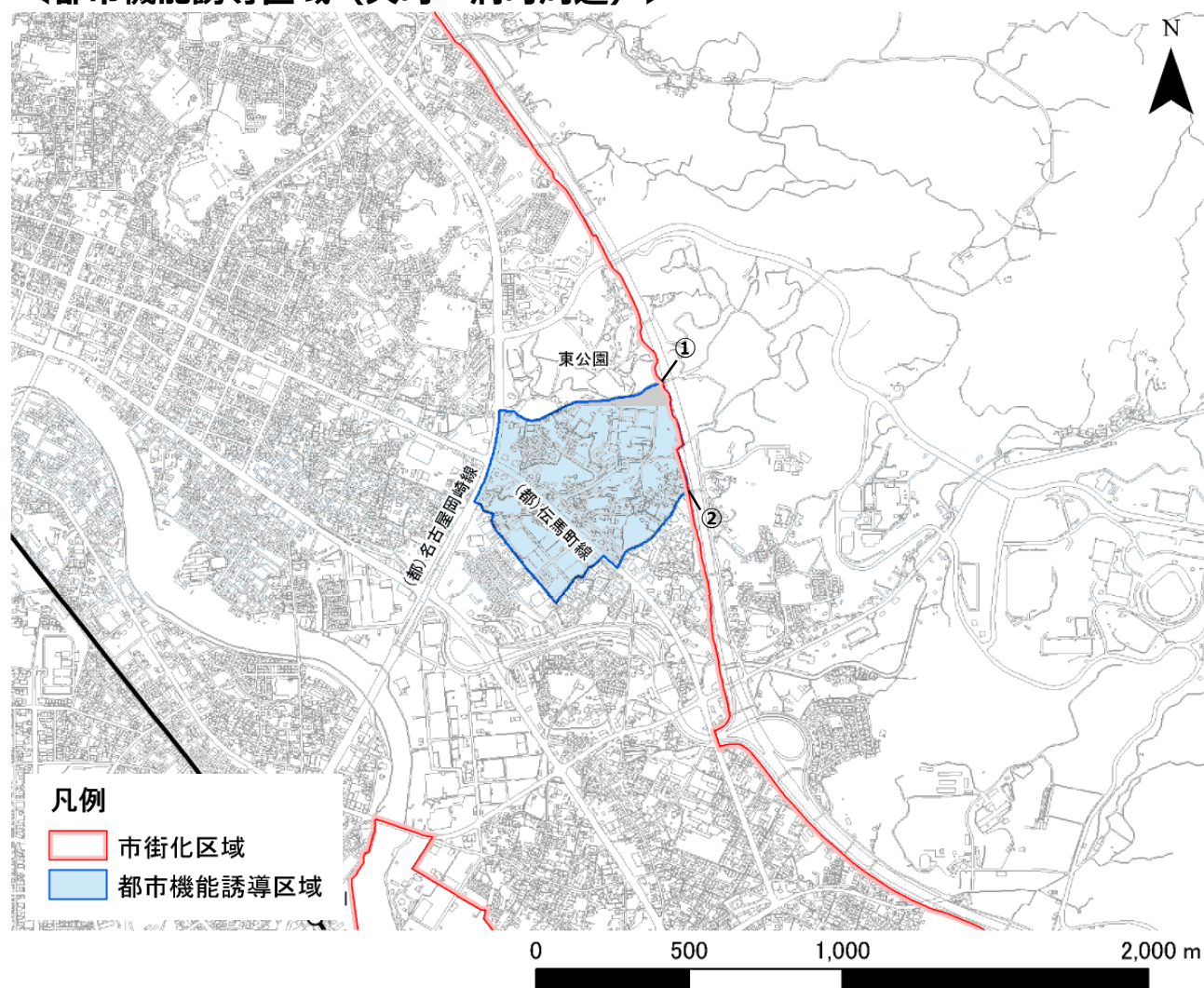
⑭～①：占部川の中心線

＜都市機能誘導区域（大樹寺バスターミナル周辺）＞



- ①～②：用途地域界（道路中心線）
- ②～③：道路中心線
- ③～④：用途地域界（道路中心線）
- ④～⑤：道路中心線
- ⑤～⑥：用途地域界（道路中心線）
- ⑥～①：道路中心線

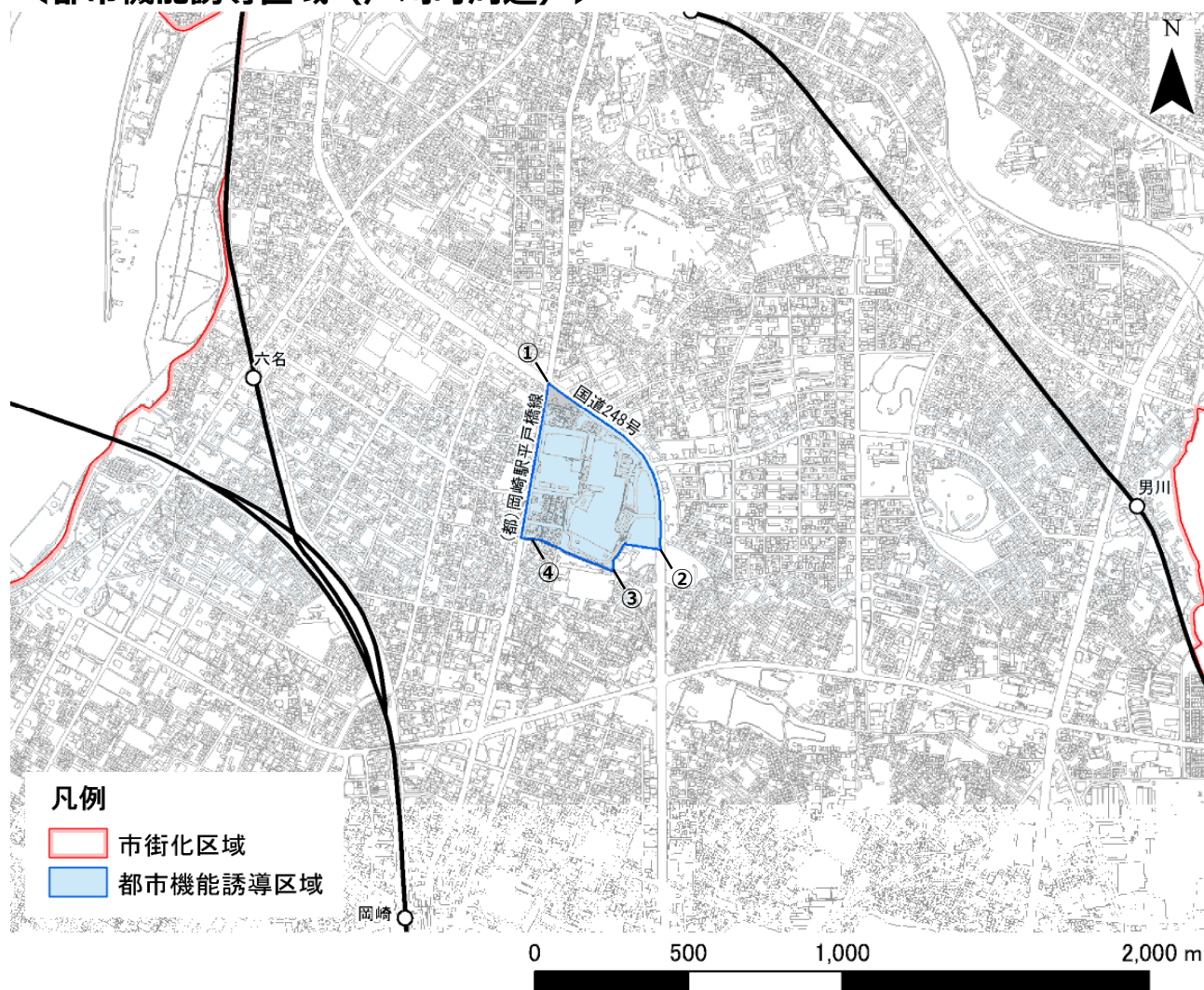
<都市機能誘導区域（欠町・洞町周辺）>



①～②：市街化区域界

②～①：道路中心線

＜都市機能誘導区域（戸崎町周辺）＞



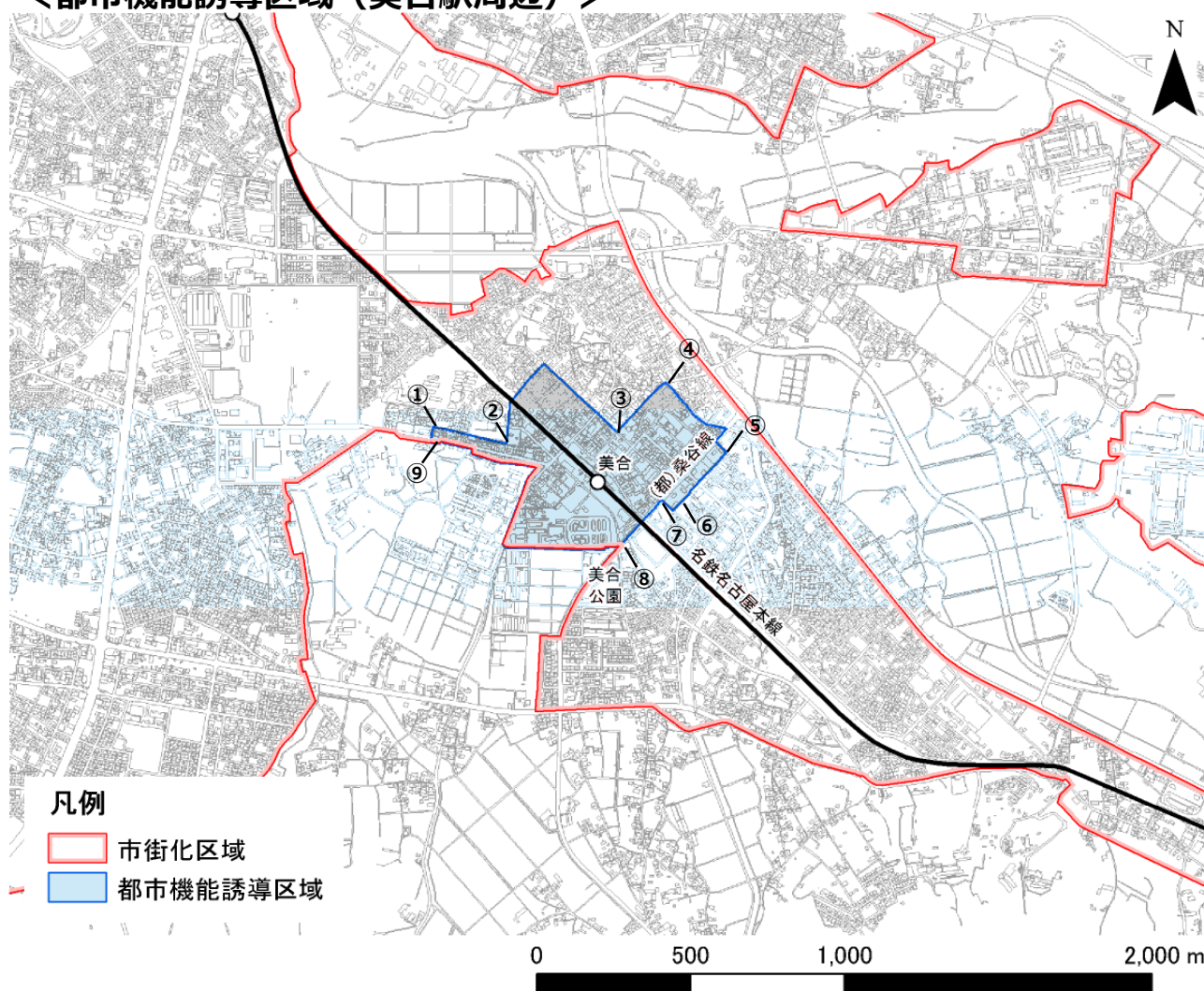
①～②：用途地域界（道路中心線）

②～③：用途地域界

③～④：用途地域界（道路中心線）

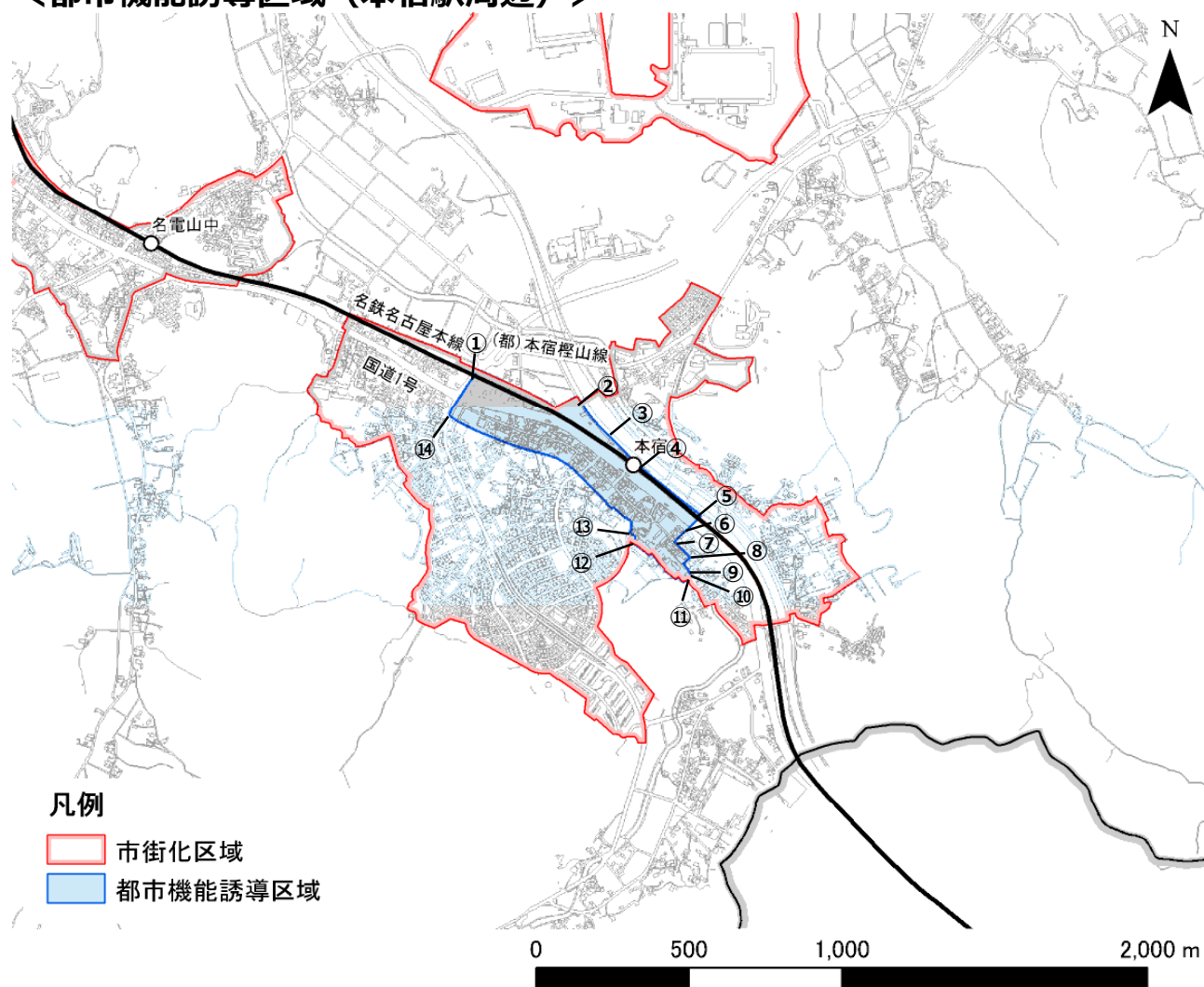
④～①：道路中心線

<都市機能誘導区域（美合駅周辺）>



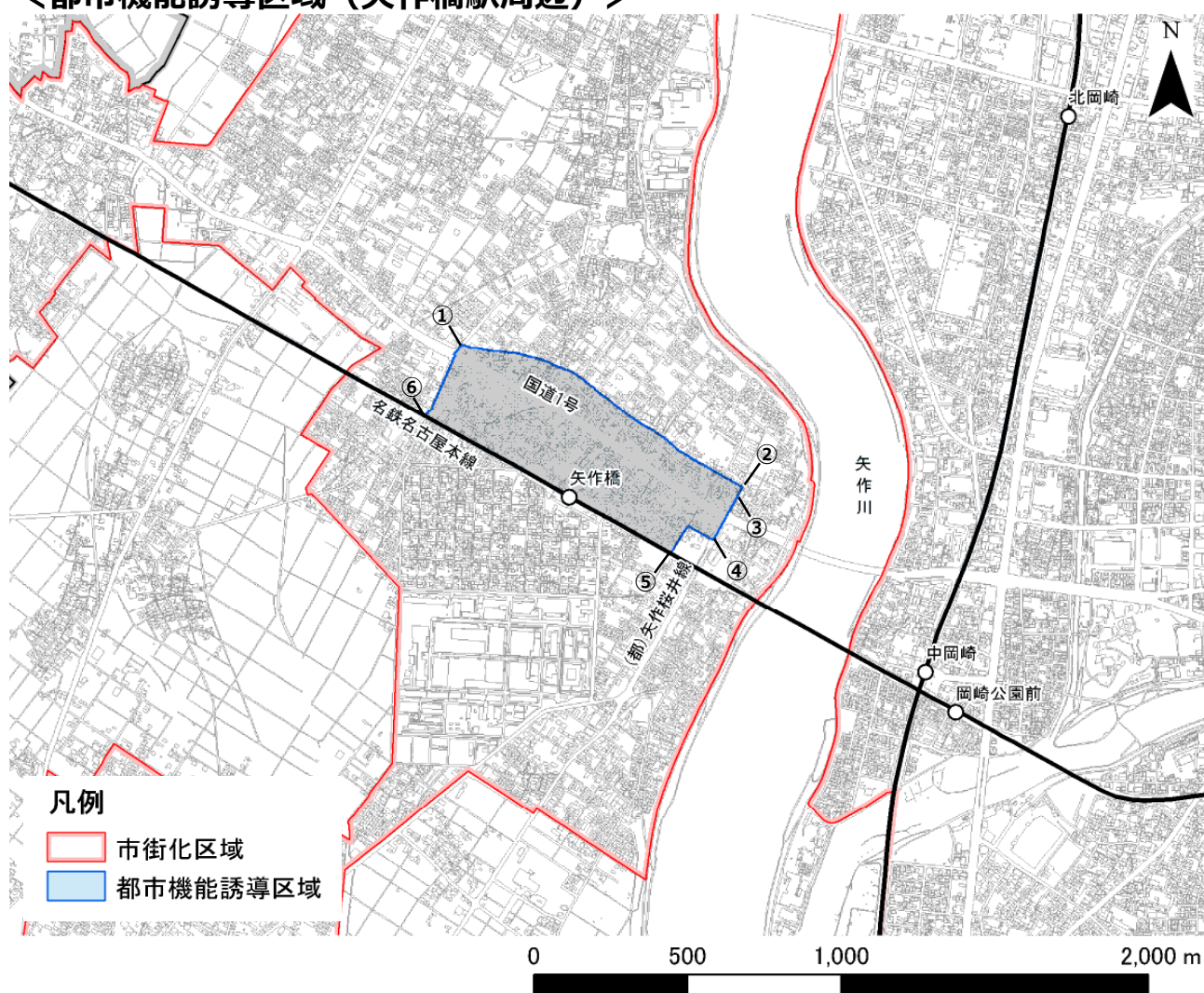
- ①～②:用途地域界
- ②～③:用途地域界(道路中心線)
- ③～④:道路中心線
- ④～⑤:用途地域界(道路中心線)
- ⑤～⑥:用途地域界(道路中心線)
- ⑥～⑦:道路中心線
- ⑦～⑧:用途地域界(道路中心線)
- ⑧～⑨:市街化区域界
- ⑨～①:用途地域界(道路中心線)

<都市機能誘導区域（本宿駅周辺）>

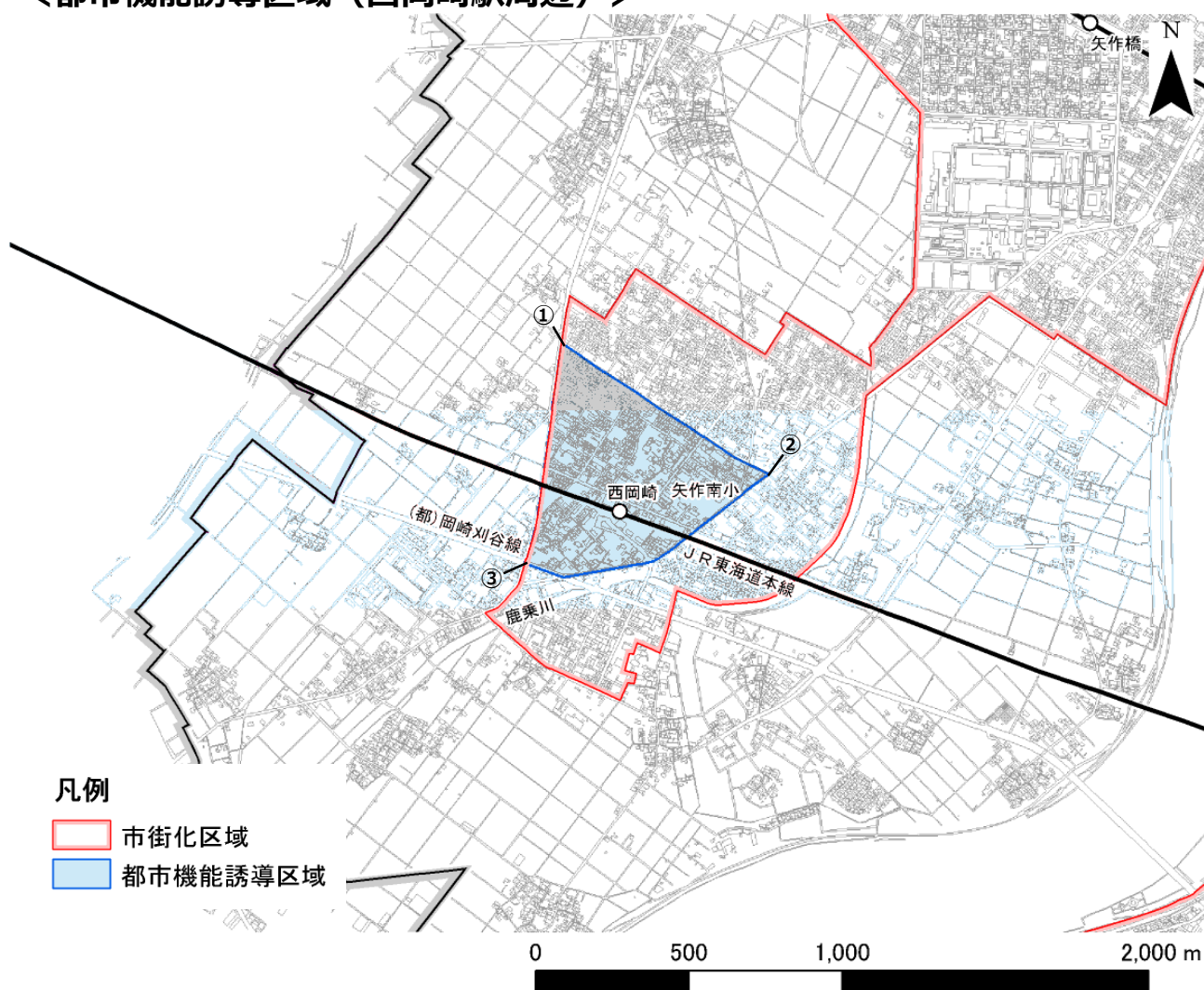


- ①～②：市街化区域界
- ②～③：道路端
- ③～④：②～③の延長線
- ④～⑤：用途地域界
- ⑤～⑥：⑥～⑦の延長線
- ⑥～⑦：道路中心線
- ⑦～⑧：道路中心線
- ⑧～⑨：地形線
- ⑨～⑩：道路端
- ⑩～⑪：筆界
- ⑪～⑫：市街化区域界
- ⑫～⑬：土砂災害警戒区域界
- ⑬～⑭：用途地域界
- ⑭～①：道路中心線

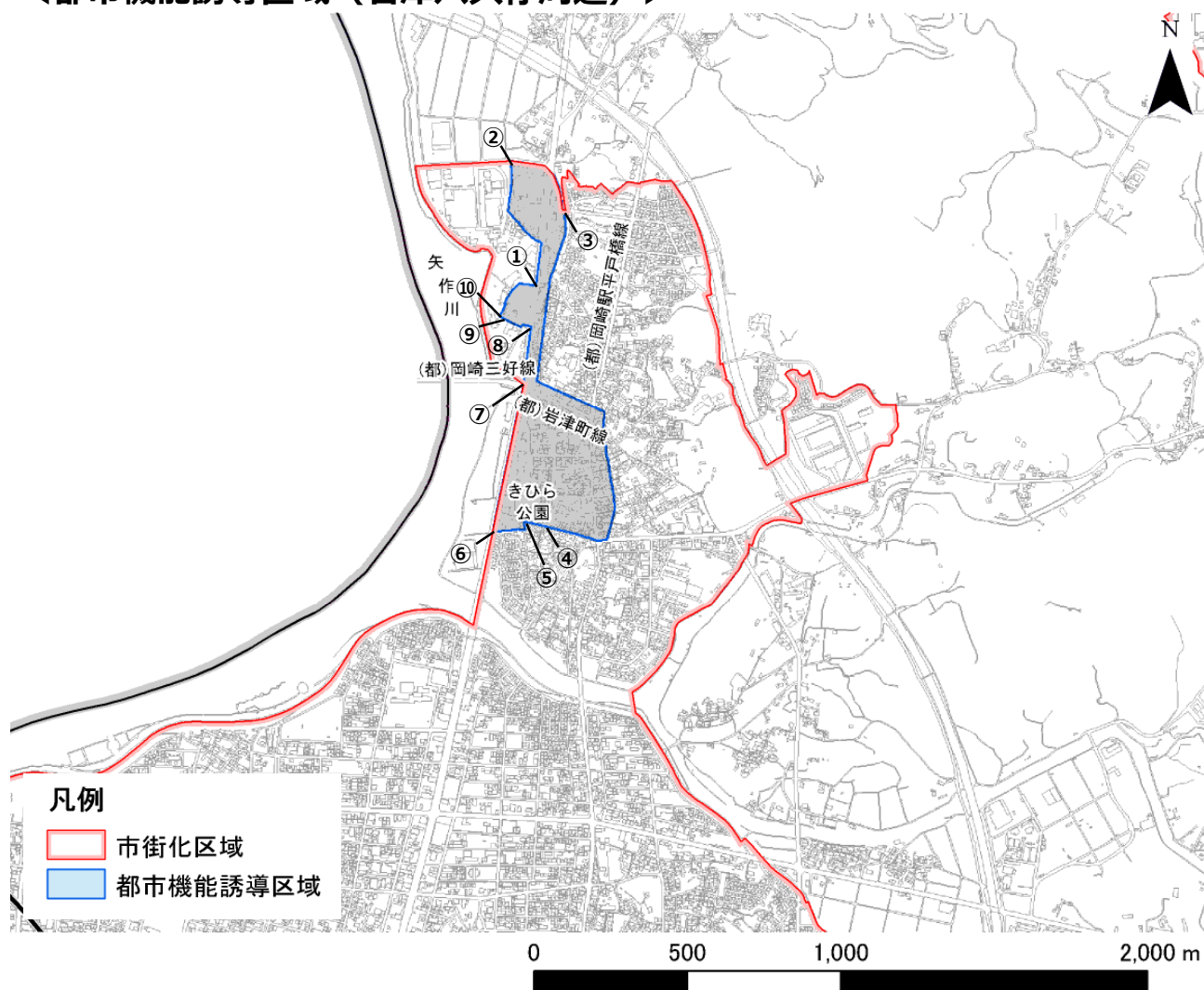
<都市機能誘導区域（矢作橋駅周辺）>



＜都市機能誘導区域（西岡崎駅周辺）＞

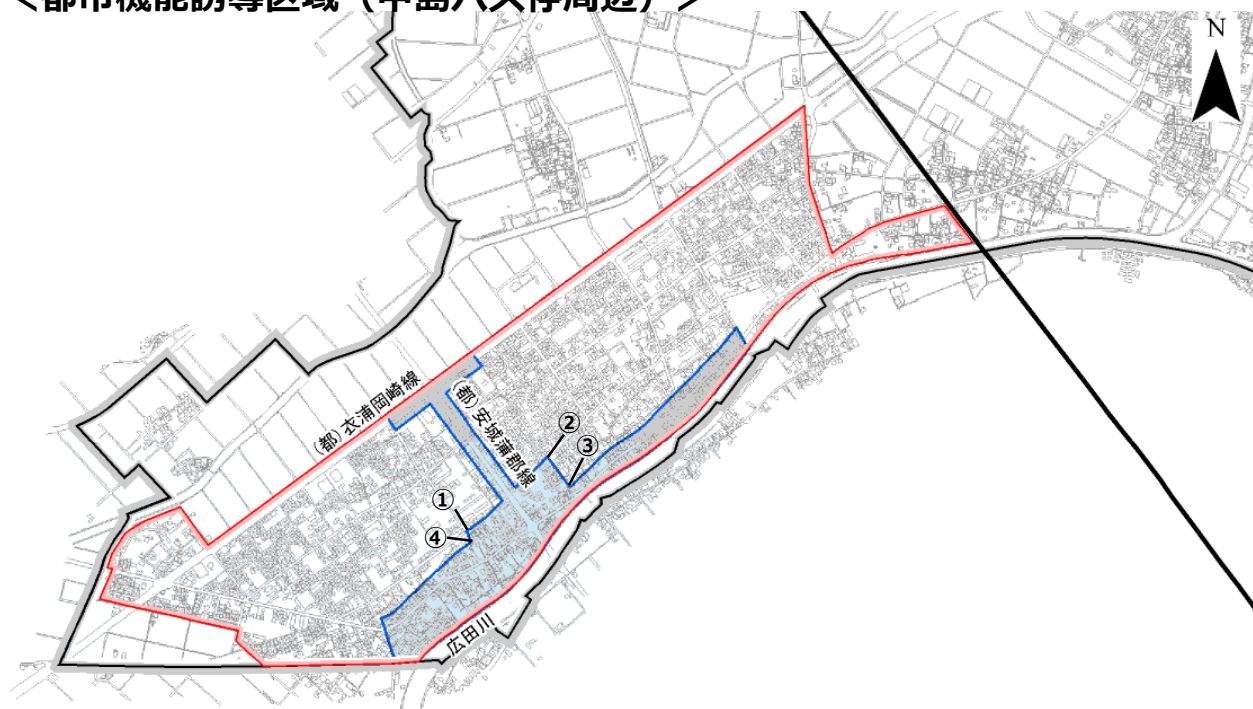


<都市機能誘導区域（岩津バス停周辺）>



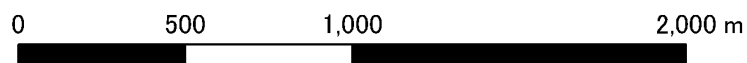
- ①～②：用途地域界
- ②～③：市街化区域界
- ③～④：用途地域界（道路中心線）
- ④～⑤：道路中心線
- ⑤～⑥：用途地域界（道路中心線）
- ⑥～⑦：市街化区域界
- ⑦～⑧：用途地域界（道路中心線）
- ⑧～⑨：道路中心線
- ⑨～⑩：道路中心の延長線
- ⑩～①：地形線

＜都市機能誘導区域（中島バス停周辺）＞



凡例

- 市街化区域
- 都市機能誘導区域



- ①～②: 用途地域界
- ②～③: 道路中心線
- ③～④: 用途地域界
- ④～①: 道路中心線

1 2 各指標の現状値把握の方法

(1) 評価指標

立地適正化計画に定めた評価指標は、「居住誘導重点区域の可住地人口密度」「居住誘導区域の可住地人口密度」の2指標です。これら指標の現状値算出にあたっては、各区域における人口と可住地面積を把握することが必要です。

①人口の集計

各区域における人口の現状値は、平成 27 年国勢調査を基に集計しました。各区域の人口は、都市計画基礎調査の調査区別人口を基に G I S（地図ソフト）により各区域の人口を集計しました。その際、区域をまたがる調査区については面積按分しました。

②可住地面積の算出

各区域における可住地面積は、平成 25 年度都市計画基礎調査による土地利用現況図から、可住地を抽出し、各区域の可住地面積を G I S（地図ソフト）により、図上計測しました。

図 現状値の算出結果

評価指標	現状値		
(1)居住誘導重点区域 の可住地人口密度	H27 人口(人)	A	58,397
	H25 可住地(ha)	B	590
	H27 可住地人口密度(人/ha)	$C=A/B$	99.0
(2)居住誘導区域 の可住地人口密度	H27 人口(人)	D	247,556
	H25 可住地(ha)	E	2,647
	H27 可住地人口密度(人/ha)	$F=D/E$	93.5

(2) 効果指標

立地適正化計画に定めた効果指標は、「東岡崎駅・岡崎駅 1 日平均乗車数」「都市機能誘導区域における低未利用地面積割合」「市民意識調査における「居住継続意向」」の 3 指標です。各指標の現状値把握は以下のとおり行いました。

①東岡崎駅・岡崎駅 1 日平均乗車数

東岡崎駅・岡崎駅 1 日平均乗車数の現状値は、岡崎市統計書 2017 年版から平成 28 年度の名鉄岡崎駅、J R 岡崎駅、愛環岡崎駅の 1 日平均乗車人員を合計することで算出しました。

表 東岡崎駅・岡崎駅 1 日平均乗車数の算出

効果指標	現状値	
	鉄道駅	1 日平均乗車人員
(1)東岡崎駅・岡崎駅 1 日平均乗車数	JR 岡崎駅	17,901
	愛環岡崎駅	4,950
	名鉄東岡崎駅	19,442
	合計	42,293

(資料：岡崎市統計書 2017 年版)

②都市機能誘導区域における低未利用地面積割合

都市機能誘導区域における低未利用地面積割合の現状値は、東岡崎駅周辺及び岡崎駅周辺の都市機能誘導区域における区域面積、低未利用地面積から各区域の低未利用地割合を算出しました。低未利用地面積については、平成 25 年度都市計画基礎調査の土地利用現況図から低未利用地を抽出し、G I S (地図ソフト) により図上計測しました。

表 都市機能誘導区域における低未利用地面積割合

効果指標	現状値		
		東岡崎駅周辺	岡崎駅周辺
(2)都市機能誘導区域 における低未利用地 面積割合	区域面積(ha)	322.84	217.89
	低未利用地面積(ha)	28.36	44.64
	低未利用地割合(%)	8.8	20.5

②市民意識調査における「居住継続意向」

市民意識調査における「居住継続意向」の現状値は、平成 14 年以降に計 6 回実施された岡崎市市民意識調査の居住継続意向で「ずっと住んでいたい」「しばらく住むつもりだ」と回答された構成比の合計の平均値としました。

表 「居住継続意向」に関わる市民意識調査結果

効果指標	現状値			
	調査実施年	ずっと住んで いたい	しばらく住む つもりだ	計
(3)市民意識調査 における 「居住継続意向」	平成 14 年	58.4%	24.7%	83.1%
	平成 18 年	62.1%	22.2%	84.3%
	平成 20 年	62.3%	22.1%	84.4%
	平成 23 年	60.8%	22.6%	83.4%
	平成 25 年	59.9%	23.5%	83.4%
	平成 28 年	60.1%	24.4%	84.5%
	平均値	60%	23%	83%

(資料：岡崎市市民意識調査報告書)